

令和8年度

江戸川区民世論調査

< 第 3 9 回 >

江戸川区

目次

I	調査の概要.....	1
II	結果のあらまし	15
III	結果と分析.....	23
1.	江戸川区に住んでいることについて	25
(1)	居住年数.....	25
(2)	永住意向.....	28
(3)	各項目の満足度	33
2.	江戸川区のおすすめ度について.....	93
(1)	おすすめ度について.....	93
3.	広報とデジタル化について	95
(1)	情報の入手手段.....	95
(2)	江戸川区へのイメージ	97
(3)	江戸川区のPR	98
(4)	進めてほしい取り組み	100
4.	パブリック・コメントについて.....	102
(1)	パブリック・コメントの認知度	102
5.	SDGsについて.....	104
(1)	普段から取り組んでいるSDGsの行動.....	104
6.	共生社会について.....	106
(1)	共生社会についての認知度.....	106
7.	人権について	108
(1)	関心のある人権課題.....	108
8.	スポーツについて.....	110
(1)	運動の頻度	110
(2)	実施した運動・スポーツ	112
(3)	運動・スポーツをしなかった理由.....	114
(4)	観戦したスポーツ	116
9.	図書館について	118
(1)	図書館・図書館サテライトの利用頻度.....	118
(2)	図書館・図書館サテライトを利用していない理由	120
10.	環境づくりについて	122
(1)	普段から取り組んでいること	122
(2)	ラムサール条約登録の認知度	124
11.	災害対策について.....	126
(1)	大規模水害時の避難するタイミング	126
(2)	地震への備え.....	129

(3) 水害ハザードマップ.....	140
(4) 安全安心なまちづくりに向けた取り組みの認知度	142
12. 地域の治安（安全）について	163
(1) 地域の治安	163
(2) 治安が良くないと感じる理由	166
13. 地域活動の参加状況について	168
(1) 参加している地域の活動・団体	168
(2) 参加するために必要な要素や条件.....	170
14. ひきこもりについて	172
(1) 言葉と区のサポートの認知度	172
15. プレコンセプションケアについて	174
(1) プレコンセプションケアの認知度.....	174
(2) 江戸川区に期待すること	176
16. 自殺予防・対策について.....	178
(1) 江戸川区の対策・取り組みの認知度	178
(2) ゲートキーパー（いのち見守り隊）の認知度.....	180
17. 区政への要望について	182
(1) 今後推進してほしい施策	182
IV 調査票.....	186

I 調査の概要

I 調査の概要

1. 目的

区政に対する区民の意識・評価・要望などを把握し、その結果を区政へ反映させることにより、区民参加による区政運営を推進していくため実施。

2. 対象

小学5年生以上の区民4,000人。対象者は、住民基本台帳より無作為に抽出。

3. 期間

令和8年5月11日（月）～5月31日（日）＜21日間＞

4. 内容

- | | |
|----------------------|----------------------|
| (1) 江戸川区に住んでいることについて | (9) 図書館について |
| (2) 江戸川区のおすすめ度について | (10) 環境づくりについて |
| (3) 広報とデジタル化について | (11) 災害対策について |
| (4) パブリック・コメントについて | (12) 地域の治安（安全）について |
| (5) SDGsについて | (13) 地域活動の参加状況について |
| (6) 共生社会について | (14) ひきこもりについて |
| (7) 人権について | (15) プレコンセプションケアについて |
| (8) スポーツについて | (16) 自殺予防・対策について |
| | (17) 区政への要望について |

5. 調査方法

調査票を対象者へ郵送し、本人記入方式。

回収は、郵送回収とWEB回収の併用。

【回収結果】

- ・標本数4,000件
- ・有効回収数1,811件有効回収率45.3%
(内、郵送は1,021件、WEB回収は790件)

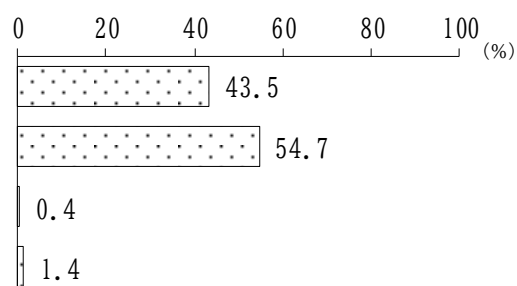
(人口は、令和8年5月1日現在)

10歳以上の人口（人）	配布数（人）	回収数（人）	回収率（%）
628,976	4,000	1,811	45.3

6. 回答者の属性

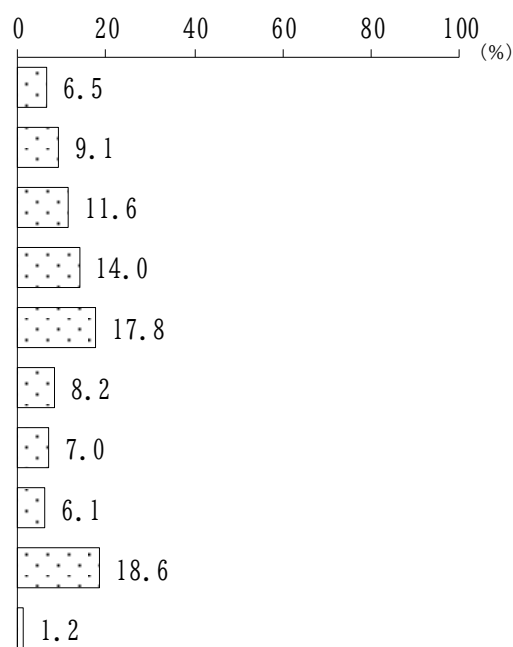
(1) F1 性別

	基数	構成比
男性	787	43.5
女性	990	54.7
その他	8	0.4
無回答	26	1.4
合 計	1,811	100.0



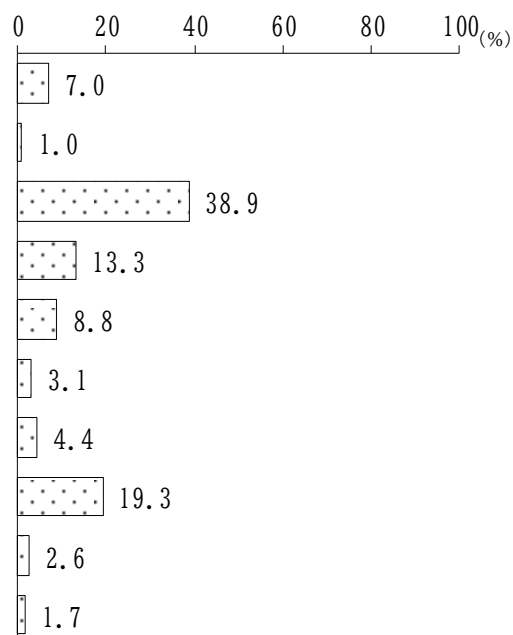
(2) F2 年齢

	基数	構成比
10～19歳	117	6.5
20～29歳	165	9.1
30～39歳	210	11.6
40～49歳	253	14.0
50～59歳	322	17.8
60～64歳	148	8.2
65～69歳	127	7.0
70～74歳	111	6.1
75歳以上	337	18.6
無回答	21	1.2
合 計	1,811	100.0



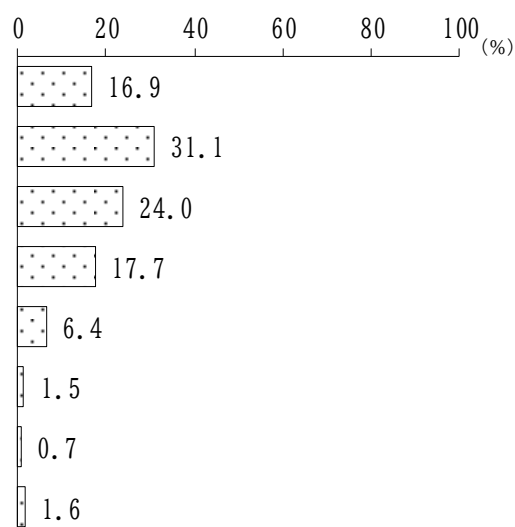
(3) F3 職業

	基数	構成比
自営業者	126	7.0
家族従業（家事手伝い）	19	1.0
勤め（フルタイム）	704	38.9
勤め（パートタイム）	240	13.3
家事専業	159	8.8
小学生・中学生	57	3.1
学生（高校生含む）	79	4.4
無職	350	19.3
その他	47	2.6
無回答	30	1.7
合 計	1,811	100.0



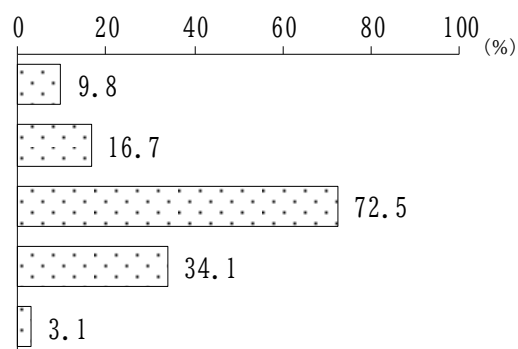
(4) F4 同居家族数

	基数	構成比
1人	306	16.9
2人	564	31.1
3人	435	24.0
4人	321	17.7
5人	115	6.4
6人	28	1.5
7人以上	13	0.7
無回答	29	1.6
合 計	1,811	100.0



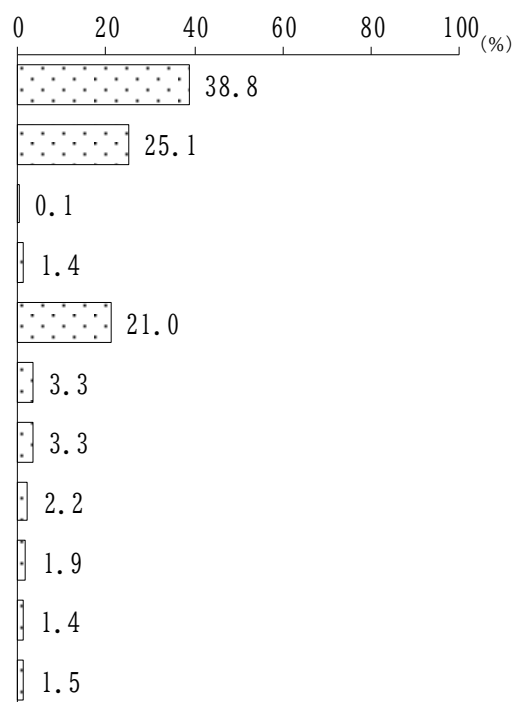
(5) F4-1 同居者

	基数	構成比
小学校入学前のお子さん	144	9.8
小・中学生	247	16.7
16～64歳の方	1,070	72.5
65歳以上の方	503	34.1
無回答	46	3.1
合 計	1,476	100.0



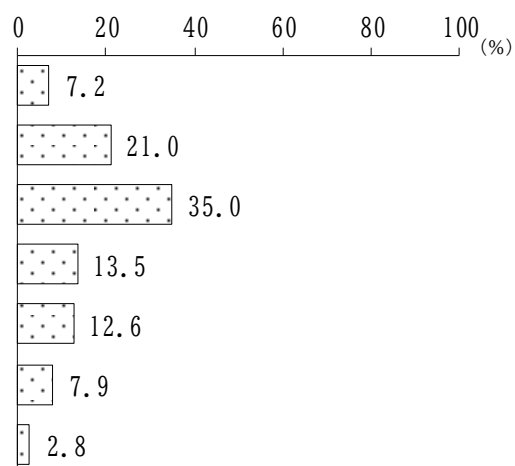
(6) F5 居住形態

	基数	構成比
持ち家(一戸建)	703	38.8
持ち家(共同住宅)	454	25.1
持ち家(長屋建・その他)	2	0.1
民営の賃貸住宅(一戸建)	26	1.4
民営の賃貸住宅(共同住宅)	381	21.0
公営の賃貸住宅	60	3.3
都市再生機構・公社などの賃貸住宅	59	3.3
給与住宅(社宅・公務員住宅など)	39	2.2
借間	34	1.9
わからない	26	1.4
無回答	27	1.5
合 計	1,811	100.0



(7) F 6 居住地域

	基数	構成比
小松川地区	130	7.2
中央地区	380	21.0
葛西地区	633	35.0
小岩地区	245	13.5
東部地区	229	12.6
鹿骨地区	143	7.9
無回答	51	2.8
合 計	1,811	100.0



7. 報告書の見方

この報告書における表・グラフの見方

○図表の中のnとは回答者総数（または該当質問の該当者数）を表している。

○回答の比率はnを100%とした百分比で算出し、小数点以下第2位を四捨五入した。そのために、百分比の合計が100%に満たない、または上回ることがある。

○1人の回答者が複数回答を行う設問では、その比率の合計が100%を上回ることがある。

○分析軸では、その特徴をより明確に出せるように「無回答」は掲載していない。そのため、分析軸のそれぞれの（n）の合計が全体と一致しない場合がある。

○nが小さくなるほどデータの精度が保証しがたくなるので、nが30未満の場合は注意を要する。したがって、nが30を下回る場合、原則的に数値をあげた具体的なコメントは行わない。

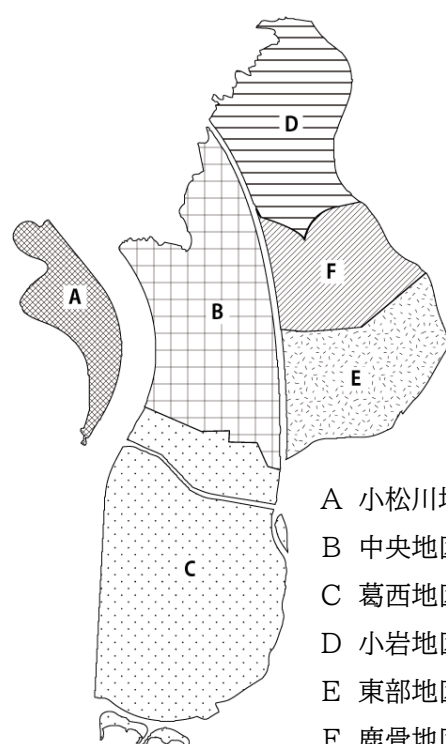
○地区は、管轄ごとに以下のように分類した。

【管轄別区域表】

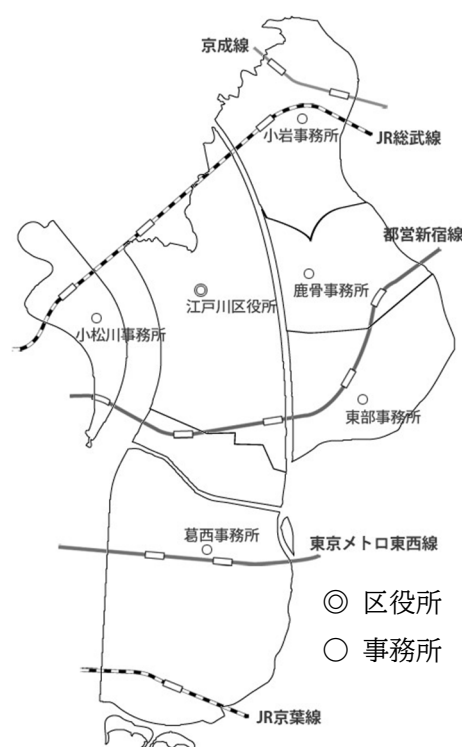
管轄名	管轄内町丁名
小松川事務所 (小松川地区)	小松川1～3丁目、平井1～7丁目
区民課 (中央地区)	中央1～4丁目、松島1～4丁目、松江1～7丁目、東小松川1～4丁目、西小松川町、大杉1～5丁目、西一之江1～4丁目、春江町4丁目、上一色1～3丁目、本一色1～3丁目、一之江1～8丁目、西瑞江4丁目1～2・10～27、江戸川4丁目15～25、松本1・2丁目、興宮町
葛西事務所 (葛西地区)	春江町5丁目、西瑞江5丁目、江戸川5・6丁目、一之江町、二之江町、船堀1～7丁目、宇喜田町、東葛西1～9丁目、西葛西1～8丁目、中葛西1～8丁目、南葛西1～7丁目、北葛西1～5丁目、清新町1・2丁目、臨海町1～6丁目
小岩事務所 (小岩地区)	東小岩1～6丁目、西小岩1～5丁目、南小岩1～8丁目、北小岩1～8丁目
東部事務所 (東部地区)	春江町2・3丁目、東瑞江1～3丁目、西瑞江3丁目・4丁目5～9、江戸川1～3丁目・4丁目1～14、谷河内2丁目、下篠崎町、篠崎町3～6丁目、南篠崎町1～5丁目、東篠崎1・2丁目、瑞江1～4丁目
鹿骨事務所 (鹿骨地区)	新堀1・2丁目、春江町1丁目、谷河内1丁目、鹿骨町、鹿骨1～6丁目、上篠崎1～4丁目、篠崎町1・2・7・8丁目、西篠崎1・2丁目、北篠崎1・2丁目、東松本1・2丁目

※調査票では番地まで聞いていないため、西瑞江4丁目、江戸川4丁目は便宜上中央地区としている。

【地区別区分図】



- A 小松川地区（小松川事務所管内）
 B 中央地区（区民課管内）
 C 葛西地区（葛西事務所管内）
 D 小岩地区（小岩事務所管内）
 E 東部地区（東部事務所管内）
 F 鹿骨地区（鹿骨事務所管内）



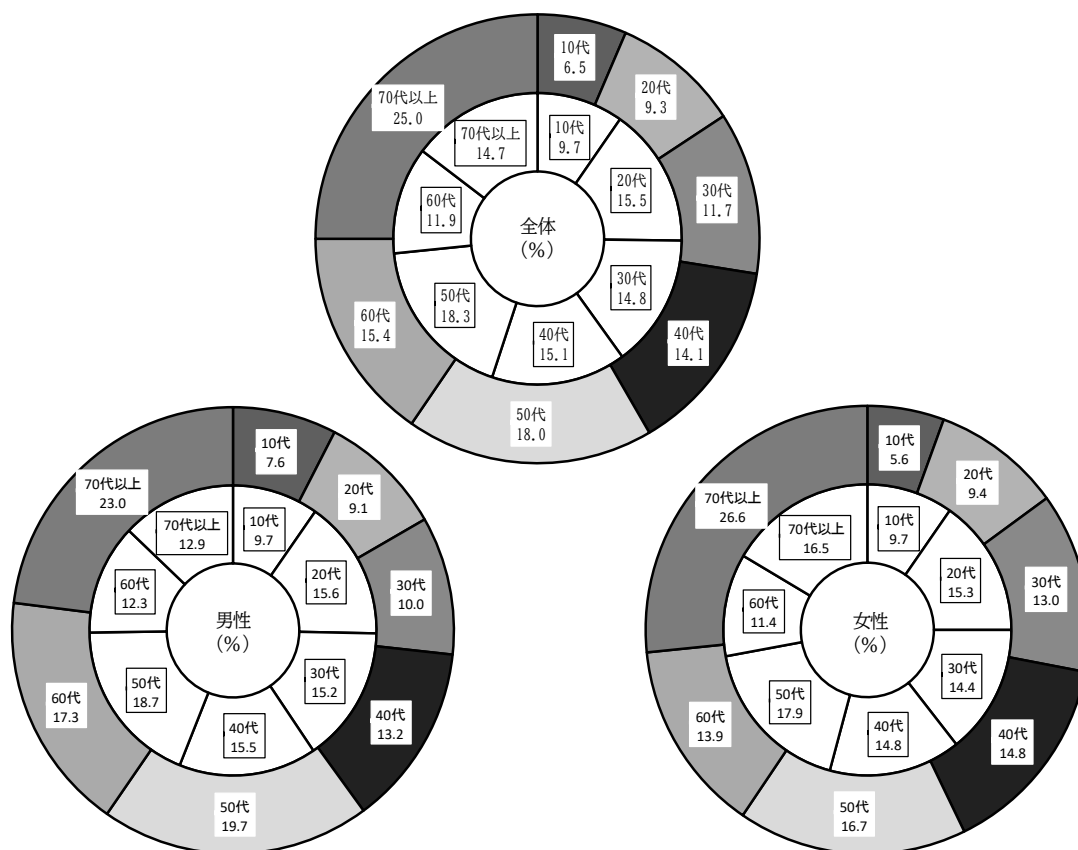
- ◎ 区役所
 ○ 事務所

回答比率(P) 回答者数(n)	10% または 90%程度	20% または 80%程度	30% または 70%程度	40% または 60%程度	50%程度
1,811	±1.41	±1.88	±2.15	±2.30	±2.35
1,000	±1.90	±2.53	±2.90	±3.10	±3.16
500	±2.68	±3.58	±4.10	±4.38	±4.47
300	±3.46	±4.62	±5.29	±5.66	±5.77
100	±6.00	±8.00	±9.17	±9.80	±10.00

（注／この表の見方）

標本誤差とは、今回のように全体（母集団）の中から一部を抽出して行う標本調査では、全体を対象に行った調査と比べ、調査結果に差が生じることがあるが、その誤差のことをいう。この誤差は、標本の抽出方法や標本数によって異なるが、その誤差を数学的に計算することが可能である。その計算式を今回の調査に当てはめて算出したのが、上記の表である。見方としては、例えば、「ある設問の回答者数が1,811であり、その設問中の選択肢の回答比率が60.0%であった場合、その回答比率の誤差の範囲は最高でも±2.30%以内（57.70～62.30%）である」とみることができる。

8. 性・年齢別回収結果（母集団との比較）



※内円は母集団 10 歳以上の人口（N=628,976）の構成比、外円は調査回答者（n=1,811）の構成比を示している。

※性別が「その他」の回答者については「n」が少ないため掲載をしていない。

9. 過去の世論調査の概要（主要項目）

回 数 (時 期)		第1回 (\$51.1)	第2回 (\$52.1)	第3回 (\$53.1)	第4回 (\$54.1)	第5回 (\$55.1)	第6回 (\$56.1)
標 本 数		2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000
回 収 数 (回収率)		1,587 79.4%	1,610 80.5%	1,543 77.2%	1,541 77.1%	1,451 72.6%	1,741 87.1%
主 な 調 査 内 容	永住意向	55.2%	－	56.5%	66.3%	71.5%	72.1%
	転出意向	25.2%	－	25.4%	21.9%	15.7%	14.5%
	施設への要望(※) (上位3つ)	病院	公園・遊び場	下水道	病院・診療所	病院	下水道
		下水道	病院	病院	公園・遊び場	下水道	都市ガス
		公園・遊び場	下水道	公園・遊び場	下水道	鉄道の駅	鉄道の駅
	施策への要望 (上位3つ)	保健・衛生・ 医療	－	－	－	－	－
		災害対策	－	－	－	－	－
		公害対策	－	－	－	－	－
	区政への信頼度	76.7%	－	76.2%	76.2%	78.8%	77.9%
	区政への関心度	77.8%	83.7%	80.8%	76.4%	83.2%	83.1%
その他の調査項目	区政に対する 満足度	区政に対する 満足度	地域活動への 参加意向	地域活動への 参加意向	地域活動への 参加意向	区独自事業の 周知度	
	住環境意識	地域活動の 実態	住環境意識	近隣関係の 満足度	災害に対する 備え	区民の文化・ スポーツ活動	

回 数 (時 期)		第7回 (\$57.1)	第8回 (\$58.1)	第9回 (\$59.1)	第10回 (\$60.1)	第11回 (\$61.1)	第12回 (\$62.1)
標 本 数		2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000
回 収 数 (回収率)		1,677 83.9%	1,717 85.9%	1,763 88.2%	1,738 86.9%	1,754 87.7%	1,748 87.4%
主 な 調 査 内 容	永住意向	69.8%	86.4%	86.5%	82.1%	82.8%	78.6%
	転出意向	17.1%	8.2%	8.1%	9.8%	10.5%	13.2%
	施設への要望(※) (上位3つ)	下水道	下水道	病院	病院	病院	病院
		公園・遊び場	鉄道の駅	下水道	下水道	鉄道の駅	大型店
		鉄道の駅	都市ガス	都市ガス	都市ガス	都市ガス	都市ガス
	施策への要望 (上位3つ)	—	—	—	保健・衛生・ 医療	—	—
		—	—	—	災害	—	—
		—	—	—	高齢者	—	—
	区政への信頼度	79.0%	80.0%	78.7%	81.5%	82.5%	79.8%
	区政への関心度	81.0%	80.6%	81.9%	83.6%	82.6%	79.6%
その他の調査項目	地域活動への 参加意向	区民の 健康状態	ボランティア 活動の 参加意向	文化事業	生活環境への 満足度	区民の 健康状態	
	街の美観 について	区民の 悩み事の実態	区内の バス交通	地域情報の 媒体	広報紙の印象	区の紋章等の 周知度	

(※)第7回～第22回は都市環境施設への要望。第24回以降は自由記述による設問。

I 調査の概要

回 数 (時 期)	第 13 回 (S63.2)	第 14 回 (H 元.1)	第 15 回 (H2.1)	第 16 回 (H3.1)	第 17 回 (H4.1)	第 18 回 (H5.1)
標 本 数	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000
回 収 数 (回収率)	1,677 83.9%	1,711 85.6%	1,670 83.5%	1,680 84.0%	1,672 83.6%	1,614 80.7%
主 な 調 査 内 容	永住意向	80.2%	80.7%	81.1%	79.1%	77.5%
	転出意向	11.9%	12.9%	12.6%	13.6%	14.9%
	施設への要望(※) (上位3つ)	大型店	駐車場	駐車場	駐車場	駐車場
		駐車場	病院	病院	病院	病院
		病院	大型店	大型店	大型店	大型店
	施策への要望 (上位3つ)	—	—	—	—	—
		—	—	—	—	—
		—	—	—	—	—
	区政への信頼度	82.9%	84.0%	87.4%	80.6%	79.3%
	区政への関心度	83.8%	84.3%	87.9%	82.7%	81.5%
その他の調査項目	街の魅力	余暇の考え方	広報紙の印象	区民の 健康状態	区民の いきがい	保健所の 利用状況
	友好都市との 交流	ボランティア 活動の考え方	国際交流の 参加意向	住みよさの 評価	地元商店街の 印象	広報紙 閲読状況

回 数 (時 期)	第 19 回 (H6.1)	第 20 回 (H7.1)	第 21 回 (H8.1)	第 22 回 (H8.10)	第 23 回 (H10.10)	第 24 回 (H12.7)
標 本 数	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000
回 収 数 (回収率)	1,643 82.2%	1,642 82.1%	1,684 84.2%	1,658 82.9%	1,672 83.6%	1,574 78.7%
主 な 調 査 内 容	永住意向	80.0%	80.1%	80.1%	80.7%	78.0%
	転出意向	11.8%	11.2%	11.9%	11.0%	9.9%
	施設への要望(※) (上位3つ)	病院	病院	病院	病院	医療機関
		大型店	大型店	大型店	駐車場・ 駐輪場	スポーツ
		駐車場	駐車場	駐車場	大型店 (スーパー)	高齢者
	施策への要望 (上位3つ)	—	—	—	高齢者	高齢者
		—	—	—	環境・公害	子育て
		—	—	—	交通網	環境・公害
	区政への信頼度	77.8%	77.6%	76.7%	74.4%	—
	区政への関心度	79.8%	80.2%	78.7%	77.9%	—
その他の調査項目	区のイメージ	江戸川区の 魅力	災害時への 備え	地域活動への 参加意向	江戸川区の 魅力	江戸川区の 将来像
	区民まつり 満足度	健康診査の 受診状況	住まいの 満足度	生活環境 満足度	産業振興施策	介護保険に ついて

(※)第7回～第22回は都市環境施設への要望。第24回以降は自由記述による設問。

回 数 (時 期)		第 25 回 (H14.4)	第 26 回 (H16.6)	第 27 回 (H18.6)	第 28 回 (H20.5)	第 29 回 (H22.5)	第 30 回 (H24.5)
標 本 数		2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000
回 収 数 (回収率)		1,524 76.2%	1,490 74.5%	1,356 67.8%	1,408 70.4%	1,405 70.3%	1,314 65.7%
主 な 調 査 内 容	永住意向	77.6%	74.7%	74.1%	76.6%	78.8%	76.9%
	転出意向	7.6%	6.9%	8.3%	5.1%	5.8%	5.6%
	施設への要望(※) (上位3つ)	スポーツ	スポーツ	児童・保育	スポーツ	児童・保育	児童・保育
		高齢者	教育・文化	教育・文化	児童・保育	スポーツ	スポーツ
		教育・文化	公園・広場	スポーツ	医療機関	教育・文化	教育・文化
	施策への要望 (上位3つ)	高齢者	防犯	防犯	防犯	防犯	震災
		保健・健康	高齢者	高齢者	災害	高齢者	防犯
		景気・物価	学校教育	災害	高齢者	子育て	高齢者
	区政への信頼度	－	－	－	－	－	－
	区政への関心度	－	－	－	－	64.5%	63.4%
その他の調査項目	区のイメージ	まちづくりの 状況	区の現況への 満足度	区の現況への 満足度	区の現況への 満足度	区の現況への 満足度	
	区民のかかり つけ医の状況	資源とごみの 分別状況	省エネを 意識した行動	区の景観	運動・ 健(検)診	喫煙について	

(※)第29回以降は、「災害対策」を「震災対策」と「水害対策」に分割。

回 数 (時 期)		第 31 回 (H26.5)	第 32 回 (H29.5)	第 33 回 (R2.11)	第 34 回 (R3.11)	第 35 回 (R4.10)	第 36 回 (R5.10)
標 本 数		2,000	2,000	4,000	4,000	4,000	4,000
回 収 数 (回収率)		1,512 75.6%	1,486 74.3%	1,548 38.7%	1,836 45.9%	1,767 44.2%	1,746 43.7%
主 な 調 査 内 容	永住意向	74.4%	73.3%	74.5%	76.3%	86.9%	85.2%
	転出意向	4.6%	6.2%	8.5%	7.7%	3.2%	3.4%
	施設への要望 (上位3つ)	－	－	－	－	－	－
		－	－	－	－	－	－
		－	－	－	－	－	－
	施策への要望 (※) (上位3つ)	震災	震災	水害	水害	水害	水害
		防犯	防犯	震災	震災	震災	震災
		水害	水害	防犯対策	防犯対策	防犯対策	防犯対策
	区政への信頼度	－	－	－	－	－	－
	区政への関心度	－	－	－	－	－	－
その他の調査項目	区の現況への 満足度	区の現況への 満足度	区の現況への 満足度	区の現況への 満足度	区の現況への 満足度	区の現況への 満足度	
	駐輪場・レン タサイクル について	スポーツの 実践について	災害対策 について	SDGs について	災害に強い 安全安心な まちづくり	ひきこもり 支援について	

I 調査の概要

回 数 (時 期)		第 37 回 (R6.4)	第 38 回 (R7.4)	第 39 回 (R8.5)
標 本 数		4,000	4,000	4,000
回 収 数 (回収率)		1,667 41.7%	1,760 44.4%	1,811 45.3%
主 な 調 査 内 容	永住意向	84.9%	85.2%	84.3%
	転出意向	3.4%	3.4%	3.3%
	施設への要望 (上位3つ)	—	—	—
		—	—	—
		—	—	—
	施策への要望 (上位3つ)	水害	水害	水害
		震災	震災	震災
		防犯対策	防犯対策	防犯対策
	区政への信頼度	—	—	—
	区政への関心度	—	—	—
	その他の調査項目	区の現況への 満足度	区の現況への 満足度	区の現況への 満足度
		災害対策 について	地域活動の 参加状況 について	地域の治安 (安全) について

Ⅱ 結果のあらまし

Ⅱ 結果のあらまし

1. 居住年数・永住意向について（25～91ページ）

【問1（25 ページ）】

江戸川区の居住者は、『長期の居住者』（「21 年以上 31 年未満」＋「31 年以上」）（59.0%）、『中期の居住者』（「6 年以上 11 年未満」＋「11 年以上 21 年未満」）（24.1%）、『短期の居住者』（「1 年未満」＋「1 年以上 6 年未満」）（16.1%）の順に高くなっている。選択肢の中では「31 年以上」が 45.1%で最も高くなっている。

【問2（28 ページ）】

「ずっと住み続けたい」が 48.6%、「しばらくは住み続けたい」が 35.7%で、『永住意向』（「ずっと住み続けたい」＋「しばらくは住み続けたい」）は 84.3%となっている。一方、『転出意向』（「ほかの区や市に引っ越したい」）は 3.3%となっている。

【問3（33 ページ）】

江戸川区の 19 項目の満足度について尋ねたところ、「満足」は【①買い物やすさ】（37.9%）が 4 割近くと最も高く、次いで【⑤みどりの多さ】（37.1%）、【④公園・水辺の状態】（32.3%）、【②電車やバスの便利さ】（30.6%）と続いている。一方、「不満」は【⑩地域の安全（犯罪の少なさ）】（6.8%）、【②電車やバスの便利さ】（5.8%）が高くなっている。

2. 江戸川区のおすすめ度について（92～93ページ）

【問4（92 ページ）】

「江戸川区に住むことをすすめたい」（27.0%）が 3 割近くと最も高く、「どちらもすすめたい」（19.3%）が約 2 割、「江戸川区に来ることをすすめたい」（15.3%）が 1 割台半ばとなっている。

3. 広報とデジタル化について（94～100ページ）

【問5（94 ページ）】

「区の広報誌（広報えどがわ）紙版」（54.2%）が 5 割台半ばと最も高く、次いで「学校のプリント、町内・自治会回覧資料」（21.3%）、「親族、友人、知人に聞く」（18.1%）、「区の公式ホームページ」（17.9%）と続いている。

【問6（96 ページ）】

江戸川区へのイメージ（10 点満点）は、「7 点」（22.5%）が 2 割を超えて最も高く、『良いイメージ』（7 点～10 点の合計）（52.6%）は 5 割を超えている。

【問7（97 ページ）】

「水とみどりが豊かなまち」（51.1%）が 5 割を超えて最も高く、次いで「広い公園があるまち」（41.2%）、「交通（車、電車、バスでの）移動が便利なまち」（32.5%）、「子育てがしやすいまち」（28.8%）と続いている。

【問8（99 ページ）】

「ワンストップサービス（一つの窓口でいろいろな手続きがまとめてできる）」（61.0%）が 6 割を超えて最も高く、次いで「行政手続のオンライン化（スマートフォンやパソコンで手続きが

できるようにする)」(57.3%)、「支払いのキャッシュレス化（現金を使わない税金や手数料の支払い方法）」(33.4%)、「区の相談をオンライン化（スマートフォンやパソコンを使った相談）」(22.6%)と続いている。

4. パブリック・コメントについて（101～102ページ）

【問9（101ページ）】

「言葉も意味も知っている」(8.8%)「言葉だけは聞いたことがある」(16.8%)で2割台半ばとなっている。一方、「知らない」(73.3%)が7割を超えている。

5. SDGsについて（103～104ページ）

【問10（103ページ）】

「食品ロスを防ぐ（必要な量だけ買う、フードドライブに参加する、残さず食べるなど）」(67.5%)が7割近くと最も高く、次いで「電気も水も大切に使う（見ていないテレビを消す、食器や手を洗うときに水をこまめに止めるなど）」(57.9%)、「健康的な生活を送る（健康的な食事をする、運動を心がける、十分な睡眠をとるなど）」(56.2%)、「リサイクルをする（服やペットボトルを資源回収に出す、リサイクルショップを活用するなど）」(49.8%)と続いている。

6. 共生社会について（105～106ページ）

【問11（105ページ）】

「言葉も意味も知っている」(38.2%)が4割近く、「言葉だけは聞いたことがある」(34.3%)が3割台半ばとなっている。一方、「知らない」(25.8%)が2割台半ばとなっている。

7. 人権について（107～108ページ）

【問12（107ページ）】

「高齢者」(42.1%)が4割を超えて最も高く、次いで「障害者」(39.4%)、「女性」(37.3%)、「子ども」(36.7%)と続いている。一方、「刑を終えて出所した人やその家族」(9.4%)は1割未満と低い。

8. スポーツについて（109～116ページ）

【問13（109ページ）】

「週3日以上（年151日以上）」(20.8%)が約2割、「週2日（年101～150日）」(14.9%)が1割台半ば、「週1日（年51～100日）」(14.6%)が1割台半ばで続いている。一方、「運動やスポーツを実施していない」(28.6%)が3割近くとなっている。

【問13-1（111ページ）】

「ウォーキング（散歩、ぶらぶら歩き、一駅歩きなどを含む）」(71.5%)が7割を超えて最も高く、次いで「自転車（BMX含む）、サイクリング」(20.5%)、「体操」(18.8%)、「トレーニング」(18.1%)と続いている。

【問 13-2 (113 ページ)】

「仕事や家事が忙しいから」(50.1%) が5割と最も高く、「年を取ったから」(27.7%)、「仲間がいないから」(14.4%)、「近くに場所や施設がないから」(11.8%)と続いている。

【問 14 (115 ページ)】

「野球」(15.8%) が1割台半ばと最も高く、「サッカー（ブラインドサッカーを含む）、フットサル、マラソン、駅伝」(6.0%)、「ダンス（ダンススポーツ、社交ダンス、チアリーディング、ヒップホップなど）」(3.6%)と続いている。一方、「観戦しなかった」(59.1%) が約6割となっている。

9. 図書館について (117～120ページ)

【問 15 (117 ページ)】

「1週間に数回程度」(2.0%) が1割未満、「1か月に数回程度」(8.9%) が1割未満、「年に数回程度」(14.1%) が1割台半ば、「年に1回程度」(4.2%) が1割未満となっている。一方、「過去に利用したが、現在は利用していない」(34.6%) が3割台半ば、「利用したことがない」(35.1%) が3割台半ばとなっている。

【問 15-1 (119 ページ)】

「本や雑誌は買って読んでいる」(28.2%) が3割近くと最も高く、「図書館（図書館サテライト）へ行って、本や雑誌を借りたり、返したりする ことが大変」(27.0%)、「近くにない」(16.7%)、「読みたい本や雑誌があるかわからない」(12.1%)と続いている。

10. 環境づくりについて (121～124ページ)

【問 16 (121 ページ)】

「買い物や外出をするとき、マイバッグやマイボトルを持っていく」(74.9%) が7割台半ばと最も高く、次いで「食べられる分を残さず食べる」(73.6%)、「汚れていない紙類は燃やすごみではなく古紙回収に出す」(43.7%)、「着られなくなった服や不要になった服は区の「古着・古布リサイクル回収」やリユース店に持ち込む」(28.1%)と続いている。

【問 17 (123 ページ)】

「知っている」(29.0%) が約3割、「知らない」(69.3%) が約7割となっている。

11. 災害対策について (125～161ページ)

【問 18 (125 ページ)】

「逃げたいが、いつ逃げるかわからないと思う」(35.2%) が3割台半ば、「24時間より前（大雨が降る前）であれば逃げられると思う」(29.7%) が3割となっている。

【問 19 (128 ページ)】

地震への備えについて、「はい」は【①消火器の使い方を知っている】(69.0%) が約7割と最も高く、次いで【③家に3日以上過ごせる水や食べ物などがある】(62.5%)、【②家の近くの消火器がある場所を知っている】(50.4%)、【④災害用伝言ダイヤル「171」を知っている】(45.3%)となっている。

【問 20 (139 ページ)】

「自分の家がどれくらい水につかるかを調べて、あぶないかどうかわかった」(47.5%)が5割近くと最も高く、次いで「いざというときの逃げる場所(避難先)を確認することができた」(34.8%)、「大きな水害が予想されるときと予想されないときで、逃げるときの行動がちがうことがわかった」(24.4%)となっている。

【問 21 (141 ページ)】

災害に強い安全安心なまちづくりをするための取り組みを「知っている」は【⑥国や東京都と協力して、川の水があふれてもこわれにくい、幅の広い高規格堤防(スーパー堤防)の整備を進めている。】(49.6%)が5割と最も高く、次いで【④どぶ川になってしまった水路を、水とみどり豊かな親水公園や親水緑道に造りかえた。】(46.2%)、【①大雨で川から水があふれないように、新しい水の通り道(放水路)を掘って造った。(現在の荒川・新中川など)】(45.2%)と続いている。

12. 地域の治安(安全)について(162~166ページ)

【問 22 (162 ページ)】

「良い」が13.1%、「どちらかといえば良い」が47.9%で、『良い』(「良い」+「どちらかといえば良い」)は61.1%となっている。一方、『悪い』(「悪い」+「どちらかといえば悪い」)は28.1%となっている。

【問 22-1 (165 ページ)】

「タバコのポイ捨て・ごみを捨ててはいけない場所に勝手に捨てる」(71.3%)が7割を超えて最も高くなっている。次いで「路上喫煙(道でタバコを吸う)」(65.4%)、「交通違反(交通事故、危険運転など)」(43.4%)、「不審者(怪しい人からの声かけ、ストーカーなど)」(35.6%)となっている。

13. 地域活動の参加状況について(167~170ページ)

【問 23 (167 ページ)】

「町会・自治会」(21.9%)が2割を超えて最も高く、次いで「PTA」(4.1%)、「高齢者団体(くすのきクラブなど)」(3.4%)、「ボランティア団体」(1.9%)となっている。一方、「参加していない」(69.2%)が約7割となっている。

【問 23-1 (169 ページ)】

「短い時間でも参加できる」(30.9%)が約3割と最も高く、次いで「一回だけでも参加できる」(30.5%)、「自分の成長につながるような活動」(21.9%)、「活動に参加すると、報酬(お金や金券など)がもらえる」(15.7%)と続いている。一方、「どんな条件でも参加しない」(20.7%)が約2割となっている。

14. ひきこもりについて（171～172ページ）

【問 24（171 ページ）】

「意味も、区がサポートしていることも知っている」（24.2%）が2割台半ば、「意味は知っているが、区がサポートしていることは知らない」（57.5%）が6割近く、「意味は知らないが、区がサポートしていることは知っている」（2.9%）が1割未満、「まったく知らない」（12.9%）が1割を超えている。

15. プレコンセプションケアについて（173～176ページ）

【問 25（173 ページ）】

「言葉も意味も知っている」（3.0%）が1割未満、「言葉だけは聞いたことがある」（8.7%）が1割未満、「知らない」（79.8%）が8割となっている。

【問 26（175 ページ）】

「学校で児童・生徒に対して知ってもらおう活動」（46.7%）が5割近くと最も高く、次いで「広報誌などでの情報発信」（31.1%）、「若い世代への健康づくり施策」（27.9%）、「講演会などの開催」（9.5%）と続いている。

16. 自殺予防・対策について（177～180ページ）

【問 27（177 ページ）】

「自殺防止えどがわキャンペーン」（3月、9月に実施）（12.1%）が1割を超えて最も高く、「児童、生徒に実施している「SOSの出し方教育」」（12.0%）、「さまざまな相談先がのっている配布物（ハンカチ型リーフレットなど）」（11.0%）と続いている。一方、「見たり聞いたりしたことはない」（61.1%）が6割を超えている。

【問 28（179 ページ）】

「言葉を聞いたことがあり役割も知っている」（5.5%）が1割未満、「言葉だけは聞いたことがある」（20.2%）が2割、「聞いたことはない」（71.8%）が7割を超えている。

17. 区政への要望について（181～183ページ）

【問 29（181 ページ）】

「水害対策（例：大雨や台風への対策をする）」（30.7%）が約3割と最も高く、次いで「震災対策（例：地震や火事への対策をする）」（24.9%）、「防犯対策（例：犯罪をなくす、不審な人がいないようにする）」（23.7%）と続いている。

Ⅲ 結果と分析

Ⅲ 結果と分析

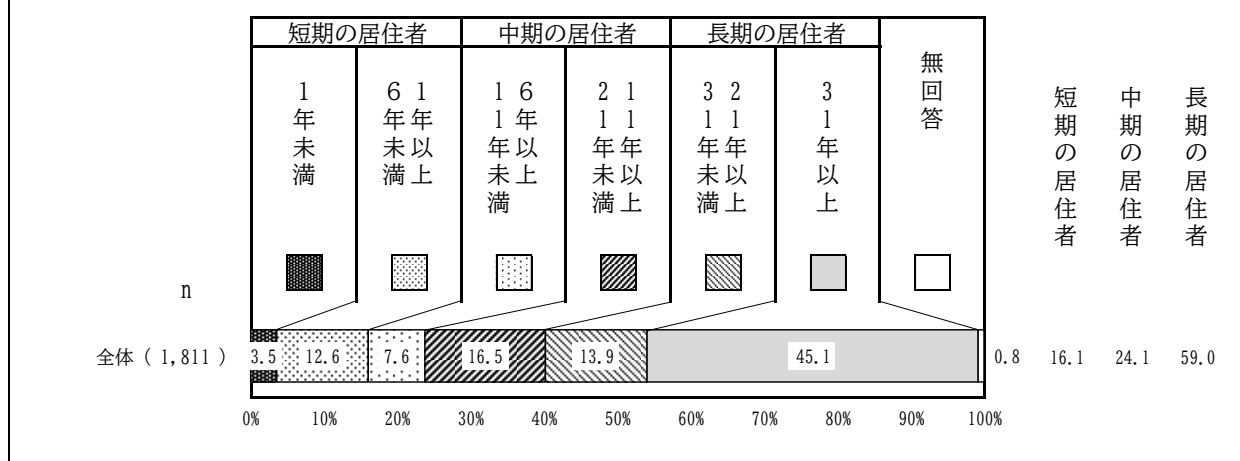
1. 江戸川区に住んでいることについて

(1) 居住年数

◇『長期の居住者』が59.0%を占める。

問1 あなたは、江戸川区に住んで何年になりますか。(○は1つ)

<図表1-1>居住年数



江戸川区の居住者は、『長期の居住者』（「21年以上31年未満」＋「31年以上」）（59.0%）、『中期の居住者』（「6年以上11年未満」＋「11年以上21年未満」）（24.1%）、『短期の居住者』（「1年未満」＋「1年以上6年未満」）（16.1%）の順に高くなっている。選択肢の中では「31年以上」が45.1%で最も高くなっている。（図表1-1）

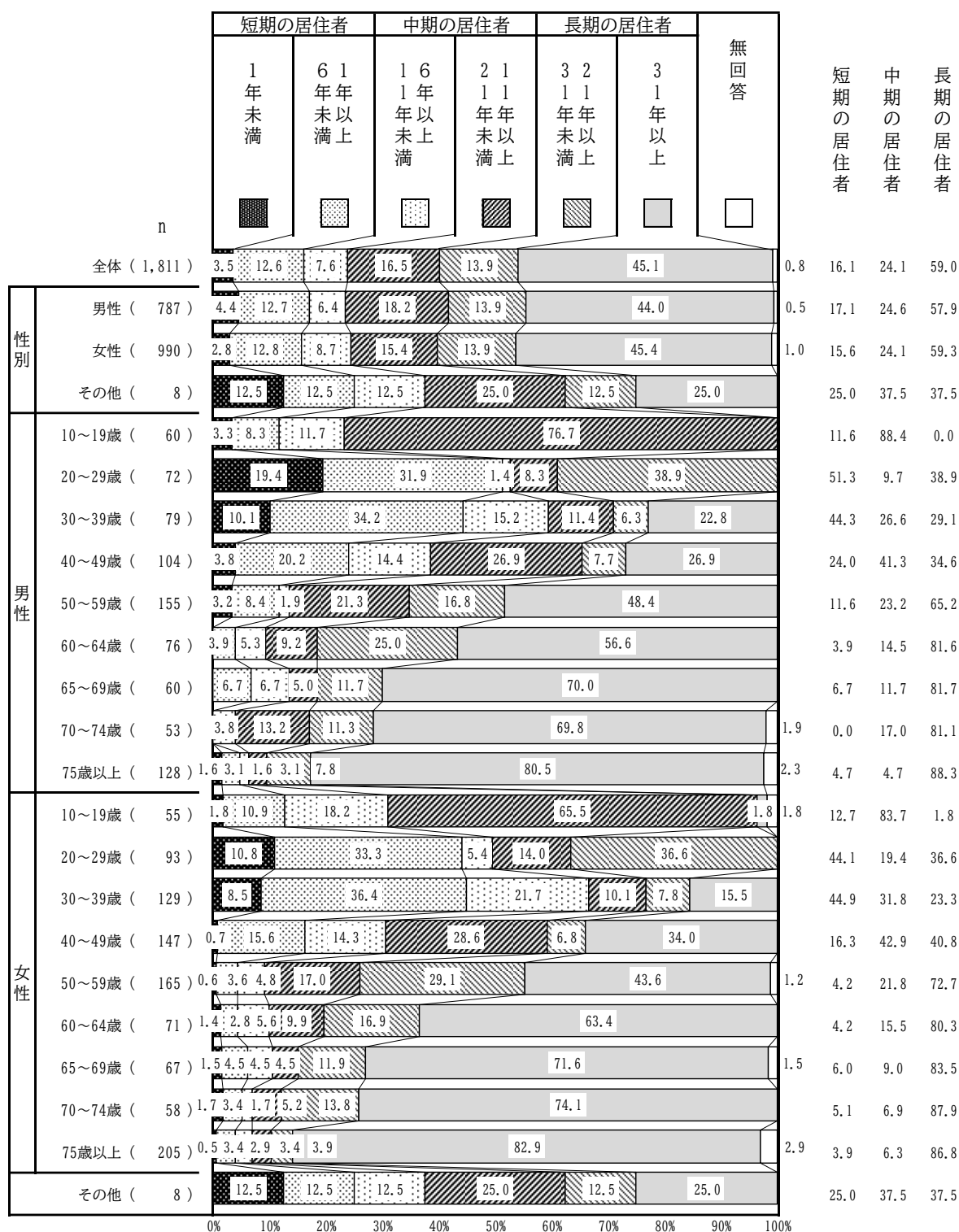
【性・年齢別】

男性において、『短期の居住者』は20～29歳（51.3%）が5割を超えて高くなっている。『中期の居住者』は10～19歳（88.4%）が9割近くと高くなっている。『長期の居住者』は75歳以上（88.3%）が9割近くと高くなっている。

女性において、『短期の居住者』は30～39歳（44.9%）が4割台半ばと高くなっている。『中期の居住者』は10～19歳（83.7%）が8割を超えて高くなっている。『長期の居住者』は70～74歳（87.9%）が9割近くと高くなっている。（図表1-2）

Ⅲ 結果と分析 1. 江戸川区に住んでいることについて

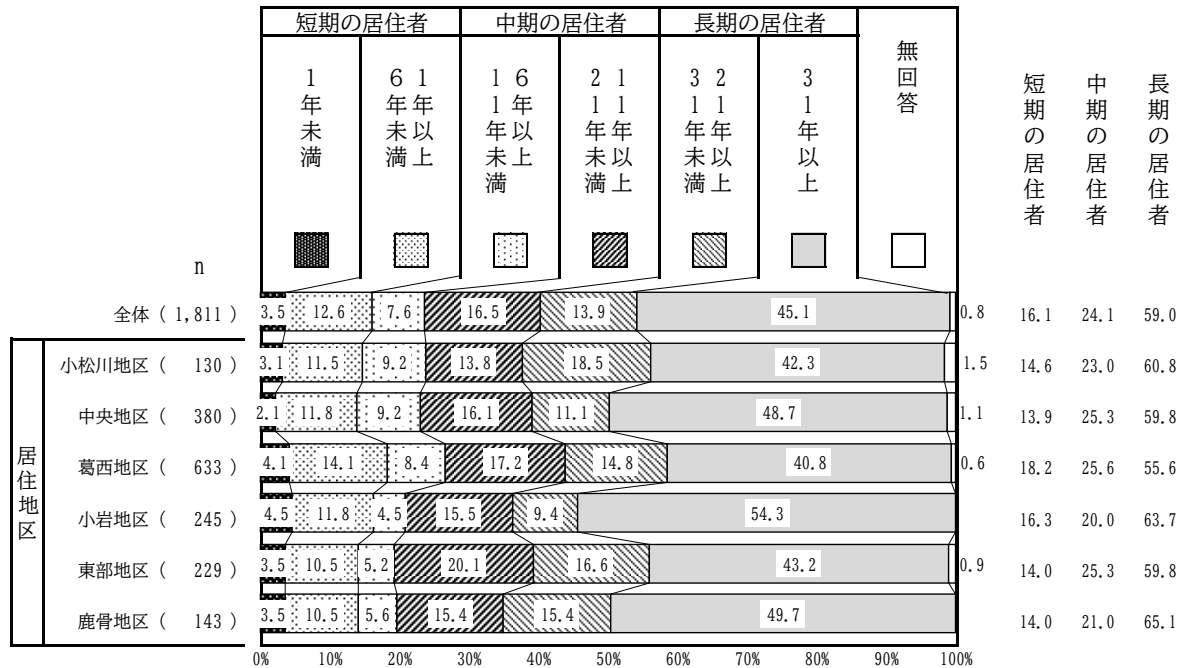
<図表1-2> 居住年数／性・年齢別



【居住地区別】

『長期の居住者』は鹿骨地区（65.1%）で6割台半ばと最も高くなっている。（図表1－3）

<図表1－3> 居住年数／居住地区別

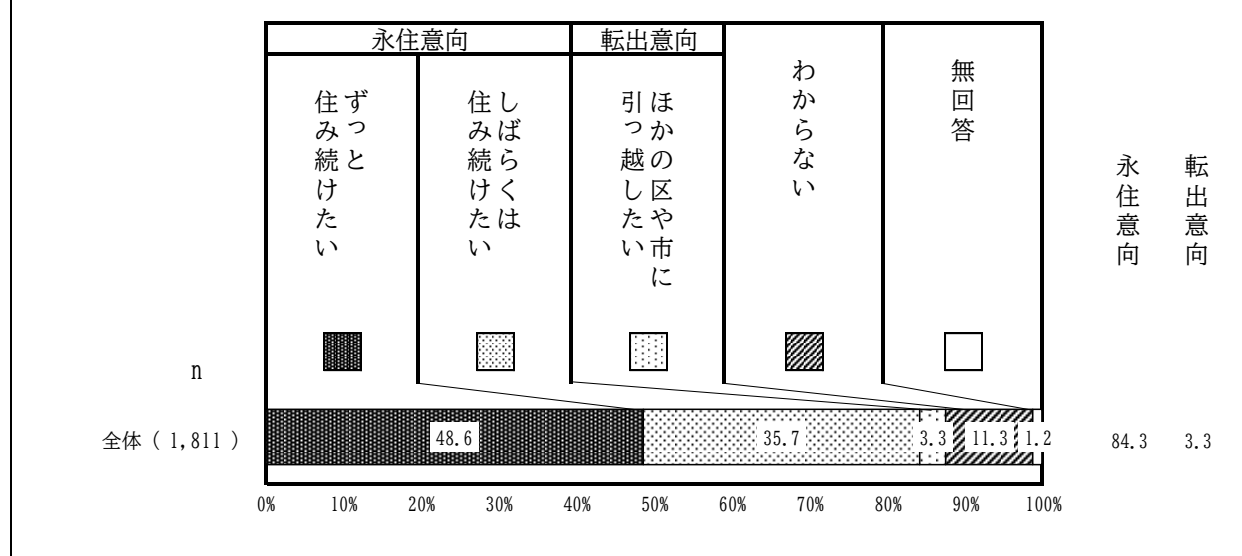


(2) 永住意向

◇『永住意向』は 84.3%を占める。

問2 あなたは、これからも江戸川区に住み続けたいと思いますか。(○は1つ)

<図表1-4>永住意向

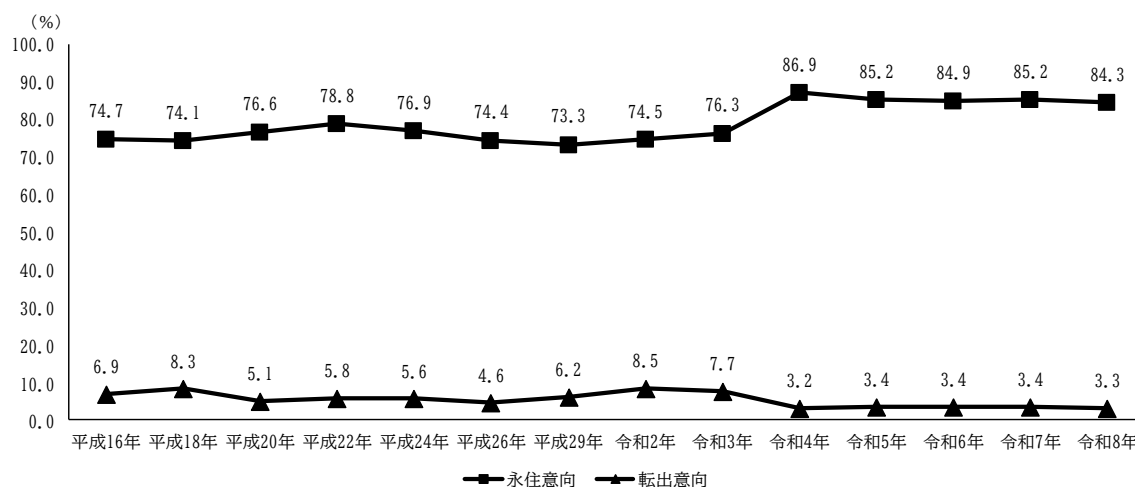


「ずっと住み続けたい」が48.6%、「しばらくは住み続けたい」が35.7%で、『永住意向』（「ずっと住み続けたい」＋「しばらくは住み続けたい」）は84.3%となっている。一方、『転出意向』（「ほかの区や市に引っ越したい」）は3.3%となっている。（図表1-4）

【時系列比較】

『永住意向』、『転出意向』ともに前回の令和7年度とあまり変化はみられない。(図表1-5)

＜図表1-5＞永住意向／時系列比較



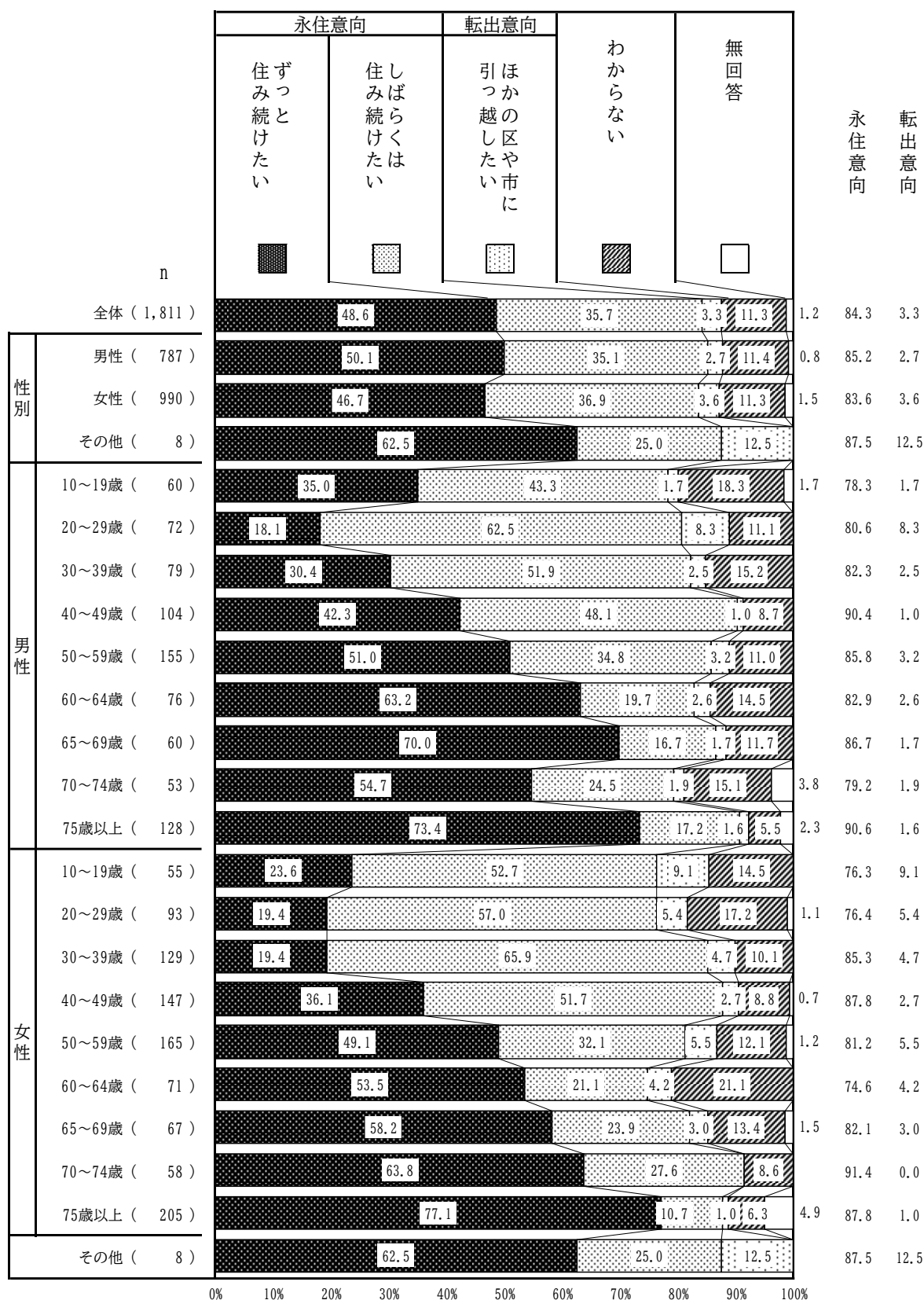
※令和3年までは『永住意向』(「住み続けたい」+「できれば住み続けたい」)、『転出意向』(「できれば区外へ移りたい」+「区外へ移るつもり」)としていたため、令和4年以降とは選択肢が異なる。

【性・年齢別】

男性において、『永住意向』は75歳以上(90.6%)が約9割と高くなっている。「ずっと住み続けたい」は20～29歳を境に、年代が上がるほど高くなる傾向がみられる。

女性において、『永住意向』は70～74歳(91.4%)が9割を超えて最も高くなっている。「ずっと住み続けたい」は30～39歳を境に、年代が上がるほど高くなる傾向がみられる。(図表1-6)

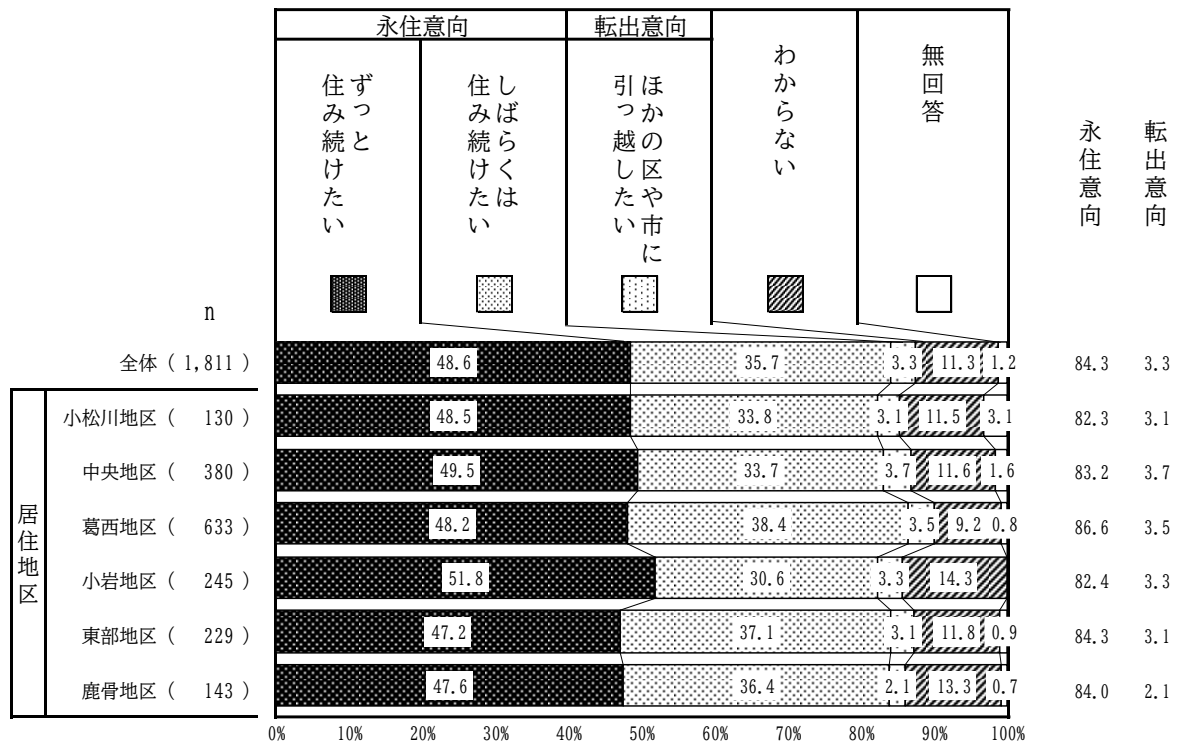
<図表1-6> 永住意向／性・年齢別



【居住地区別】

『永住意向』は全ての地区が8割を超えている。「ずっと住み続けたい」は小岩地区（51.8%）で5割を超えて高くなっている。（図表1－7）

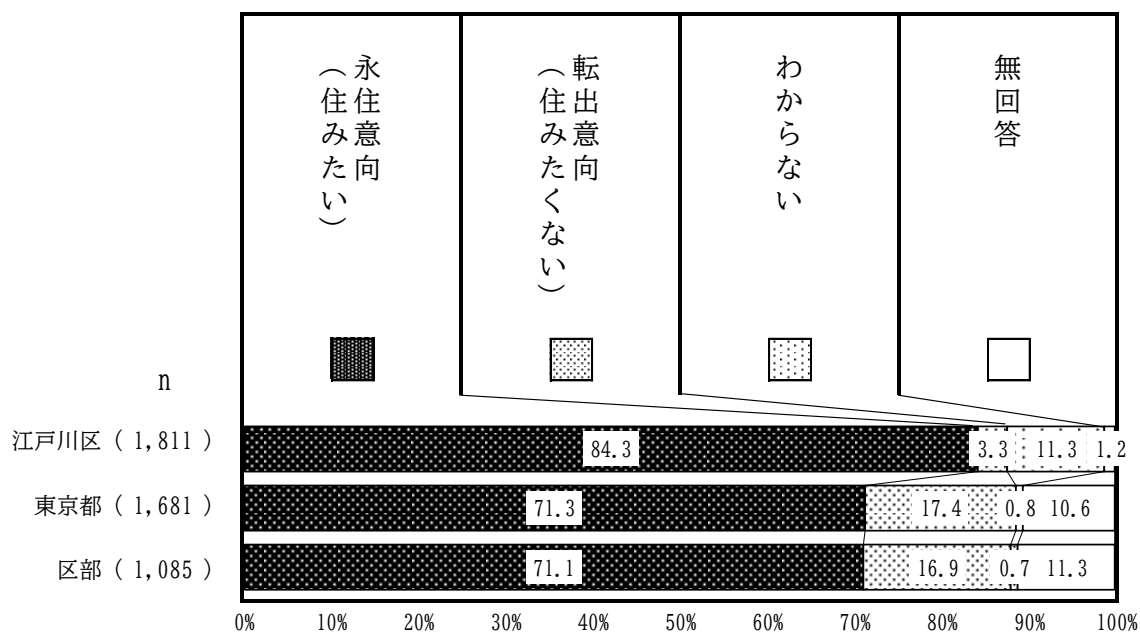
<図表1－7> 永住意向／居住地区別



【東京都・区部との比較】

江戸川区の『永住意向』（「ずっと住みたい」＋「しばらくは住みたい」）が84.3%に対して、東京都では71.3%、区部では71.1%となっている。一方、江戸川区の『転出意向』（「ほかの区や市に引っ越したい」）が3.3%に対して、東京都は17.4%、区部は16.9%と高くなっている。（図表1－8）

<図表1－8> 永住意向／東京都・区部との比較



(注1) 東京都と区部は東京定住意向の調査結果

(注2) 表頭の()内は「都民生活に関する世論調査」の選択肢項目

資料出所：東京都生活文化局「都民生活に関する世論調査」(令和7年8月調査)

(注3) 江戸川区調査と東京都調査で選択肢に違いがあるため、『永住意向』は、江戸川区の「ずっと住みたい」＋「しばらくは住みたい」を合計した数値と、東京都の「住みたい」の数値を比較している。同様に、『転出意向』は、江戸川区の「ほかの区や市に引っ越したい」の数値と、東京都の「住みたくない」の数値を比較している。

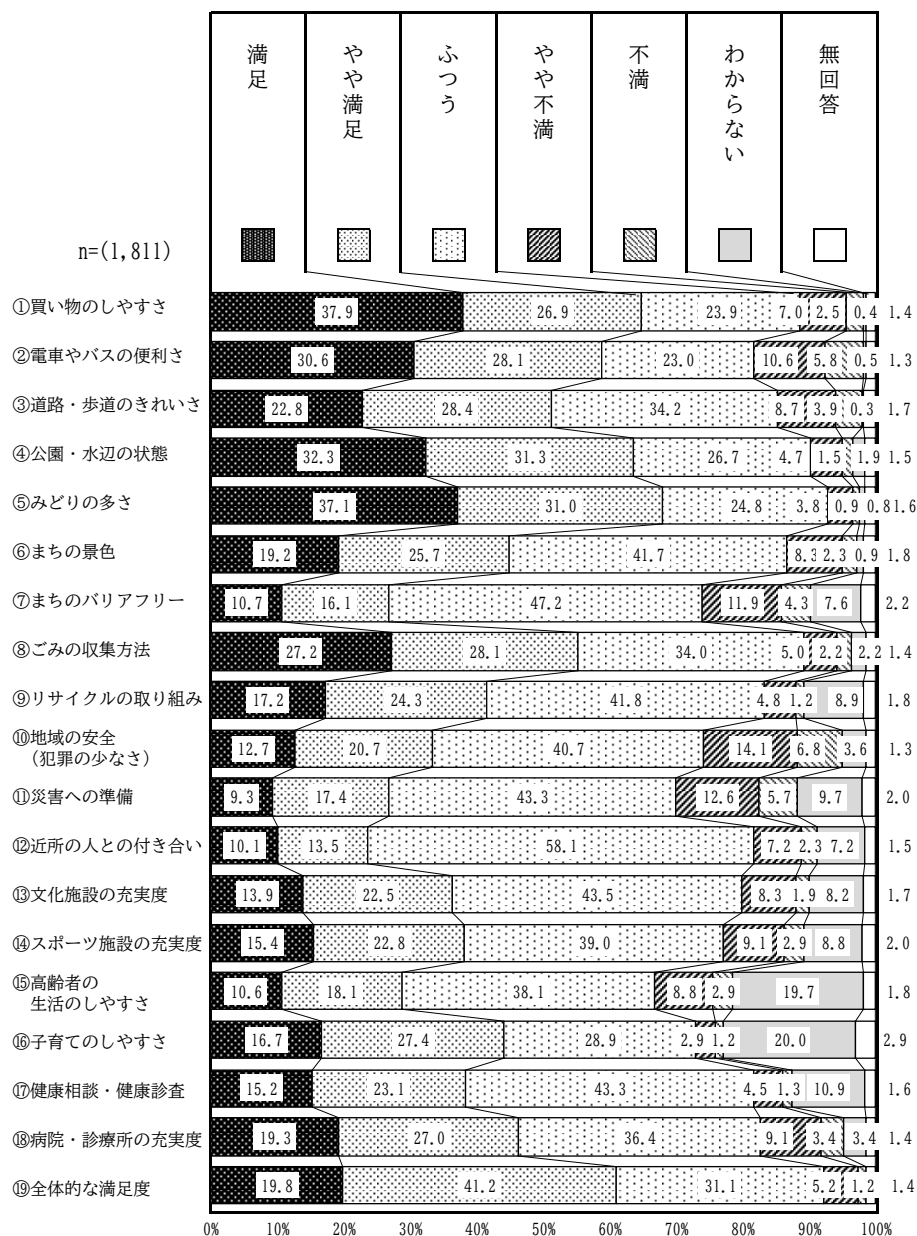
(3) 各項目の満足度

◇【①買い物のしやすさ】、【⑤みどりの多さ】、【④公園・水辺の状態】、【②電車やバスの便利さ】の「満足」が3割を超える。

問3 ①～⑲について、どのくらい満足していますか。

項目ごとにお答えください。(それぞれ〇は1つつつ)

<図表1-9>各項目の満足度



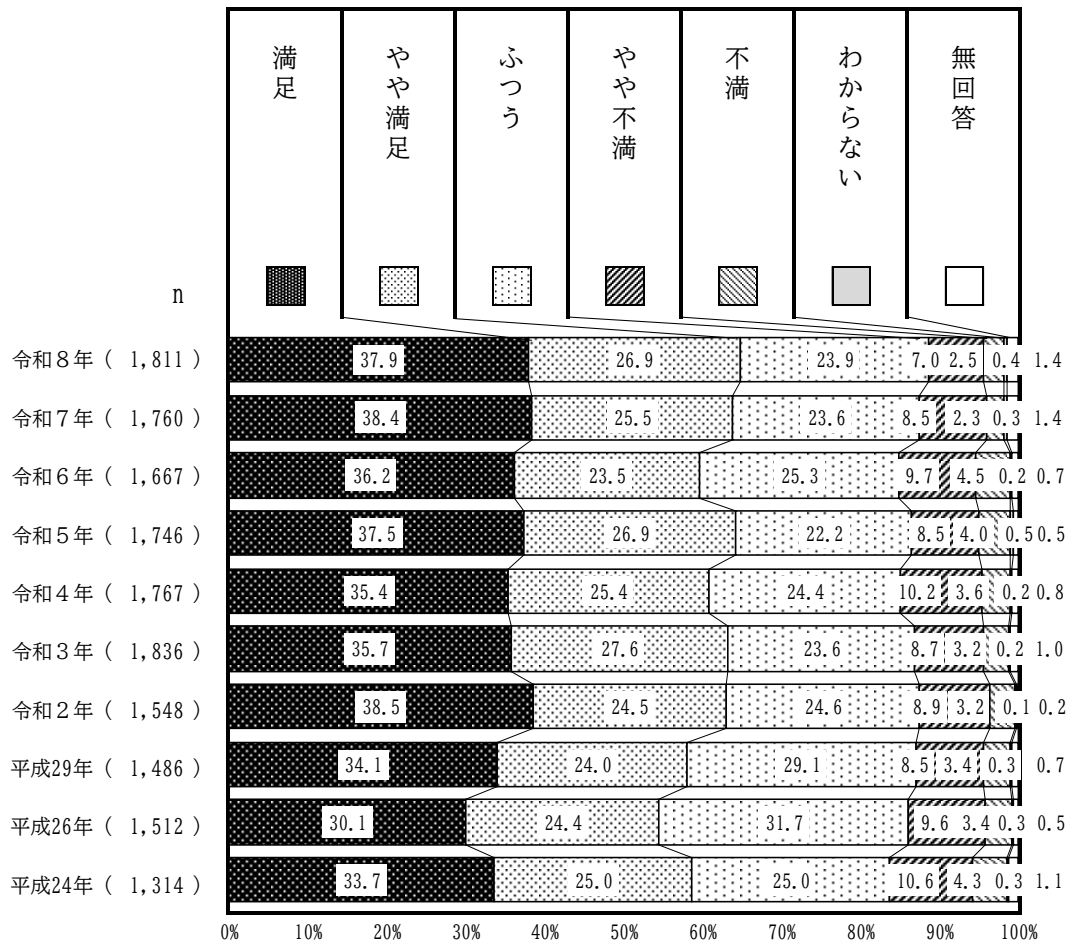
「満足」は【①買い物のしやすさ】(37.9%)が4割近くと最も高く、次いで【⑤みどりの多さ】(37.1%)、【④公園・水辺の状態】(32.3%)、【②電車やバスの便利さ】(30.6%)と続いている。一方、「不満」は【⑩地域の安全(犯罪の少なさ)】(6.8%)、【②電車やバスの便利さ】(5.8%)が高くなっている。(図表1-9)

【①買い物のしやすさ／時系列比較】

令和7年と比較すると、「満足」は0.5ポイント減少し、「やや満足」が1.4ポイント増加している。一方、「やや不満」は1.5ポイント減少し、「不満」が0.2ポイント増加している。

(図表1-10)

<図表1-10>①買い物のしやすさ／時系列比較



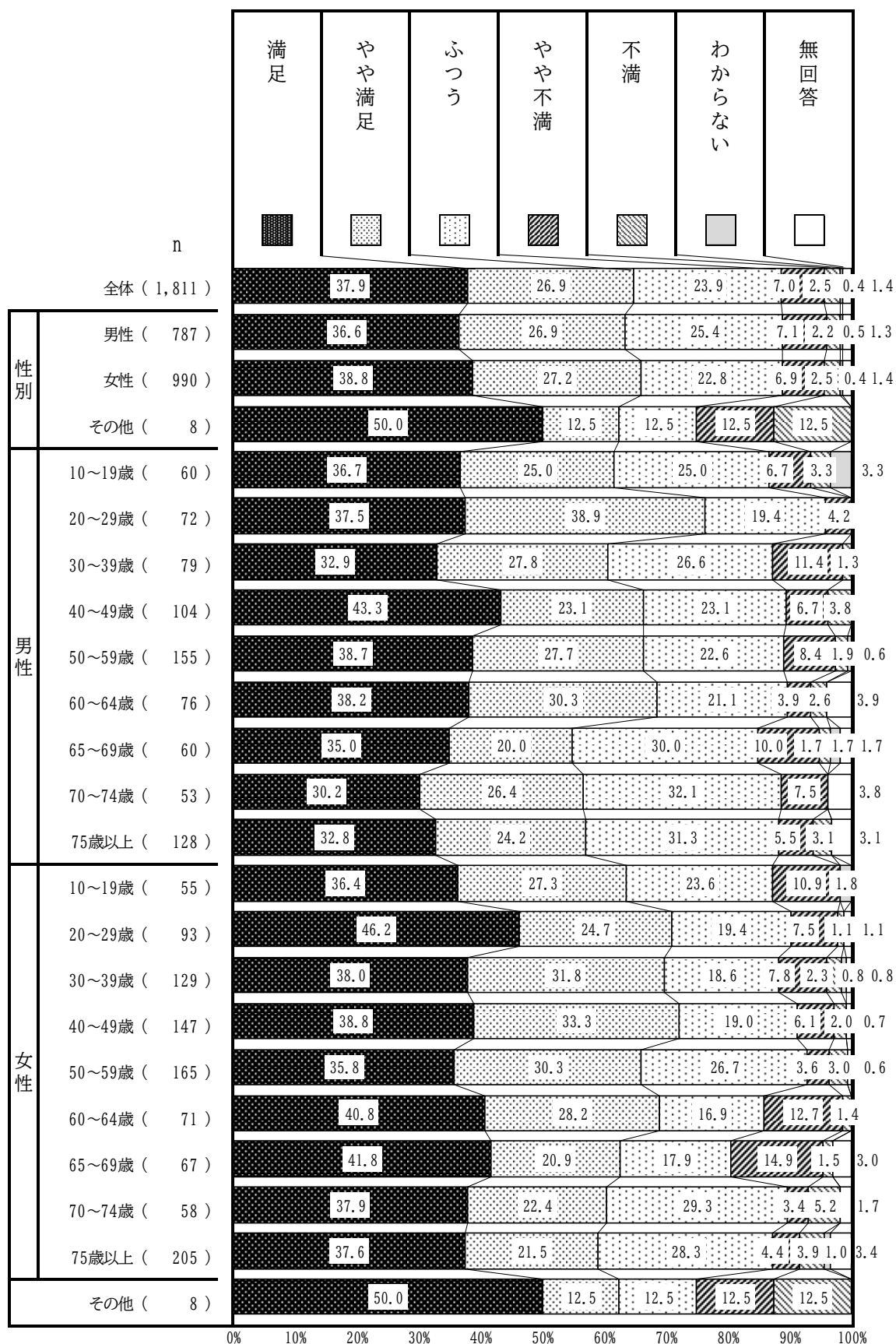
【①買い物のしやすさ／性・年齢別】

「満足」は女性（38.8%）が男性（36.6%）に比べて2.2ポイント高くなっている。

男性において、「満足」と「やや満足」の合計は20～29歳（76.4%）が7割台半ばと高くなっている。

女性において、「満足」と「やや満足」の合計は40～49歳（72.1%）が7割を超えて高くなっている。(図表1-11)

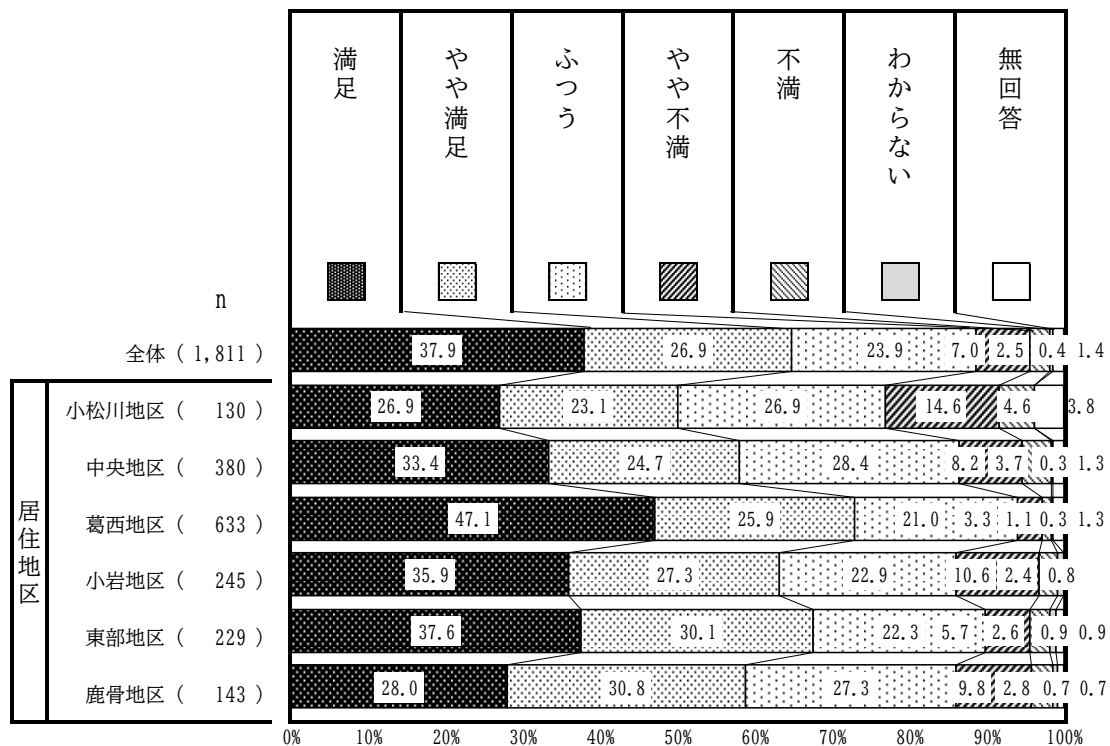
<図表1-11>①買い物のしやすさ／性・年齢別



【①買い物のしやすさ／居住地区別】

「満足」と「やや満足」の合計は葛西地区（73.0%）が7割を超えている。（図表1－12）

<図表1－12>①買い物のしやすさ／居住地区別

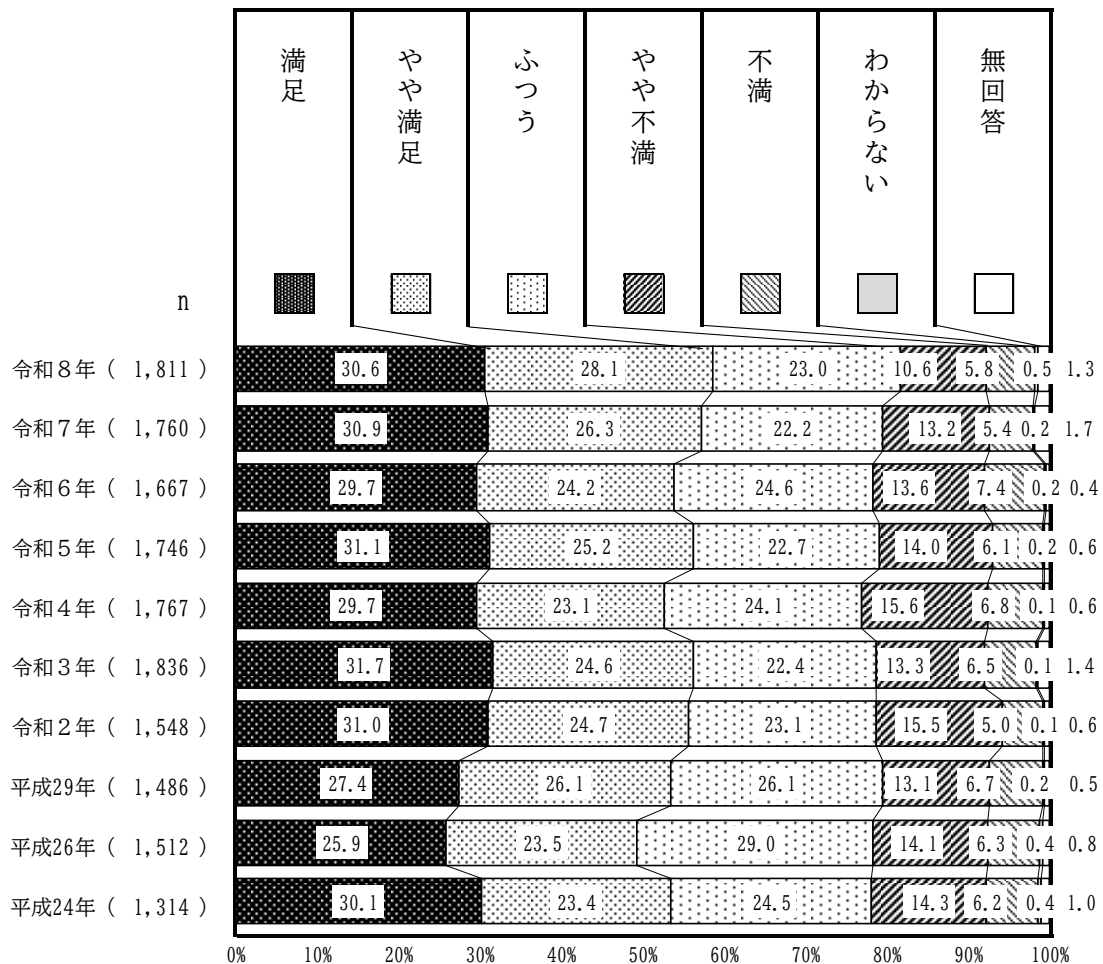


【②電車やバスの便利さ／時系列比較】

令和7年と比較すると、「満足」は0.3ポイント減少し、「やや満足」が1.8ポイント増加している。一方、「やや不満」は2.6ポイント減少し、「不満」が0.4ポイント増加している。

(図表1-13)

<図表1-13>②電車やバスの便利さ／時系列比較



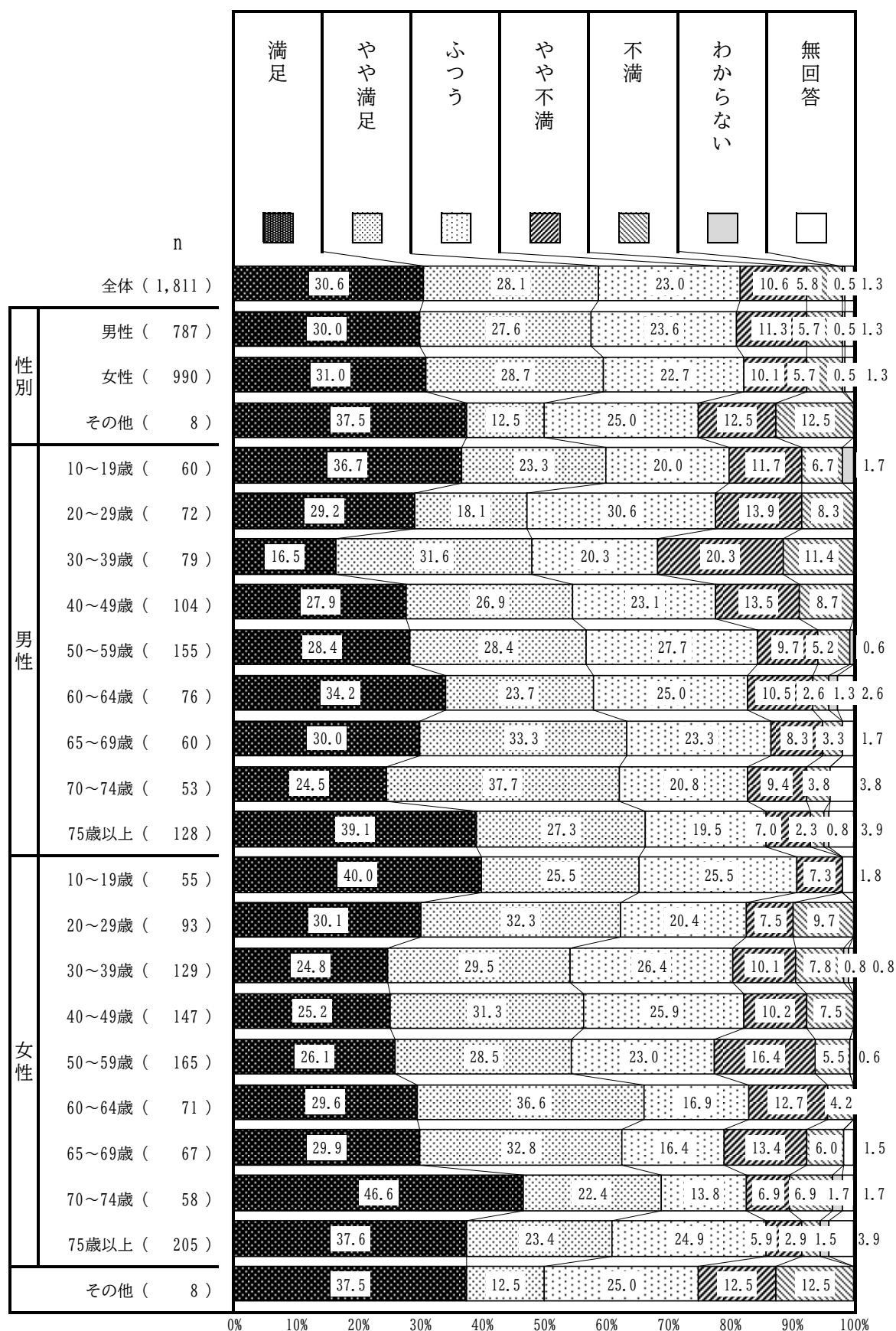
【②電車やバスの便利さ／性・年齢別】

「満足」は女性（31.0％）が男性（30.0％）に比べて1.0ポイント高くなっている。

男性において、「満足」と「やや満足」の合計は75歳以上（66.4％）が6割台半ばと高くなっている。

女性において、「満足」と「やや満足」の合計は70～74歳（69.0％）が約7割と高くなっている。（図表1-14）

<図表1-14>②電車やバスの便利さ／性・年齢別

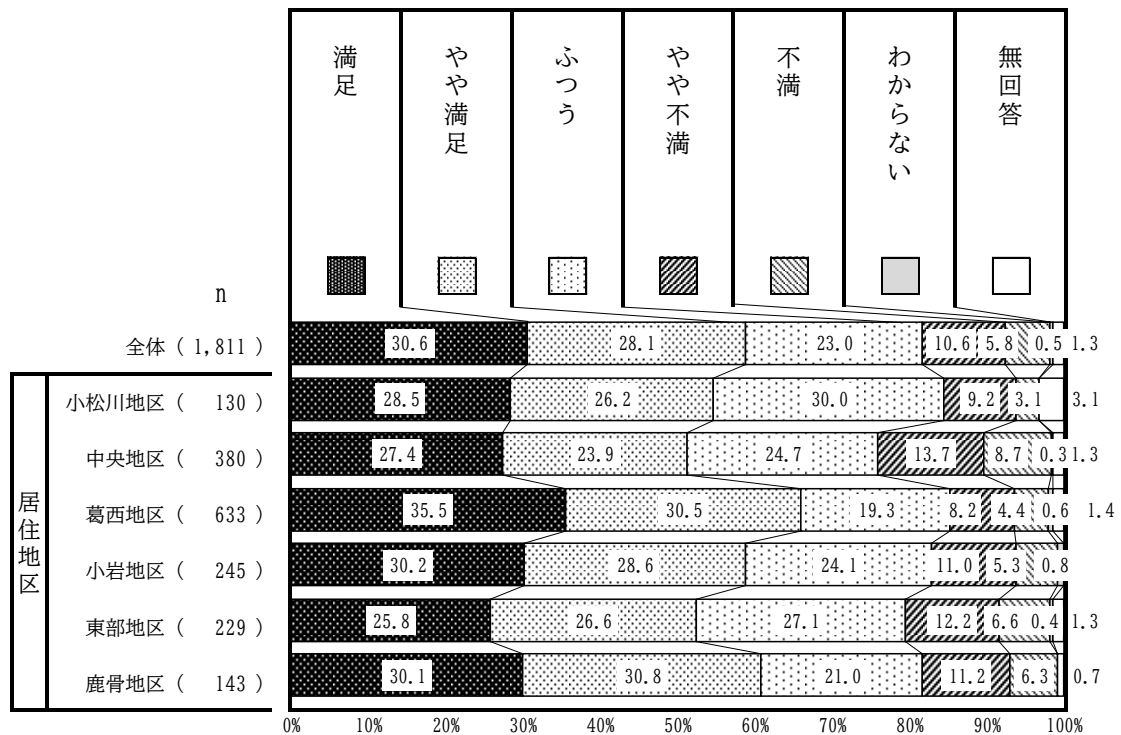


【②電車やバスの便利さ／居住地区別】

「満足」と「やや満足」の合計は葛西地区（66.0%）が6割台半ばとなっている。

（図表1－15）

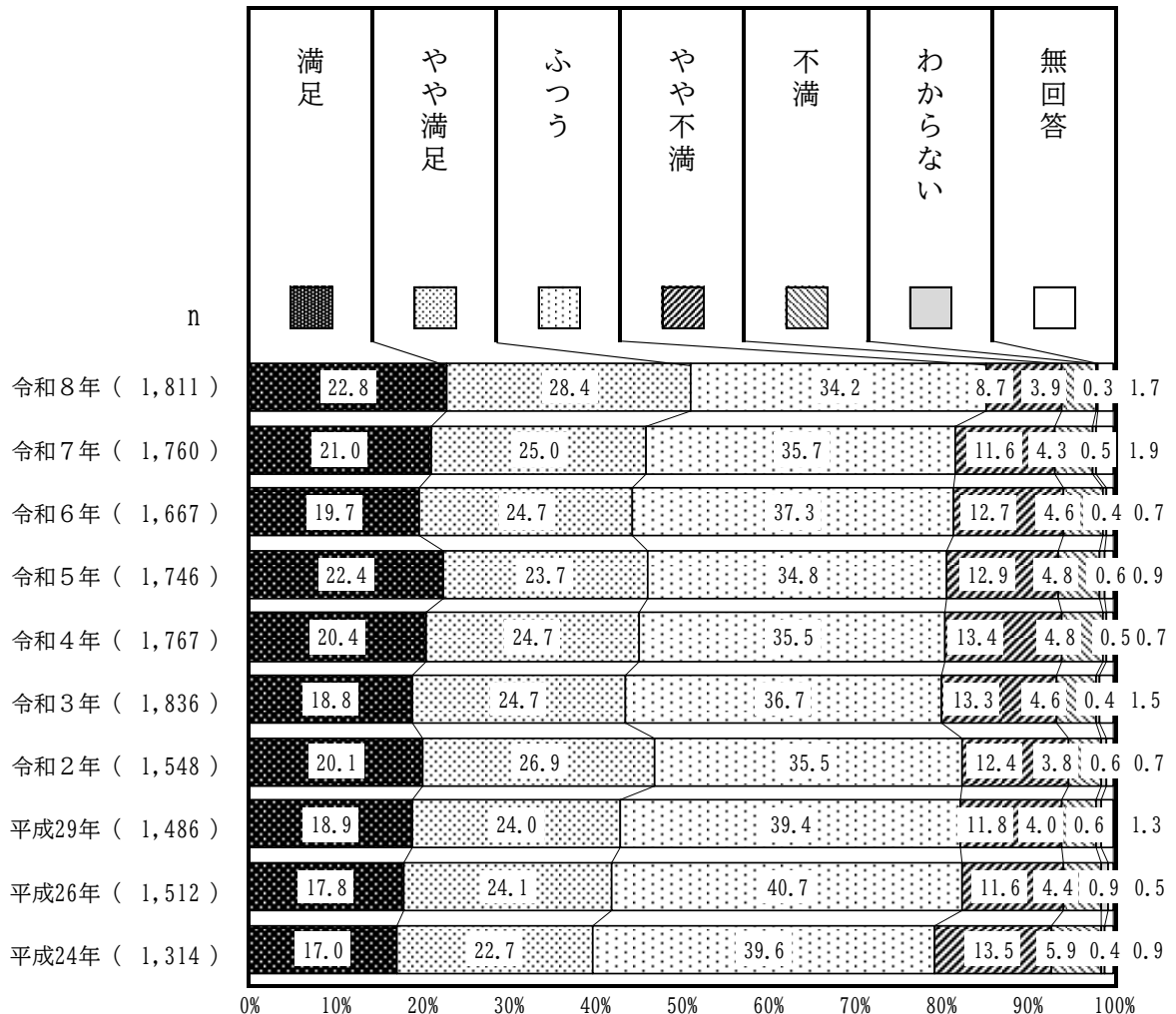
<図表1－15>②電車やバスの便利さ／居住地区別



【③道路・歩道のきれいさ／時系列比較】

令和7年と比較すると、「満足」が1.8ポイント、「やや満足」が3.4ポイント増加している。一方、「やや不満」が2.9ポイント、「不満」が0.4ポイント減少している。(図表1-16)

<図表1-16>③道路・歩道のきれいさ／時系列比較



【③道路・歩道のきれいさ／性・年齢別】

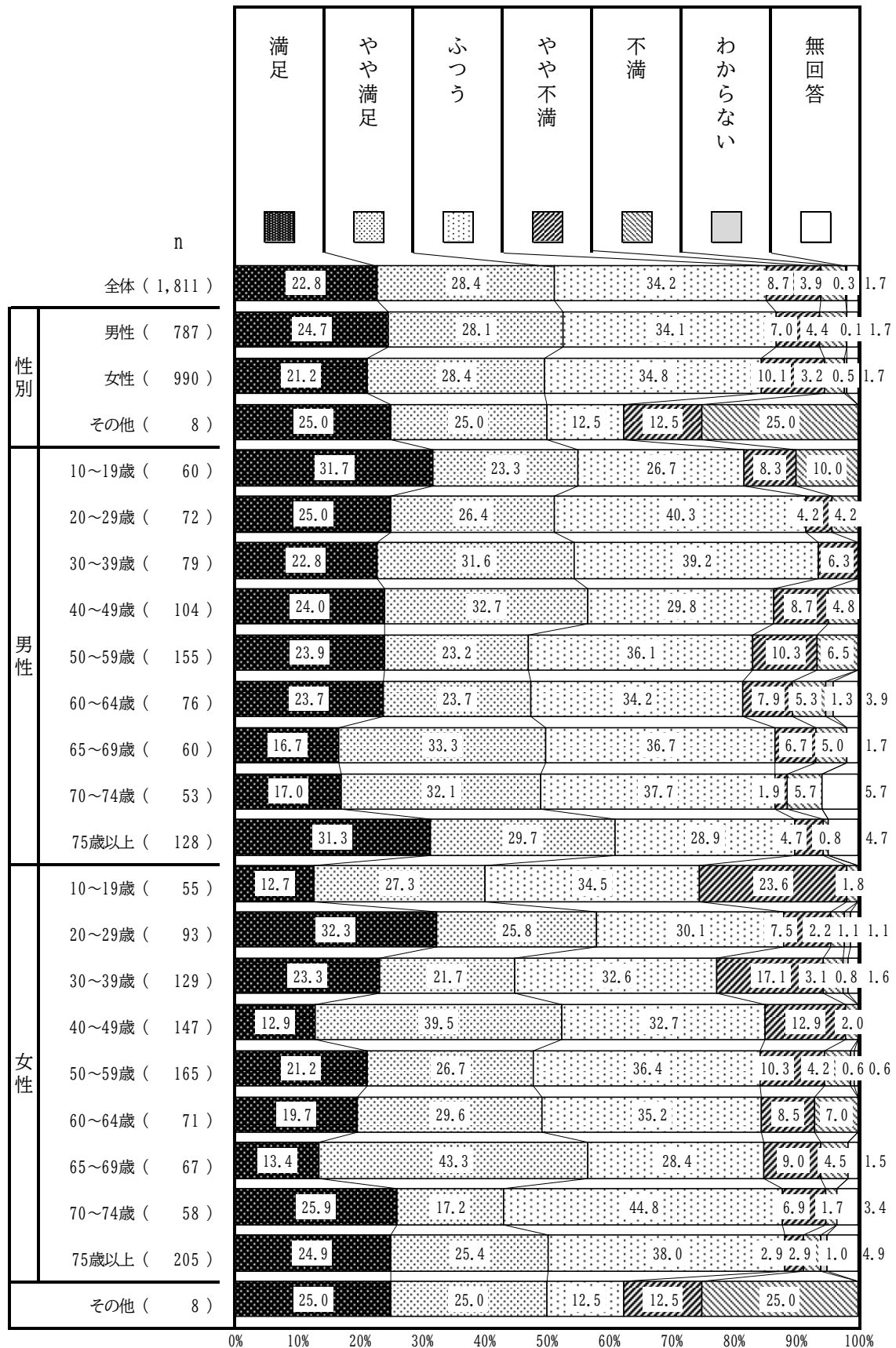
「満足」は男性(24.7%)が女性(21.2%)に比べて3.5ポイント高くなっている。

男性において、「満足」と「やや満足」の合計は75歳以上(61.0%)が6割を超えている。

女性において、「満足」と「やや満足」の合計は20～29歳(58.1%)が6割近くとなっている。

(図表1-17)

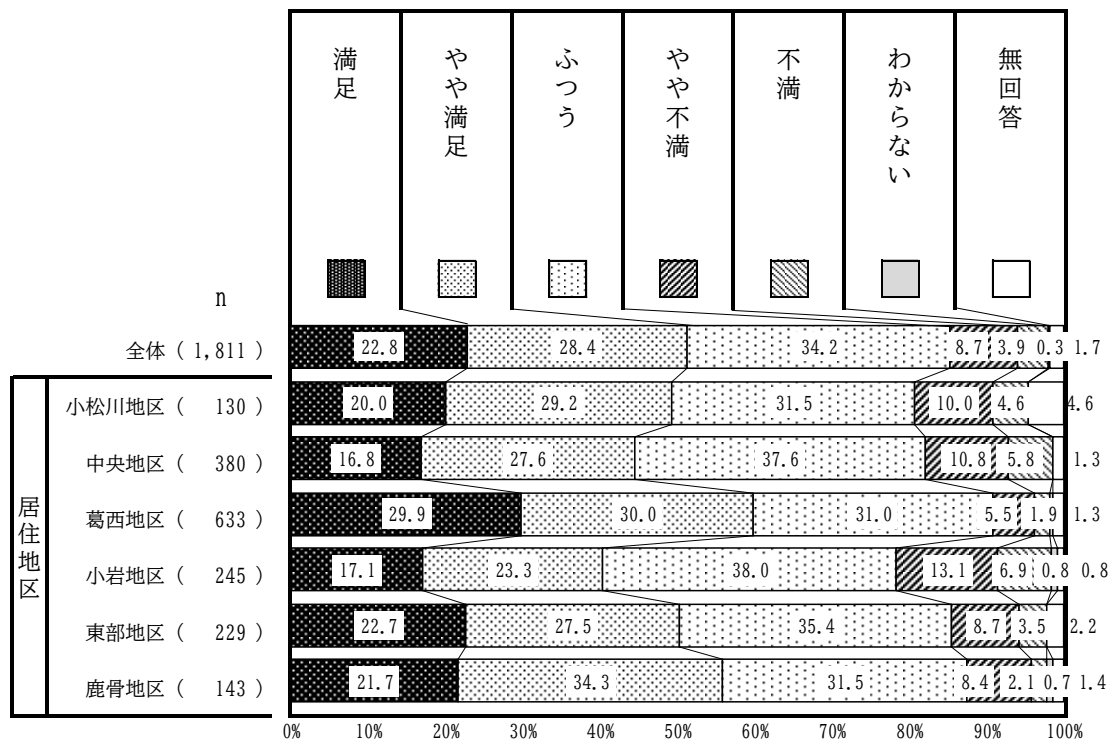
<図表1-17>③道路・歩道のきれいさ／性・年齢別



【③道路・歩道のきれいさ／居住地区別】

「満足」と「やや満足」の合計は葛西地区（59.9%）が6割となっている。（図表1－18）

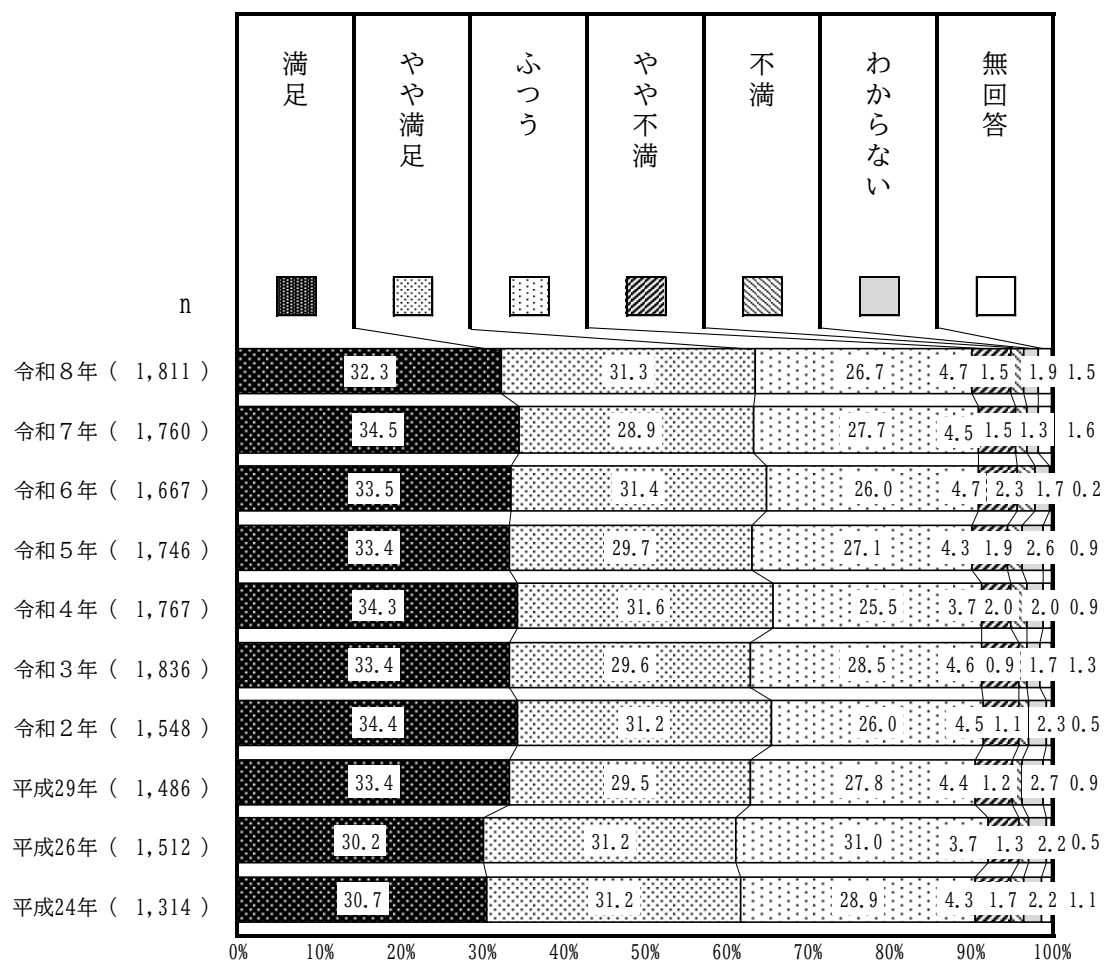
<図表1－18>③道路・歩道のきれいさ／居住地区別



【④公園・水辺の状態／時系列比較】

令和7年と比較すると、「満足」は2.2ポイント減少し、「やや満足」が2.4ポイント増加している。一方、「やや不満」が0.2ポイント増加している。(図表1-19)

<図表1-19>④公園・水辺の状態／時系列比較



【④公園・水辺の状態／性・年齢別】

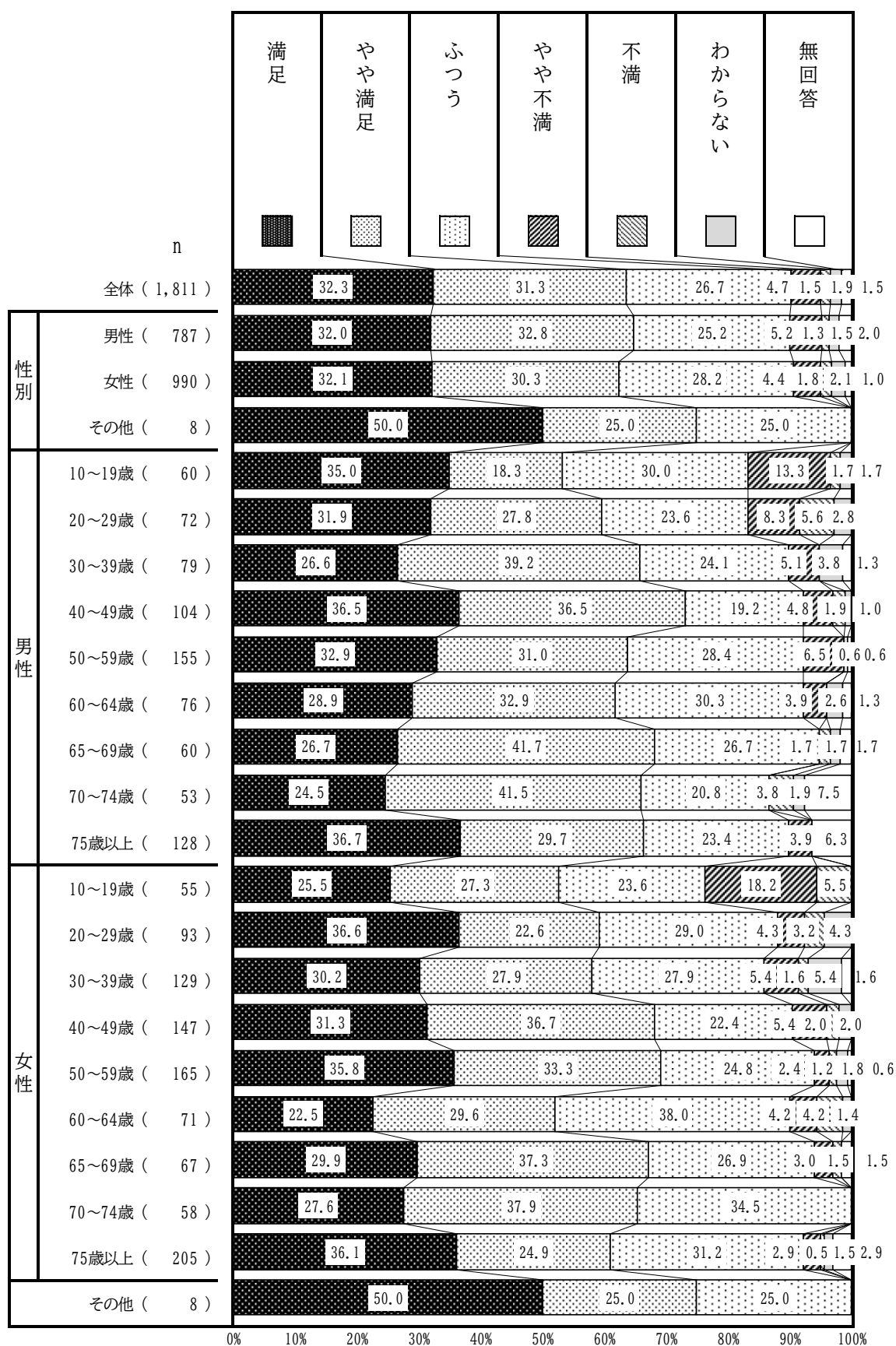
「満足」は女性(32.1%)が男性(32.0%)に比べて0.1ポイント高くなっている。

男性において、「満足」と「やや満足」の合計は40～49歳(73.0%)が7割を超えている。

女性において、「満足」と「やや満足」の合計は50～59歳(69.1%)が約7割となっている。

(図表1-20)

<図表1-20>④公園・水辺の状態／性・年齢別

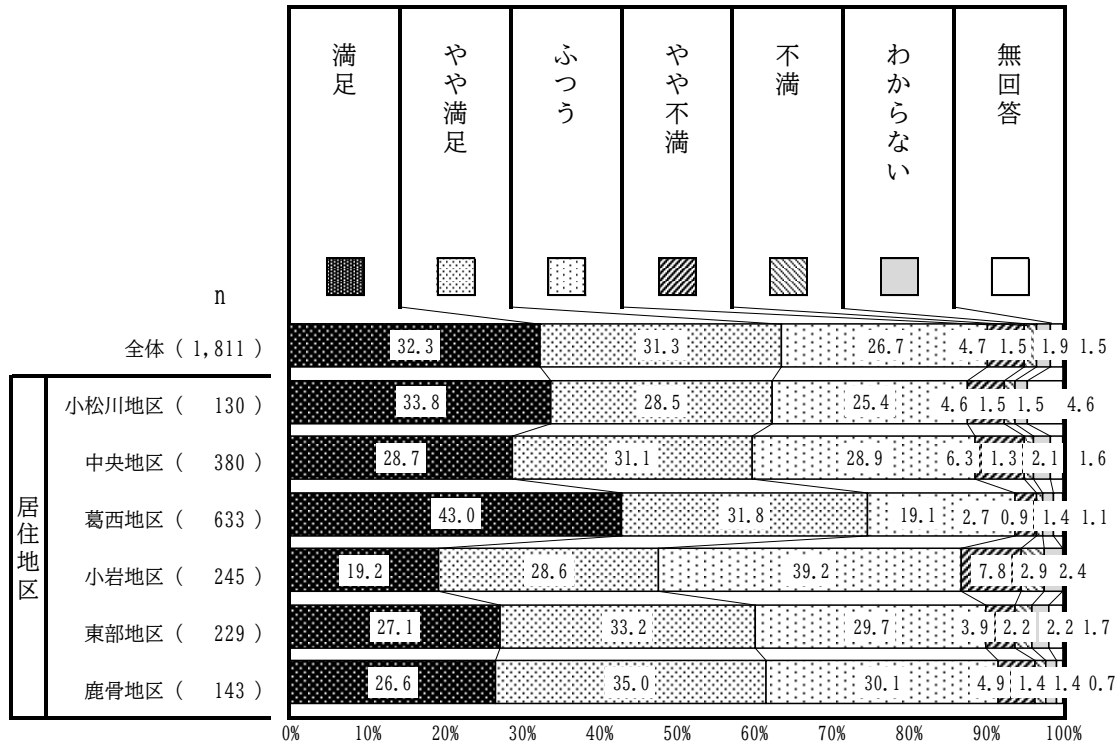


【④公園・水辺の状態／居住地区別】

「満足」と「やや満足」の合計は葛西地区（74.8%）が7割台半ばとなっている。

（図表1－21）

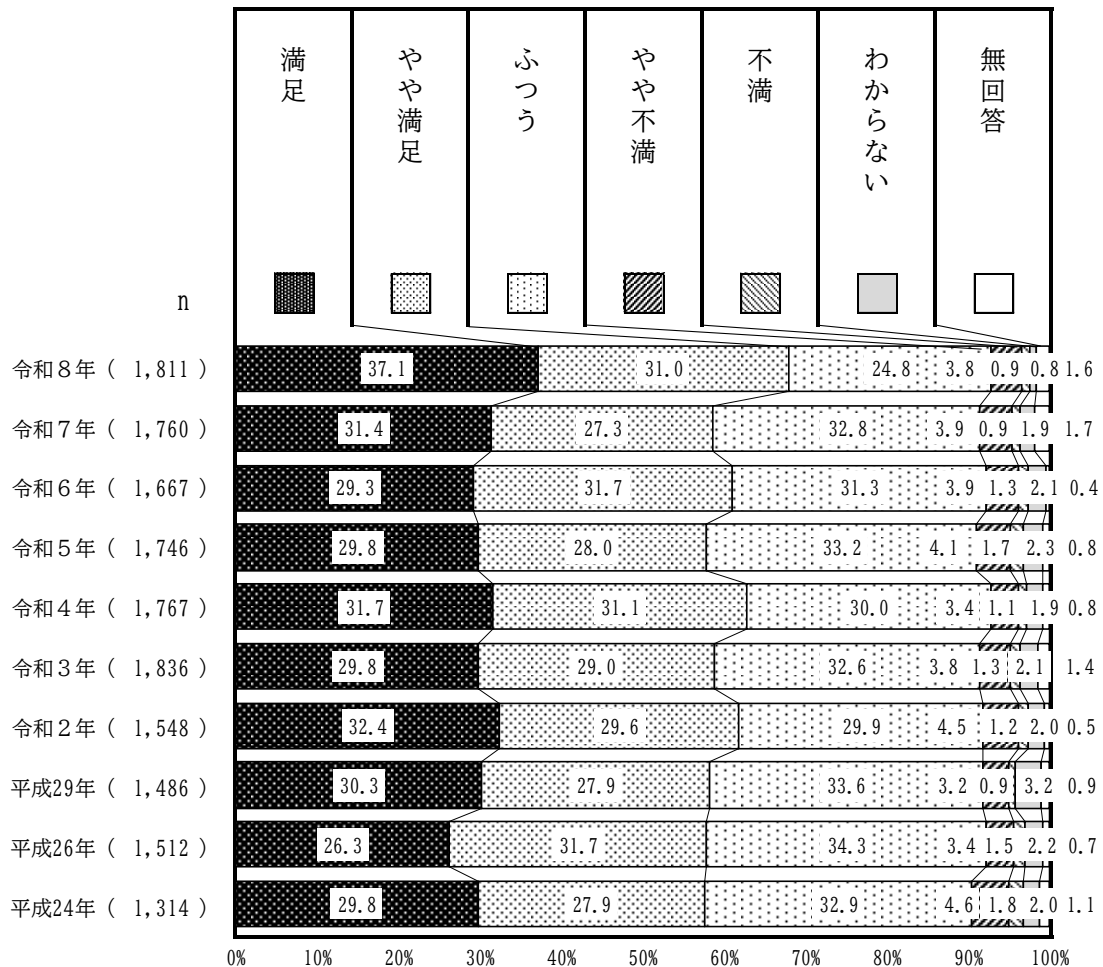
<図表1－21>④公園・水辺の状態／居住地区別



【⑤みどりの多さ／時系列比較】

令和7年と比較すると、「満足」が5.7ポイント、「やや満足」が3.7ポイント増加している。一方、「やや不満」は0.1ポイント減少している。（図表1-22）

<図表1-22>⑤みどりの多さ／時系列比較



【⑤みどりの多さ／性・年齢別】

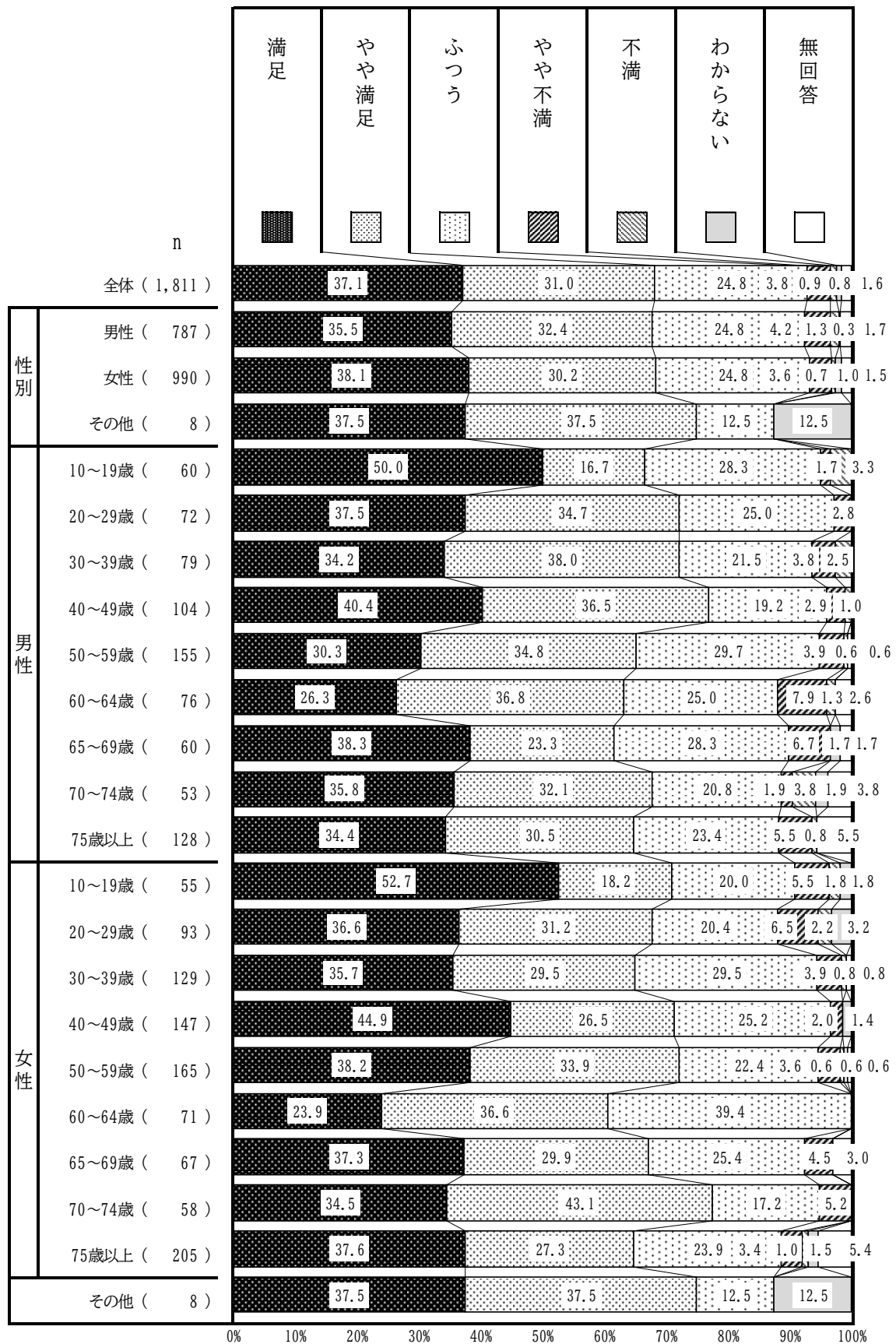
「満足」は女性（38.1％）が男性（35.5％）に比べて2.6ポイント高くなっている。

男性において、「満足」と「やや満足」の合計は40～49歳（76.9％）が8割近くとなっている。

女性において、「満足」と「やや満足」の合計は70～74歳（77.6％）が8割近くとなっている。

（図表1-23）

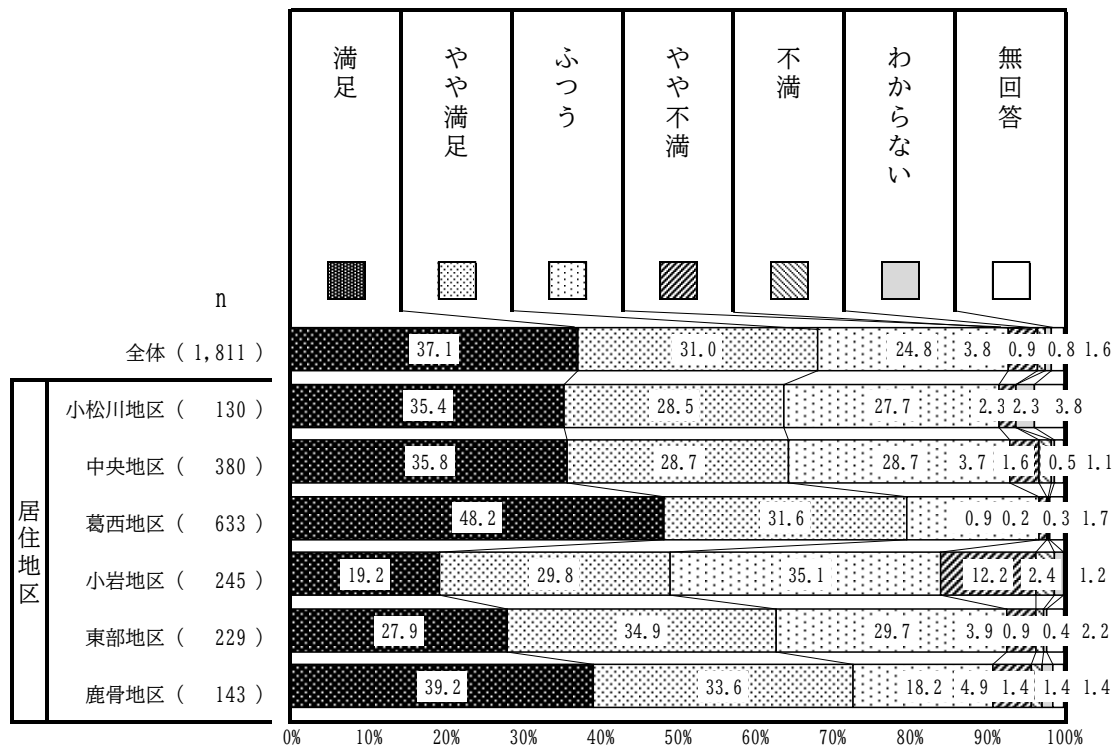
<図表1-23>⑤みどりの多さ／性・年齢別



【⑤みどりの多さ／居住地区別】

「満足」と「やや満足」の合計は葛西地区（79.8%）が8割となっている。（図表1－24）

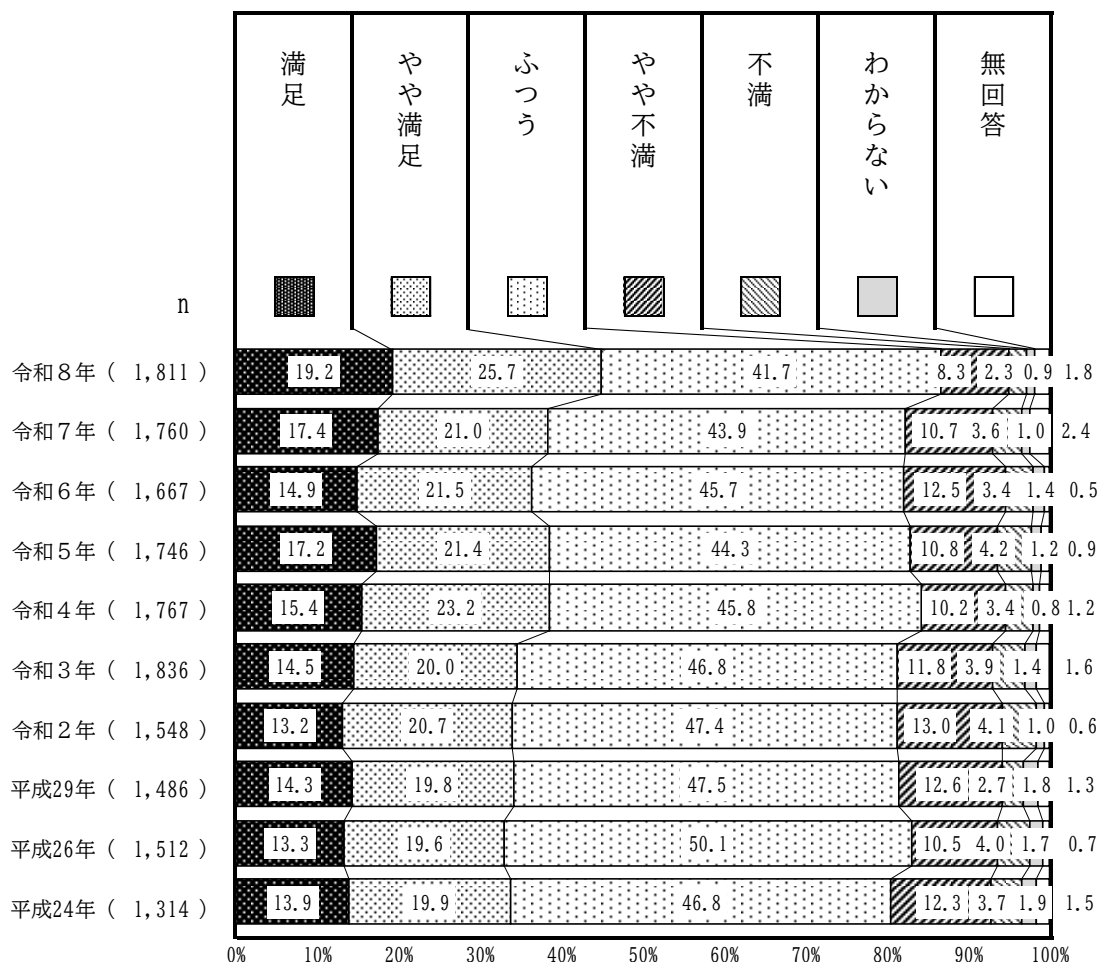
<図表1－24>⑤みどりの多さ／居住地区別



【⑥まちの景色／時系列比較】

令和7年と比較すると、「満足」が1.8ポイント、「やや満足」が4.7ポイント増加している。一方、「やや不満」が2.4ポイント、「不満」が1.3ポイント減少している。（図表1－25）

<図表1－25>⑥まちの景色／時系列比較



【⑥まちの景色／性・年齢別】

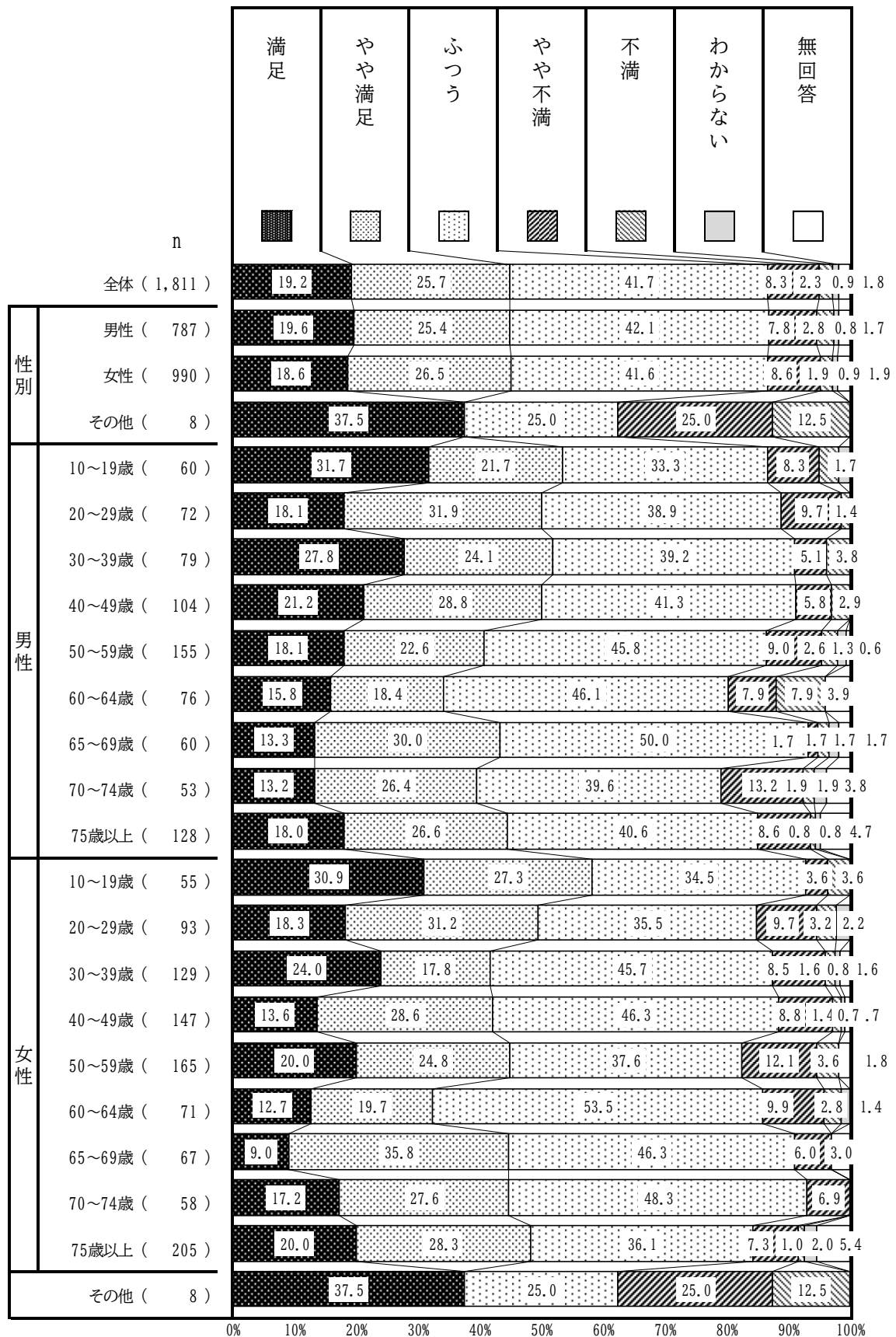
「満足」は男性（19.6％）が女性（18.6％）に比べて1.0ポイント高くなっている。

男性において、「満足」と「やや満足」の合計は10～19歳（53.4％）が5割を超えている。

女性において、「満足」と「やや満足」の合計は10～19歳（58.2％）が6割近くとなっている。

（図表1－26）

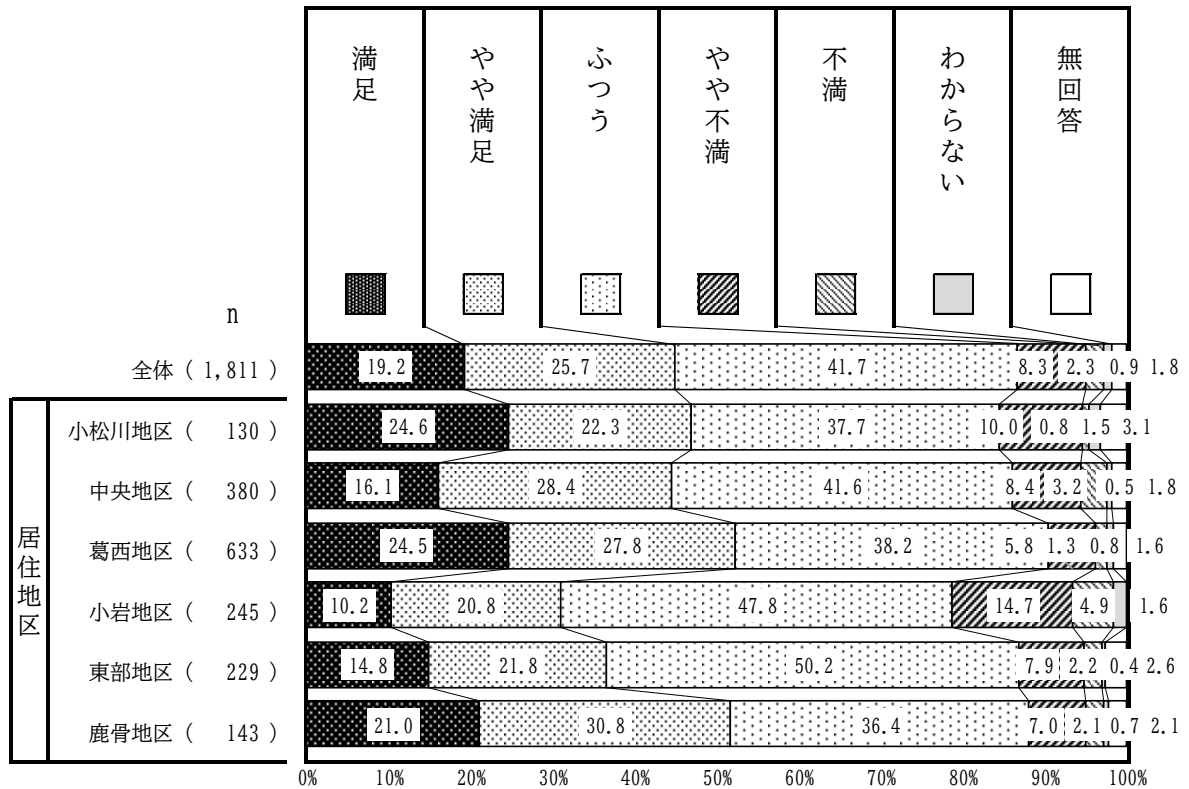
<図表1-26>⑥まちの景色／性・年齢別



【⑥まちの景色／居住地区別】

「満足」と「やや満足」の合計は葛西地区（52.3%）が5割を超えている。（図表1－27）

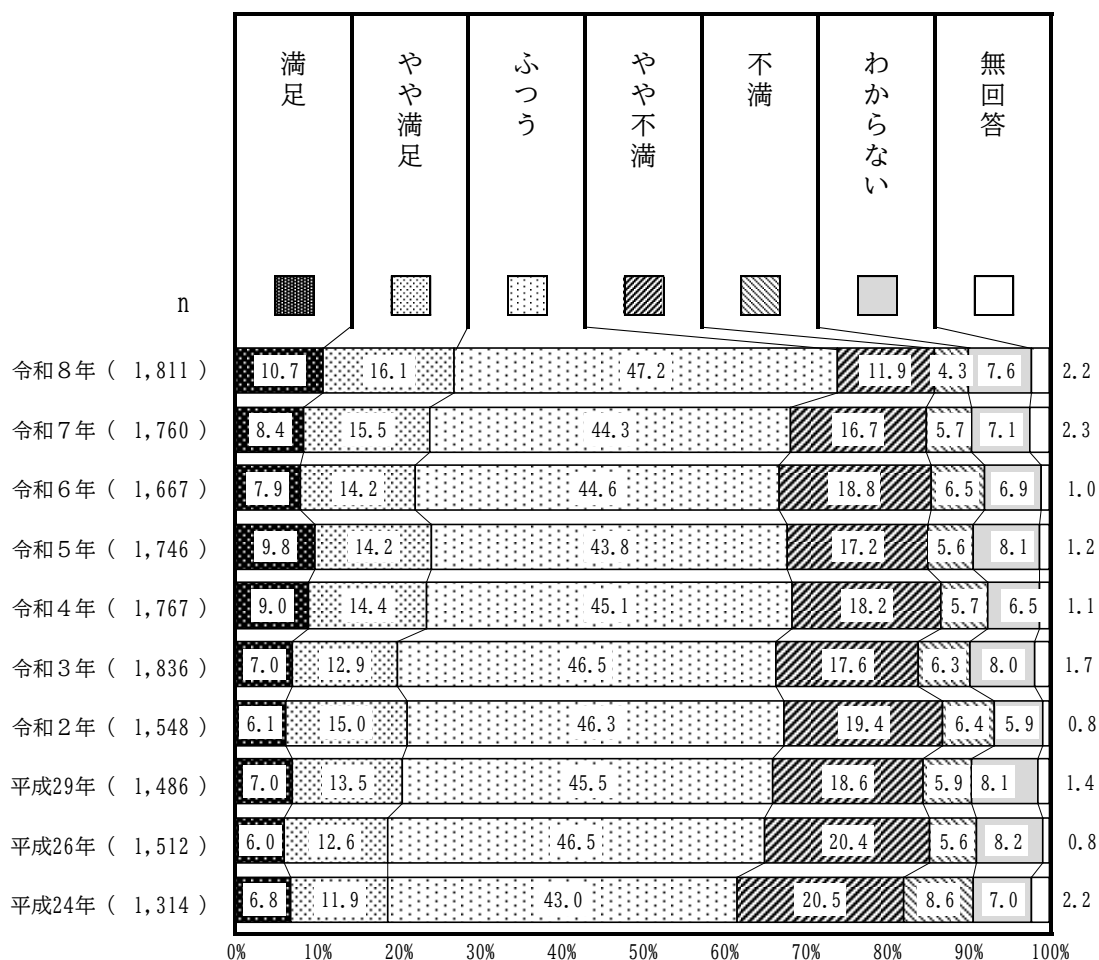
<図表1－27>⑥まちの景色／居住地区別



【⑦まちのバリアフリー／時系列比較】

令和7年と比較すると、「満足」が2.3ポイント、「やや満足」が0.6ポイント増加している。一方、「やや不満」が4.8ポイント、「不満」が1.4ポイント減少している。（図表1－28）

<図表1－28>⑦まちのバリアフリー／時系列比較



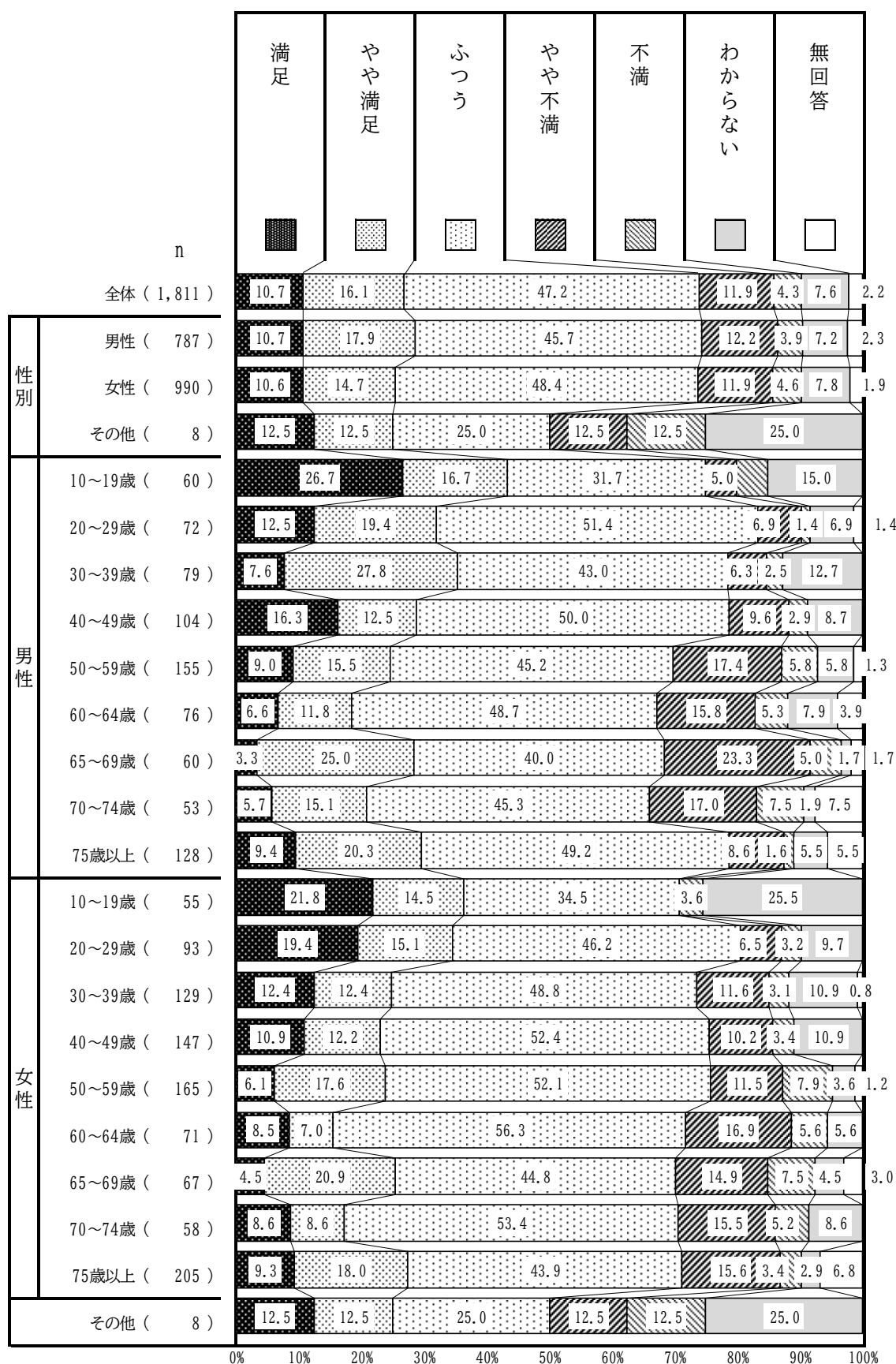
【⑦まちのバリアフリー／性・年齢別】

「満足」は男性（10.7%）が女性（10.6%）に比べて0.1ポイント高くなっている。

男性において、「満足」と「やや満足」の合計は10～19歳（43.4%）が4割を超えている。

女性において、「満足」と「やや満足」の合計は10～19歳（36.3%）が3割台半ばとなっている。（図表1－29）

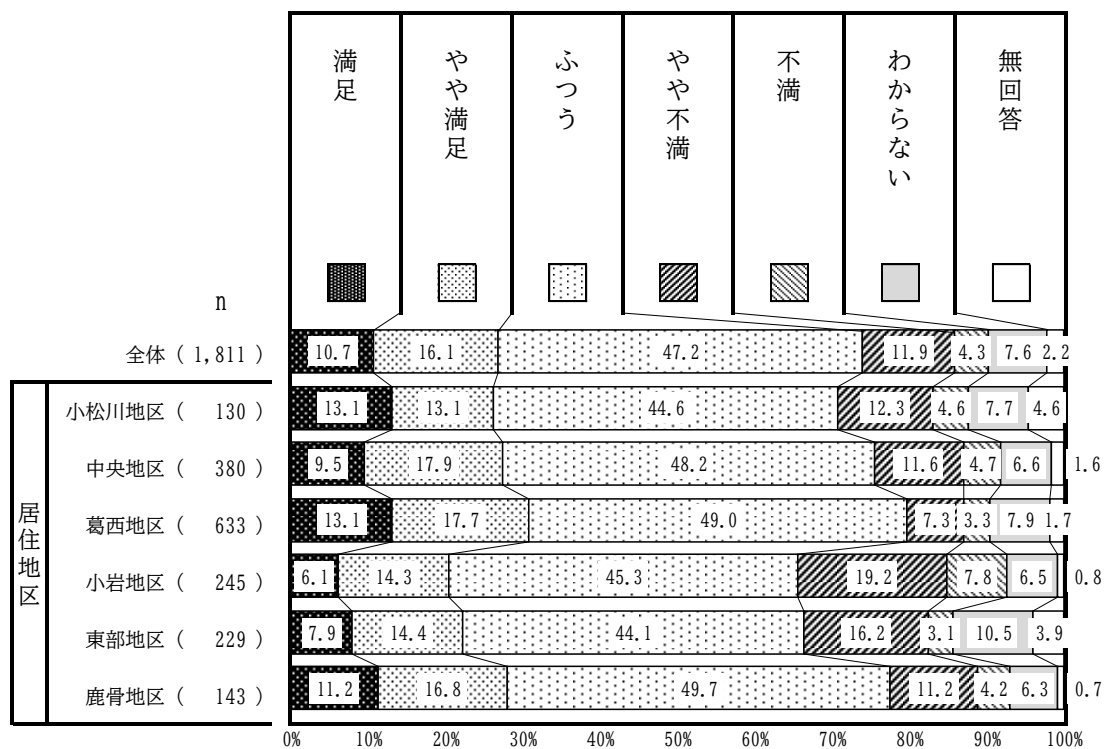
<図表1-29>⑦まちのバリアフリー／性・年齢別



【⑦まちのバリアフリー／居住地区別】

「満足」と「やや満足」の合計は葛西地区（30.8%）が約3割となっている。（図表1－30）

<図表1－30>⑦まちのバリアフリー／居住地区別

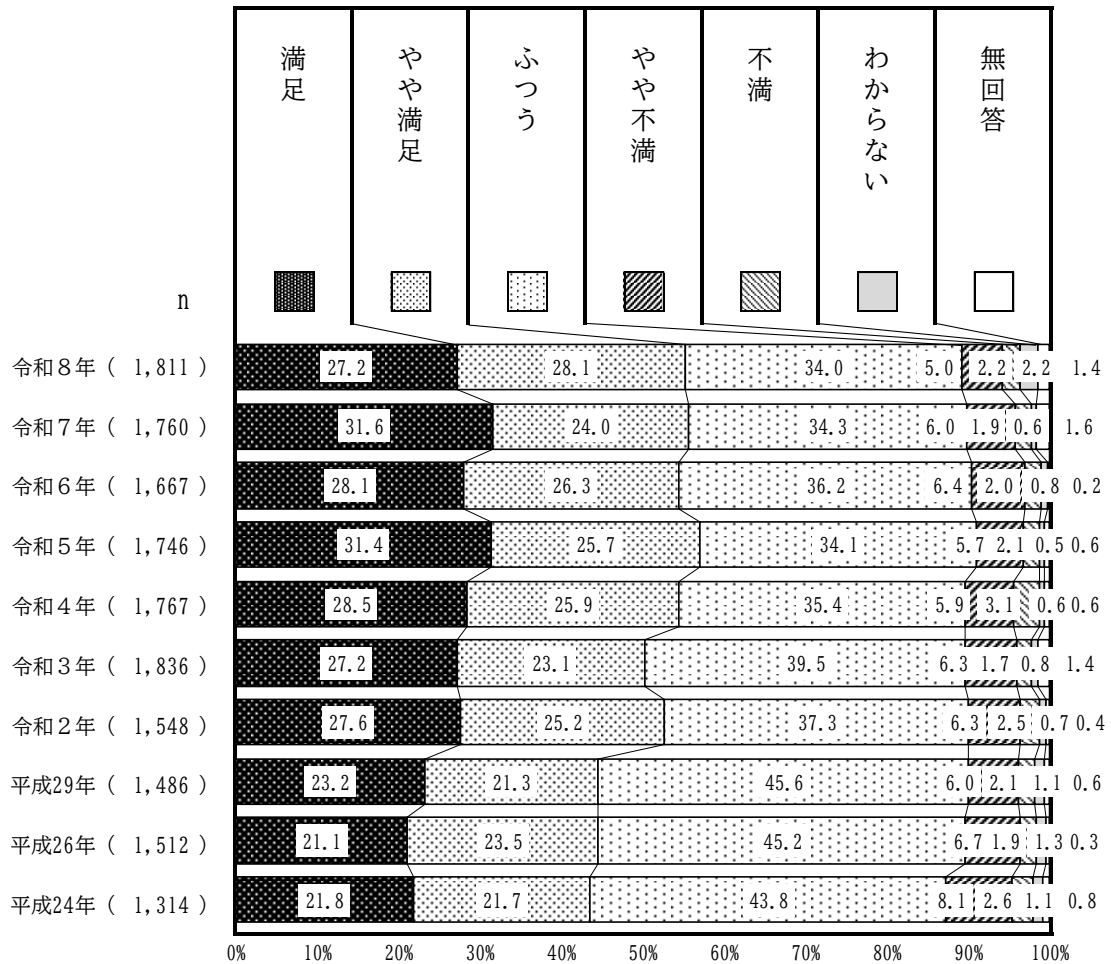


【⑧ごみの収集方法／時系列比較】

令和7年と比較すると、「満足」は4.4ポイント減少し、「やや満足」が4.1ポイント増加している。一方、「やや不満」は1.0ポイント減少し、「不満」が0.3ポイント増加している。

(図表1-31)

<図表1-31>⑧ごみの収集方法／時系列比較



【⑧ごみの収集方法／性・年齢別】

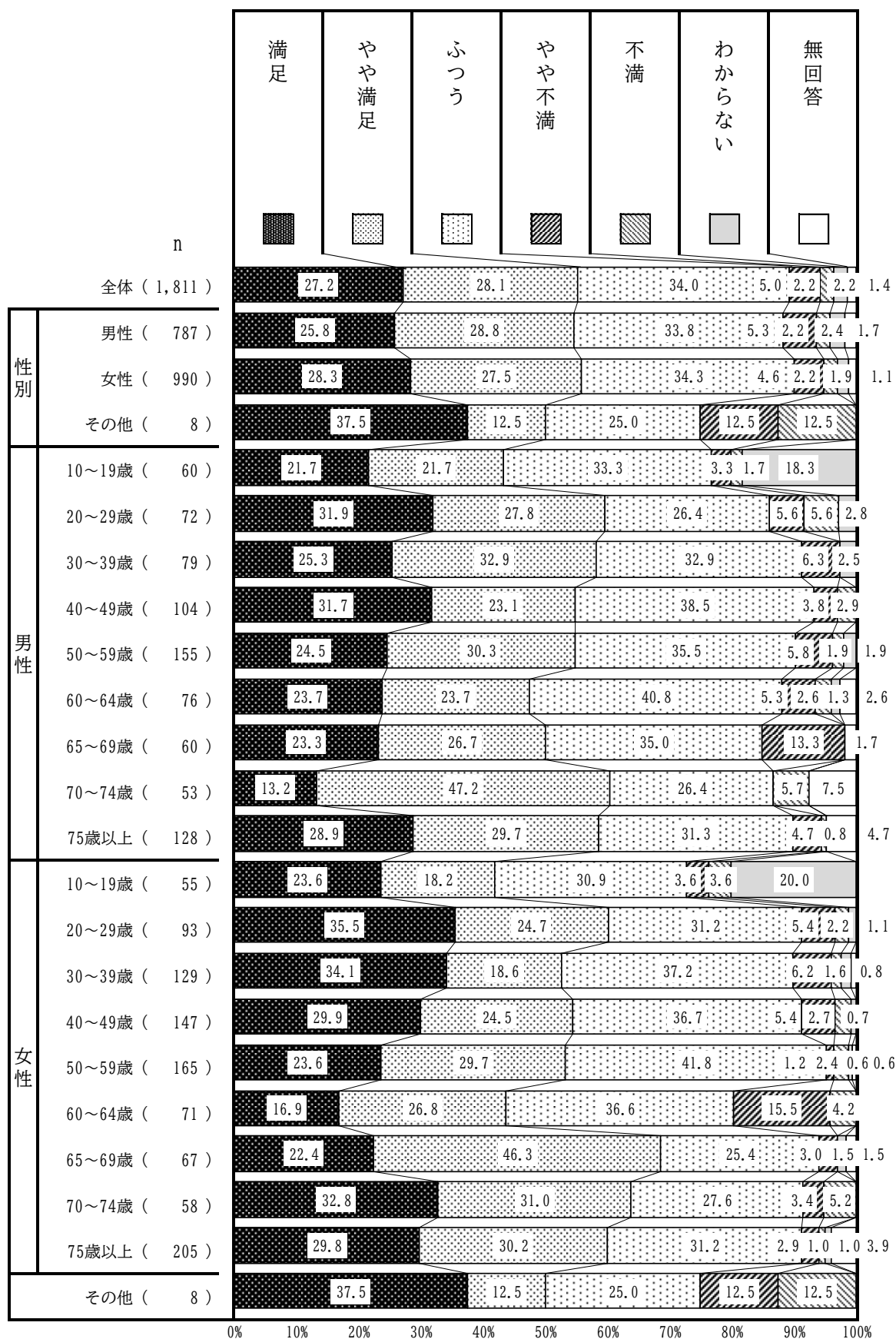
「満足」は女性（28.3％）が男性（25.8％）に比べて2.5ポイント高くなっている。

男性において、「満足」と「やや満足」の合計は70～74歳（60.4％）が6割となっている。

女性において、「満足」と「やや満足」の合計は65～69歳（68.7％）が7割近くとなっている。

(図表1-32)

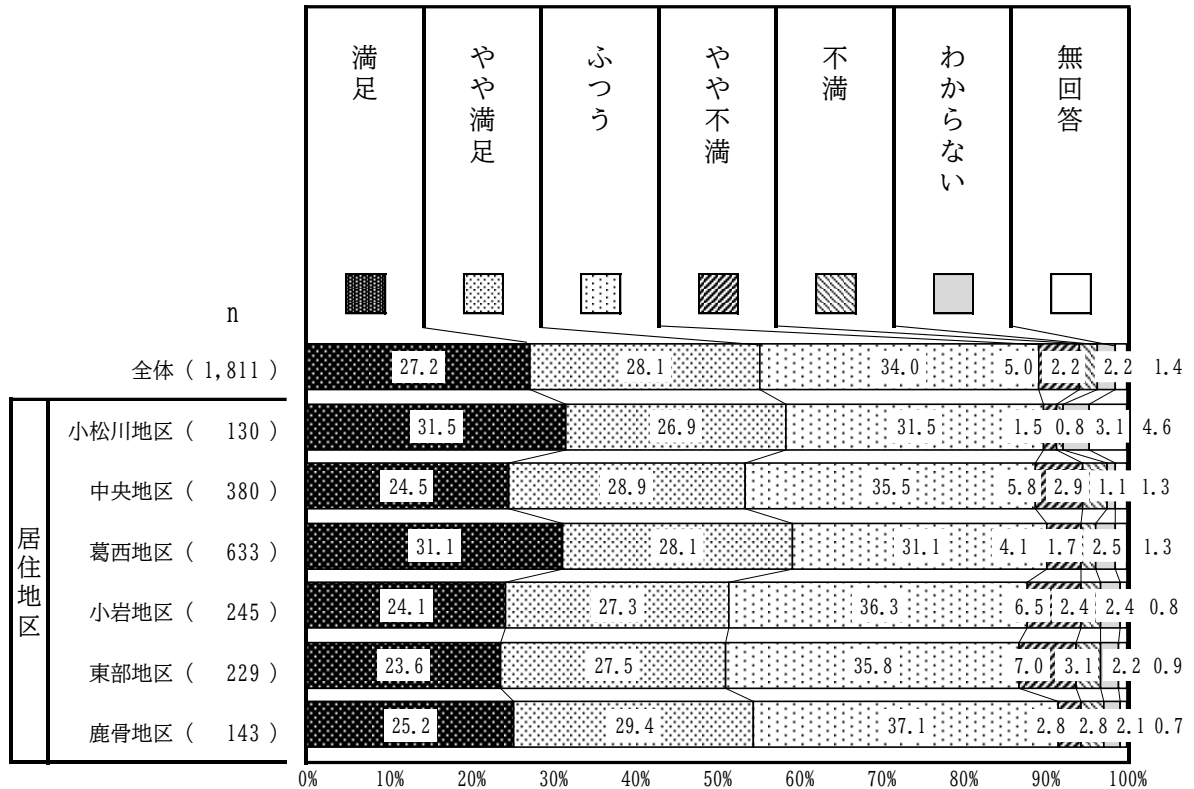
<図表1-32>⑧ごみの収集方法／性・年齢別



【⑧ごみの収集方法／居住地区別】

「満足」と「やや満足」の合計は葛西地区（59.2%）が約6割となっている。（図表1－33）

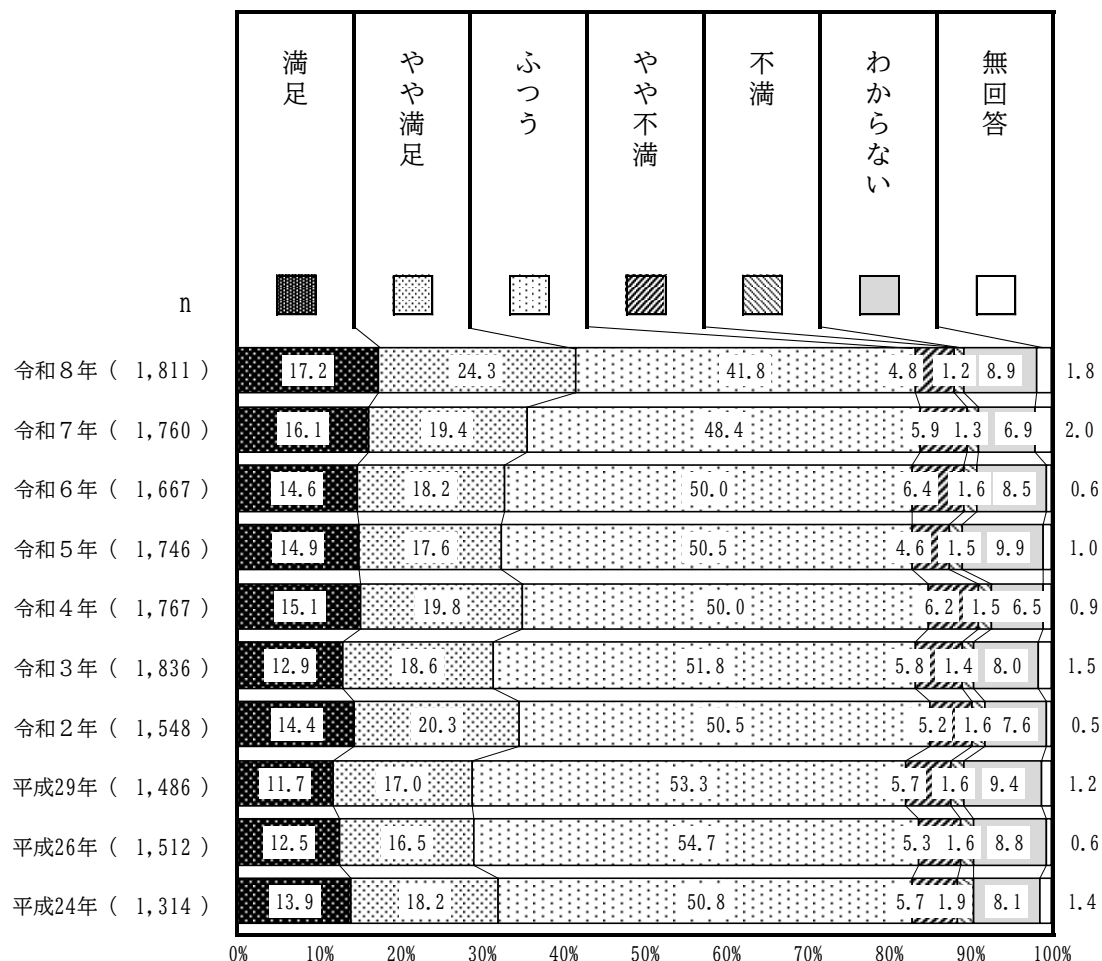
<図表1－33>⑧ごみの収集方法／居住地区別



【⑨リサイクルの取り組み／時系列比較】

令和7年と比較すると、「満足」が1.1ポイント、「やや満足」が4.9ポイント増加している。一方、「やや不満」が1.1ポイント、「不満」が0.1ポイント減少している。（図表1－34）

<図表1－34>⑨リサイクルの取り組み／時系列比較



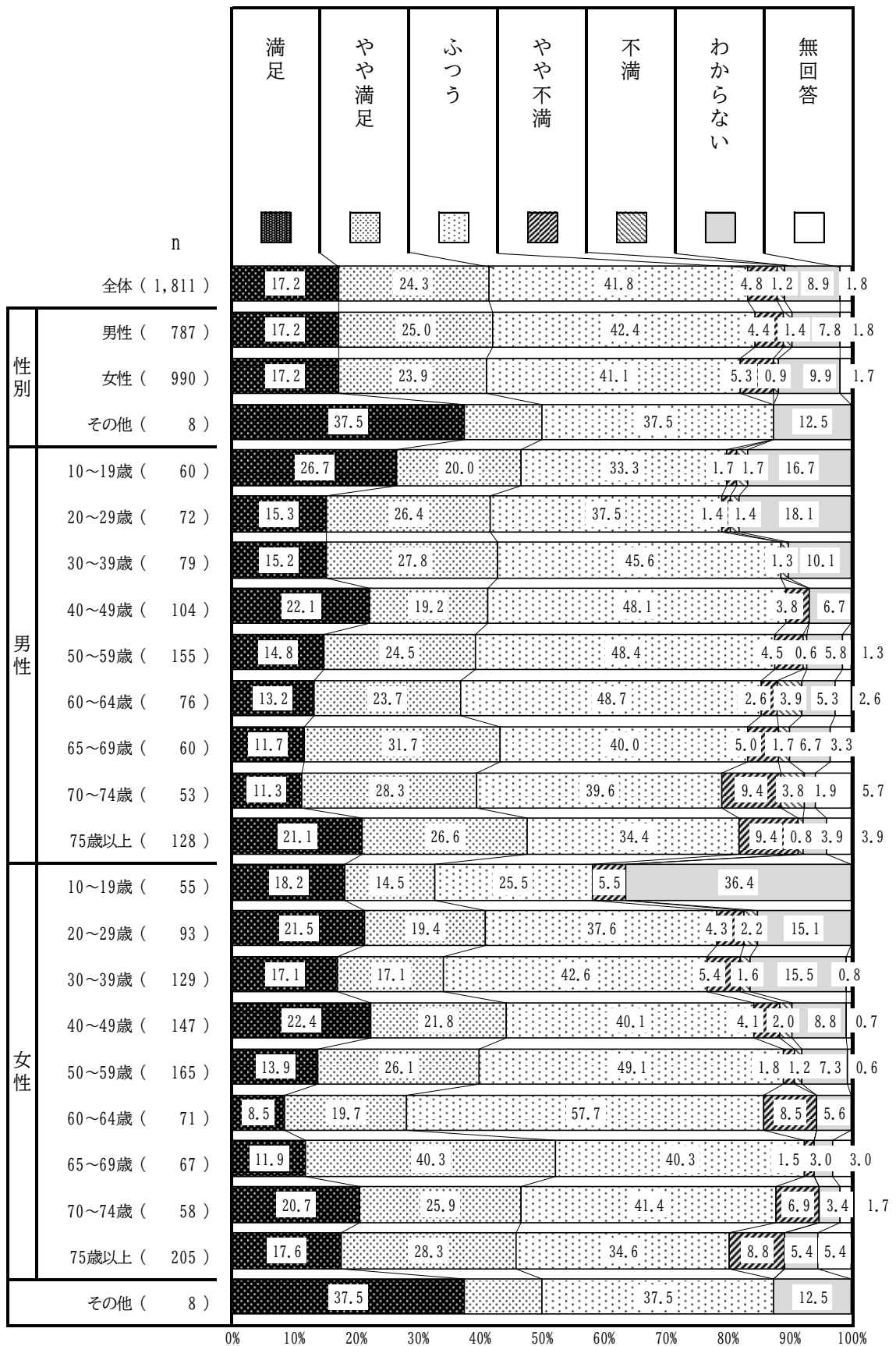
【⑨リサイクルの取り組み／性・年齢別】

男性において、「満足」と「やや満足」の合計は75歳以上（47.7%）が5割近くとなっている。

女性において、「満足」と「やや満足」の合計は65～69歳（52.2%）が5割を超えている。

（図表1－35）

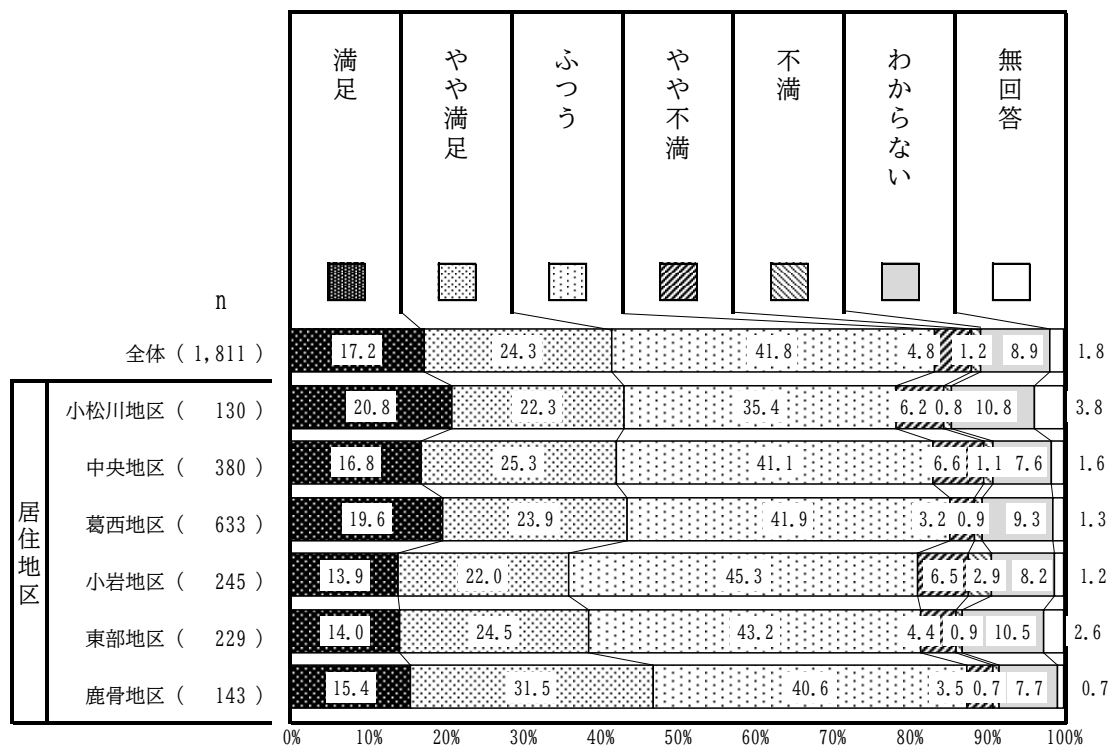
<図表1-35>⑨リサイクルの取り組み／性・年齢別



【⑨リサイクルの取り組み／居住地区別】

「満足」と「やや満足」の合計は鹿骨地区（46.9%）が5割近くとなっている。（図表1－36）

<図表1－36>⑨リサイクルの取り組み／居住地区別

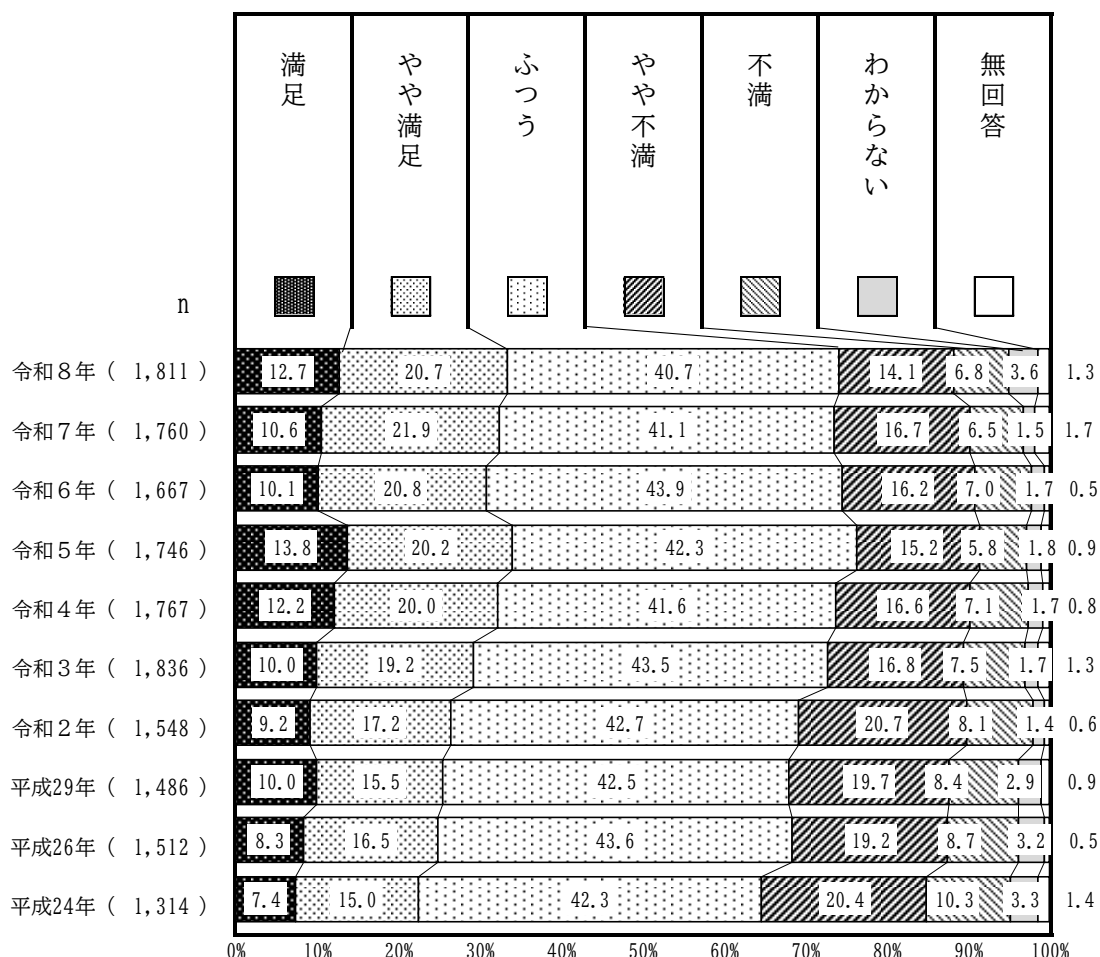


【⑩地域の安全（犯罪の少なさ）／時系列比較】

令和7年と比較すると、「満足」は2.1ポイント増加し、「やや満足」が1.2ポイント減少している。一方、「やや不満」は2.6ポイント減少し、「不満」が0.3ポイント増加している。

(図表1-37)

<図表1-37> ⑩地域の安全（犯罪の少なさ）／時系列比較



【⑩地域の安全（犯罪の少なさ）／性・年齢別】

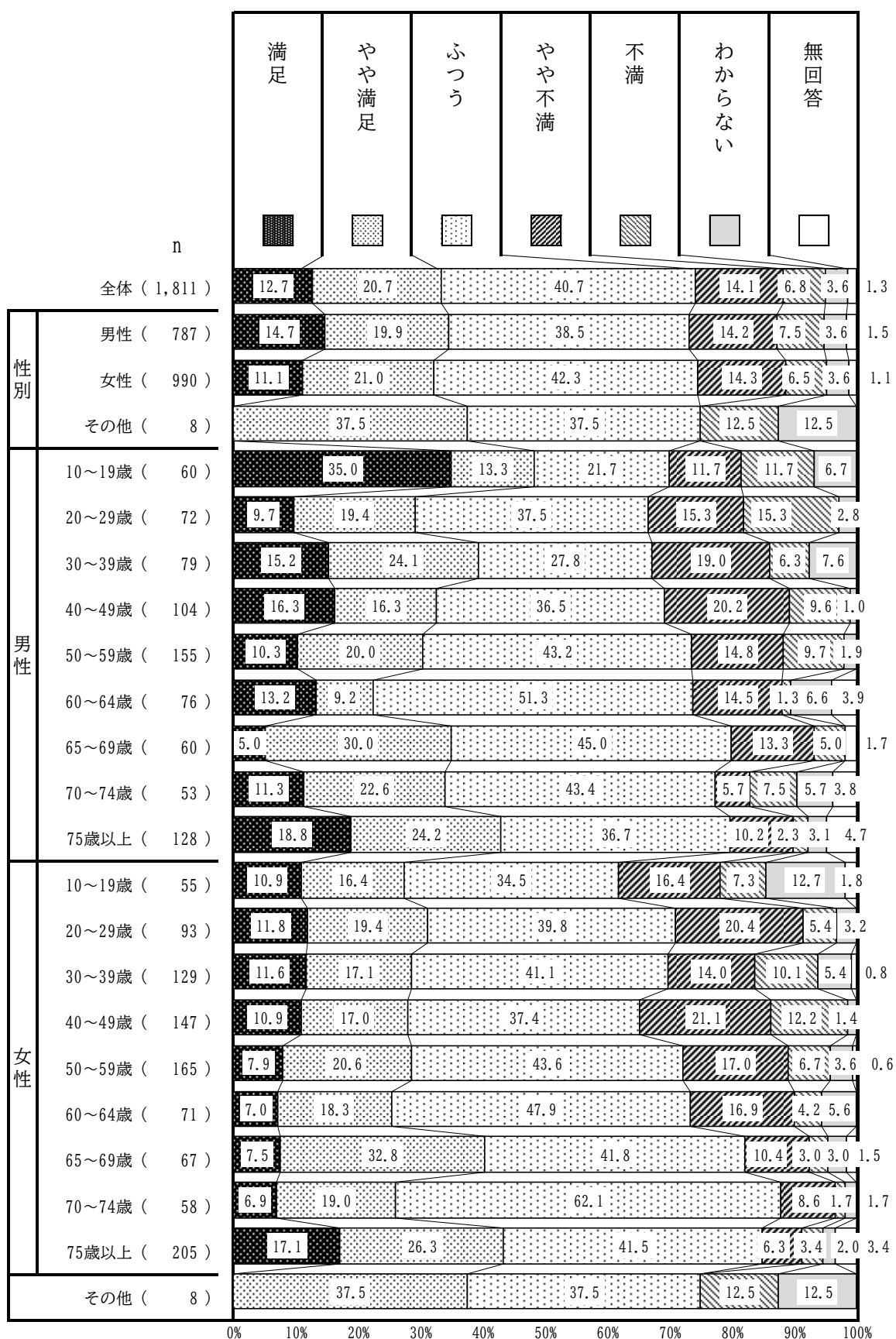
「満足」は男性（14.7%）が女性（11.1%）に比べて3.6ポイント高くなっている。

男性において、「満足」と「やや満足」の合計は10～19歳（48.3%）が5割近くとなっている。

女性において、「満足」と「やや満足」の合計は75歳以上（43.4%）が4割を超えている。

(図表1-38)

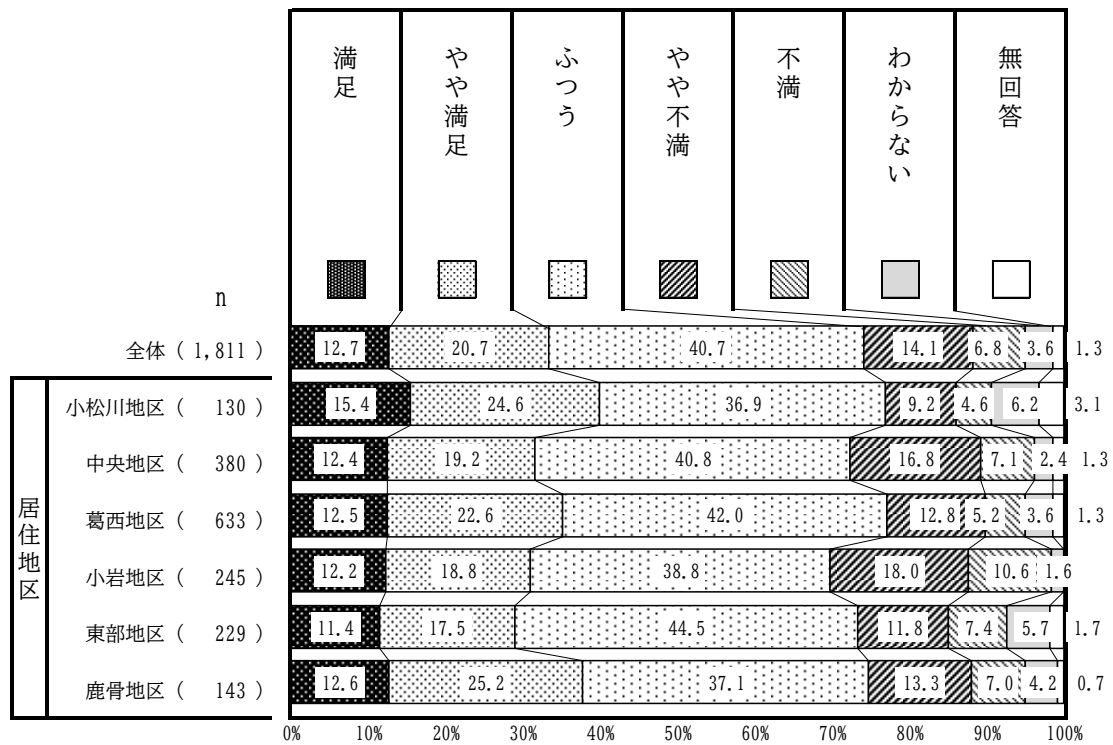
<図表1-38>⑩地域の安全（犯罪の少なさ）／性・年齢別



【⑩地域の安全（犯罪の少なさ）／居住地区別】

「満足」と「やや満足」の合計は小松川地区（40.0％）が4割となっている。（図表1－39）

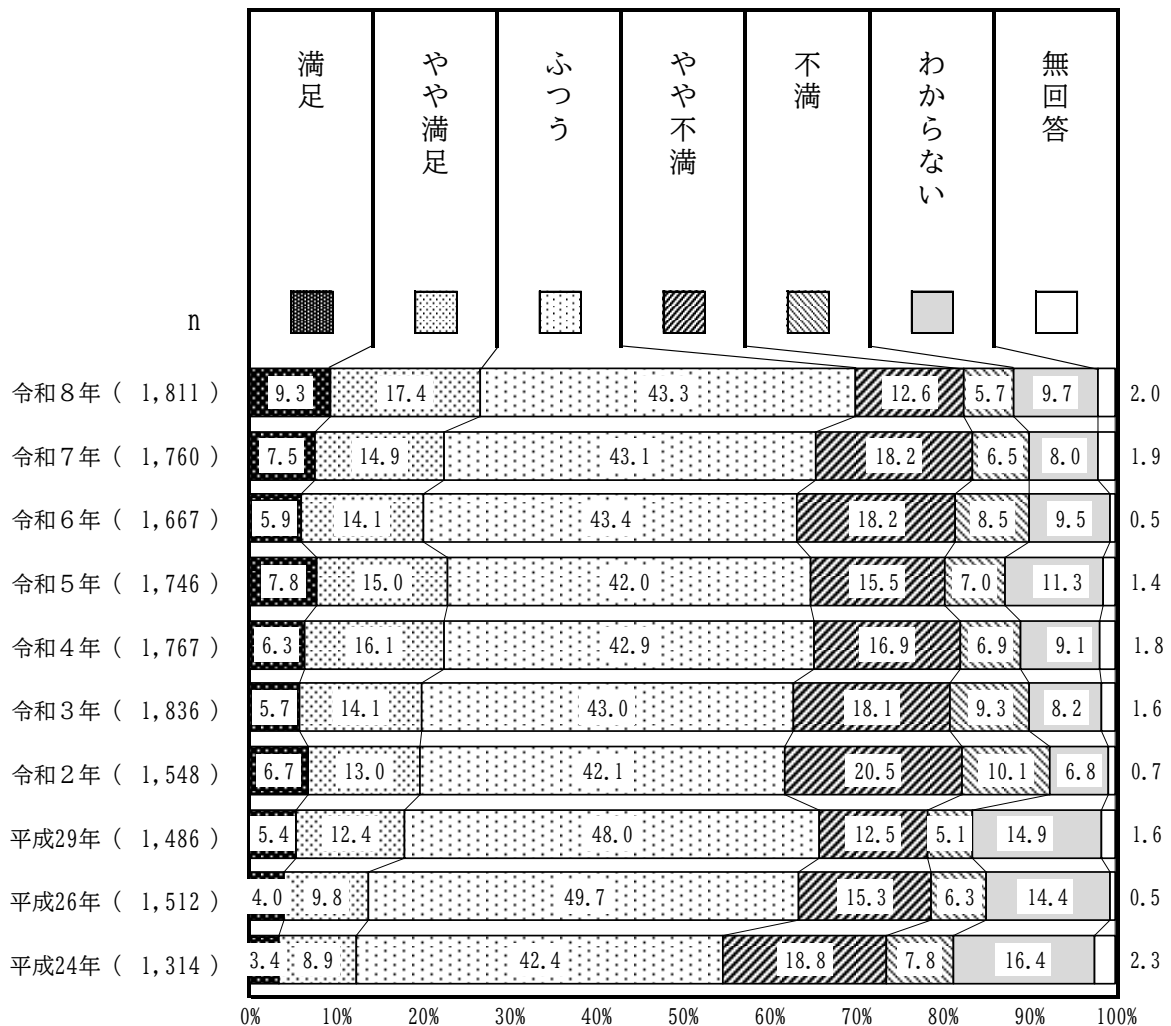
<図表1－39> ⑩地域の安全（犯罪の少なさ）／居住地区別



【⑪災害への準備／時系列比較】

令和7年と比較すると、「満足」が1.8ポイント、「やや満足」が2.5ポイント増加している。一方、「やや不満」が5.6ポイント、「不満」が0.8ポイント減少している。（図表1－40）

<図表1－40>⑪災害への準備／時系列比較



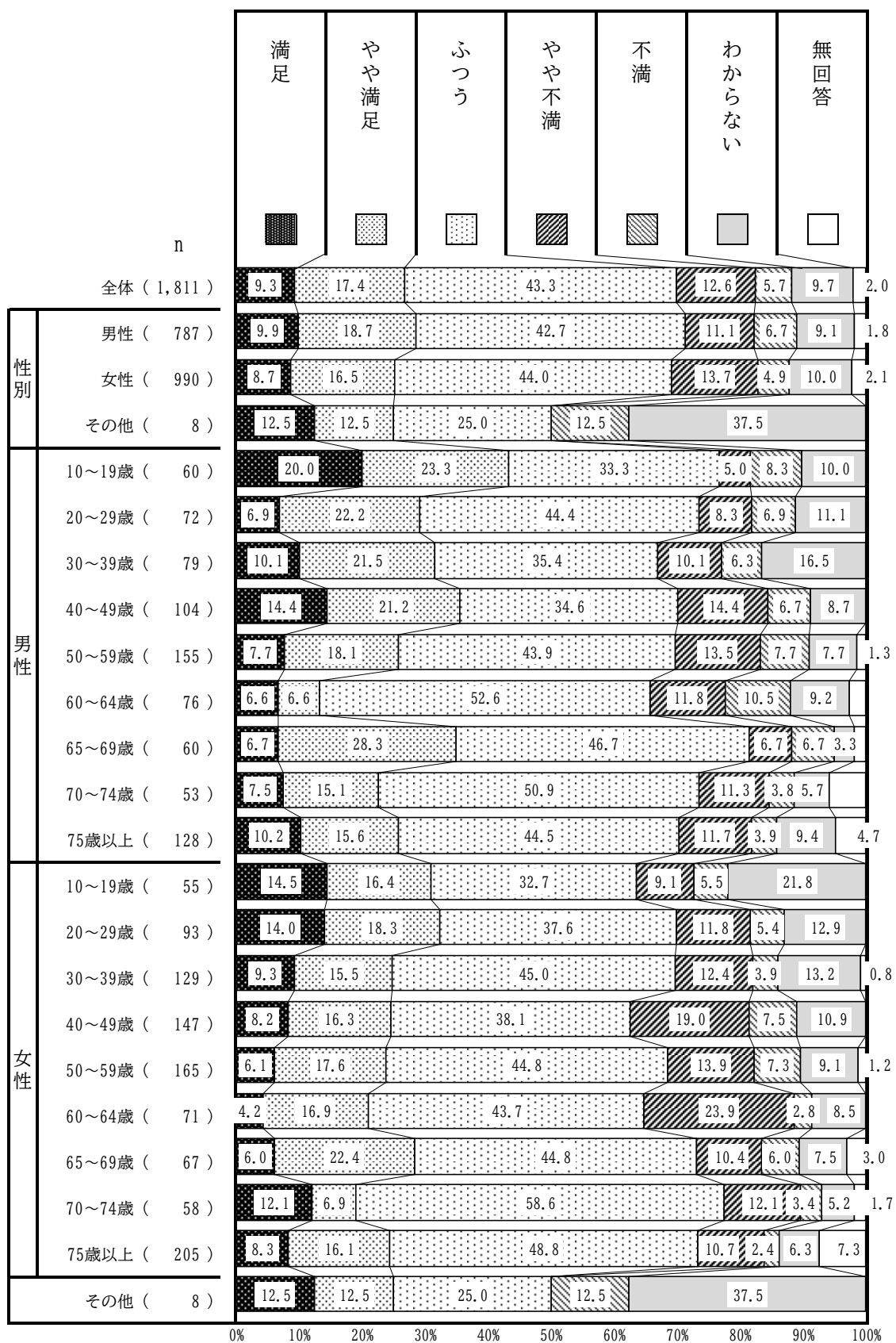
【⑪災害への準備／性・年齢別】

男性において、「満足」と「やや満足」の合計は10～19歳（43.3%）が4割を超えている。

女性において、「満足」と「やや満足」の合計は20～29歳（32.3%）が3割を超えている。

（図表1－41）

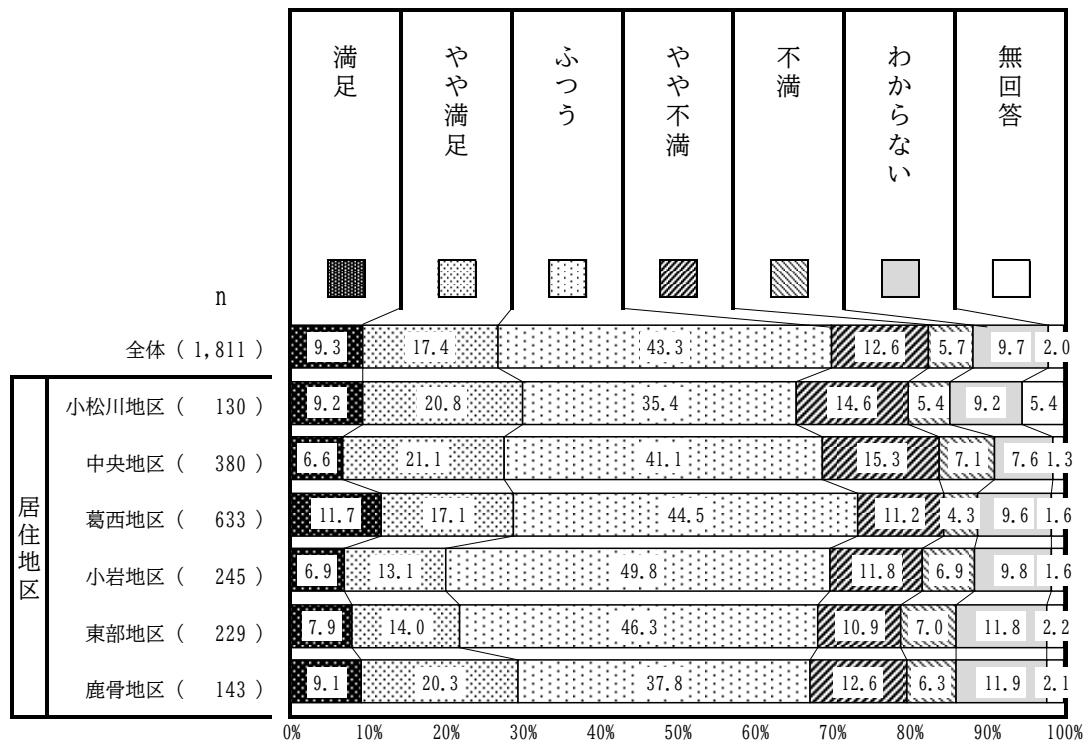
<図表1-41>⑪災害への準備／性・年齢別



【⑪災害への準備／居住地区別】

「満足」と「やや満足」の合計は小松川地区（30.0％）が3割となっている。（図表1－42）

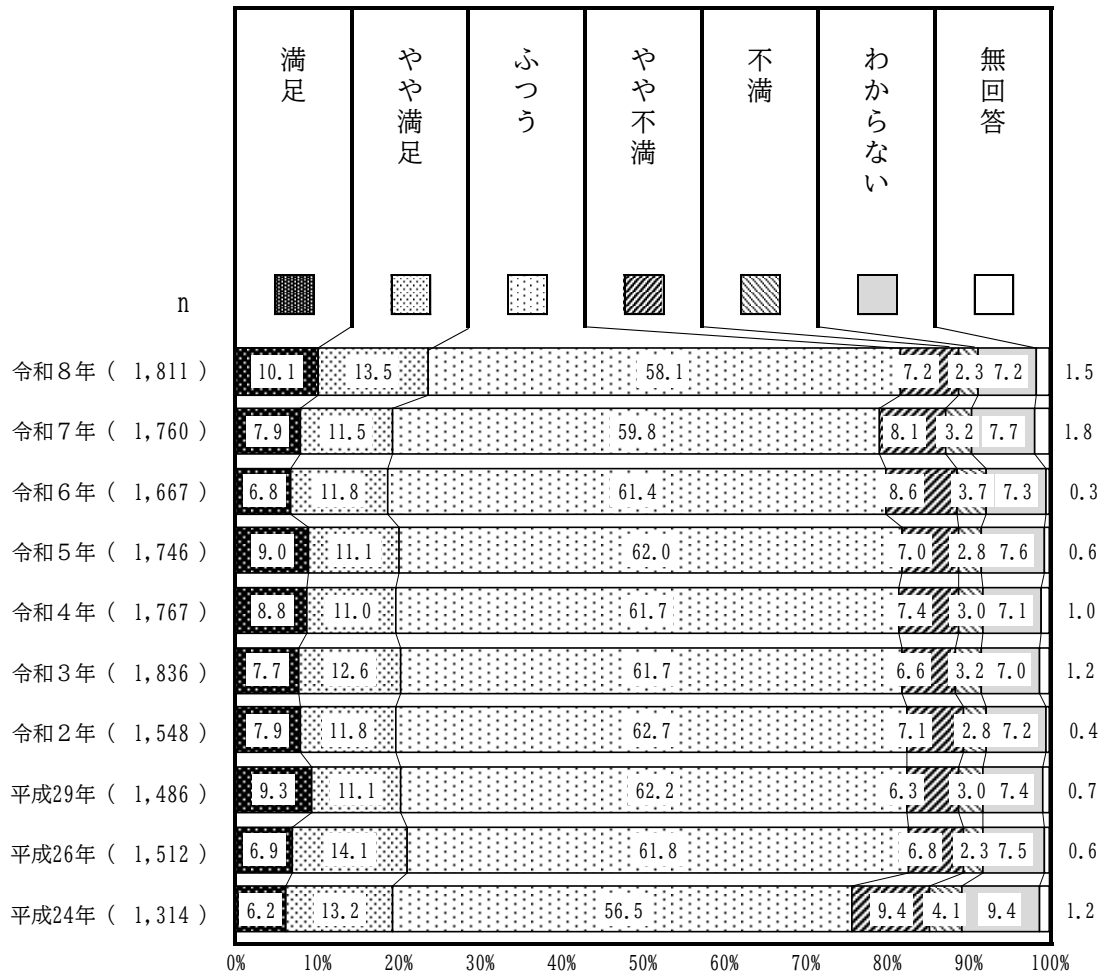
<図表1－42>⑪災害への準備／居住地区別



【⑫近所の人との付き合い／時系列比較】

令和7年と比較すると、「満足」が2.2ポイント、「やや満足」が2.0ポイント増加している。一方、「やや不満」が0.9ポイント、「不満」が0.9ポイント減少している。（図表1－43）

<図表1－43>⑫近所の人との付き合い／時系列比較

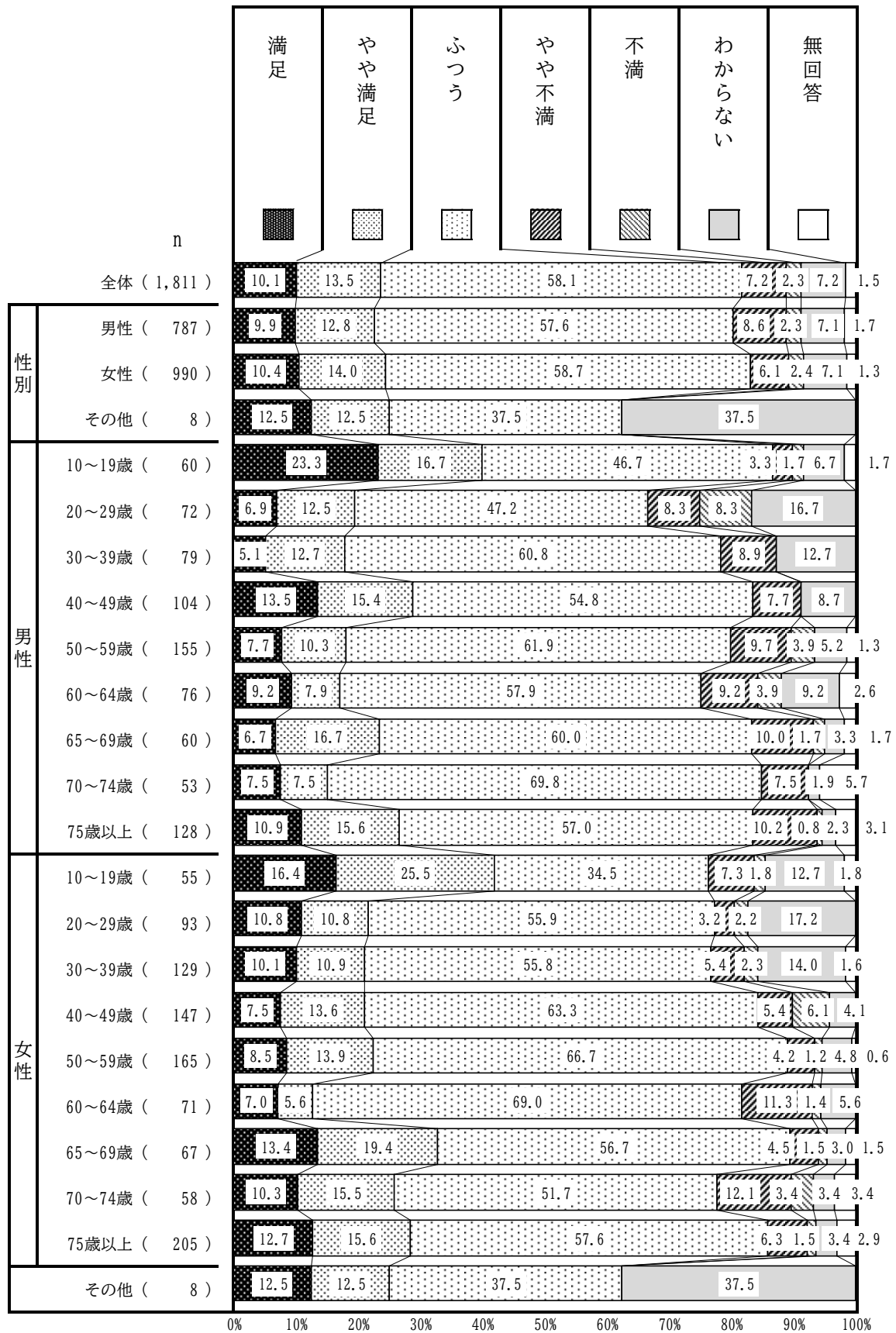


【⑫近所の人との付き合い／性・年齢別】

男性において、「満足」と「やや満足」の合計は10～19歳（40.0%）が4割となっている。
女性において、「満足」と「やや満足」の合計は10～19歳（41.9%）が4割を超えている。

（図表1－44）

<図表1-44>⑫近所の人との付き合い／性・年齢別

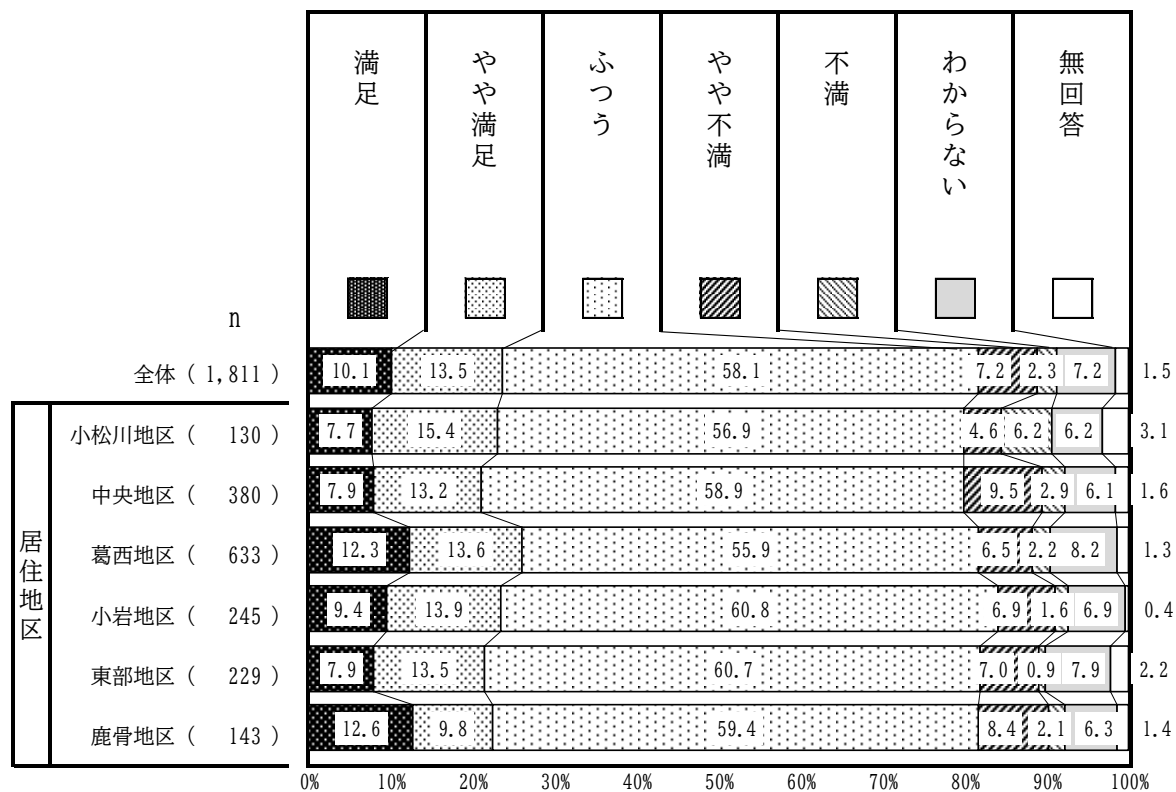


【⑫近所の人との付き合い／居住地区別】

「満足」と「やや満足」の合計は葛西地区（25.9%）が2割台半ばとなっている。

（図表1－45）

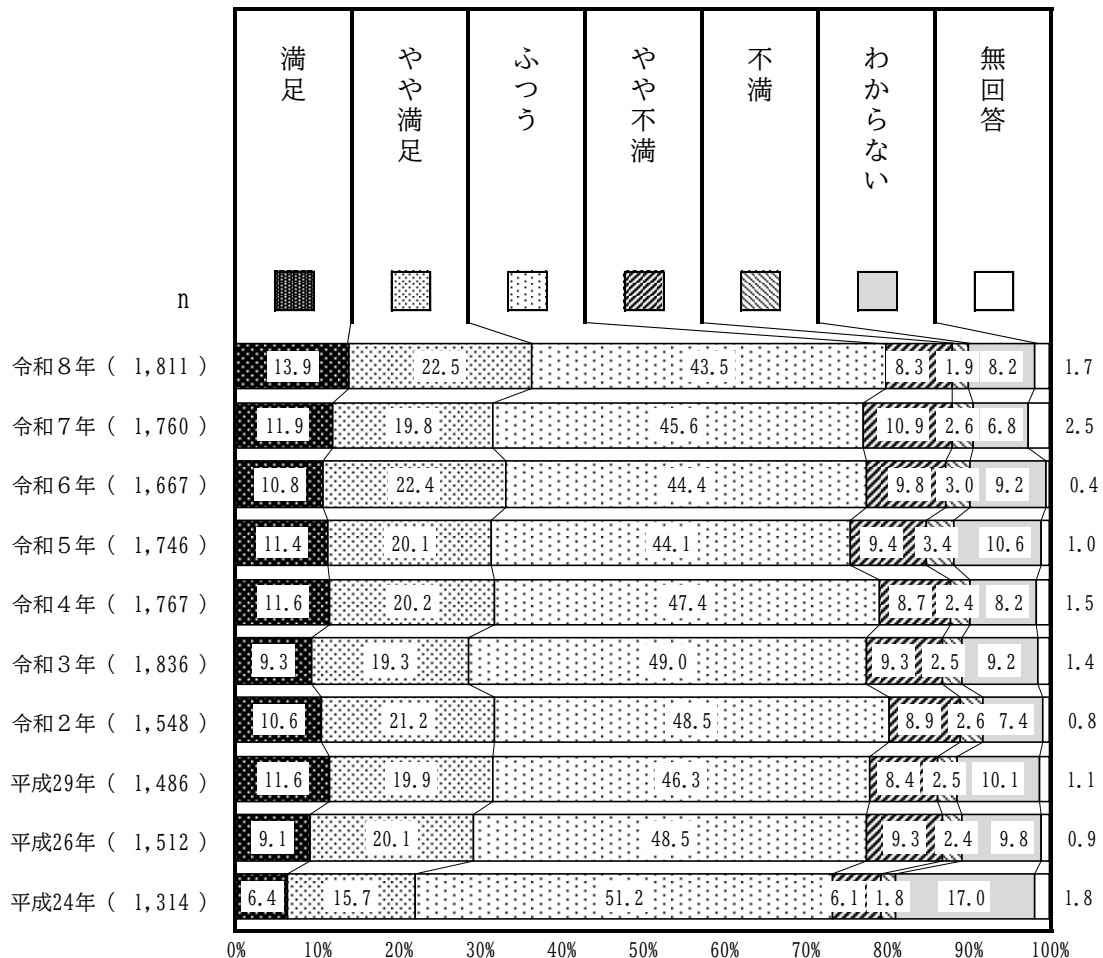
<図表1－45>⑫近所の人との付き合い／居住地区別



【③文化施設の充実度／時系列比較】

令和7年と比較すると、「満足」が2.0ポイント、「やや満足」が2.7ポイント増加している。一方、「やや不満」が2.6ポイント、「不満」が0.7ポイント減少している。（図表1－46）

<図表1－46>③文化施設の充実度／時系列比較



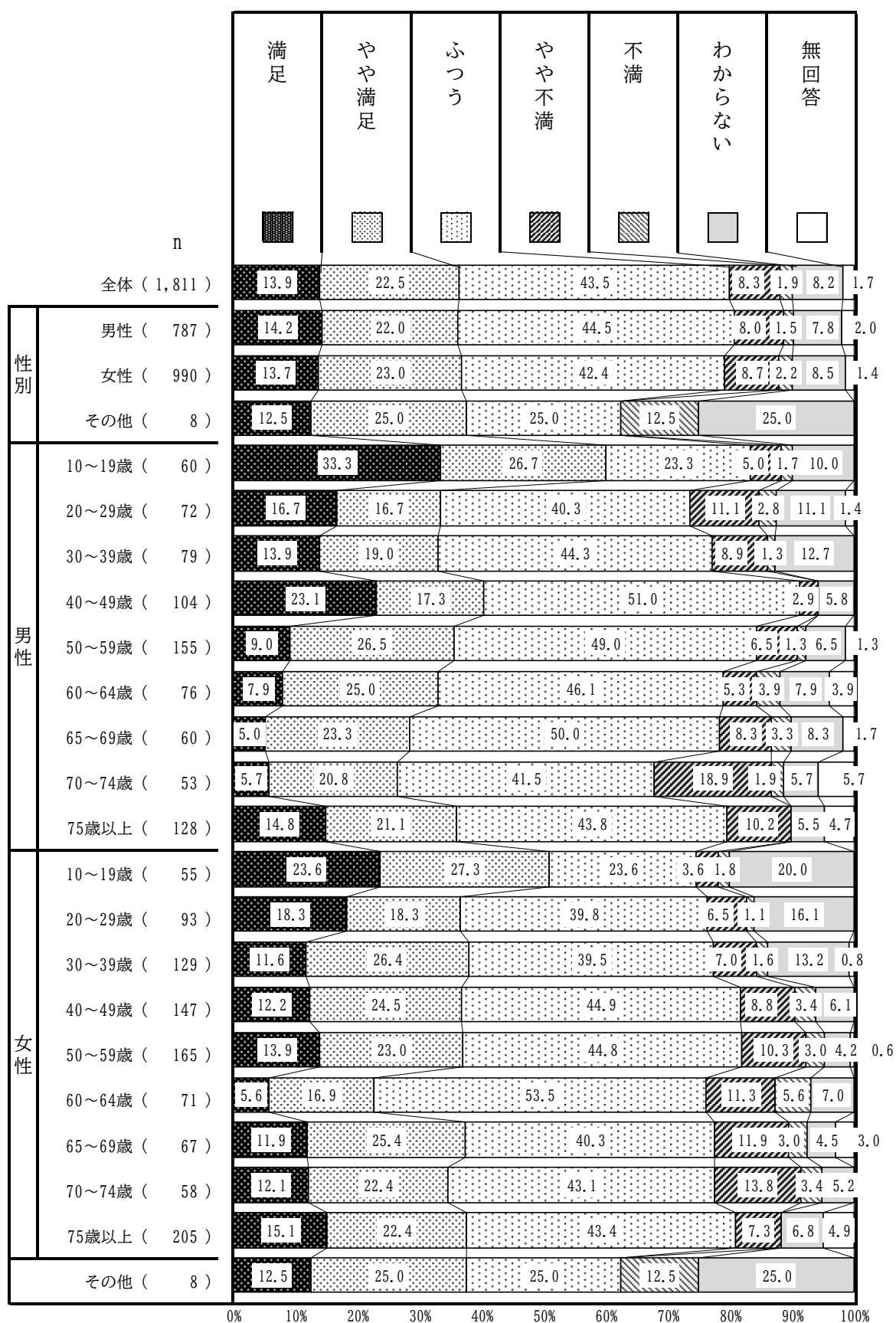
【③文化施設の充実度／性・年齢別】

男性において、「満足」と「やや満足」の合計は10～19歳（60.0%）が6割となっている。

女性において、「満足」と「やや満足」の合計は10～19歳（50.9%）が約5割となっている。

（図表1－47）

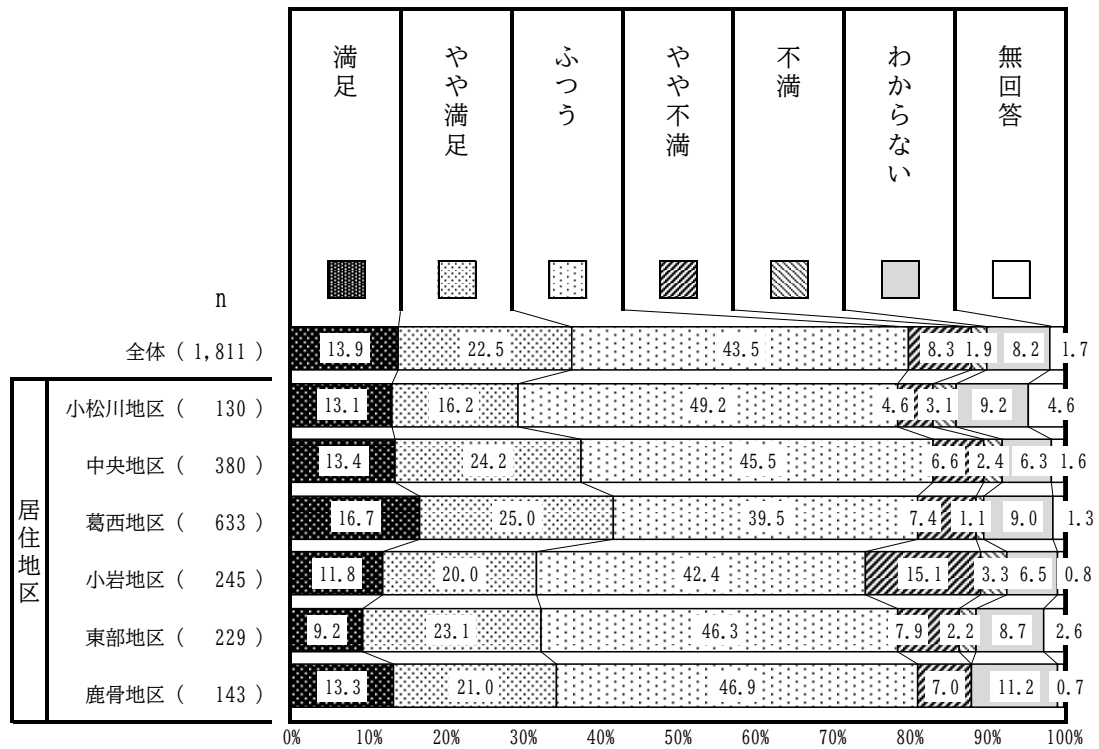
<図表1-47>③文化施設の充実度／性・年齢別



【③文化施設の充実度／居住地区別】

「満足」と「やや満足」の合計は葛西地区（41.7%）が4割を超えている。（図表1－48）

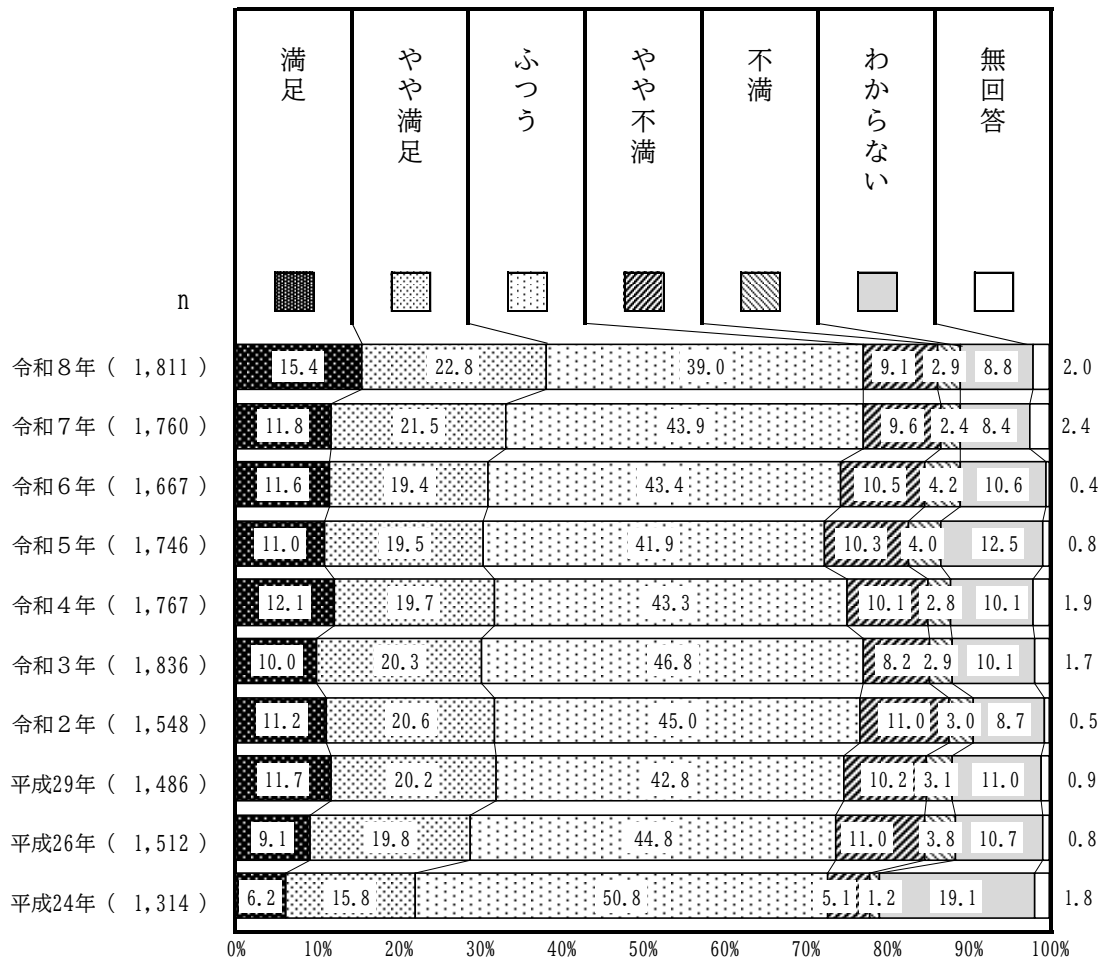
<図表1－48> ③文化施設の充実度／居住地区別



【⑭スポーツ施設の充実度／時系列比較】

令和7年と比較すると、「満足」が3.6ポイント、「やや満足」が1.3ポイント増加している。一方、「やや不満」は0.5ポイント減少し、「不満」が0.5ポイント増加している。（図表1－49）

<図表1－49>⑭スポーツ施設の充実度／時系列比較

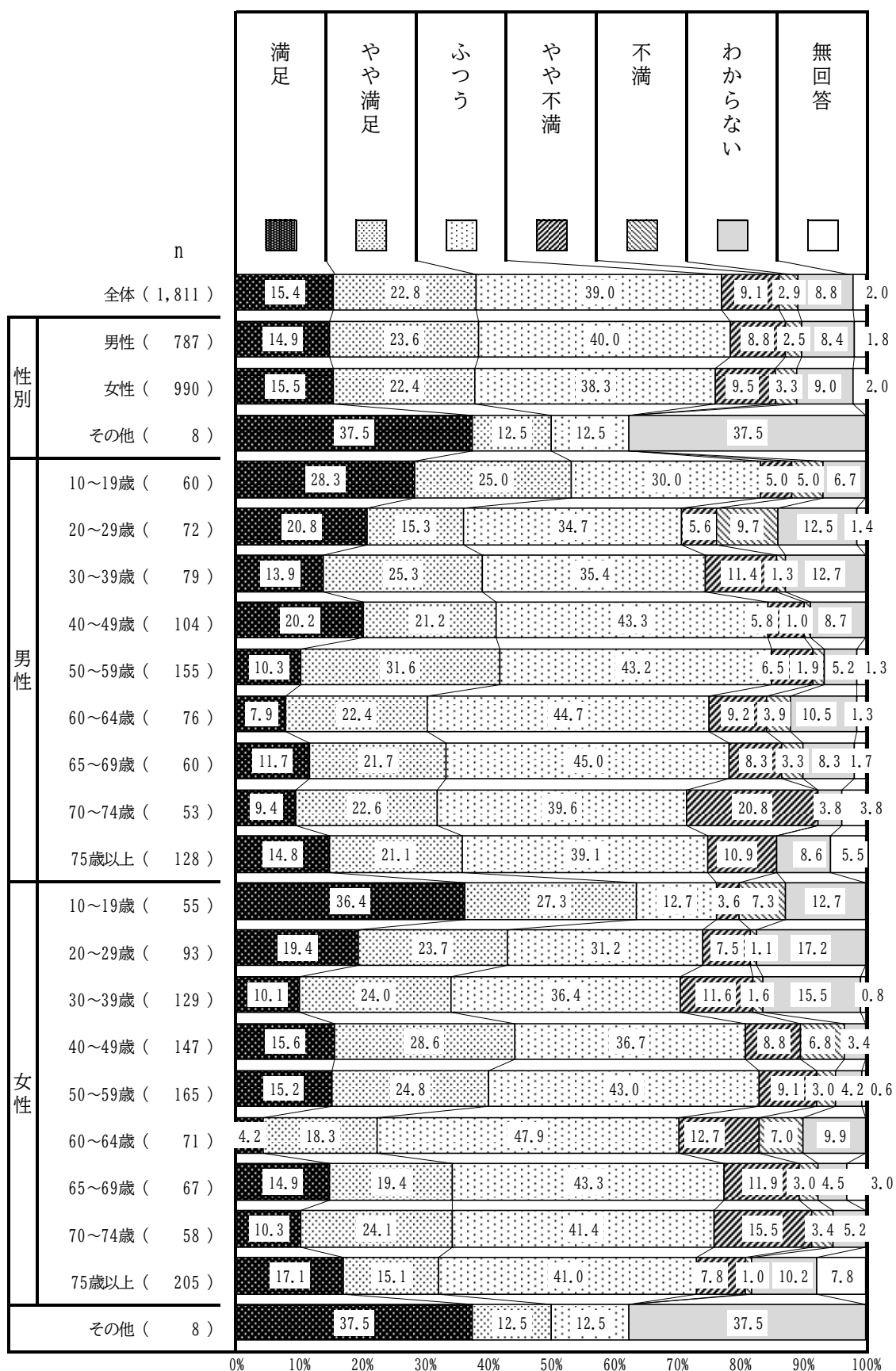


【⑭スポーツ施設の充実度／性・年齢別】

男性において、「満足」と「やや満足」の合計は10～19歳（53.3%）が5割を超えている。
女性において、「満足」と「やや満足」の合計は10～19歳（63.7%）が6割を超えている。

（図表1－50）

<図表1-50>⑭スポーツ施設の充実度／性・年齢別

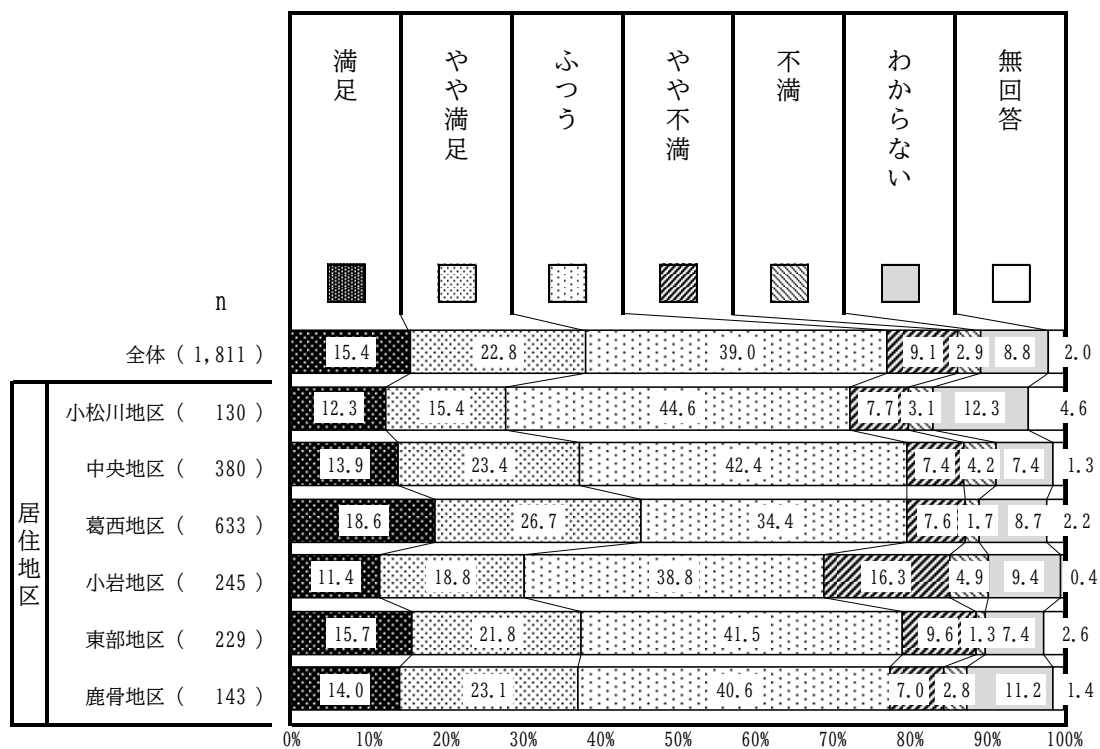


【⑭スポーツ施設の充実度／居住地区別】

「満足」と「やや満足」の合計は葛西地区（45.3%）が4割台半ばとなっている。

（図表1－51）

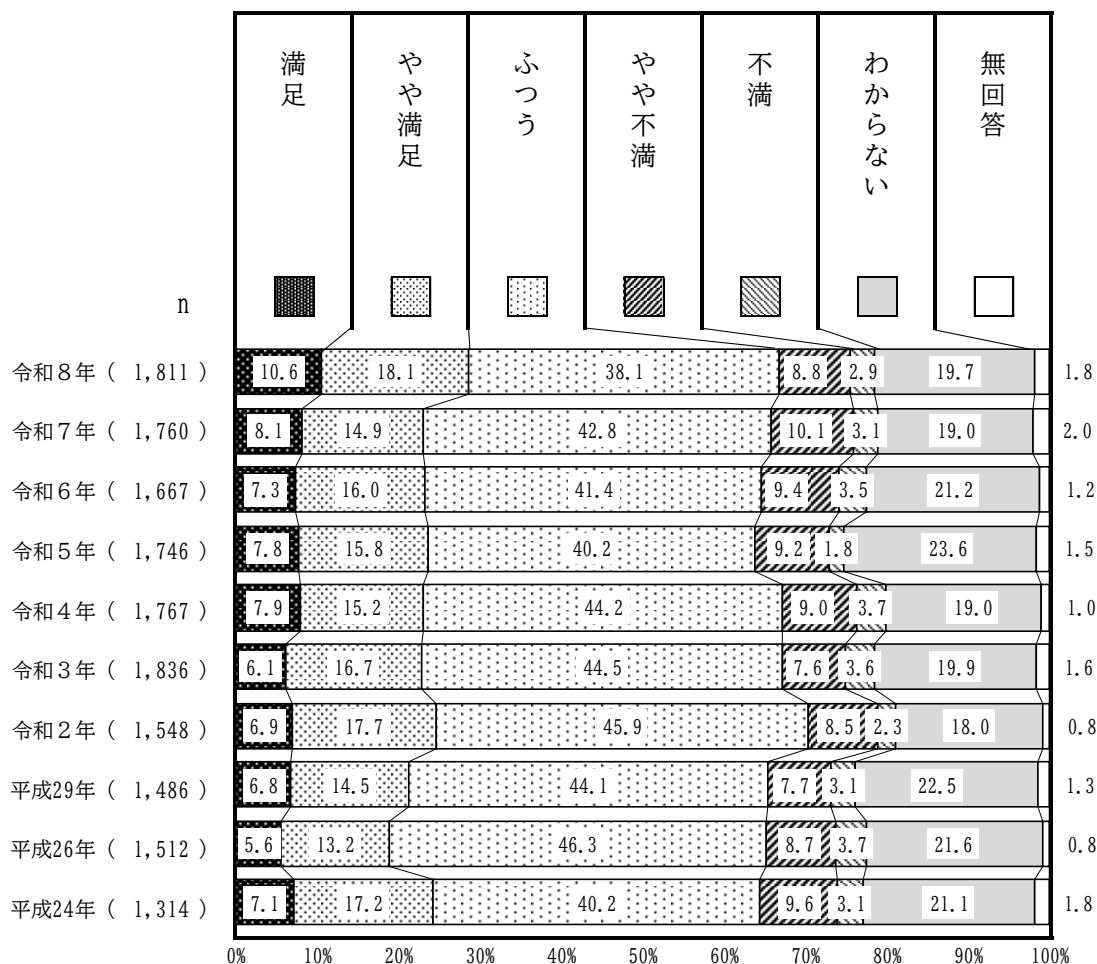
<図表1－51>⑭スポーツ施設の充実度／居住地区別



【⑮高齢者の生活のしやすさ／時系列比較】

令和7年と比較すると、「満足」が2.5ポイント、「やや満足」が3.2ポイント増加している。一方、「やや不満」が1.3ポイント、「不満」が0.2ポイント減少している。（図表1－52）

<図表1－52>⑮高齢者の生活のしやすさ／時系列比較

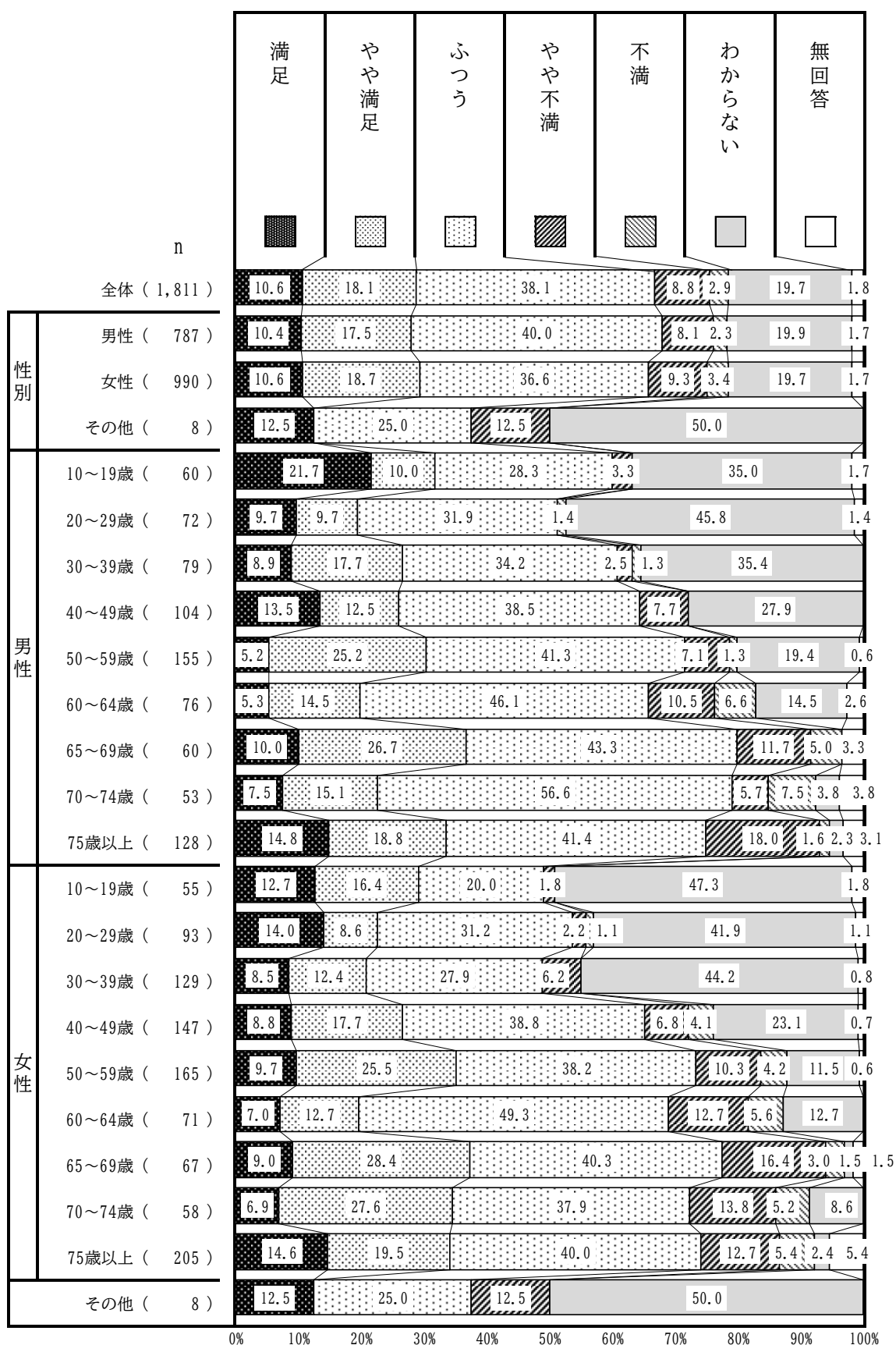


【⑮高齢者の生活のしやすさ／性・年齢別】

男性において、「満足」と「やや満足」の合計は65～69歳（36.7%）が4割近くとなっている。女性において、「満足」と「やや満足」の合計は65～69歳（37.4%）が4割近くとなっている。

（図表1－53）

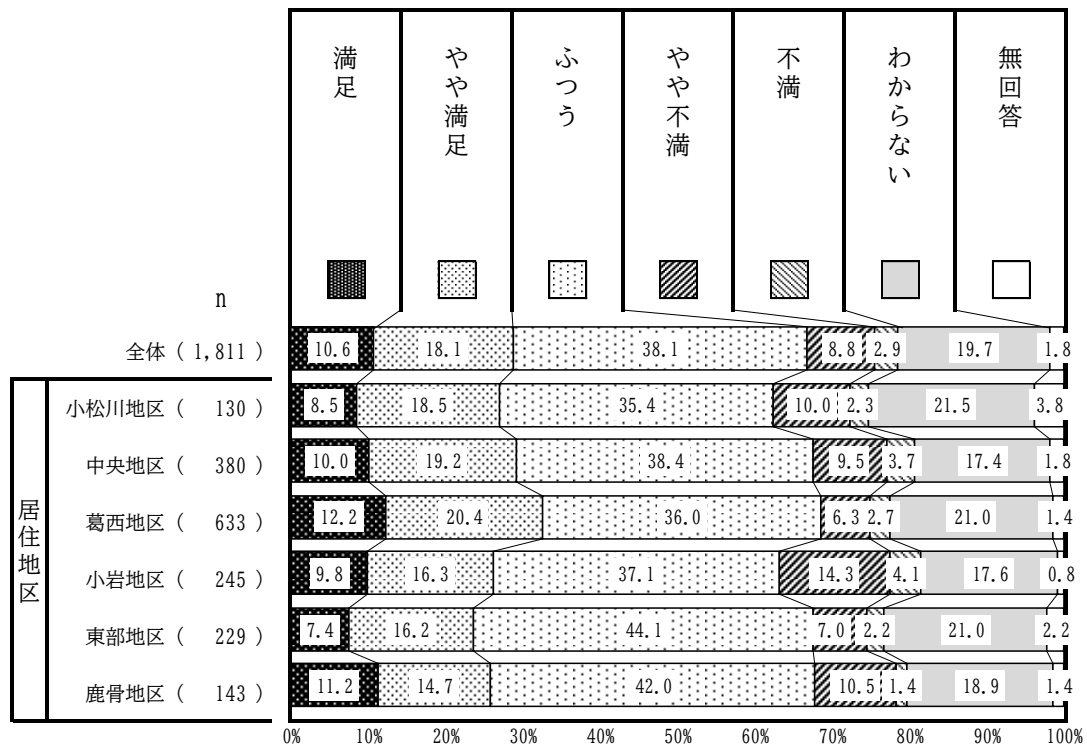
<図表1-53> ⑮高齢者の生活のしやすさ／性・年齢別



【⑮高齢者の生活のしやすさ／居住地区別】

「満足」と「やや満足」の合計は葛西地区（32.6%）が3割を超えている。（図表1－54）

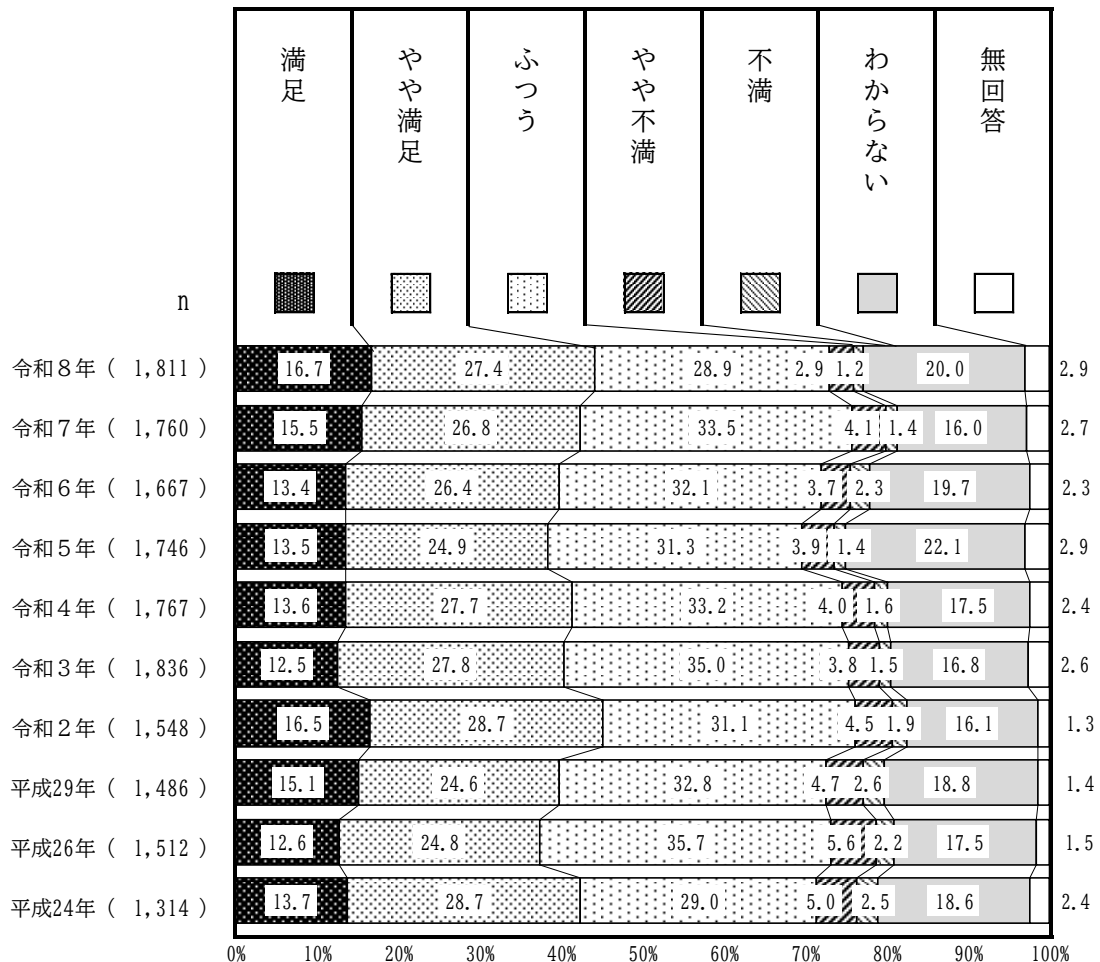
<図表1－54> ⑮高齢者の生活のしやすさ／居住地区別



【⑩子育てのしやすさ／時系列比較】

令和7年と比較すると、「満足」が1.2ポイント、「やや満足」が0.6ポイント増加している。一方、「やや不満」が1.2ポイント、「不満」が0.2ポイント減少している。（図表1－55）

<図表1－55>⑩子育てのしやすさ／時系列比較

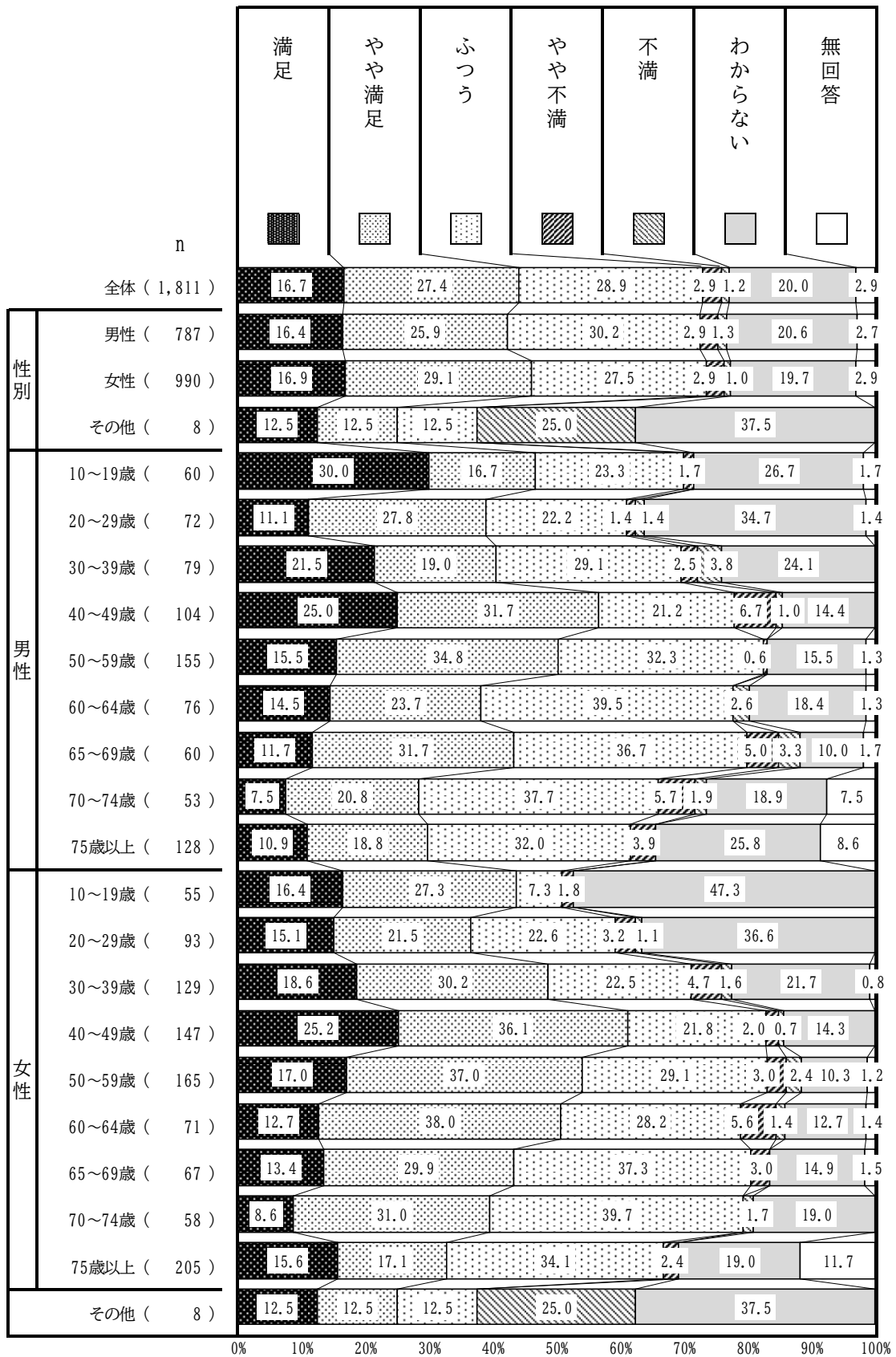


【⑩子育てのしやすさ／性・年齢別】

男性において、「満足」と「やや満足」の合計は40～49歳（56.7%）が6割近くとなっている。女性において、「満足」と「やや満足」の合計は40～49歳（61.3%）が6割を超えている。

（図表1－56）

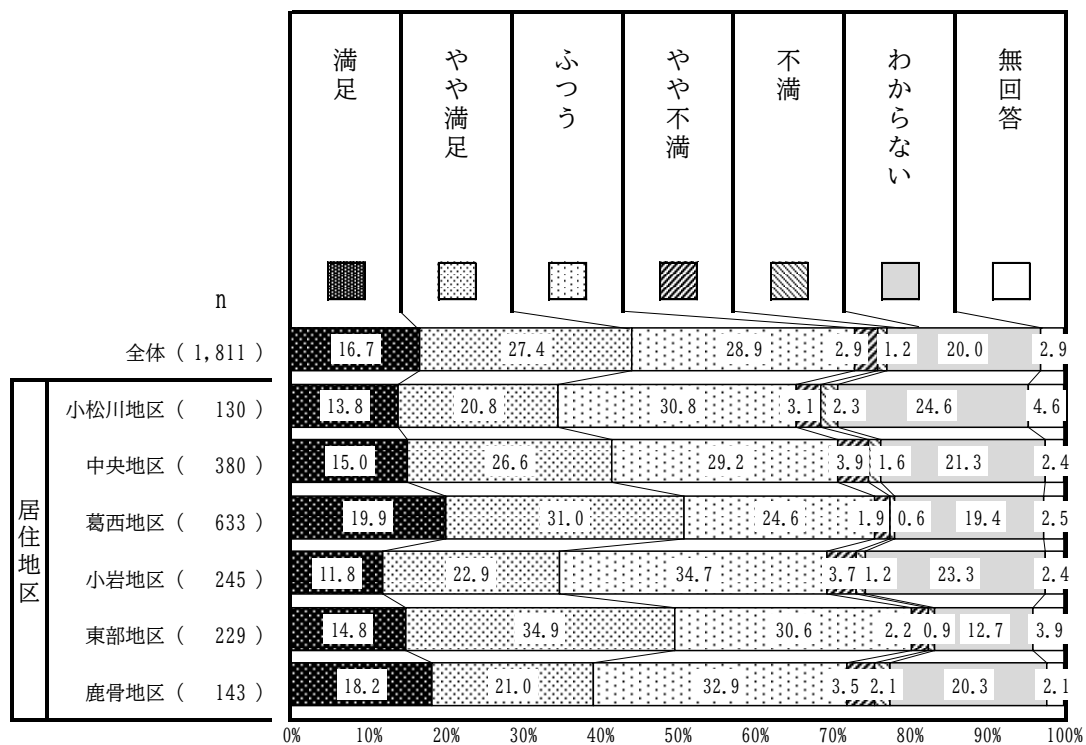
<図表1-56> ⑩子育てのしやすさ／性・年齢別



【⑩子育てのしやすさ／居住地区別】

「満足」と「やや満足」の合計は葛西地区（50.9%）が約5割となっている。（図表1－57）

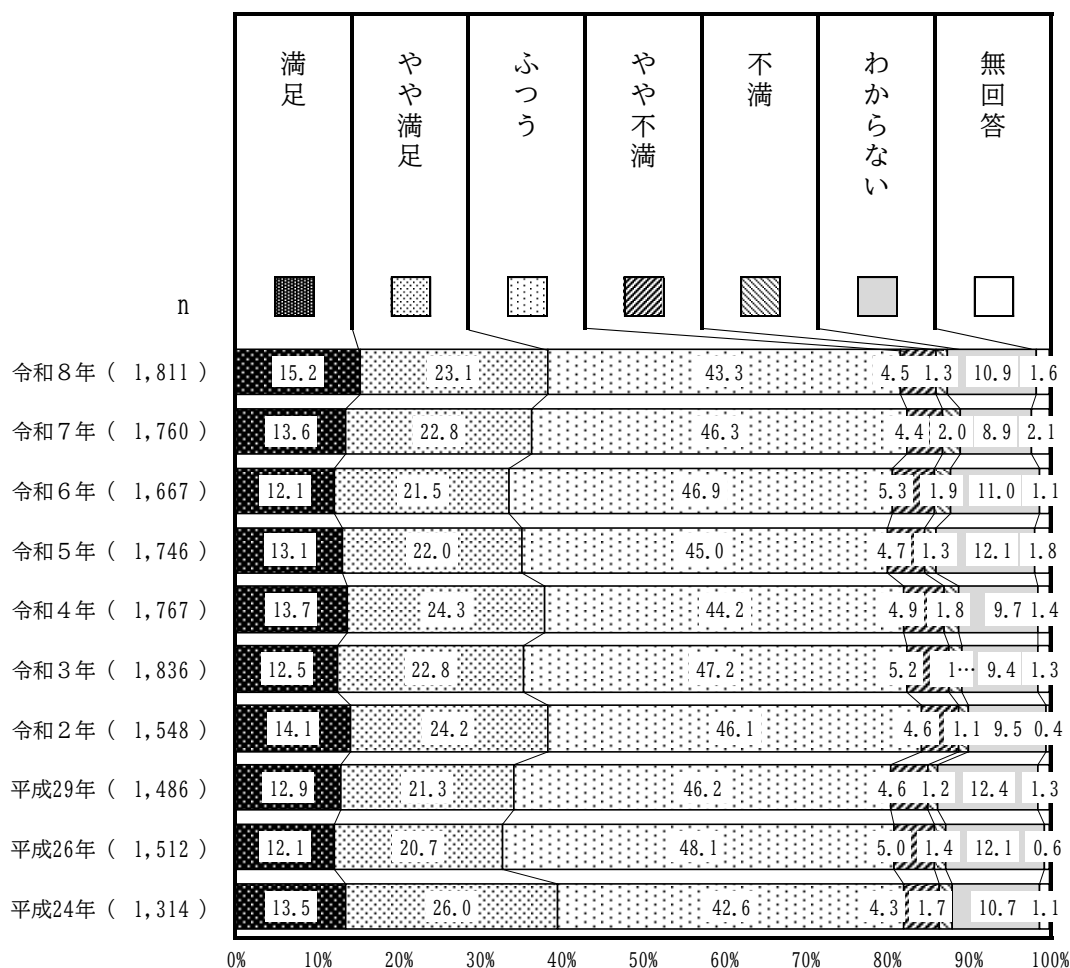
<図表1－57> ⑩子育てのしやすさ／居住地区別



【⑰健康相談・健康診査／時系列比較】

令和7年と比較すると、「満足」が1.6ポイント、「やや満足」が0.3ポイント増加している。一方、「やや不満」は0.1ポイント増加し、「不満」が0.7ポイント減少している。(図表1-58)

<図表1-58>⑰健康相談・健康診査／時系列比較

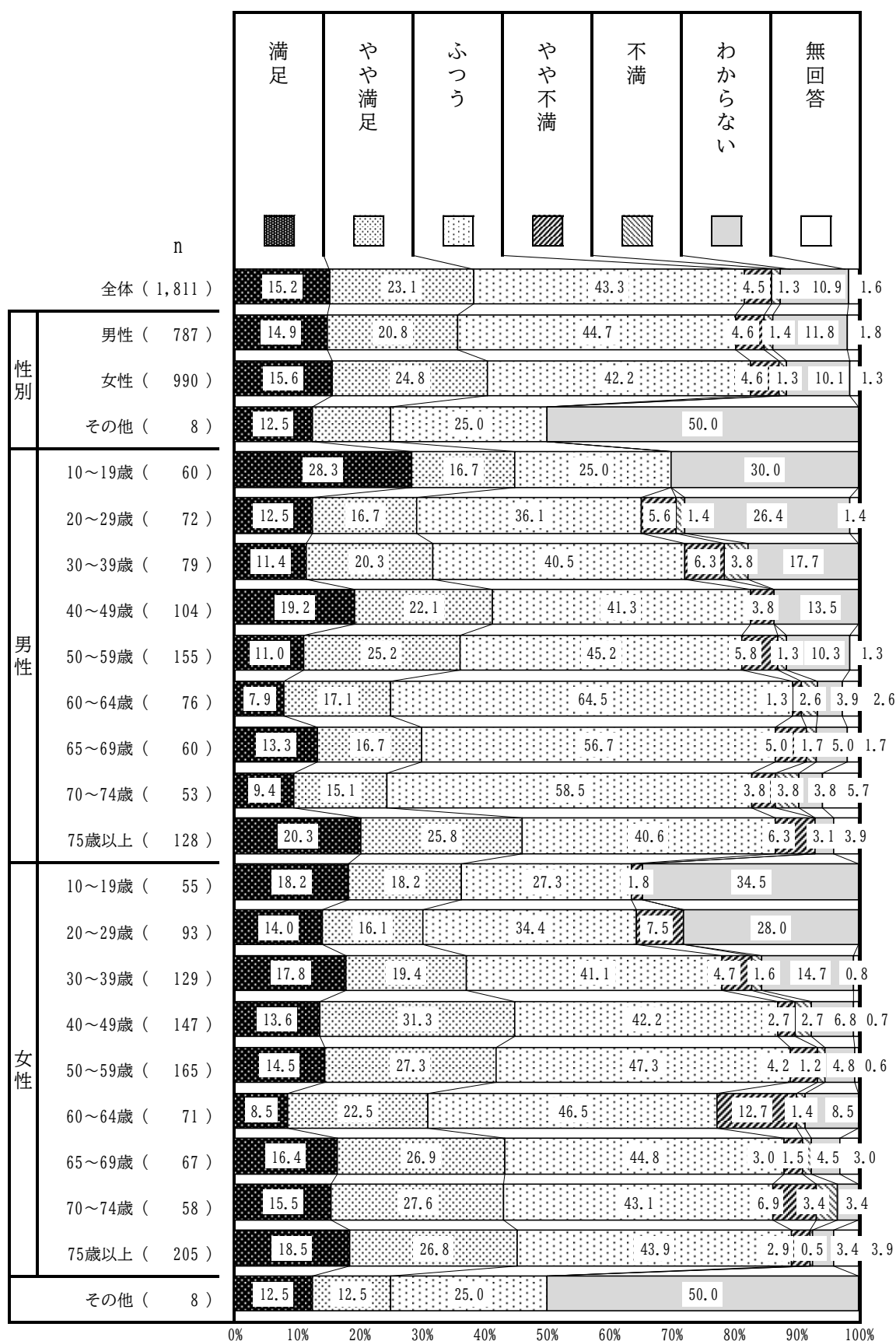


【⑰健康相談・健康診査／性・年齢別】

男性において、「満足」と「やや満足」の合計は75歳以上(46.1%)が4割台半ばとなっている。

女性において、「満足」と「やや満足」の合計は75歳以上(45.3%)が4割台半ばとなっている。(図表1-59)

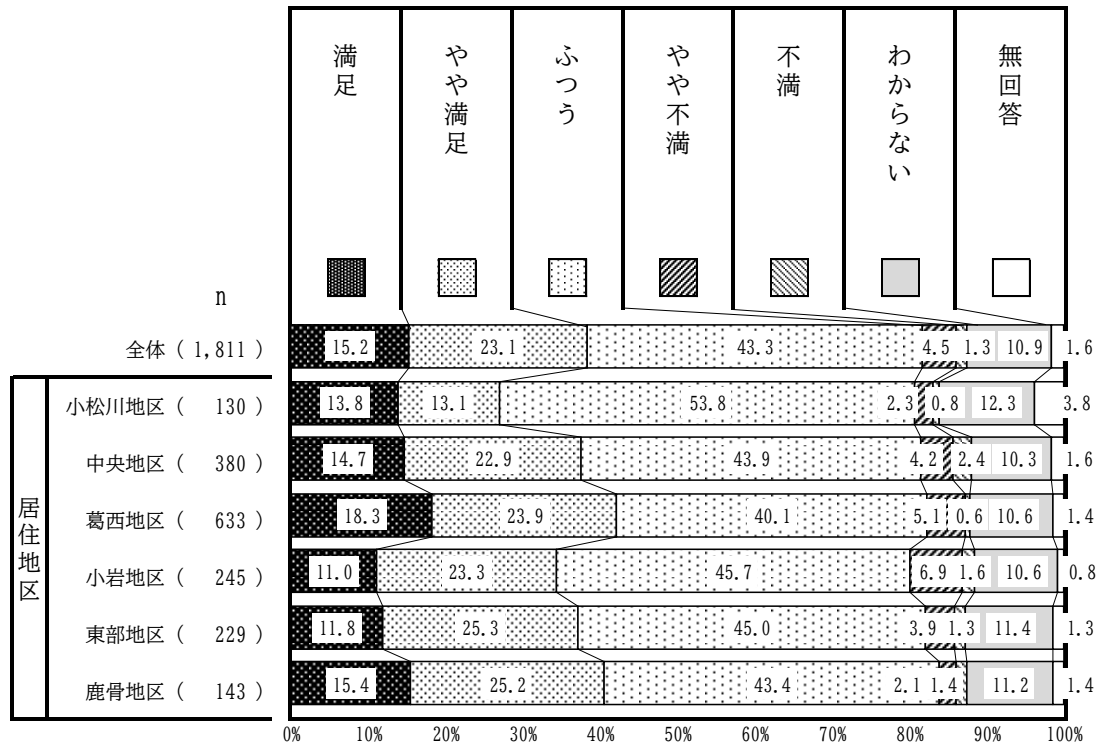
<図表1-59> ⑰健康相談・健康診査／性・年齢別



【⑰健康相談・健康診査／居住地区別】

「満足」と「やや満足」の合計は葛西地区（42.2%）が4割を超えている。（図表1－60）

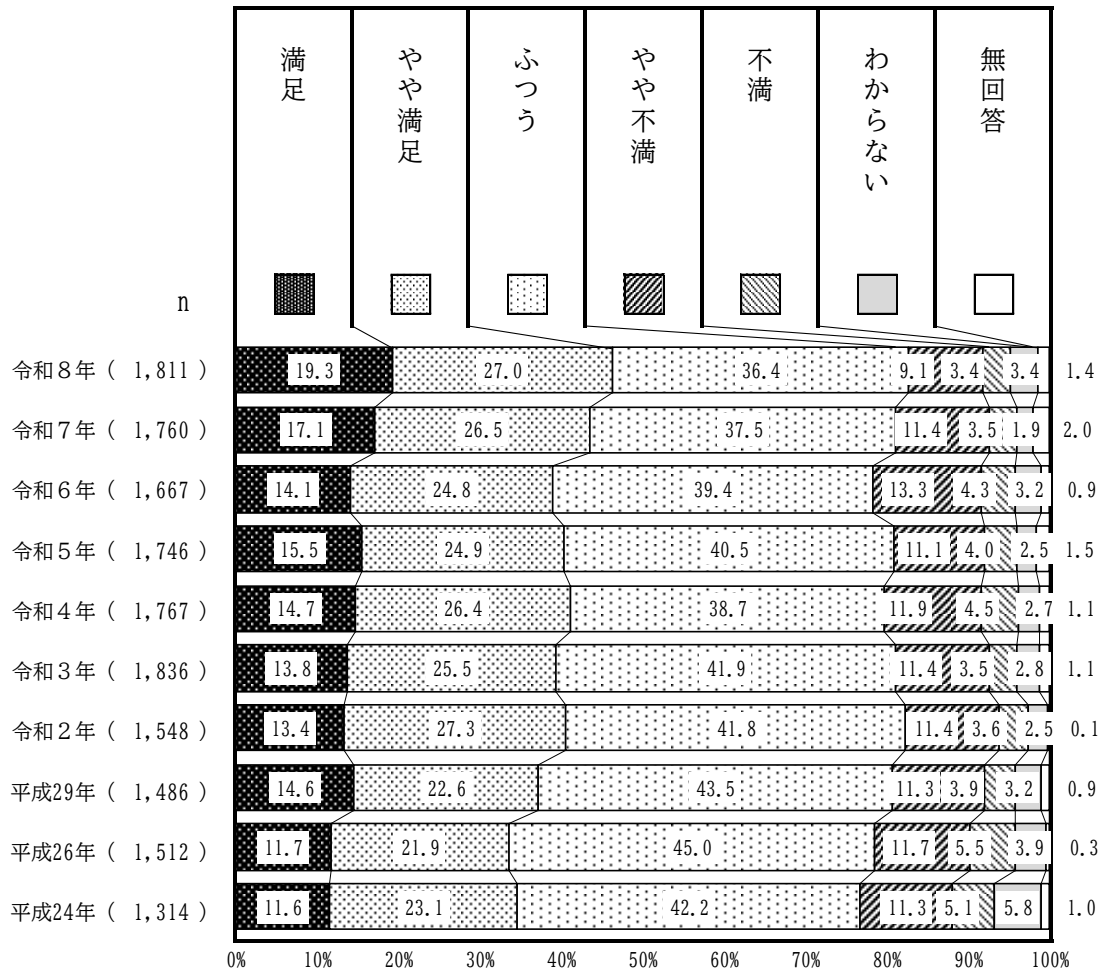
<図表1－60> ⑰健康相談・健康診査／居住地区別



【⑱病院・診療所の充実度／時系列比較】

令和7年と比較すると、「満足」が2.2ポイント、「やや満足」が0.5ポイント増加している。一方、「やや不満」が2.3ポイント、「不満」が0.1ポイント減少している。（図表1－61）

<図表1－61>⑱病院・診療所の充実度／時系列比較



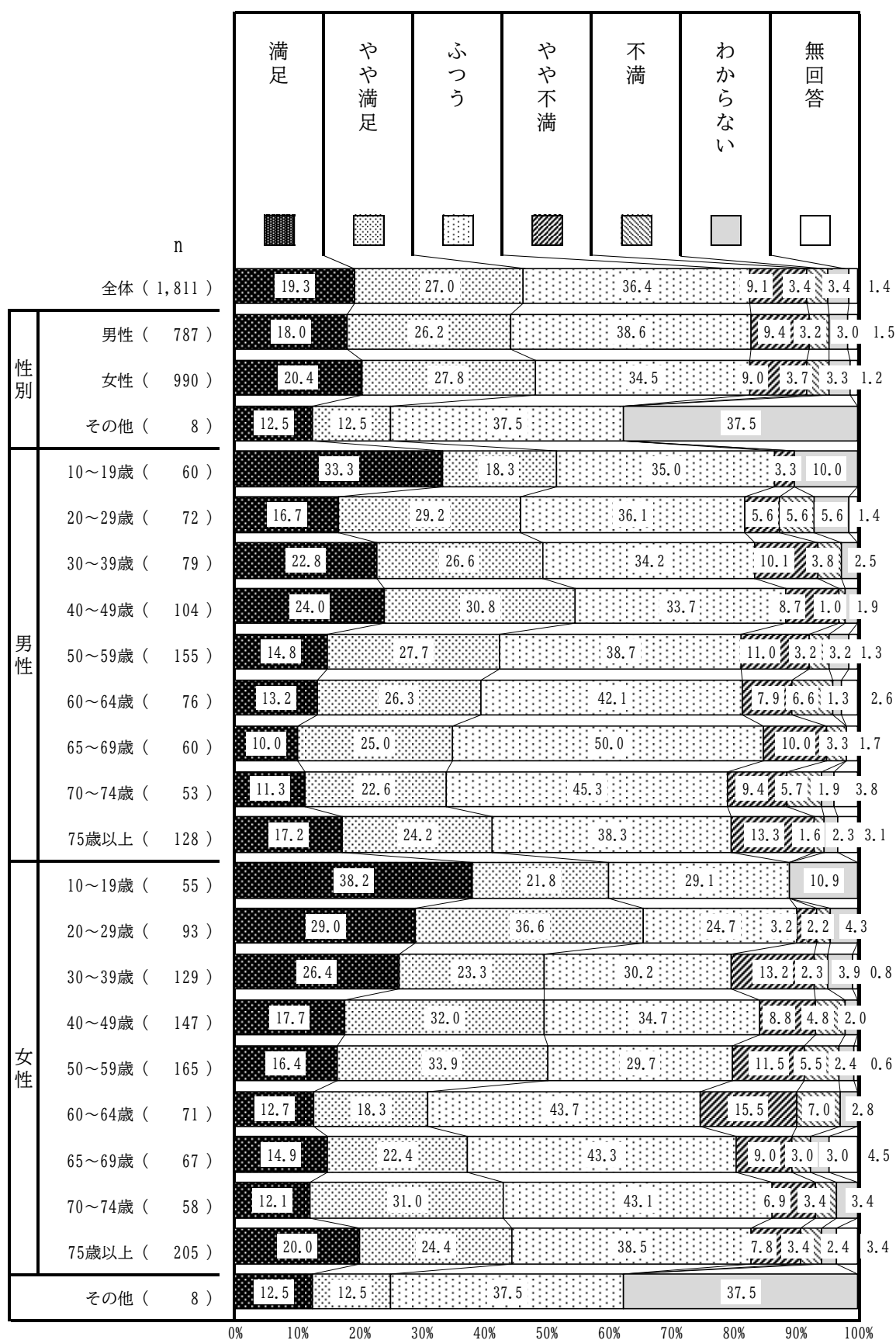
【⑱病院・診療所の充実度／性・年齢別】

「満足」は女性（20.4％）が男性（18.0％）に比べて2.4ポイント高くなっている。

男性において、「満足」と「やや満足」の合計は40～49歳（54.8％）が5割台半ばとなっている。

女性において、「満足」と「やや満足」の合計は20～29歳（65.6％）が6割台半ばとなっている。（図表1－62）

<図表1-62>⑱病院・診療所の充実度／性・年齢別

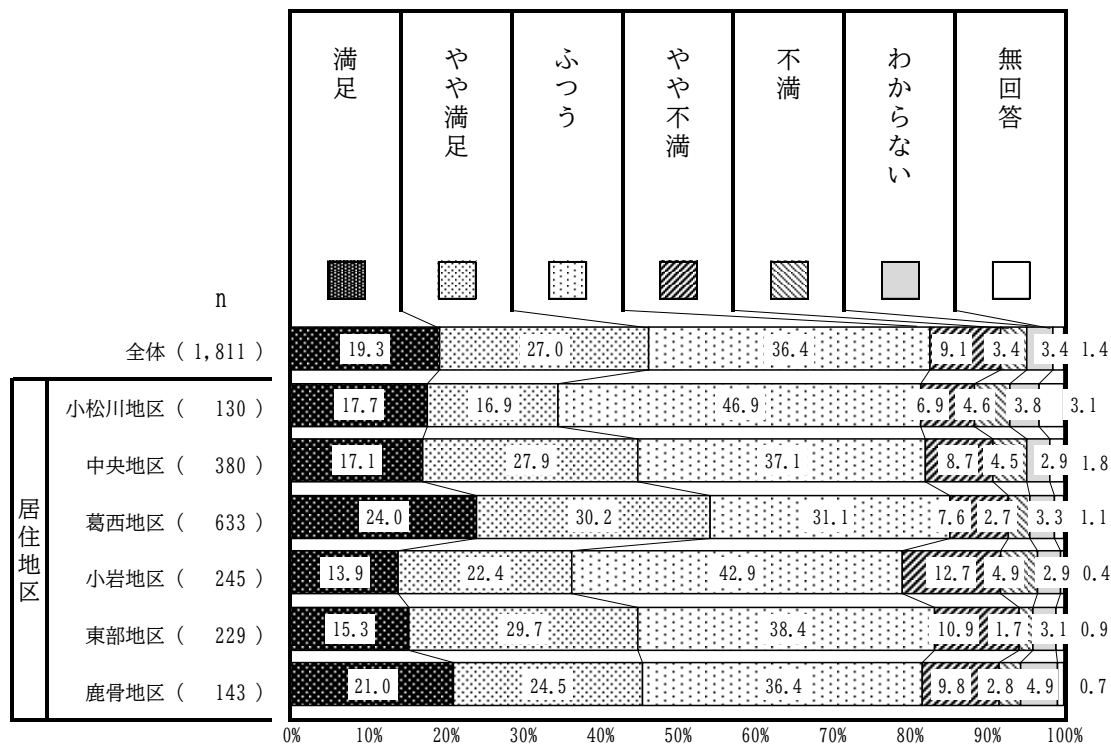


【⑱病院・診療所の充実度／居住地区別】

「満足」と「やや満足」の合計は葛西地区（54.2%）が5割台半ばとなっている。

（図表1－63）

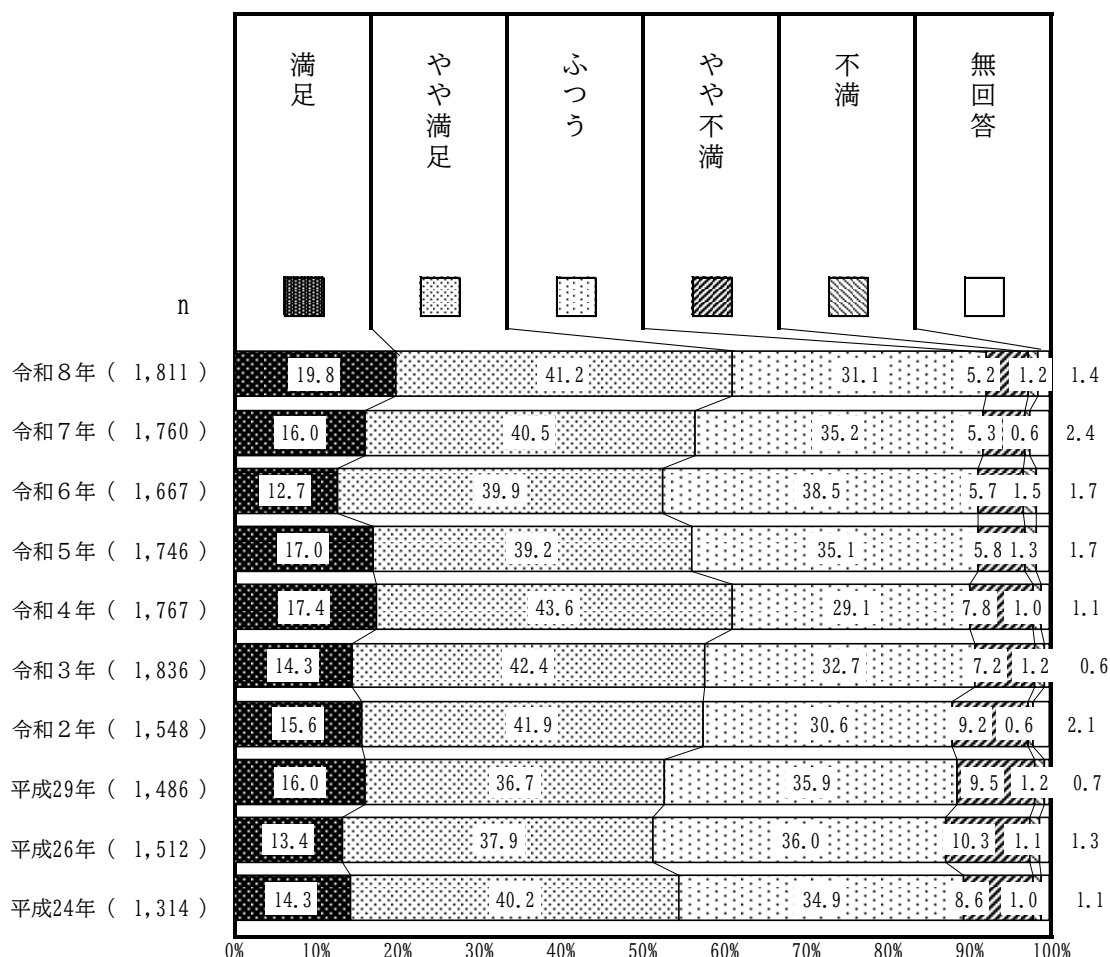
<図表1－63> ⑱病院・診療所の充実度／居住地区別



【⑨全体的な満足度／時系列比較】

令和7年と比較すると、「満足」が3.8ポイント、「やや満足」が0.7ポイント増加している。一方、「やや不満」が0.1ポイント減少し、「不満」が0.6ポイント増加している。（図表1－64）

<図表1－64>⑨全体的な満足度／時系列比較



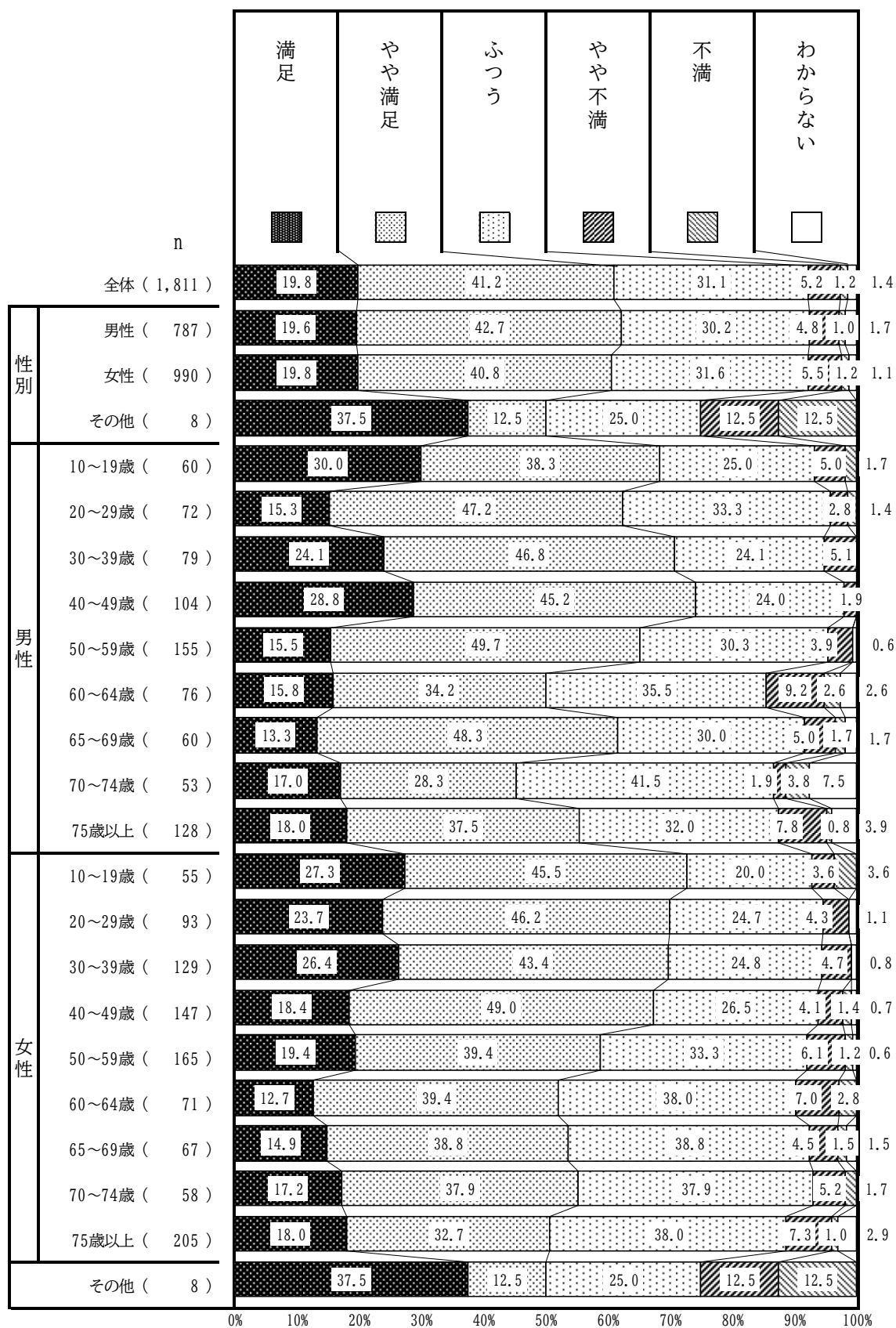
【⑨全体的な満足度／性・年齢別】

男性において、「満足」と「やや満足」の合計は40～49歳（74.0%）が7割台半ばとなっている。

女性において、「満足」と「やや満足」の合計は10～19歳（72.8%）が7割を超えている。

（図表1－65）

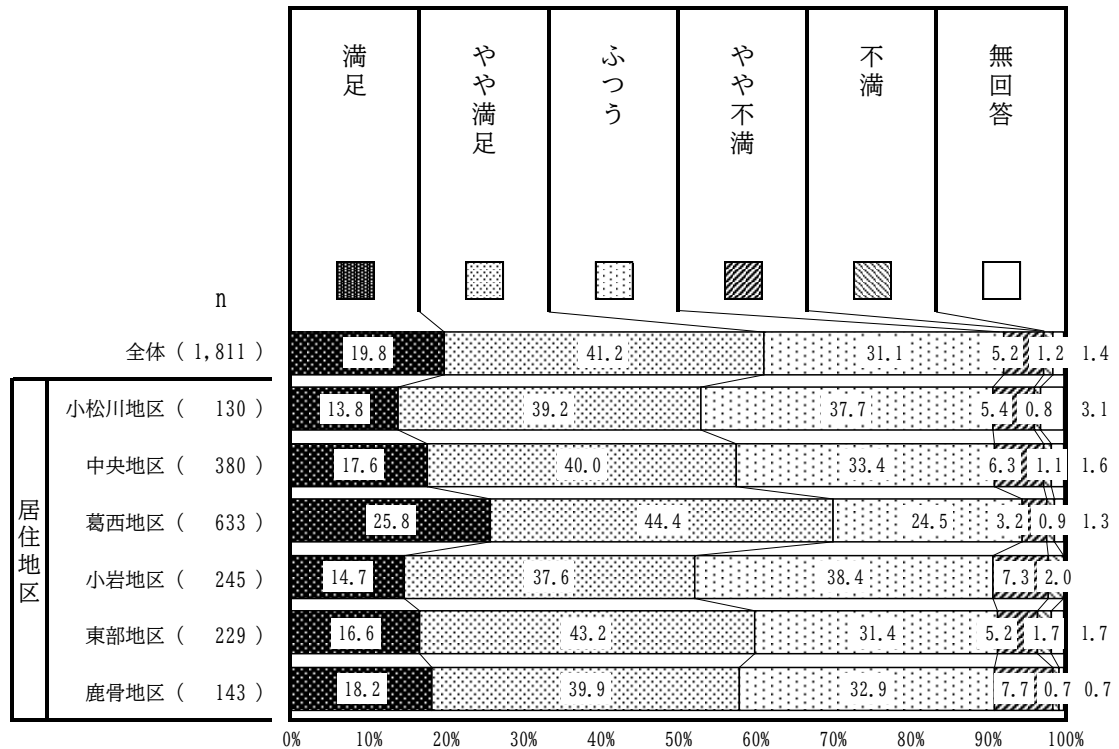
<図表1-65>⑨全体的な満足度／性・年齢別



【⑨全体的な満足度／居住地区別】

「満足」と「やや満足」の合計は葛西地区（70.2%）が7割となっている。（図表1－66）

<図表1－66> ⑨全体的な満足度／居住地区別



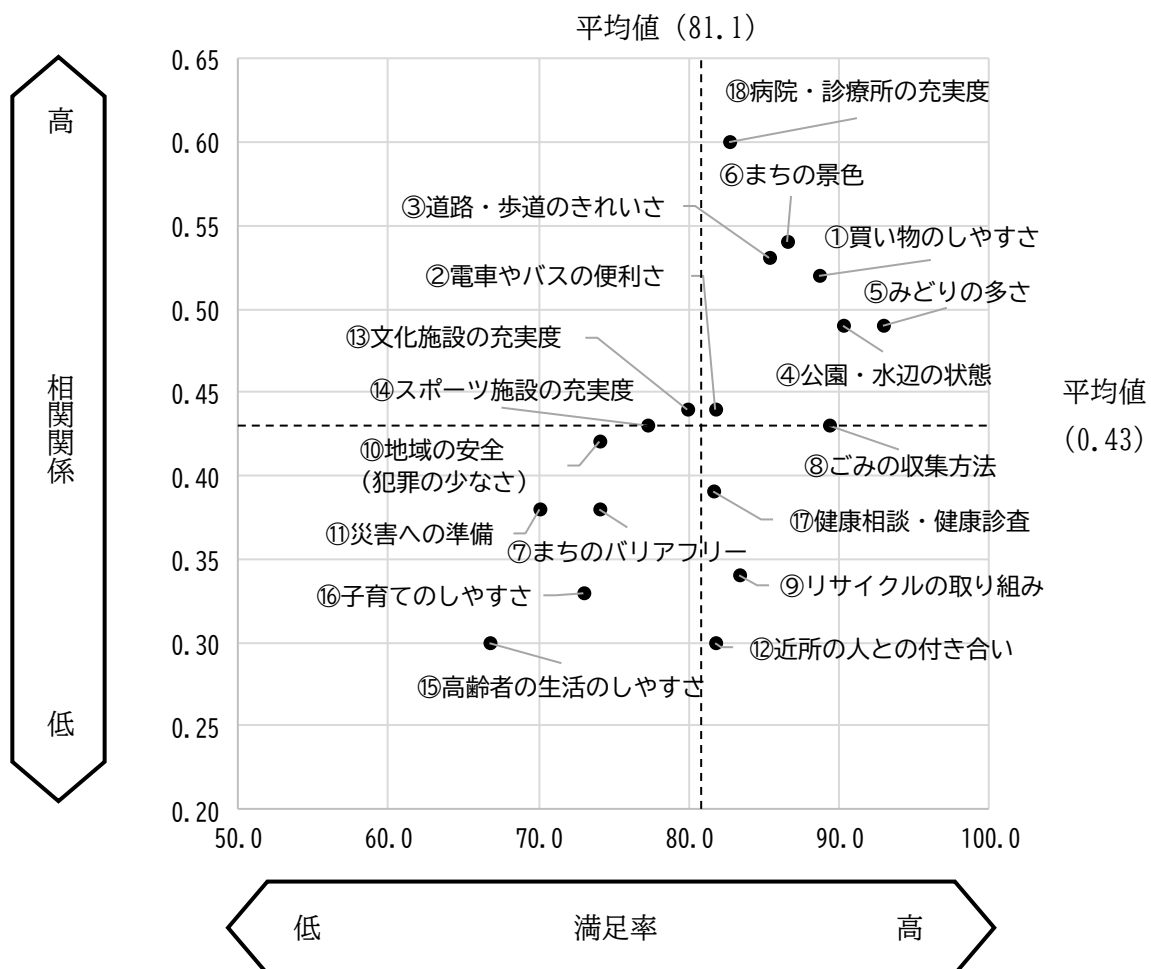
【相関分析】

「各項目の満足度」と「区の現況への満足度」から相関係数を算出し、それぞれの相関係数（①～⑮には「わからない」という選択肢があるが算出時には除外して計算している）と満足率（「満足」と「やや満足」と「ふつう」の合計の割合）から散布図を作成した。相関係数は0.2～0.4だと弱い相関関係が、0.4～0.7だと相関関係が、0.7～1.0だと強い相関関係があるとされている。

「全体的な満足度」と強い相関がある項目は見られないが、「⑮病院・診療所の充実度」（0.60）、「⑥まちの景色」（0.54）、「③道路・歩道のきれいさ」（0.53）、「①買い物のしやすさ」（0.52）、「④公園・水辺の状態」（0.49）、「⑤みどりの多さ」（0.49）、「②電車やバスの便利さ」（0.44）は相関係数が平均値（0.43）より高く、満足率も平均値（81.1%）を上回っている。

一方、「⑬文化施設の充実度」（0.44）は相関係数が平均値（0.43）より高いが、満足率は平均値（79.9%）を下回っている。この項目について改善していくことは全体的な満足度を向上させるために重要であるといえる。（図表1－67）

<図表1－67> 「各項目の満足度」と「全体的な満足度」との相関分析



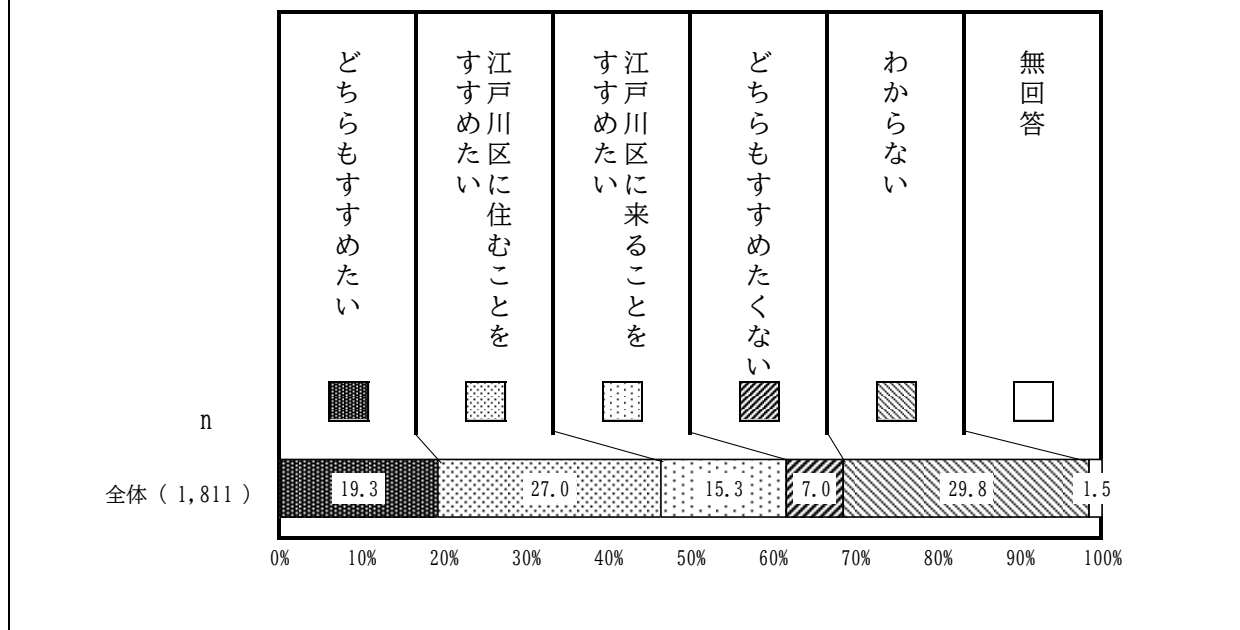
2. 江戸川区のおすすめ度について

(1) おすすめ度について

◇「江戸川区に住むことをすすめたい」が3割近く

問4 あなたは、江戸川区以外に住んでいる人たちに江戸川区に住むことや来ることをすすめたいですか。(○は1つ)

<図表2-1>おすすめ度



「江戸川区に住むことをすすめたい」(27.0%)が3割近くと最も高く、「どちらもすすめたい」(19.3%)が約2割、「江戸川区に来ることをすすめたい」(15.3%)が1割台半ばとなっている。

(図表2-1)

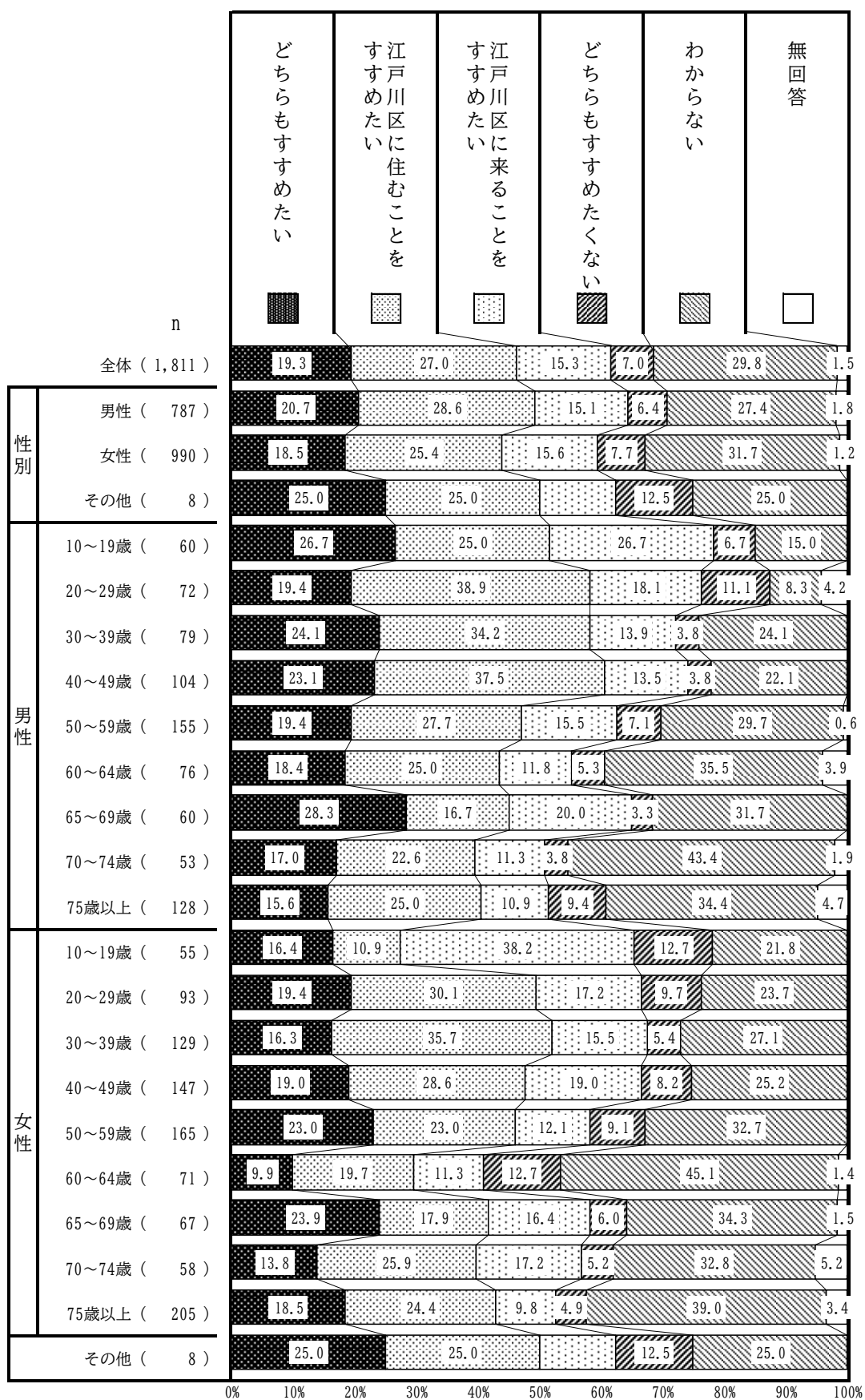
【性・年齢別】

「どちらもすすめたい」は男性(20.7%)が女性(18.5%)に比べて2.2ポイント高くなっている。

男性において、「江戸川区に住むことをすすめたい」は20～29歳(38.9%)が4割近くと高くなっている。

女性において、「江戸川区に住むことをすすめたい」は30～39歳(35.7%)が3割台半ばと高くなっている。(図表2-2)

<図表2-2>おすすめ度／性・年齢別



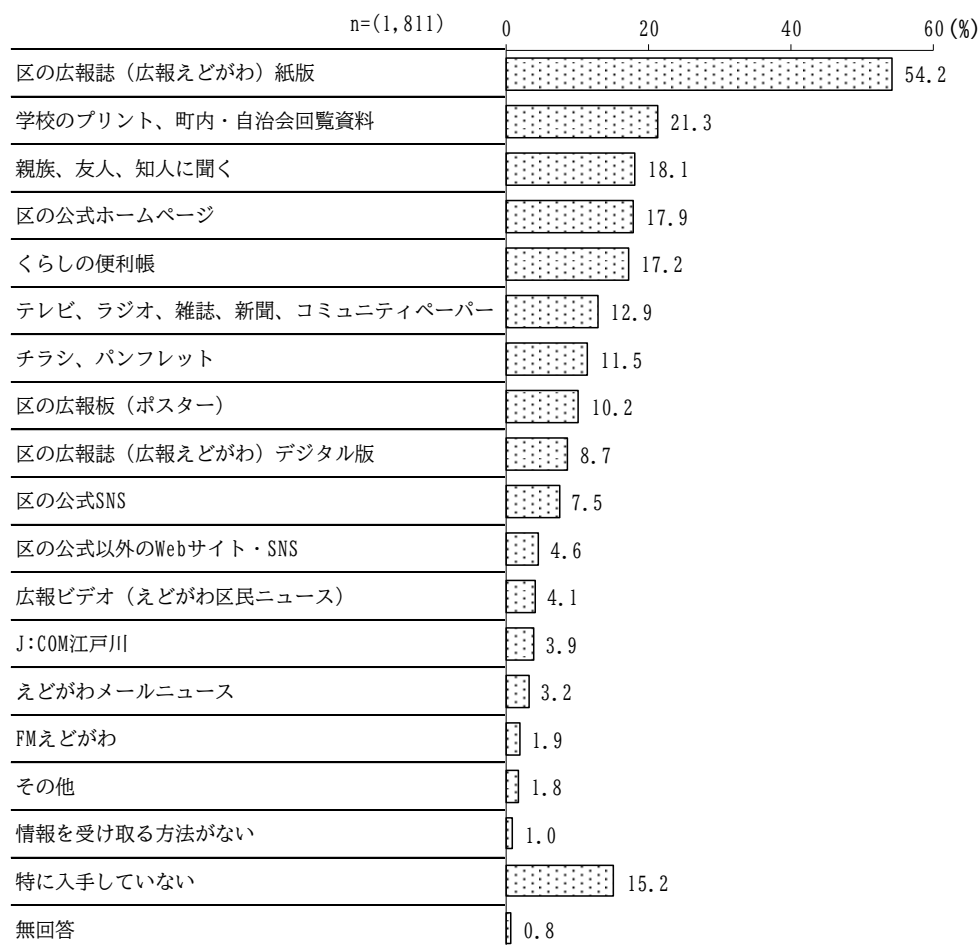
3. 広報とデジタル化について

(1) 情報の入手手段

◇「区の広報誌（広報えどがわ）紙版」が5割台半ばで最も高い。

問5 あなたは、江戸川区からのお知らせや情報をどのような方法で見たり聞いたりしていますか。（〇はいくつでも）

<図表3-1>情報の入手手段



「区の広報誌（広報えどがわ）紙版」（54.2%）が5割台半ばと最も高く、次いで「学校のプリント、町内・自治会回覧資料」（21.3%）、「親族、友人、知人に聞く」（18.1%）、「区の公式ホームページ」（17.9%）と続いている。（図表3-1）

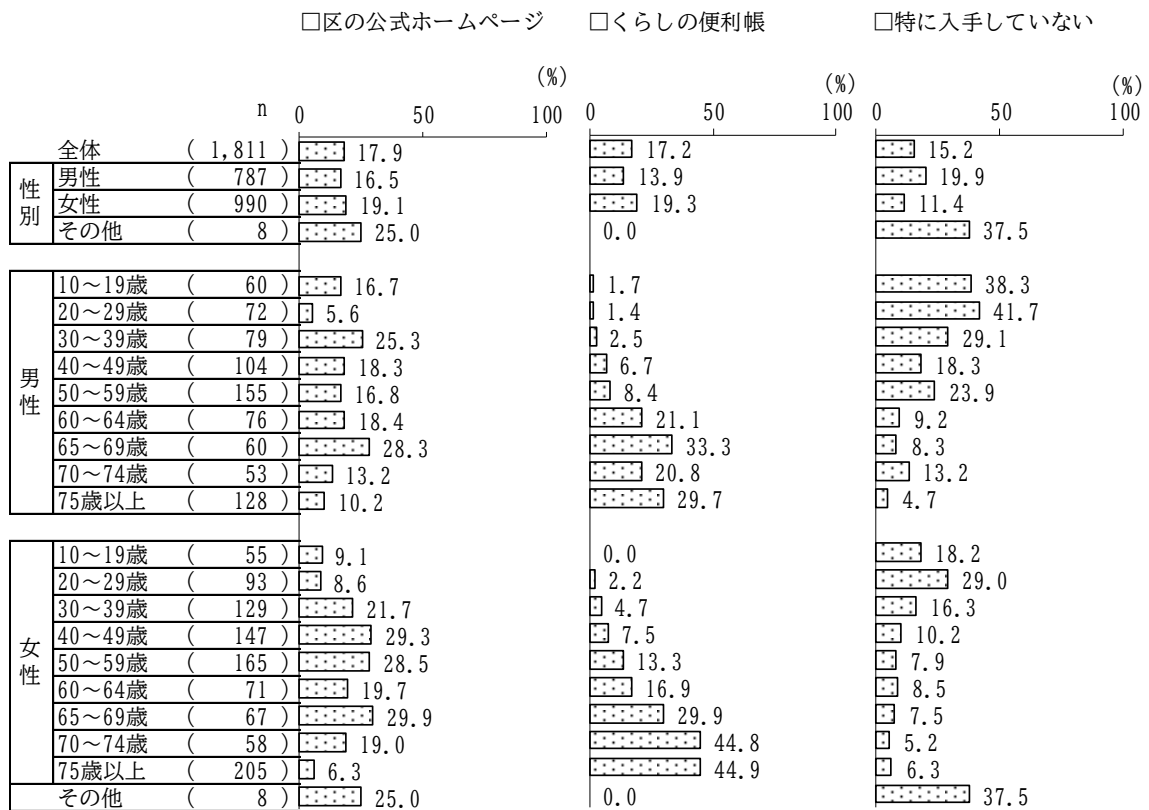
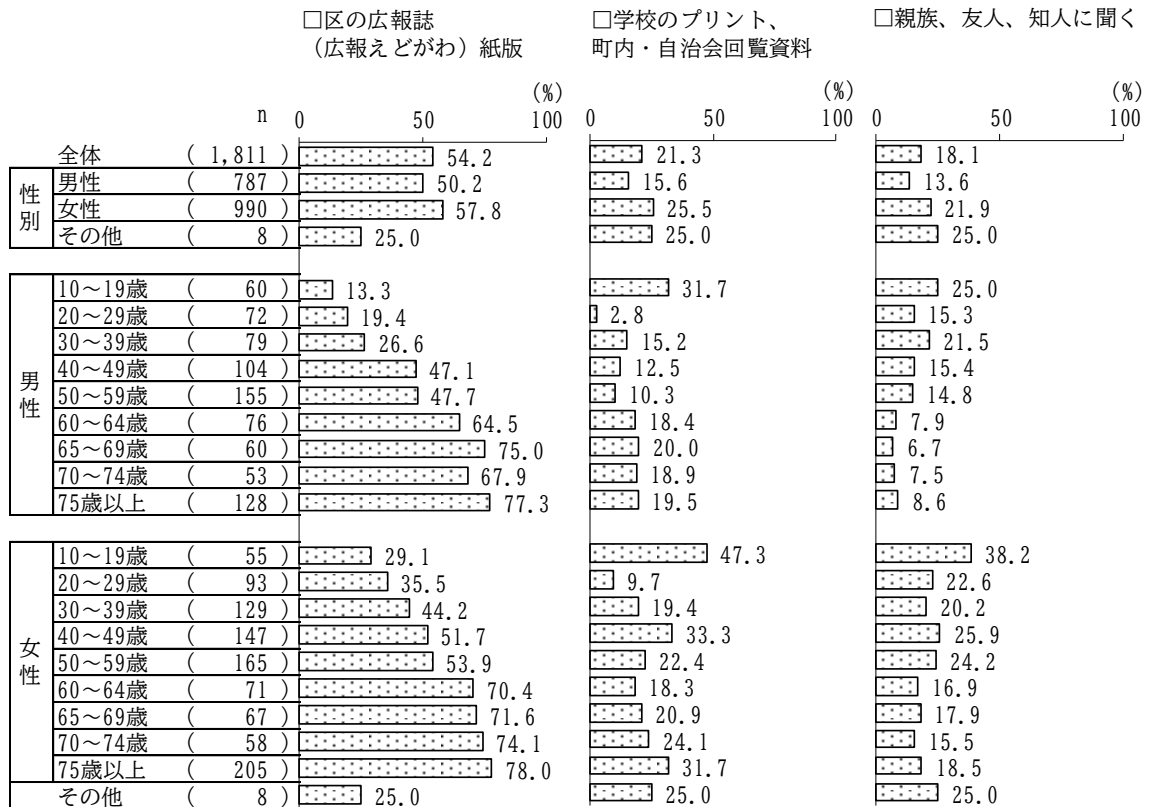
【性・年齢別】

「区の広報誌（広報えどがわ）紙版」は女性（57.8%）が男性（50.2%）に比べて7.6ポイント高くなっている。

男性において、「区の広報誌（広報えどがわ）紙版」は、75歳以上（77.3%）が8割近くと高くなっている。

女性において、「区の広報誌（広報えどがわ）紙版」は、75歳以上（78.0%）が8割近くと高くなっている。（図表3-2）

<図表3-2>情報の入手手段（上位6項目）／性・年齢別

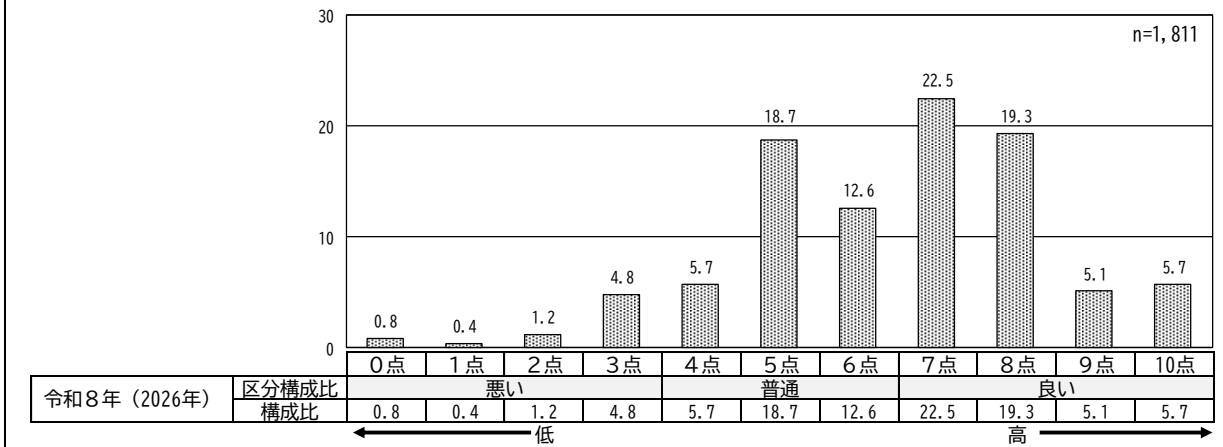


(2) 江戸川区へのイメージ

◇『良いイメージ』（7点～10点の合計）は5割を超える。

問6 あなたが思う江戸川区のイメージについてお答えください。（○は1つ）

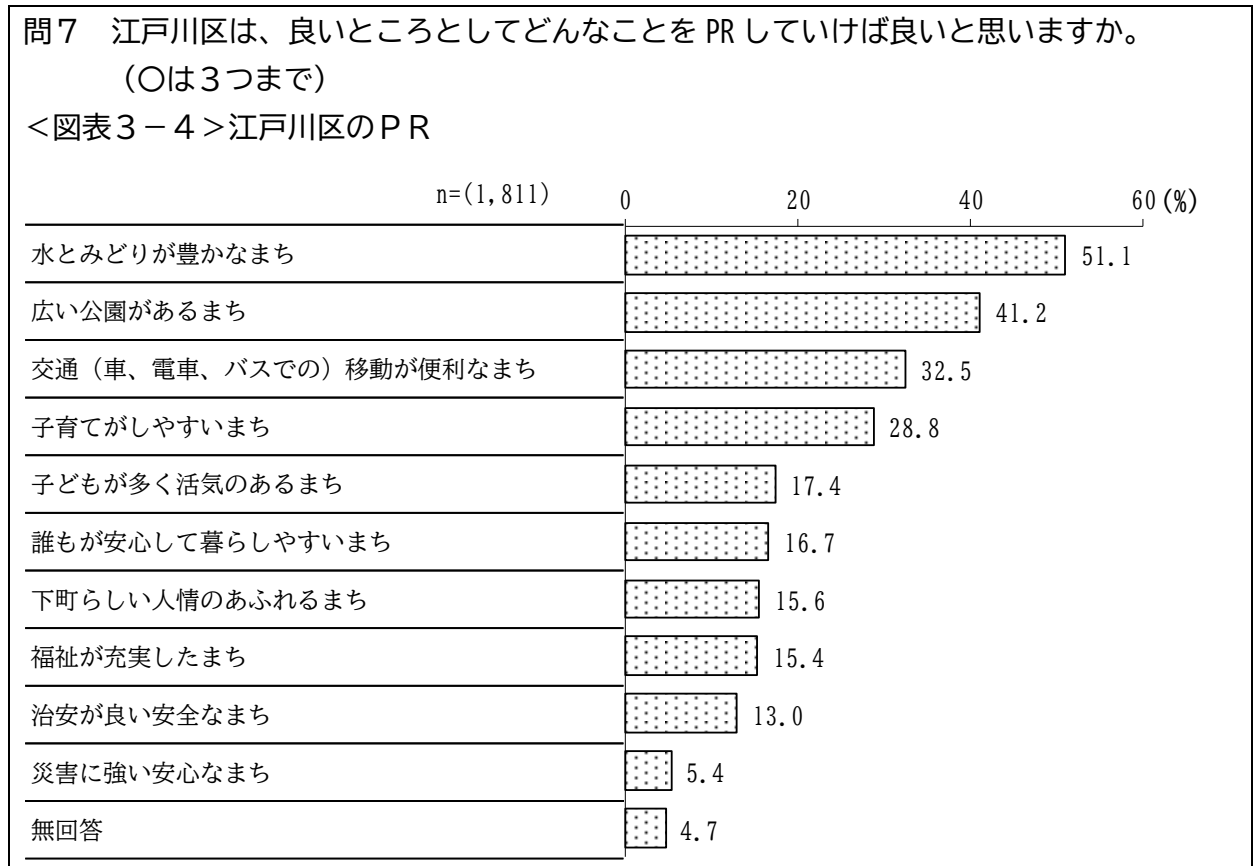
<図表3-3>



江戸川区のイメージ（10点満点）は、「7点」（22.5%）が2割を超えて最も高く、『良いイメージ』（7点～10点の合計）（52.6%）は5割を超えている。（図表3-3）

(3) 江戸川区のPR

◇「水とみどりが豊かなまち」が5割を超えて最も高い。



「水とみどりが豊かなまち」(51.1%)が5割を超えて最も高く、次いで「広い公園があるまち」(41.2%)、「交通（車、電車、バスでの）移動が便利なまち」(32.5%)、「子育てがしやすいまち」(28.8%)と続いている。(図表3-4)

【性・年齢別】

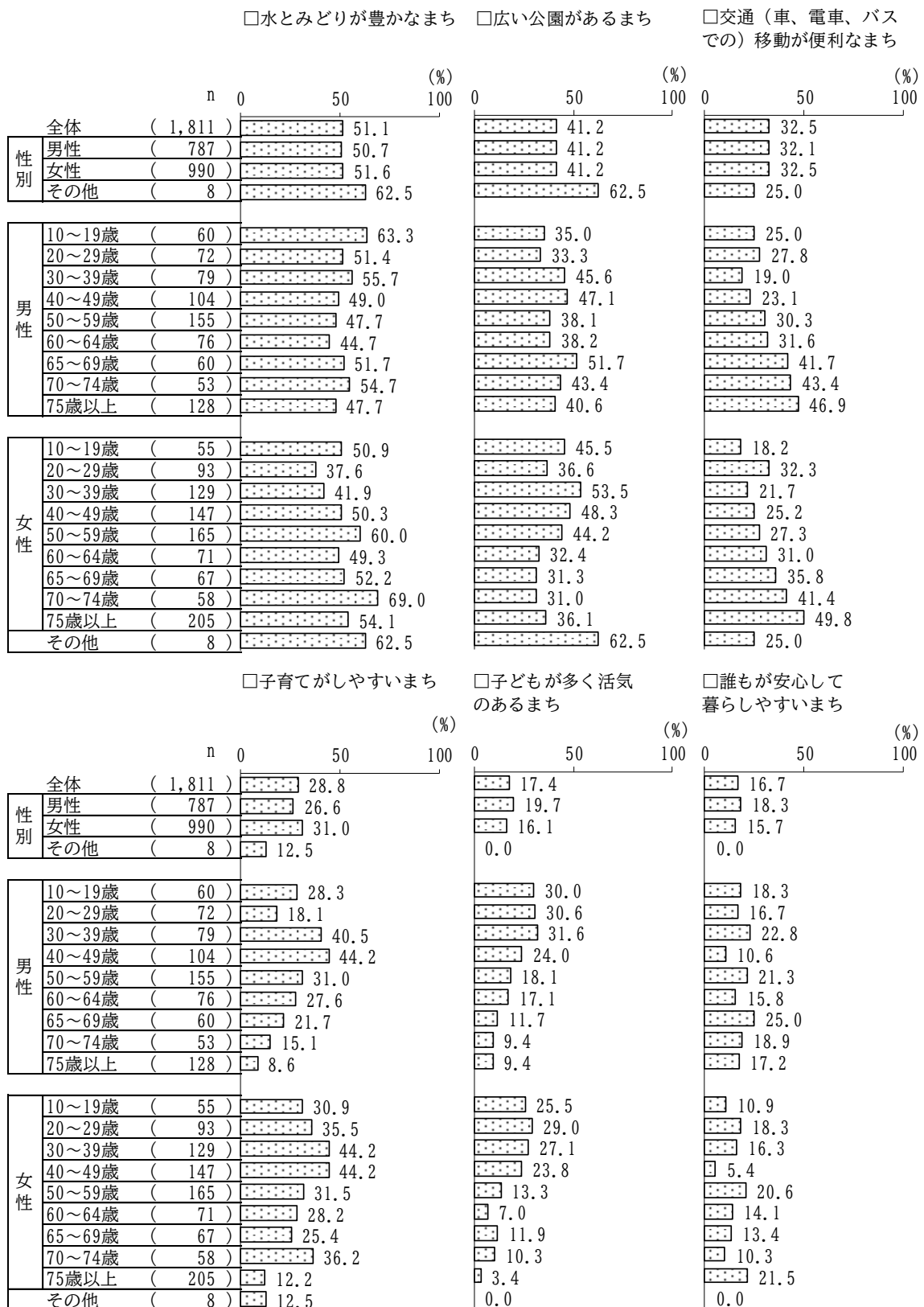
「水とみどりが豊かなまち」は女性(51.6%)が男性(50.7%)に比べて0.9ポイント高くなっている。

男性において、「水とみどりが豊かなまち」は10～19歳(63.3%)が6割を超えて高くなっている。

女性において、「水とみどりが豊かなまち」は70～74歳(69.0%)が約7割と高くなっている。

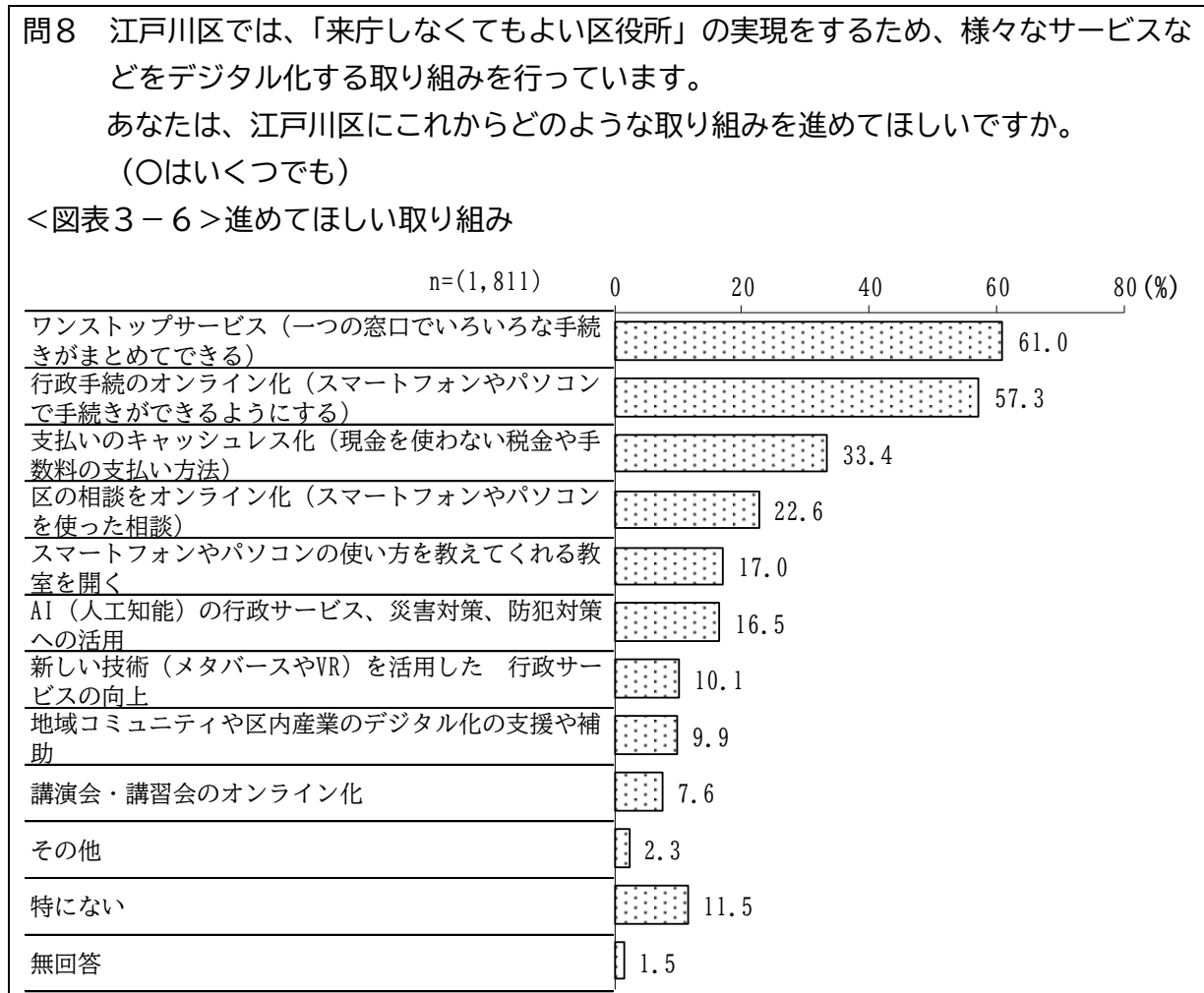
(図表3-5)

<図表3-5>江戸川区のPR（上位6項目）／性・年齢別



(4) 進めてほしい取り組み

◇「ワンストップサービス」が6割を超えて最も高い。



「ワンストップサービス (一つの窓口でいろいろな手続きがまとめてできる)」(61.0%) が6割を超えて最も高く、次いで「行政手続のオンライン化 (スマートフォンやパソコンで手続きができるようにする)」(57.3%)、「支払いのキャッシュレス化 (現金を使わない税金や手数料の支払い方法)」(33.4%)、「区の相談をオンライン化 (スマートフォンやパソコンを使った相談)」(22.6%) と続いている。(図表3-6)

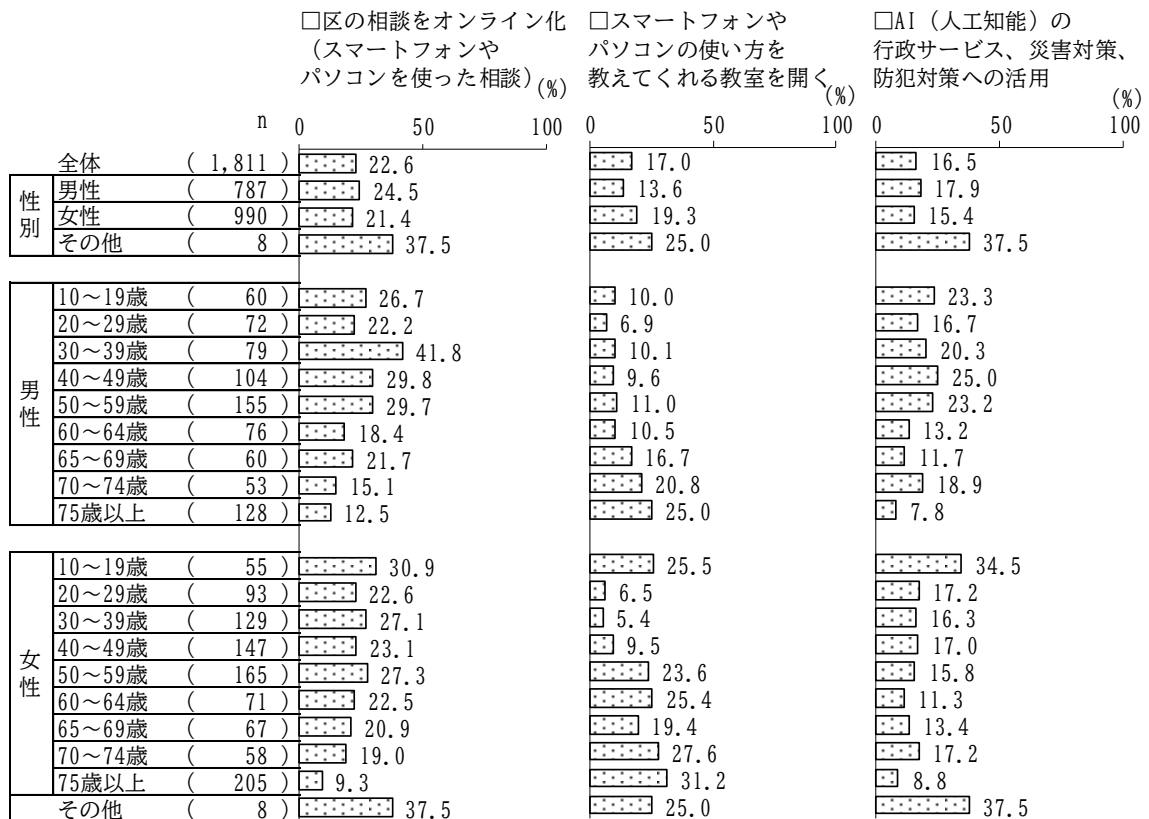
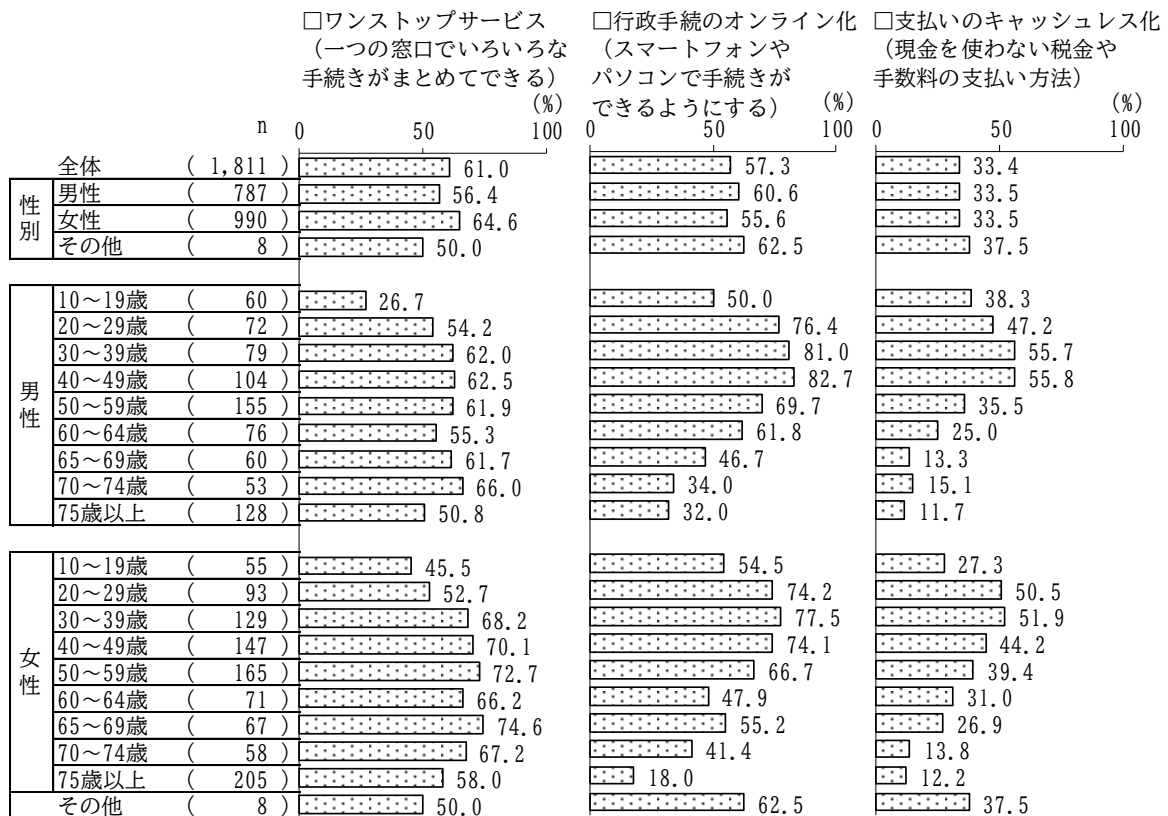
【性・年齢別】

「ワンストップサービス (一つの窓口でいろいろな手続きがまとめてできる)」は女性 (64.6%) が男性 (56.4%) に比べて8.2ポイント高くなっている。

男性において、「ワンストップサービス (一つの窓口でいろいろな手続きがまとめてできる)」は70～74歳 (66.0%) が6割台半ばと高くなっている。

女性において、「ワンストップサービス (一つの窓口でいろいろな手続きがまとめてできる)」は65～69歳 (74.6%) が7割台半ばと高くなっている。(図表3-7)

<図表3-7>進めてほしい取り組み（上位6項目）／性・年齢別



4. パブリック・コメントについて

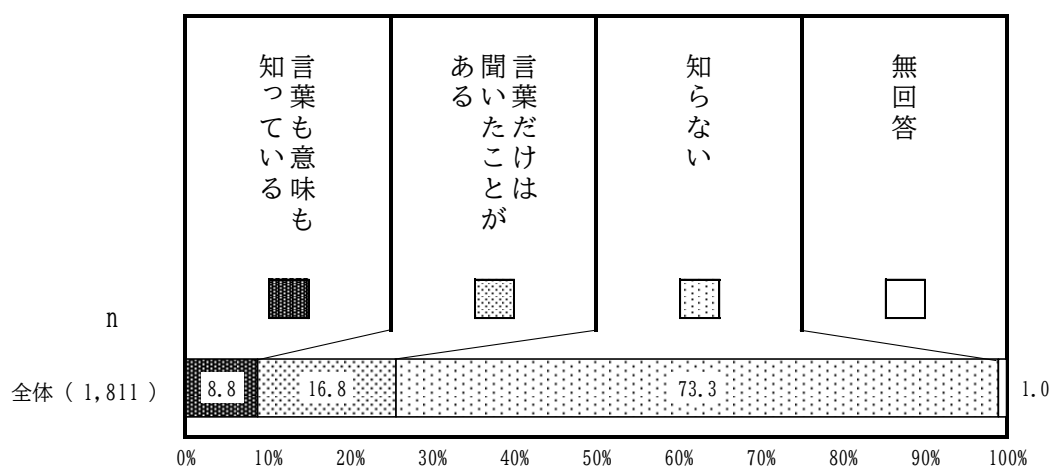
(1) パブリック・コメントの認知度

◇「言葉も意味も知っている」「言葉だけは聞いたことがある」で2割台半ば。

問9 江戸川区では、区民のみなさんが区の会議に参加したり、窓口に来たときにアンケート調査を行ったりするなど、区政に参加してもらうためのさまざまな取り組みをしています。その一つとして、条例や計画などの具体的な案ができた段階で、広報えどがわに添付したハガキの郵送や区ホームページでご意見を伺う「意見募集（パブリック・コメント）」を行っています。

あなたは、この取り組みを知っていますか。（○は1つ）

<図表4-1>パブリック・コメントの認知度



「言葉も意味も知っている」（8.8％）が1割未満、「言葉だけは聞いたことがある」（16.8％）が2割近くとなっている。一方、「知らない」（73.3％）が7割を超えている。（図表4-1）

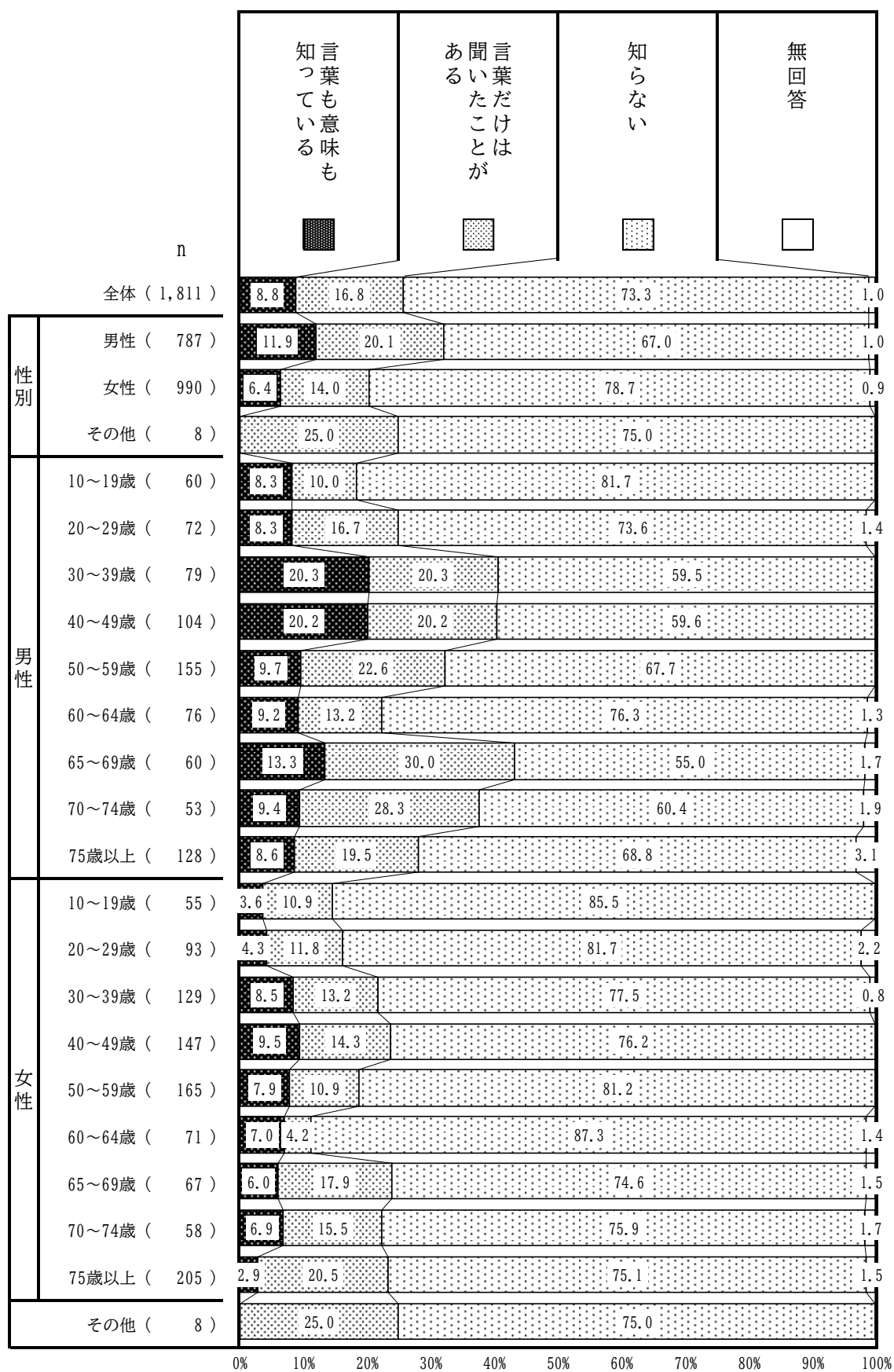
【性・年齢別】

「言葉も意味も知っている」は男性（11.9％）が女性（6.4％）に比べて5.5ポイント高くなっている。

男性において、「知らない」は10～19歳（81.7％）が8割を超えて高くなっている。

女性において、「知らない」は60～64歳（87.3％）が9割近くと高くなっている。（図表4-2）

<図表4-2>パブリック・コメントの認知度／性・年齢別



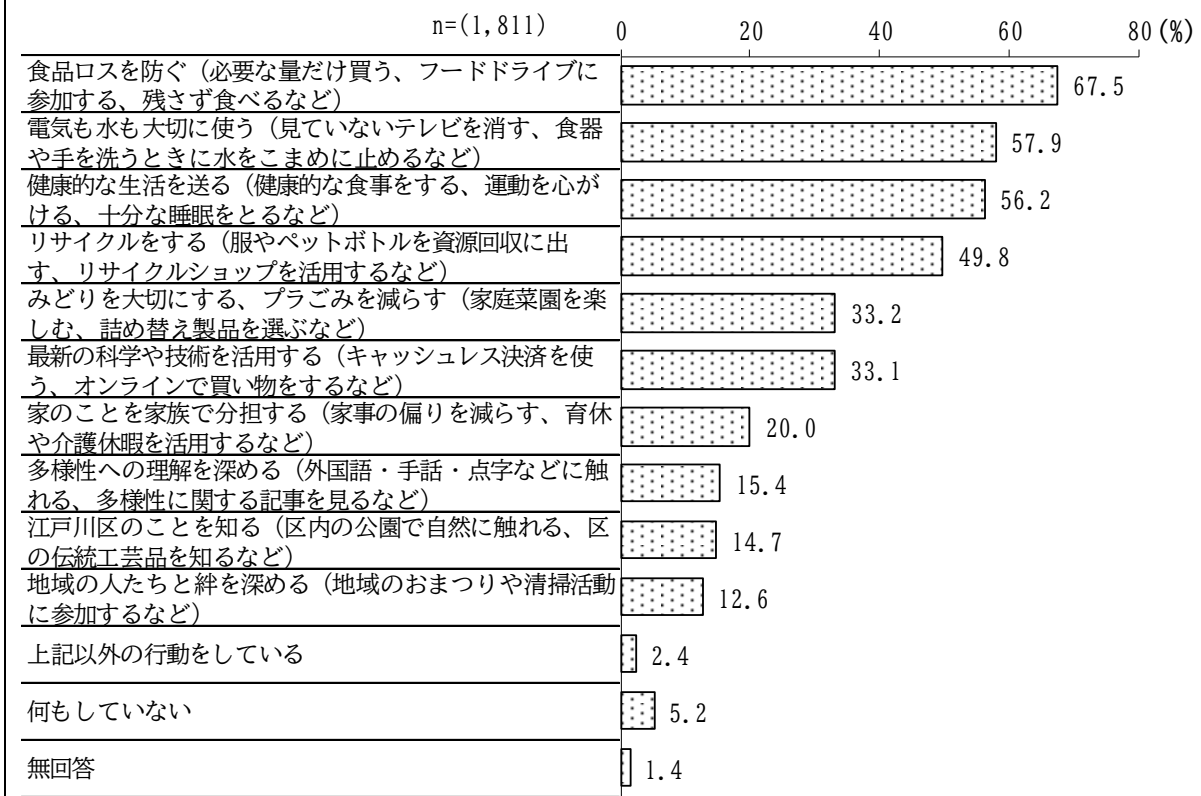
5. SDGsについて

(1) 普段から取り組んでいるSDGsの行動

◇「食品ロスを防ぐ」が7割近くで最も高く、普段から1つ以上SDGsの行動に取り組んでいる人の割合は9割を超えている。

問10 あなたが、生活の中で普段から取り組んでいるSDGsの行動をお答えください。
(○はいくつでも)

<図表5-1> 普段から取り組んでいるSDGsの行動



「食品ロスを防ぐ（必要な量だけ買う、フードドライブに参加する、残さず食べるなど）」（67.5%）が7割近くと最も高く、次いで「電気も水も大切に使う（見ていないテレビを消す、食器や手を洗うときに水をこまめに止めるなど）」（57.9%）、「健康的な生活を送る（健康的な食事をする、運動を心がける、十分な睡眠をとるなど）」（56.2%）、「リサイクルをする（服やペットボトルを資源回収に出す、リサイクルショップを活用するなど）」（49.8%）と続いている。

（図表5-1）

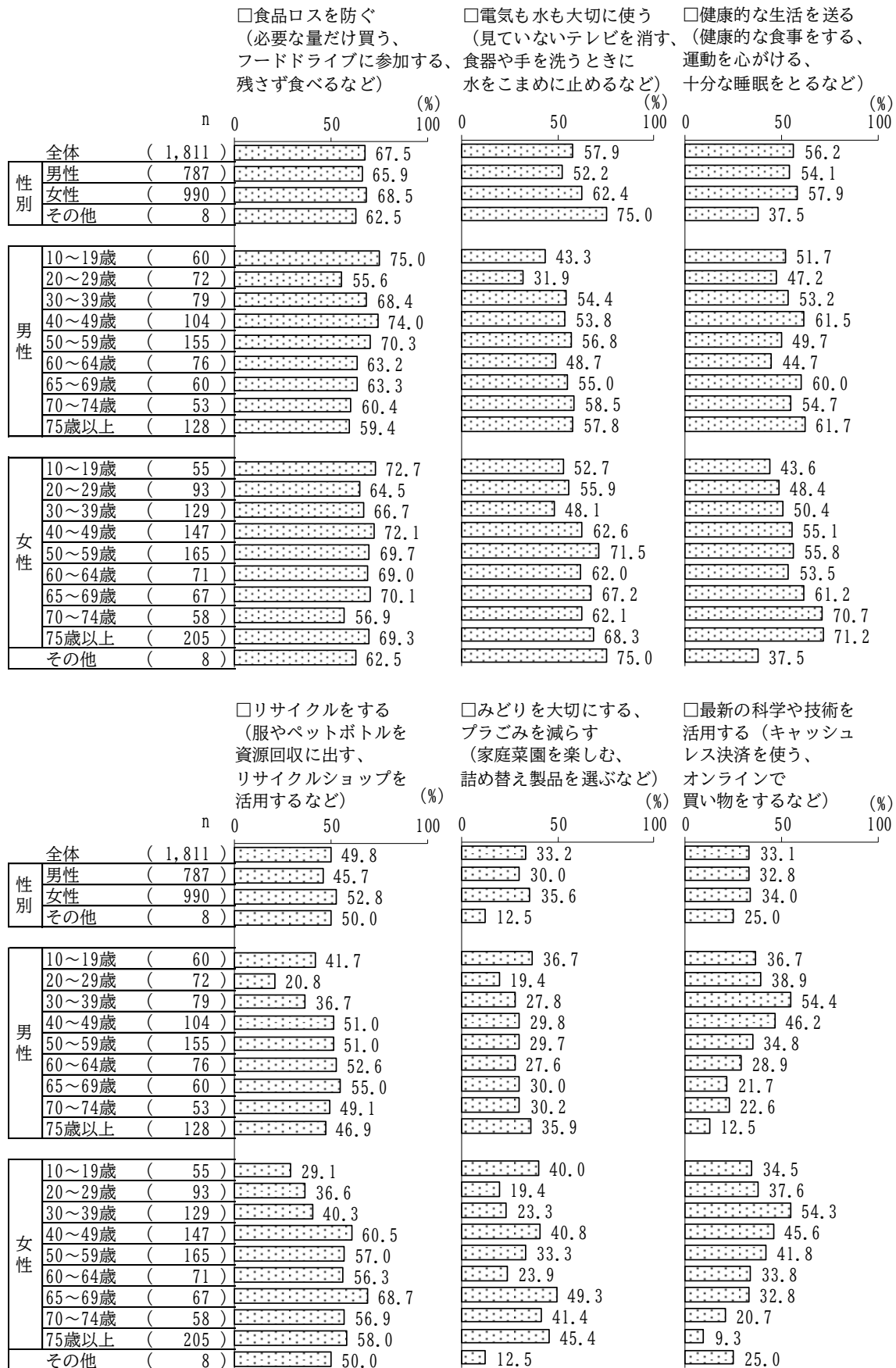
【性・年齢別】

「食品ロスを防ぐ（必要な量だけ買う、フードドライブに参加する、残さず食べるなど）」は女性（68.5%）が男性（65.9%）に比べて2.6ポイント高くなっている。

男性において、「食品ロスを防ぐ（必要な量だけ買う、フードドライブに参加する、残さず食べるなど）」は10～19歳（75.0%）が7割台半ばと高くなっている。

女性において、「食品ロスを防ぐ（必要な量だけ買う、フードドライブに参加する、残さず食べるなど）」は10～19歳（72.7%）が7割を超えて高くなっている。（図表5-2）

<図表5-2> 普段から取り組んでいるSDGsの行動（上位6項目）／性・年齢別



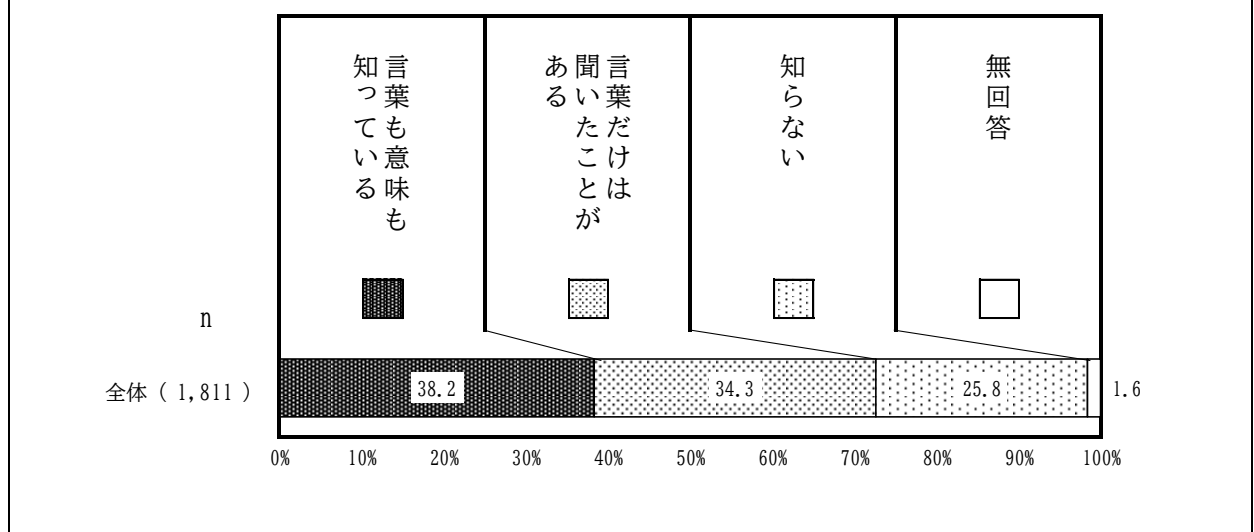
6. 共生社会について

(1) 共生社会についての認知度

◇「言葉も意味も知っている」が4割近くで最も高く、「言葉だけは聞いたことがある」を合わせると7割を超えている。

問11 江戸川区には、子どもから高齢者、障害や病気のある方、外国人などさまざまな方々が暮らしています。そうした誰もが、互いのちがいを認め合い、支え合いながら自分らしく暮らせる社会を「共生社会」といいます。あなたは、「共生社会」を知っていますか。(○は1つ)

<図表6-1> 共生社会についての認知度



「言葉も意味も知っている」(38.2%)が4割近く、「言葉だけは聞いたことがある」(34.3%)が3割台半ばとなっている。一方、「知らない」(25.8%)が2割台半ばとなっている。

(図表6-1)

【性・年齢別】

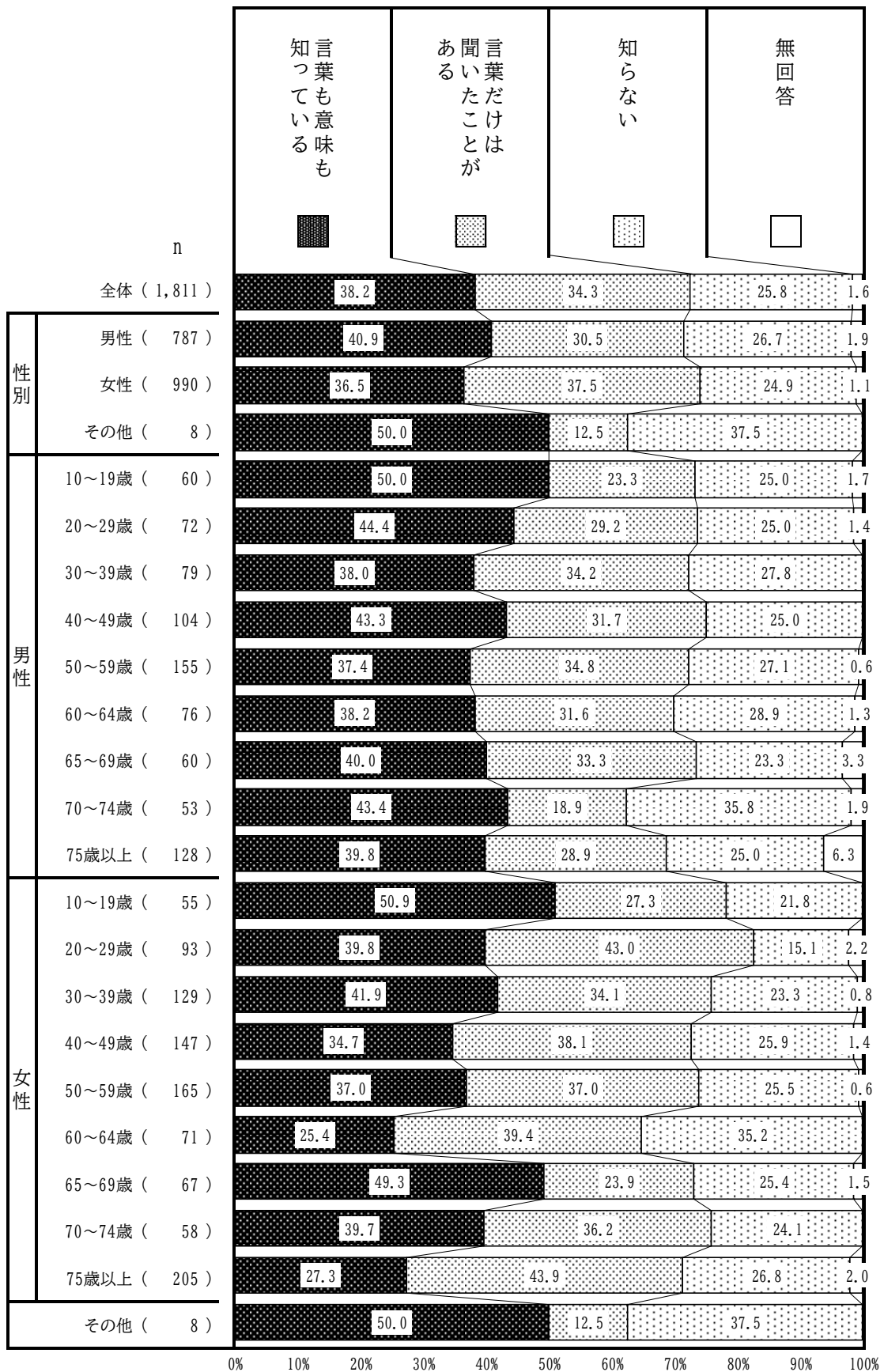
「言葉も意味も知っている」は男性(40.9%)が女性(36.5%)に比べて4.4ポイント高くなっている。

男性において、「言葉も意味も知っている」は10～19歳(50.0%)が5割となっている。

女性において、「言葉も意味も知っている」は10～19歳(50.9%)が約5割となっている。

(図表6-2)

<図表6-2> 共生社会についての認知度／性・年齢別



7. 人権について

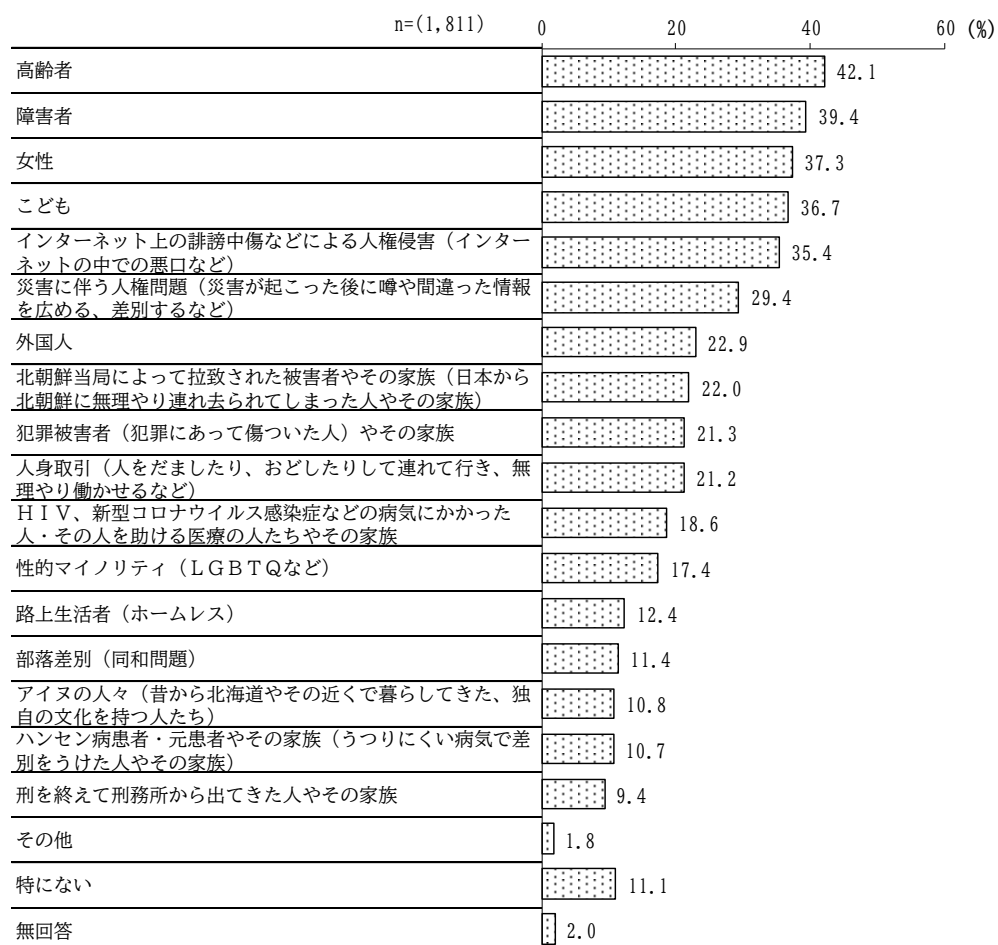
(1) 関心のある人権課題

◇「高齢者」が4割を超えて最も高い。

問 12 人権とは、生まれたときから誰もが持っている自分らしく幸せに生きるための大切な権利です。日本の人権への課題について、あなたが関心のあるものはどれですか。

(○はいくつでも)

<図表7-1> 関心のある人権課題



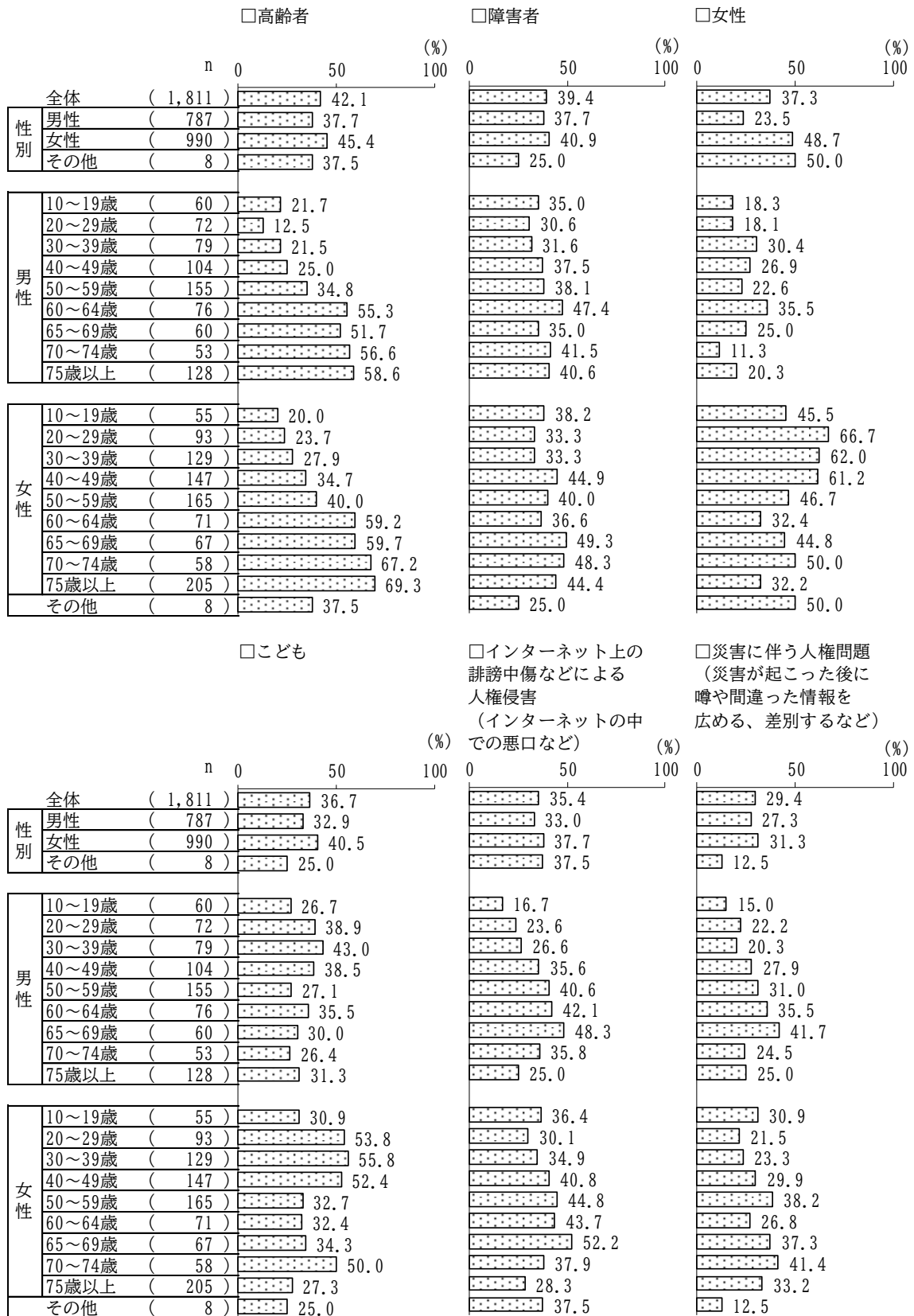
「高齢者」（42.1%）が4割を超えて最も高く、次いで「障害者」（39.4%）、「女性」（37.3%）、「子ども」（36.7%）と続いている。一方、「刑を終えて刑務所から出てきた人やその家族」（9.4%）は1割未満と低い。（図表7-1）

【性・年齢別】

「女性」は女性（48.7%）が男性（23.5%）に比べて25.2ポイント高くなっている。

「高齢者」は女性75歳以上（69.3%）が約7割と高くなっている。「子ども」は女性30～39歳（55.8%）が5割台半ばと高くなっている。「災害に伴う人権問題」は男性65～69歳（41.7%）と女性70～74歳（41.4%）が4割を超えて高くなっている。（図表7-2）

<図表7-2> 関心のある人権課題（上位6項目）／性・年齢別



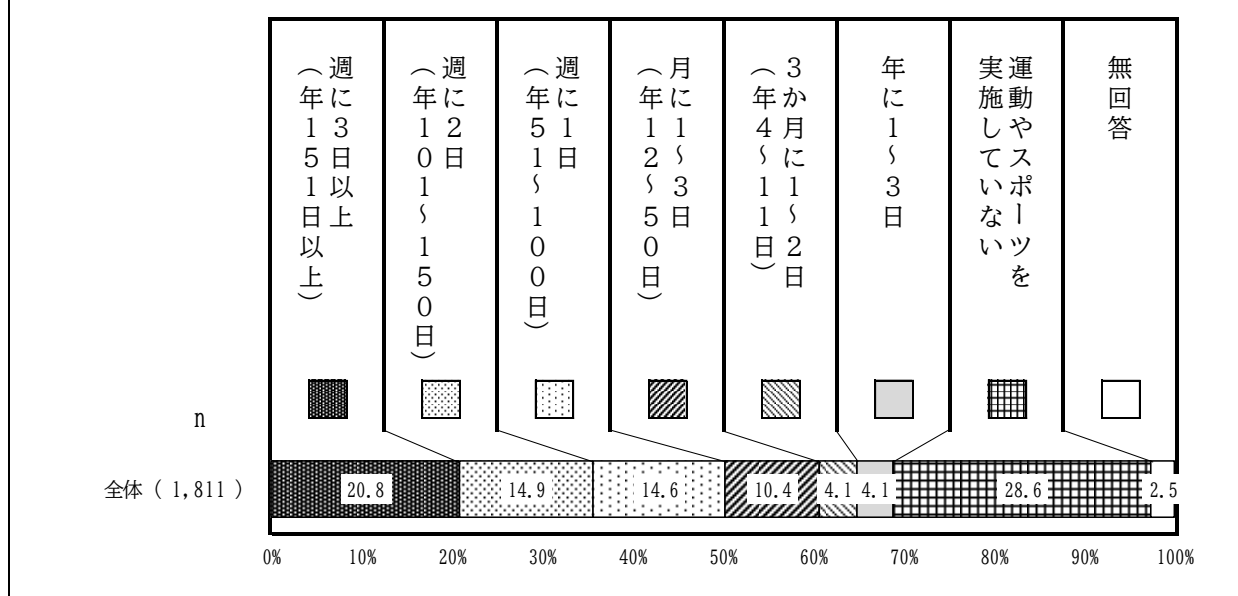
8. スポーツについて

(1) 運動の頻度

◇「週に3日以上（年151日以上）」（20.8%）が約2割で最も高い。

問13 あなたは、この1年間に運動やスポーツをどのくらいしましたか。（○は1つ）

<図表8-1>運動の頻度



「週に3日以上（年151日以上）」（20.8%）が約2割で最も高く、次いで「週に2日（年101～150日）」（14.9%）が1割台半ば、「週に1日（年51～100日）」（14.6%）が1割台半ばで続いている。一方、「運動やスポーツを実施していない」（28.6%）が3割近くとなっている。

（図表8-1）

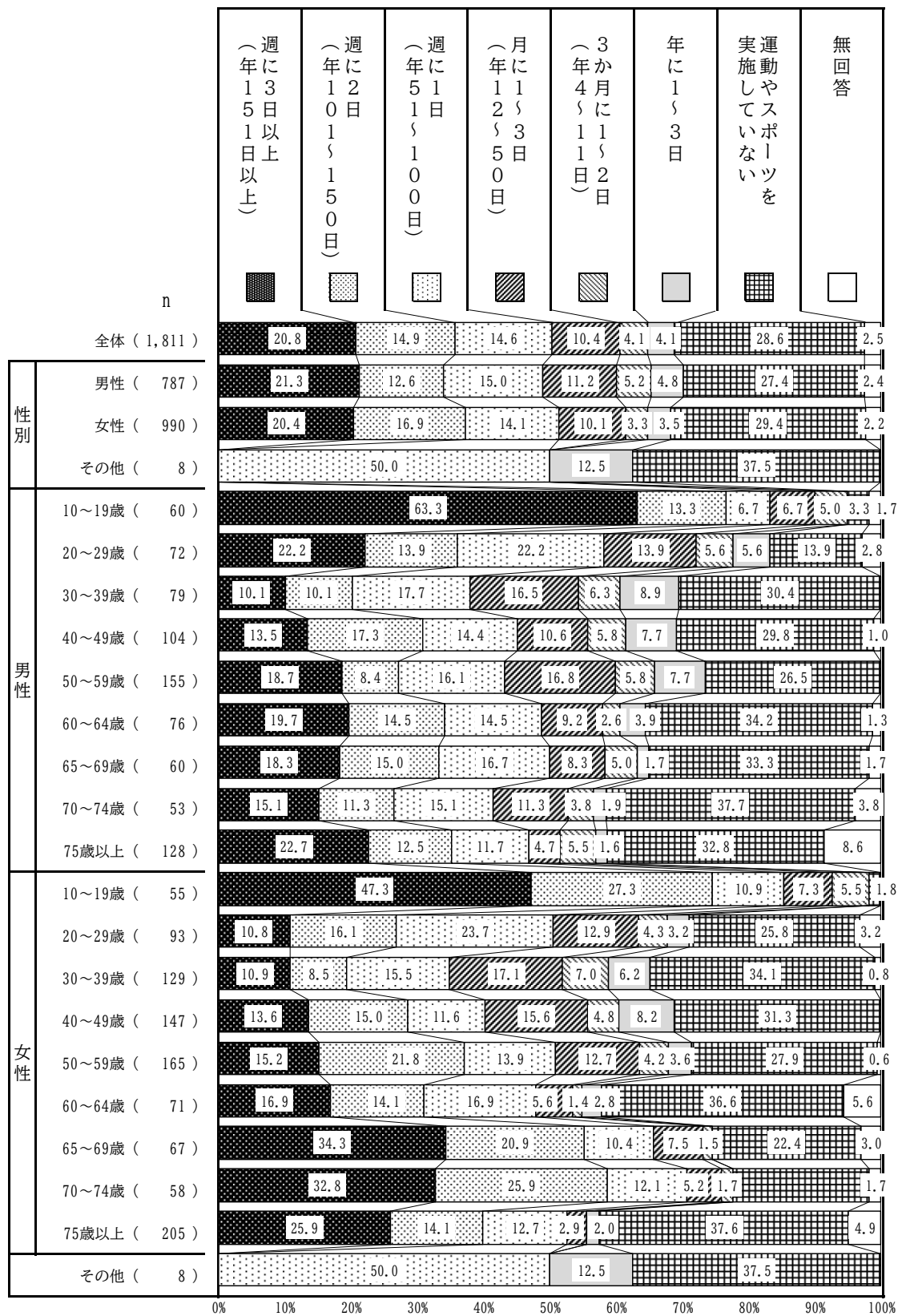
【性・年齢別】

「週に2日（年101～150日）」は女性（16.9%）が男性（12.6%）に比べて4.3ポイント高くなっている。

男性において、「週に3日以上（年151日以上）」は10～19歳（63.3%）が6割を超えている。

女性において、「週に3日以上（年151日以上）」は10～19歳（47.3%）が5割近くとなっている。（図表8-2）

<図表8-2>運動の頻度／性・年齢別



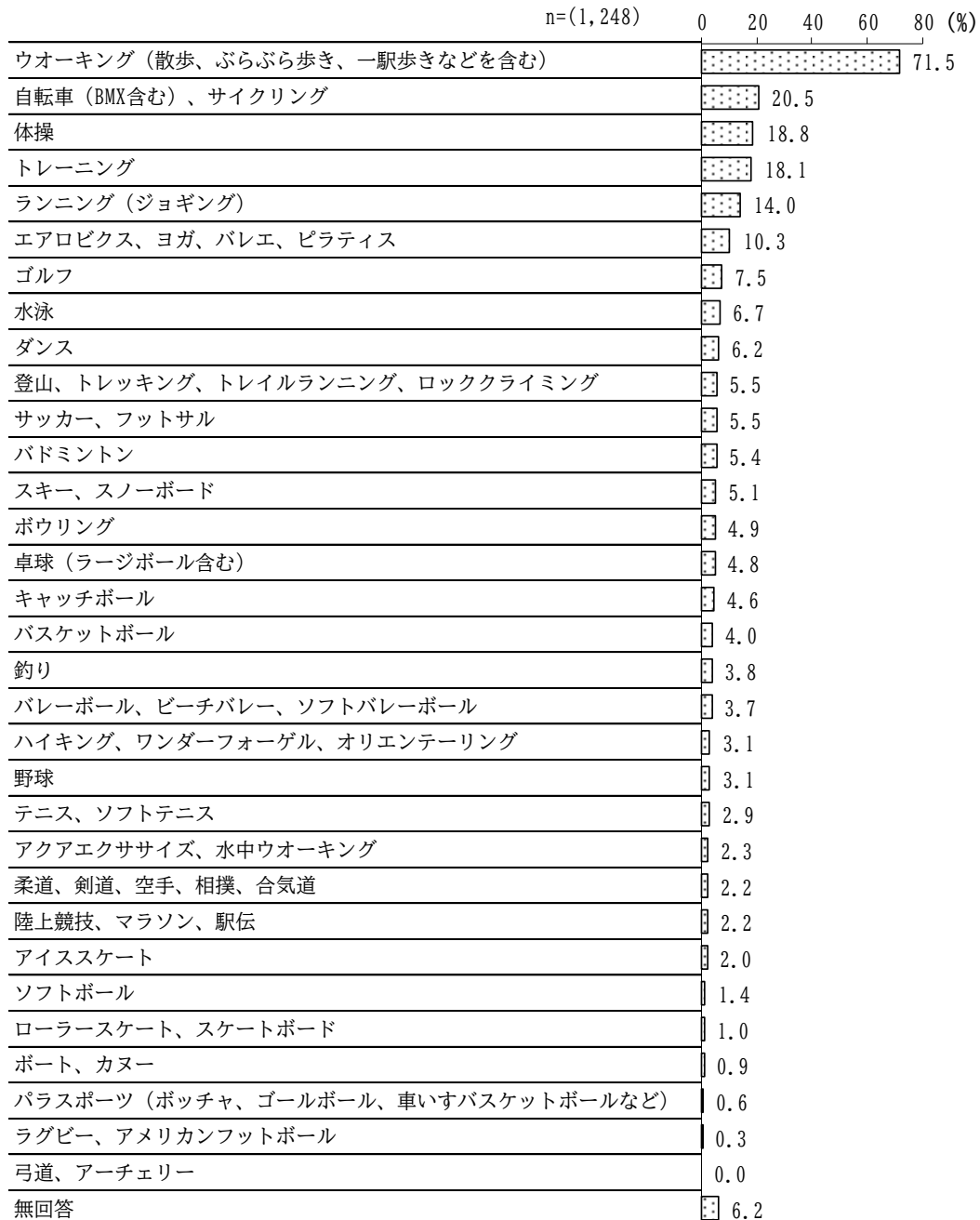
(2) 実施した運動・スポーツ

◇「ウォーキング（散歩、ぶらぶら歩き、一駅歩きなどを含む）」が7割を超えて最も高い。

問13で「1」から「6」と答えた方にお尋ねします。

問13-1 あなたが、この1年間にした運動やスポーツは何ですか。（○はいくつでも）

<図表8-3>実施した運動・スポーツ



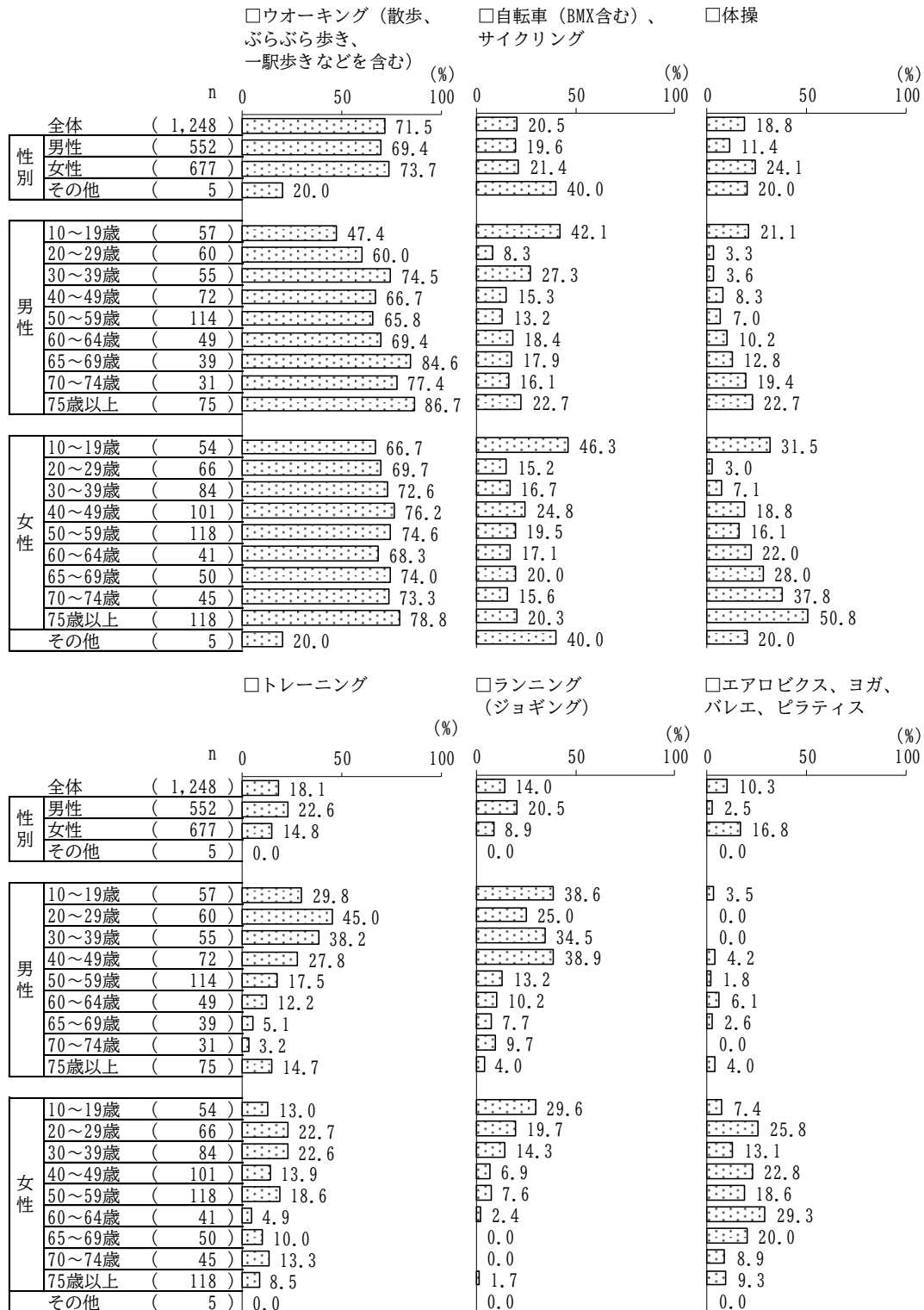
「ウォーキング（散歩、ぶらぶら歩き、一駅歩きなどを含む）」（71.5%）が7割を超えて最も高く、次いで「自転車（BMX含む）、サイクリング」（20.5%）、「体操」（18.8%）、「トレーニング」（18.1%）と続いている。（図表8-3）

【性・年齢別】

「エアロビクス、ヨガ、バレエ、ピラティス」は女性（16.8%）が男性（2.5%）に比べて14.3ポイント高くなっている。

「ランニング（ジョギング）」は男性（20.5%）が女性（8.9%）に比べて11.6ポイント高くなっている。（図表8-4）

<図表8-4>実施した運動・スポーツ（上位6項目）／性・年齢別



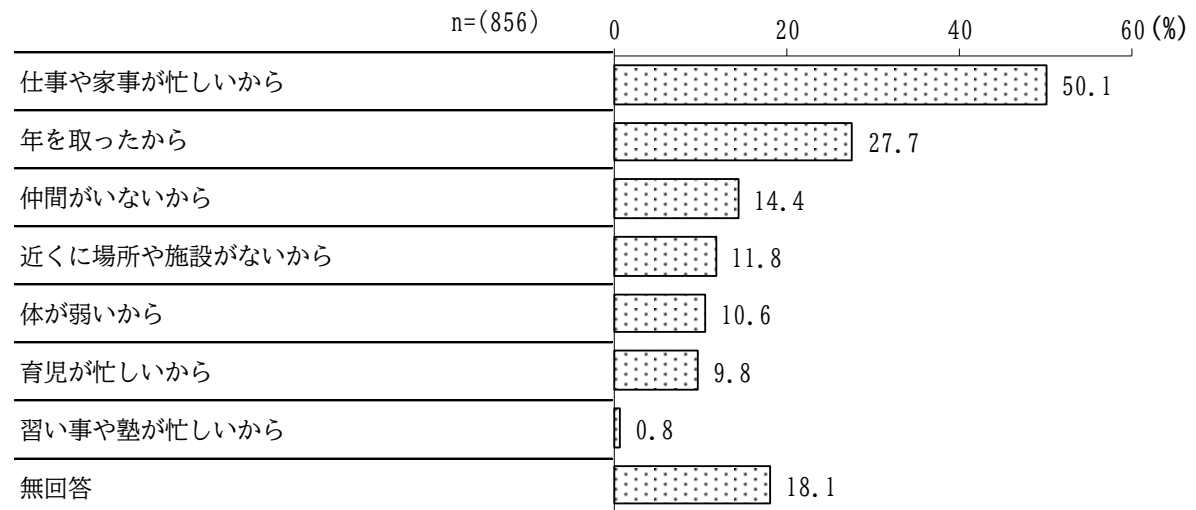
(3) 運動・スポーツをしなかった理由

◇「仕事や家事が忙しいから」が5割と最も高い。

問13で「4」から「7」と答えた方にお尋ねします。

問13-2 あなたが、この1年間に運動やスポーツをした頻度が週に1日に満たなかったのはどんな理由ですか。(〇はいくつでも)

<図表8-5>運動・スポーツをしなかった理由



「仕事や家事が忙しいから」(50.1%)が5割と最も高く、次いで「年を取ったから」(27.7%)、「仲間がいないから」(14.4%)、「近くに場所や施設がないから」(11.8%)と続いている。(図表8-5)

【性・年齢別】

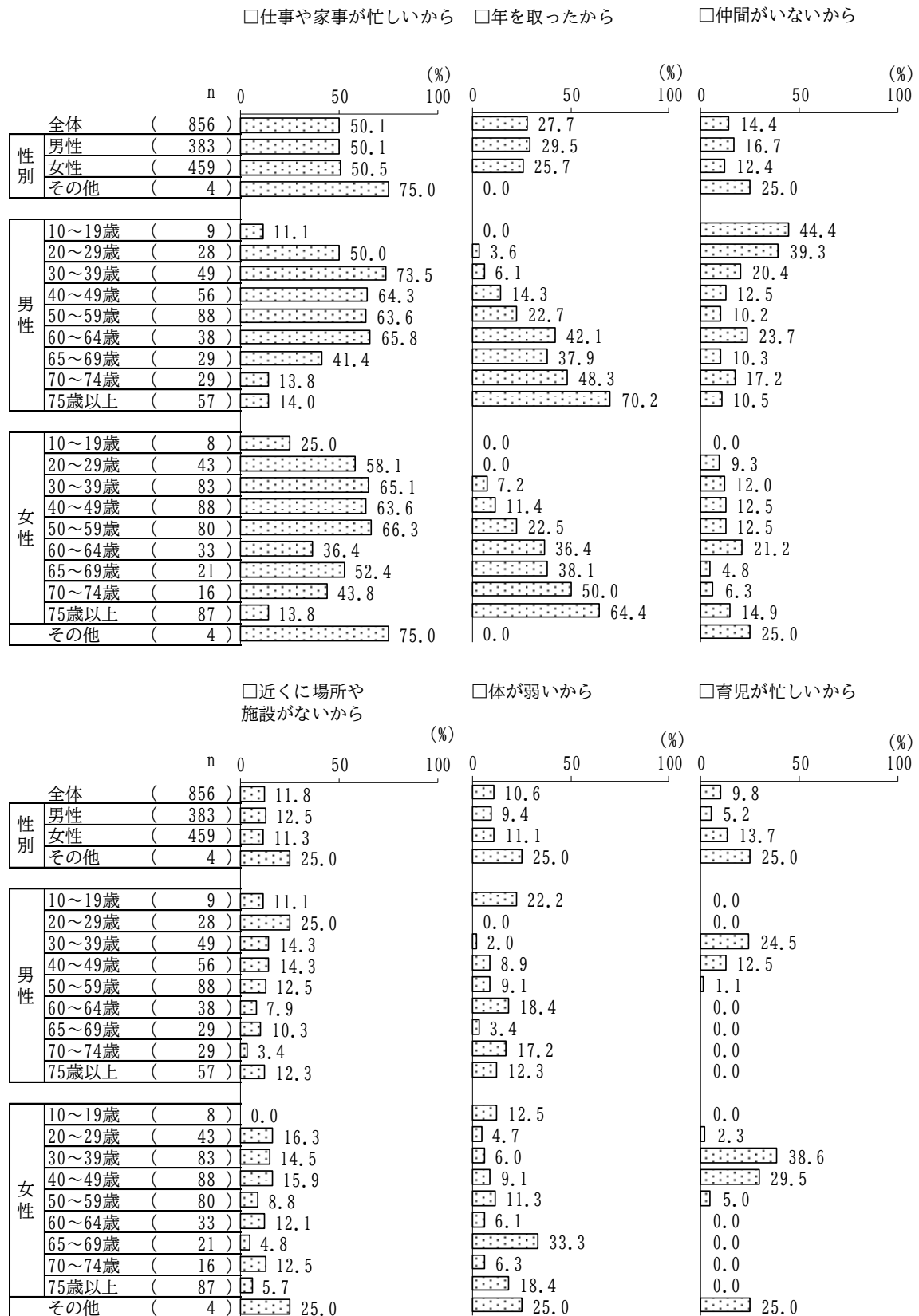
「育児が忙しいから」は女性(13.7%)が男性(5.2%)に比べて8.5ポイント高くなっている。一方、「仲間がいないから」は男性(16.7%)が女性(12.4%)に比べて4.3ポイント高くなっている。

男性において、「仕事や家事が忙しいから」は30～39歳(73.5%)が7割を超えている。

女性において、「仕事や家事が忙しいから」は50～59歳(66.3%)が6割台半ばとなっている。

(図表8-6)

<図表8-6>運動・スポーツをしなかった理由（上位6項目）／性・年齢別

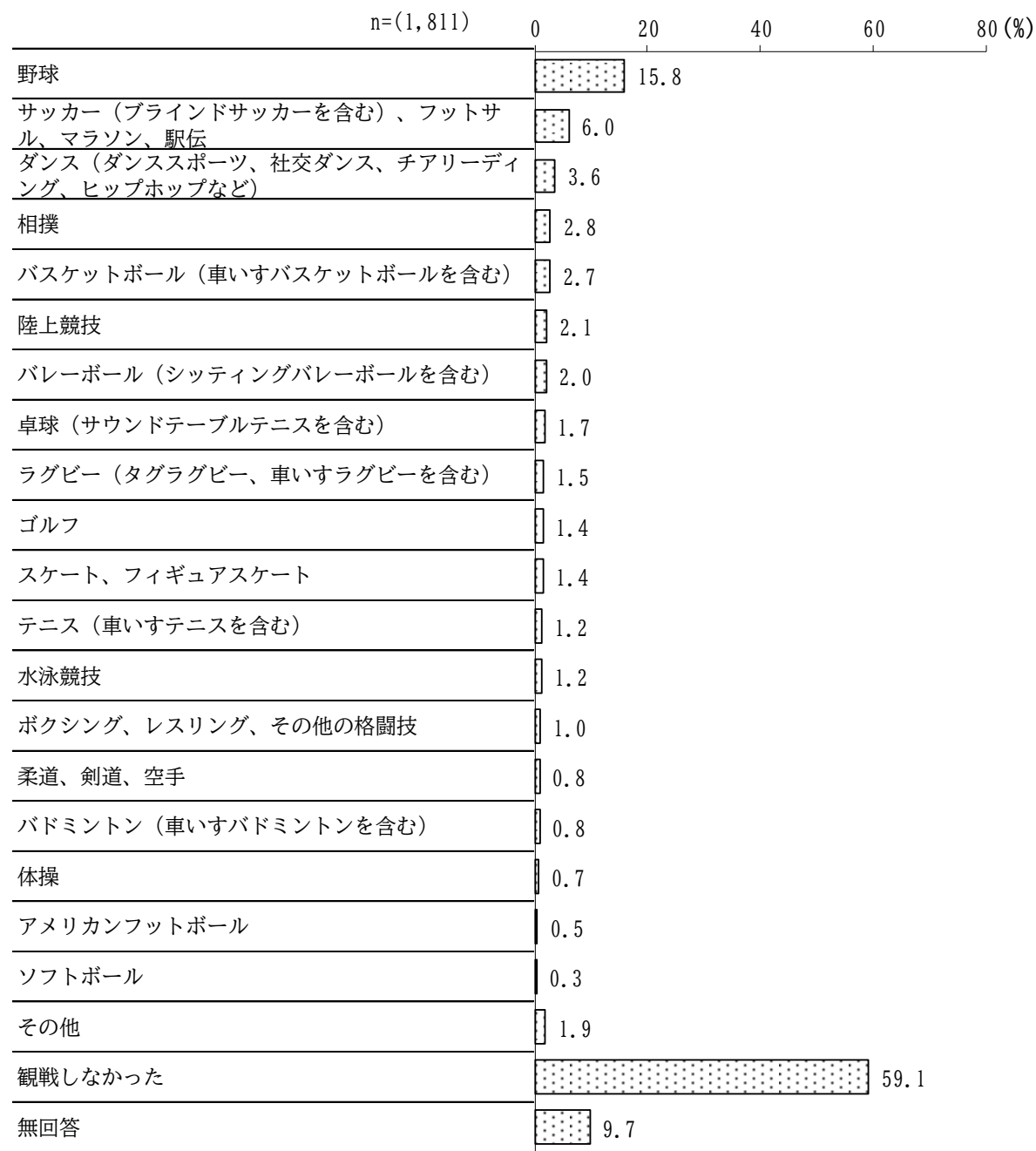


(4) 観戦したスポーツ

◇「観戦しなかった」が約6割。

問 14 あなたは、この1年間にスタジアム、体育館、道路などで実際に観戦したスポーツはありますか。(〇はいくつでも)

<図表8-7>観戦したスポーツ



「野球」(15.8%)が1割台半ばと最も高く、次いで「サッカー (ブラインドサッカーを含む)、フットサル、マラソン、駅伝」(6.0%)、「ダンス (ダンススポーツ、社交ダンス、チアリーダーリング、ヒップホップなど)」(3.6%)と続いている。一方、「観戦しなかった」(59.1%)が約6割となっている。(図表8-7)

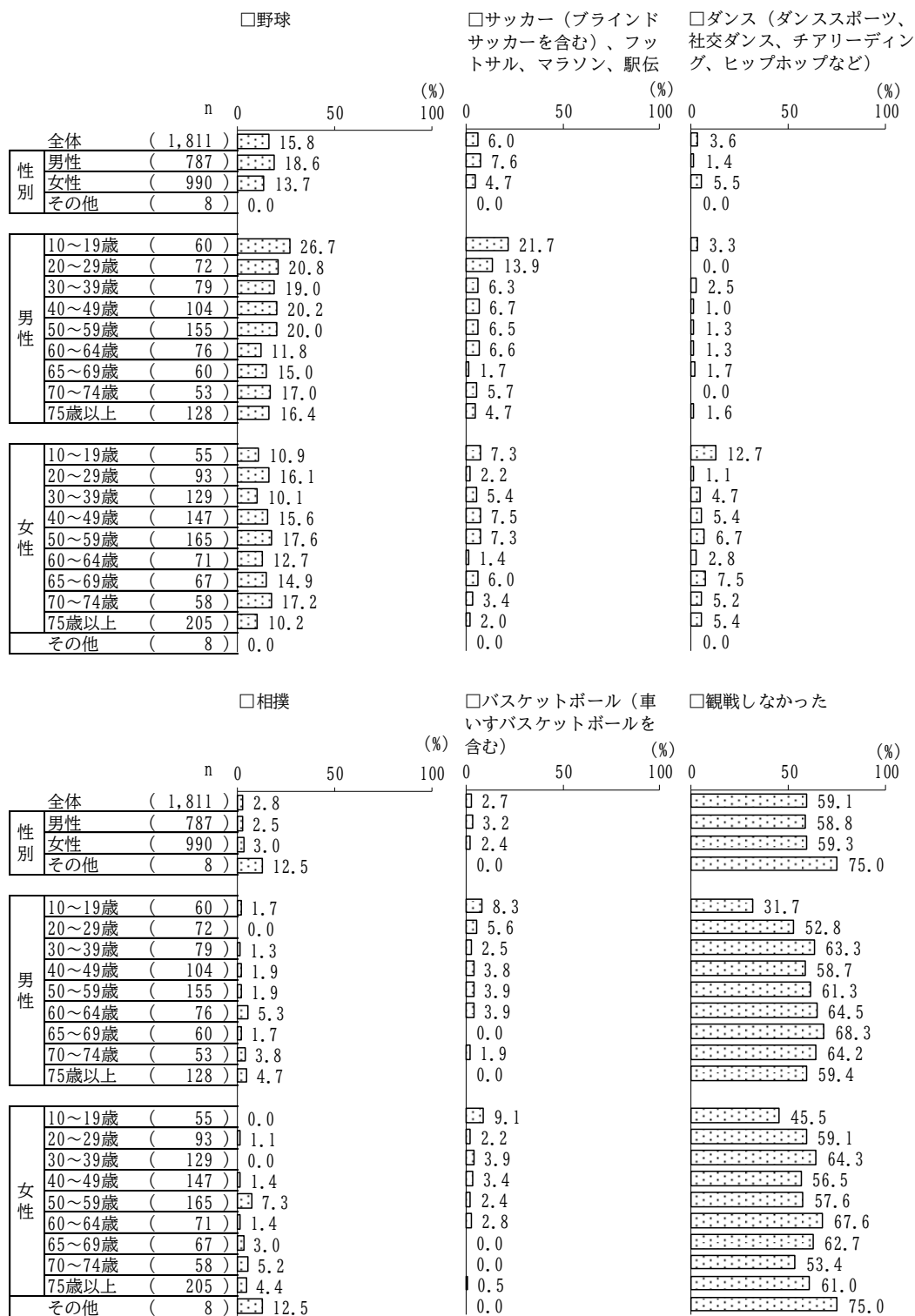
【性・年齢別】

「野球」は男性（18.6%）が女性（13.7%）に比べて4.9ポイント高くなっている。

男性において、「観戦しなかった」は65～69歳（68.3%）が7割近くとなっている。

女性において、「観戦しなかった」は60～64歳（67.6%）が7割近くとなっている。（図表8－8）

＜図表8－8＞観戦したスポーツ（上位6項目）／性・年齢別



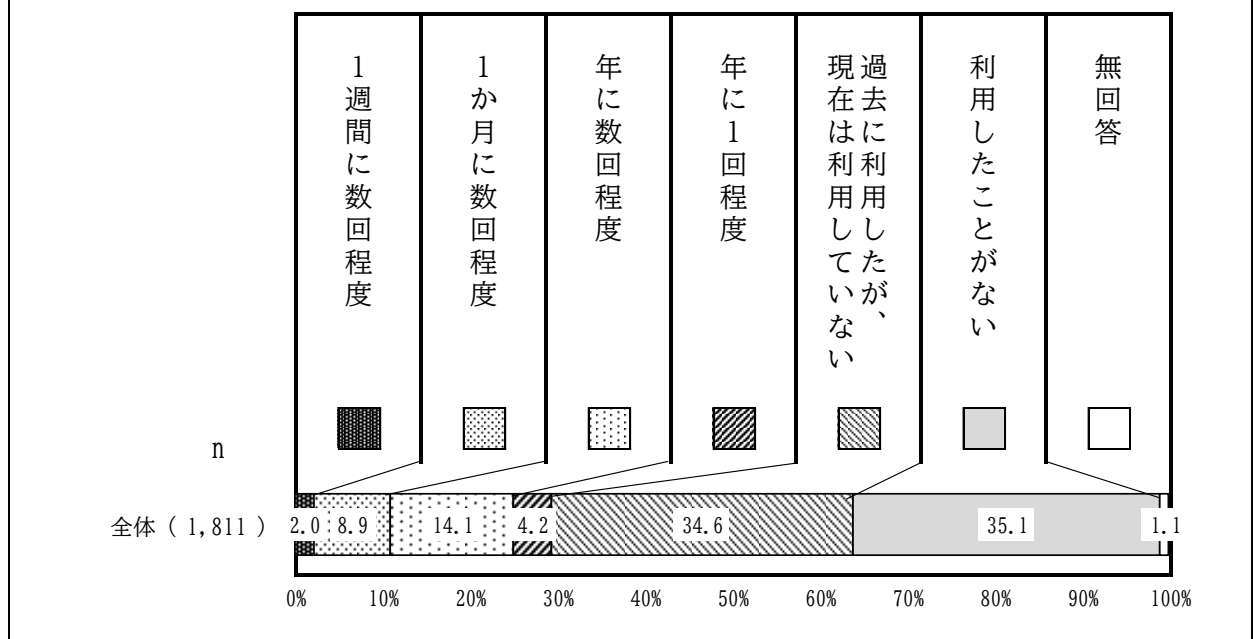
9. 図書館について

(1) 図書館・図書館サテライトの利用頻度

◇「利用したことがない」が3割台半ば。

問 15 江戸川区では、図書館（12 カ所）、図書館サテライト（区内 10 カ所の小中学校）を設置しています。あなたは、図書館や図書館サテライトをどのくらい利用していますか。（○は1つ）

<図表9-1>図書館・図書館サテライトの利用頻度



「1週間に数回程度」(2.0%)が1割未満、「1か月に数回程度」(8.9%)が1割未満、「年に数回程度」(14.1%)が1割台半ば、「年に1回程度」(4.2%)が1割未満となっている。一方、「過去に利用したが、現在は利用していない」(34.6%)が3割台半ば、「利用したことがない」(35.1%)が3割台半ばとなっている。(図表9-1)

【性・年齢別】

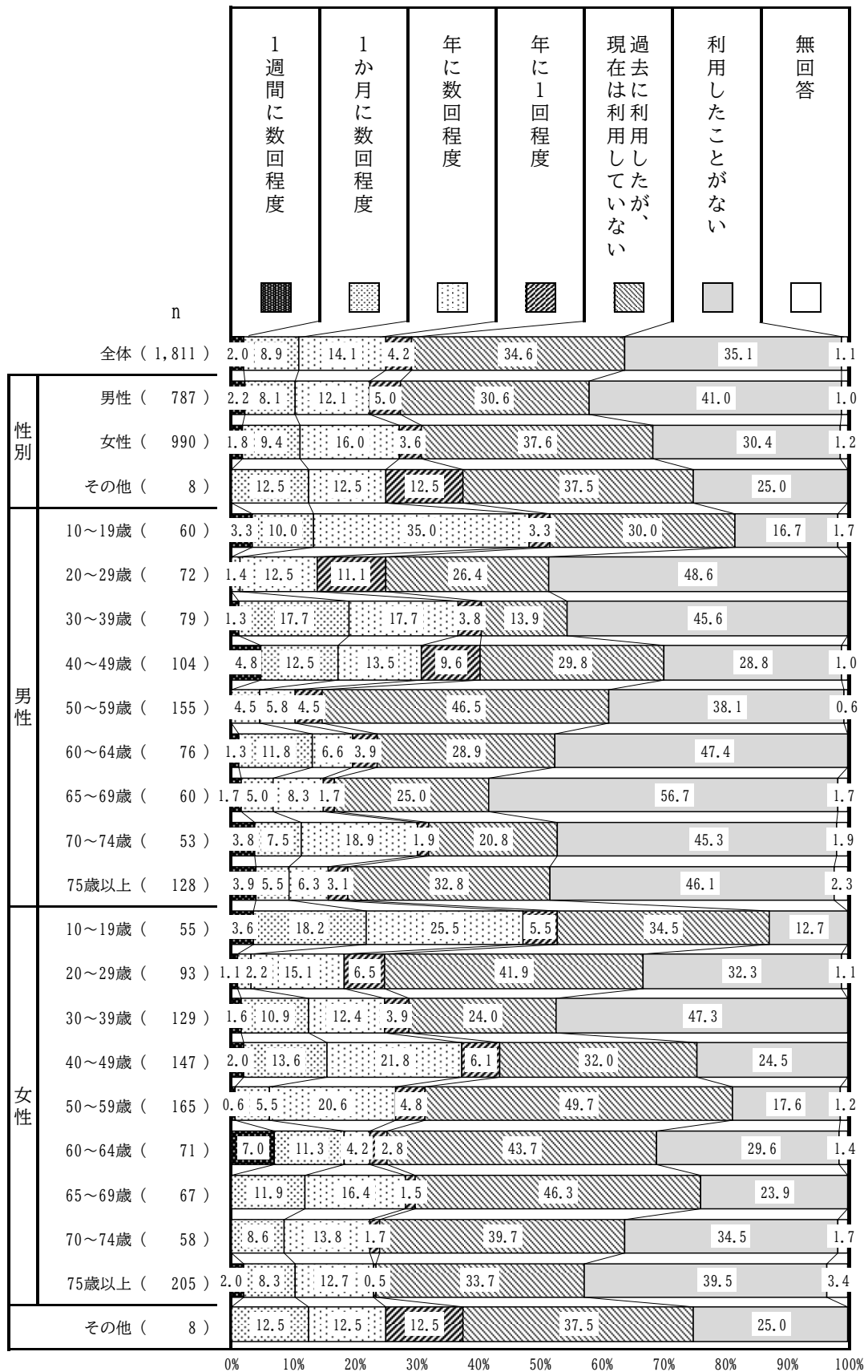
「利用したことがない」は男性(41.0%)が女性(30.4%)に比べて10.6ポイント高くなっている。

男性において、「利用したことがない」は65～69歳(56.7%)が6割近くとなっている。

女性において、「利用したことがない」は30～39歳(47.3%)が5割近くとなっている。

(図表9-2)

<図表9-2> 図書館・図書館サテライトの利用頻度／性・年齢別



(2) 図書館・図書館サテライトを利用していない理由

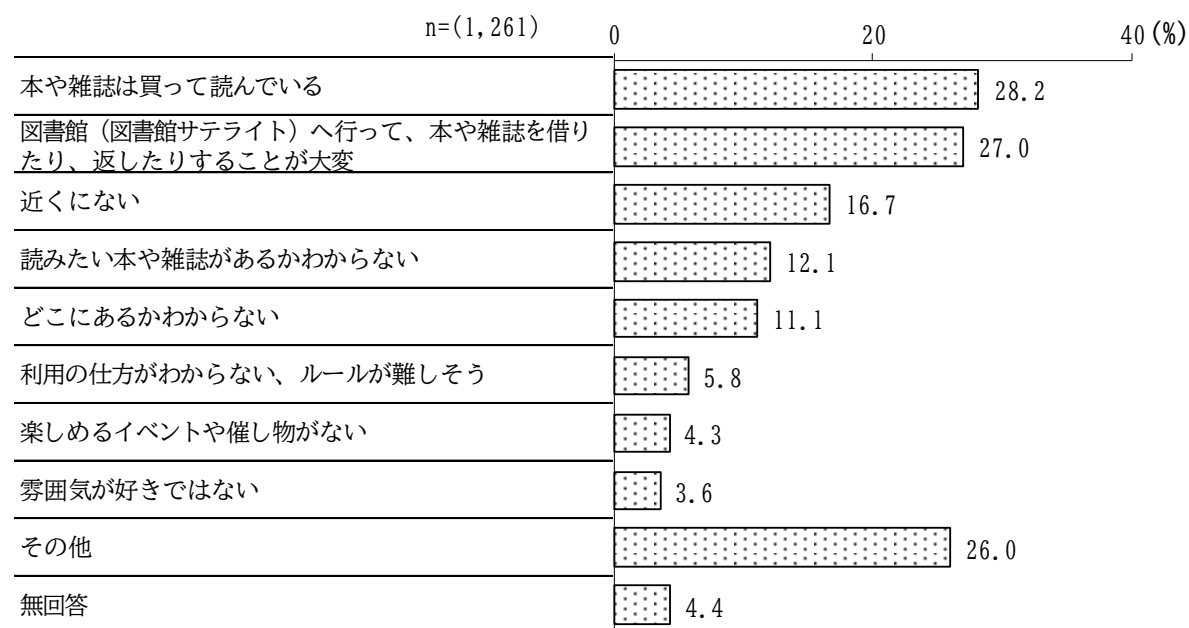
◇「本や雑誌は買って読んでいる」が3割近くと最も高い。

問 15 で「5」または「6」と答えた方にお尋ねします。

問 15-1 図書館や図書館サテライトを利用していない理由は何ですか。

(○はいくつでも)

<図表9-3> 図書館・図書館サテライトを利用していない理由



「本や雑誌は買って読んでいる」(28.2%) が3割近くと最も高く、次いで「図書館（図書館サテライト）へ行って、本や雑誌を借りたり、返したりすることが大変」(27.0%)、「近くにない」(16.7%)、「読みたい本や雑誌があるかわからない」(12.1%)と続いている。(図表9-3)

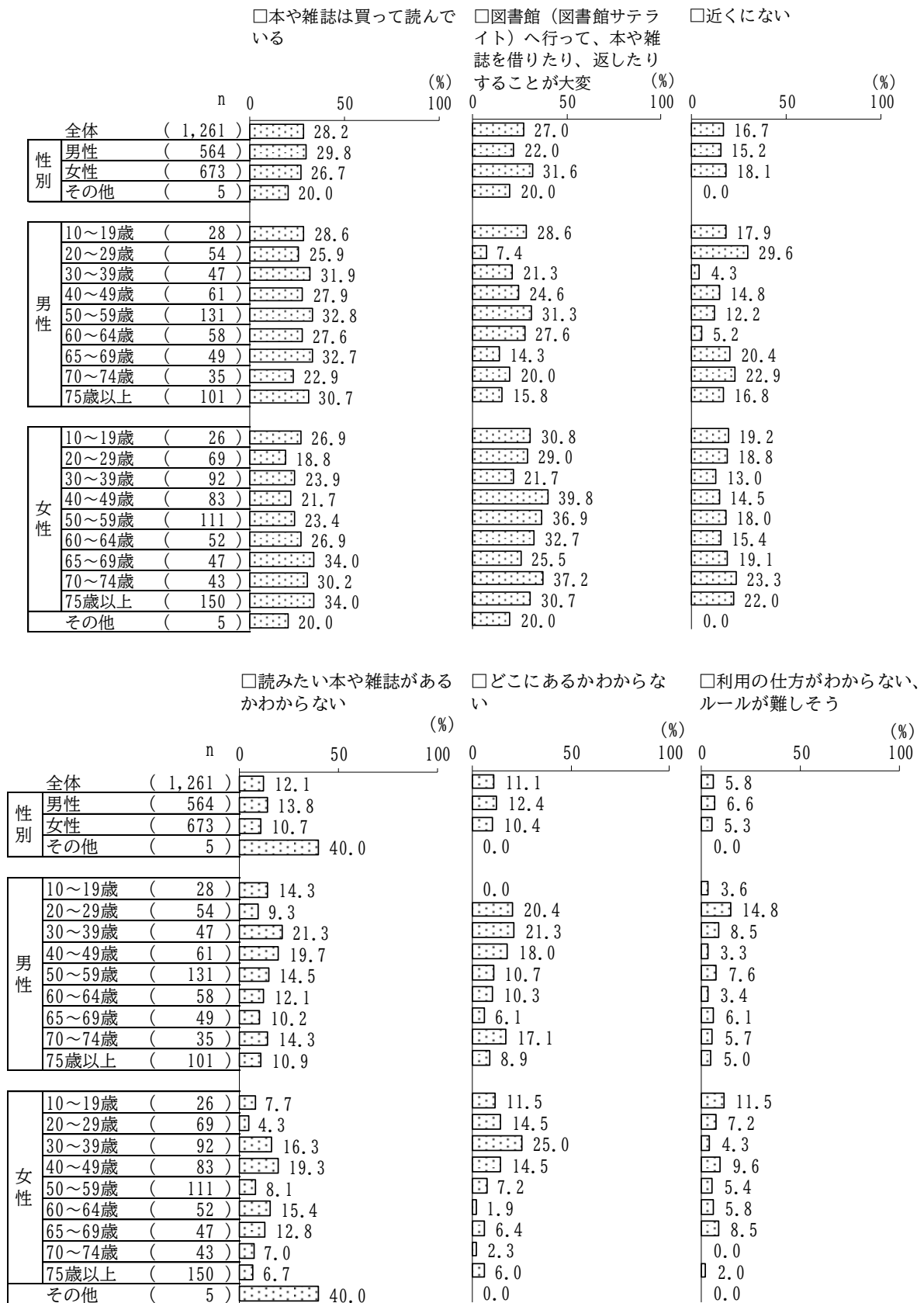
【性・年齢別】

「図書館（図書館サテライト）へ行って、本や雑誌を借りたり、返したりすることが大変」は女性(31.6%)が男性(22.0%)に比べて9.6ポイント高くなっている。

男性において、「本や雑誌は買って読んでいる」は50～59歳(32.8%)が3割を超えている。

女性において、「図書館（図書館サテライト）へ行って、本や雑誌を借りたり、返したりすることが大変」は40～49歳(39.8%)が4割となっている。(図表9-4)

<図表9-4> 図書館・図書館サテライトを利用していない理由（上位6項目）／性・年齢別



10. 環境づくりについて

(1) 普段から取り組んでいること

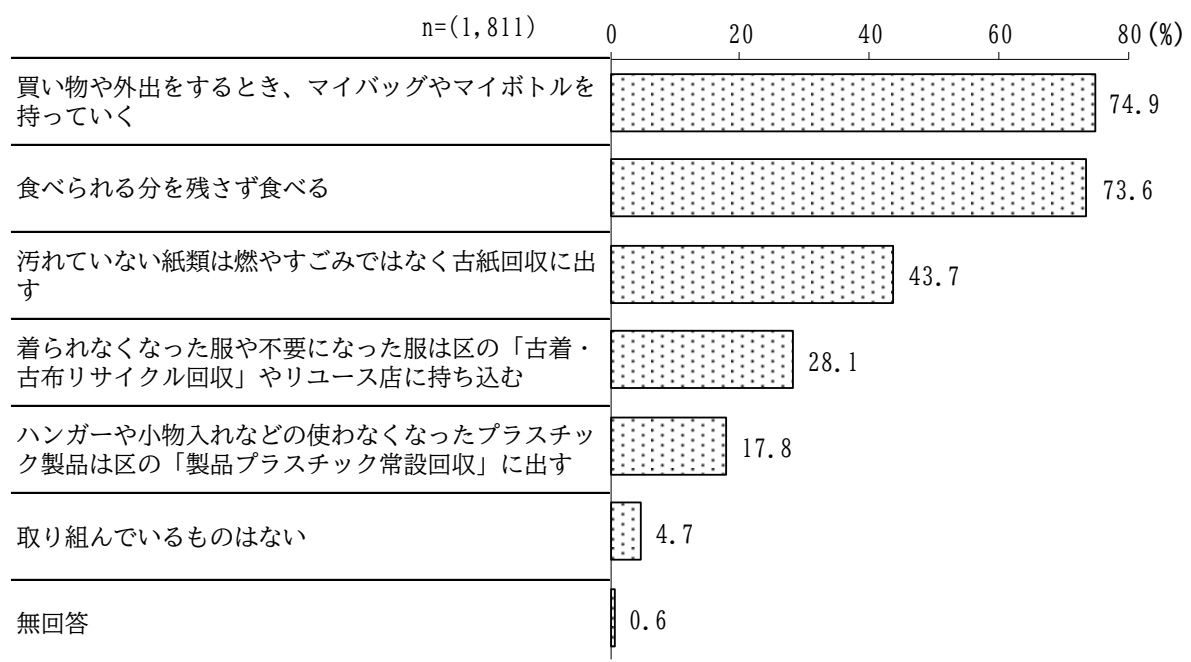
◇「買い物や外出をするとき、マイバッグやマイボトルを持っていく」が7割台半ばで最も高い。

問 16 江戸川区から出されたごみは、最終的に埋め立て処分場に運ばれています。この埋め立て処分場はあと 50 年しか使えないと言われていて、ごみを減らし、長く使えるようにする必要があります。

ごみを減らすために、あなたが普段から取り組んでいることは何ですか。

(○はいくつでも)

<図表 10-1> 普段から取り組んでいること



「買い物や外出をするとき、マイバッグやマイボトルを持っていく」(74.9%) が7割台半ばと最も高く、次いで「食べられる分を残さず食べる」(73.6%)、「汚れていない紙類は燃やすごみではなく古紙回収に出す」(43.7%)、「着られなくなった服や不要になった服は区の「古着・古布リサイクル回収」やリユース店に持ち込む」(28.1%)と続いている。(図表 10-1)

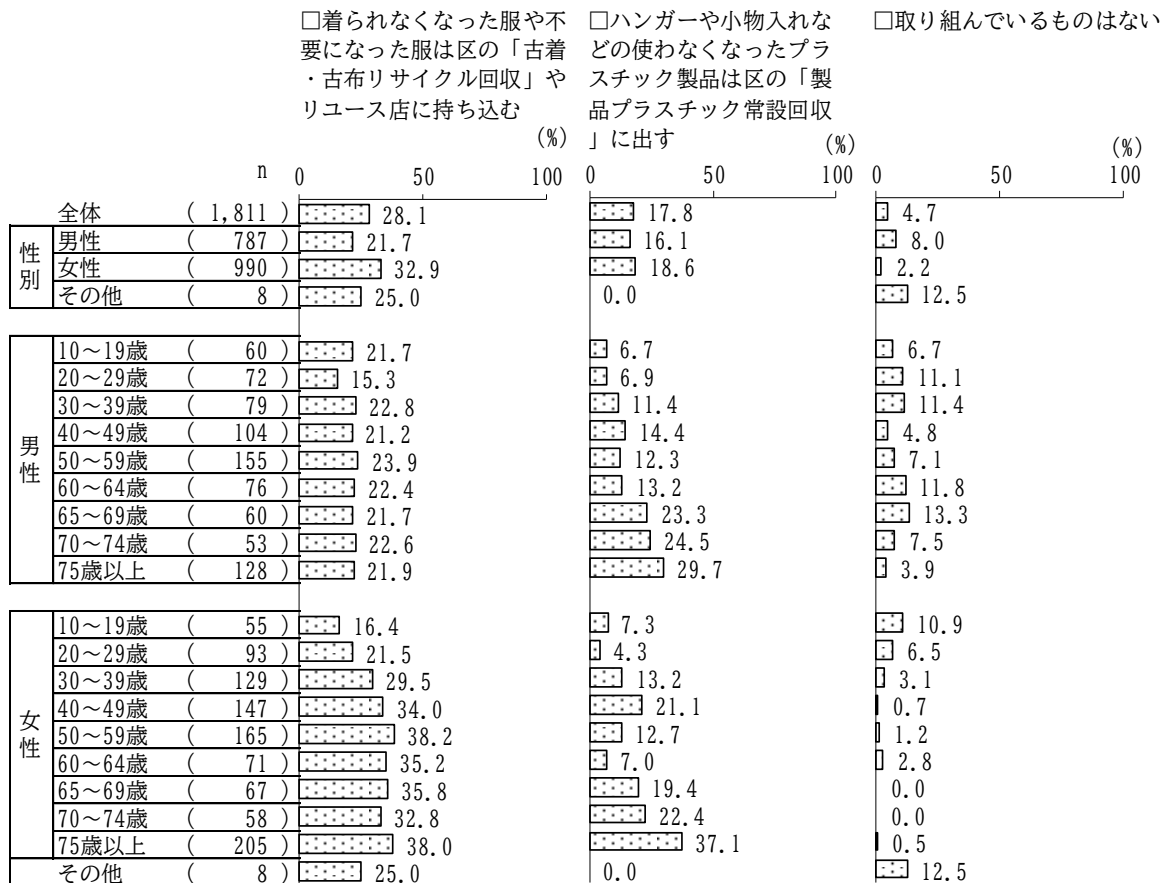
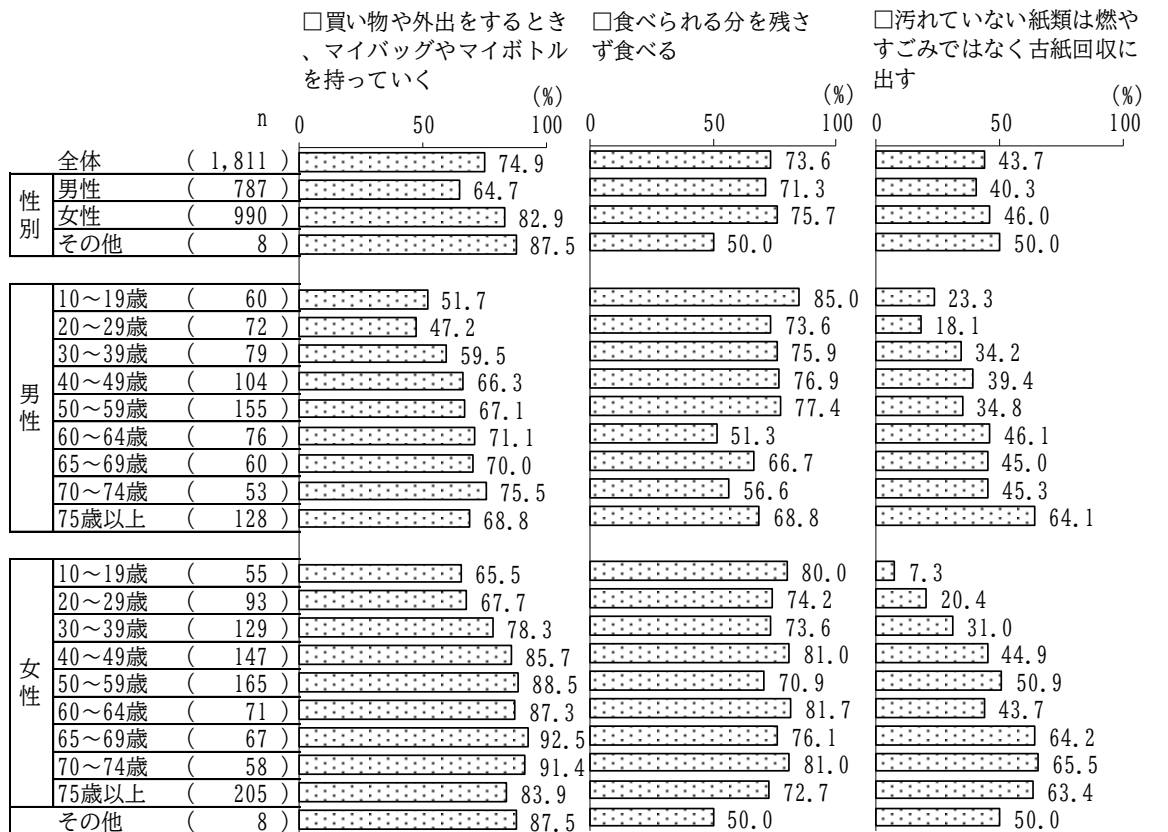
【性・年齢別】

「買い物や外出をするとき、マイバッグやマイボトルを持っていく」は女性(82.9%)が男性(64.7%)に比べて 18.2 ポイント高くなっている。

男性において、「食べられる分を残さず食べる」は 10～19 歳(85.0%)が8割台半ばとなっている。

女性において、「買い物や外出をするとき、マイバッグやマイボトルを持っていく」は 65～69 歳(92.5%)が9割を超えている。(図表 10-2)

<図表 10-2> 普段から取り組んでいること（上位6項目）／性・年齢別

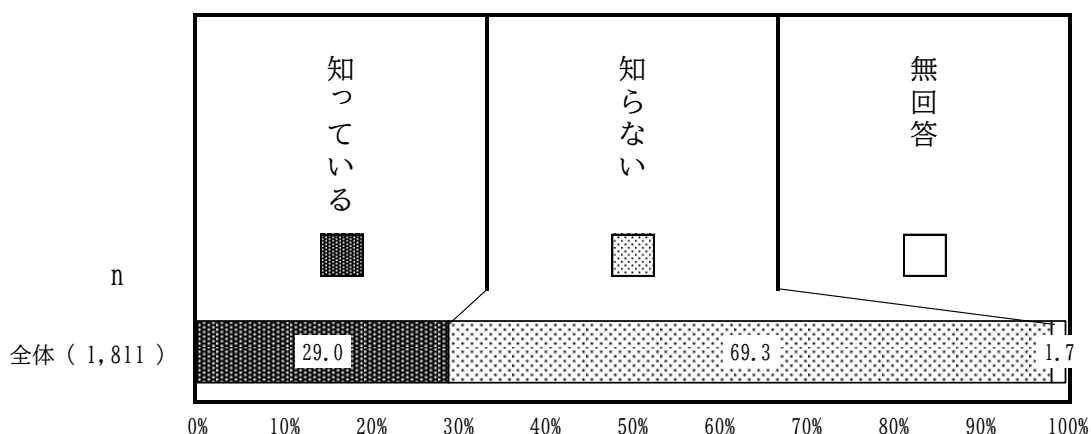


(2) ラムサール条約登録の認知度

◇「知っている」が約3割。

問 17 平成 30 年 10 月に葛西海浜公園（葛西臨海公園の海側に隣接）は、都内で初めて世界的に大切な自然の場所として、ラムサール条約（「特に水鳥の生息地として国際的に重要な湿地に関する条約」）の湿地に登録されました。あなたは、葛西海浜公園がラムサール条約の湿地に登録されていることを知っていますか。（○は1つ）

<図表 10-3>ラムサール条約登録の認知度



「知っている」(29.0%) が約3割、「知らない」(69.3%) が約7割となっている。

(図表 10-3)

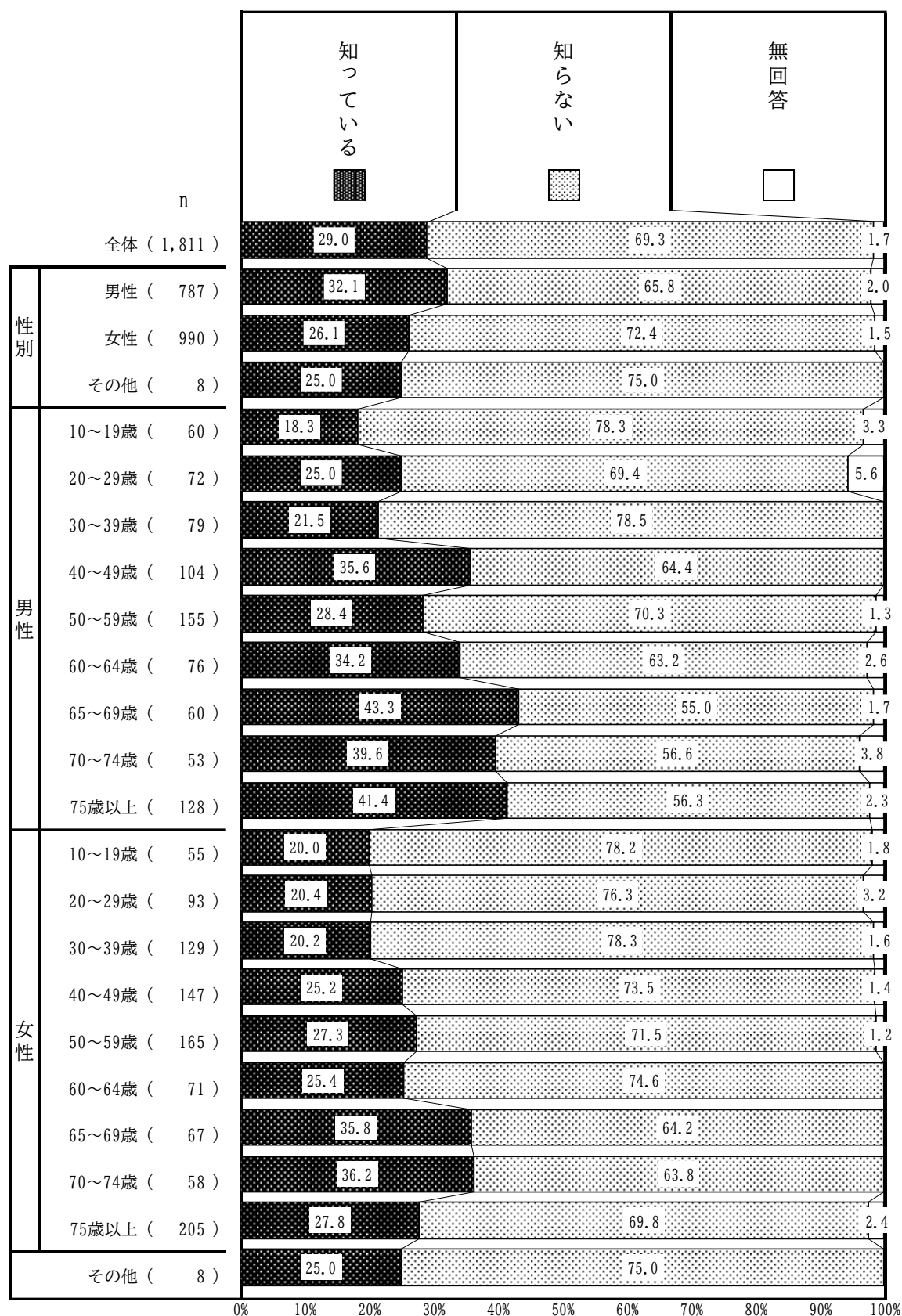
【性・年齢別】

男性において、「知っている」は65～69歳(43.3%)が4割を超えている。

女性において、「知っている」は70～74歳(36.2%)が3割台半ばとなっている。

(図表 10-4)

<図表 10-4>ラムサール条約登録の認知度／性・年齢別



11. 災害対策について

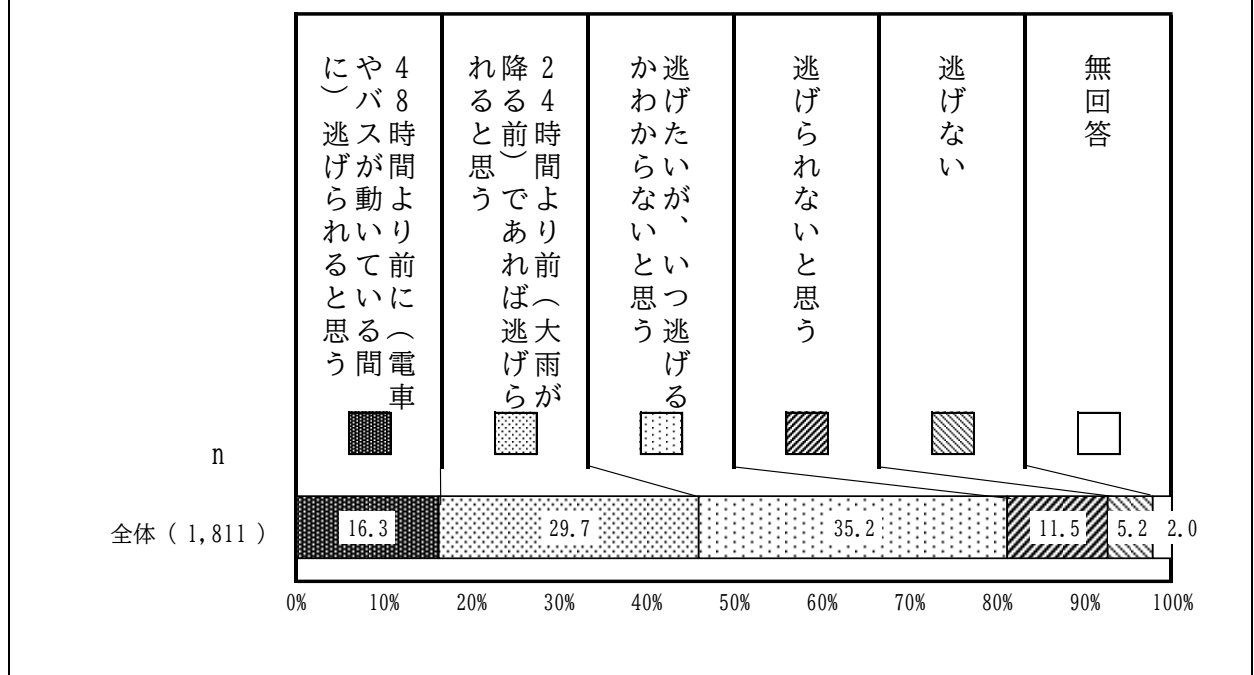
(1) 大規模水害時の避難するタイミング

◇「逃げたいが、いつ逃げるかわからないと思う」が3割台半ば。

問 18 江戸川区は、ほとんどの地域が周りの川の高さより低い「ゼロメートル地帯」です。そのため、大きな台風や大雨で川の水があふれるときに、安全な場所へ早く逃げる「広域避難」をすすめています。

あなたは、いつなら安全な場所へ逃げられると思いますか。(○は1つ)

<図表 11-1>大規模水害時の避難するタイミング



「逃げたいが、いつ逃げるかわからないと思う」(35.2%)が3割台半ば、「24時間前(大雨が降る前)であれば逃げられると思う」(29.7%)が3割となっている。(図表 11-1)

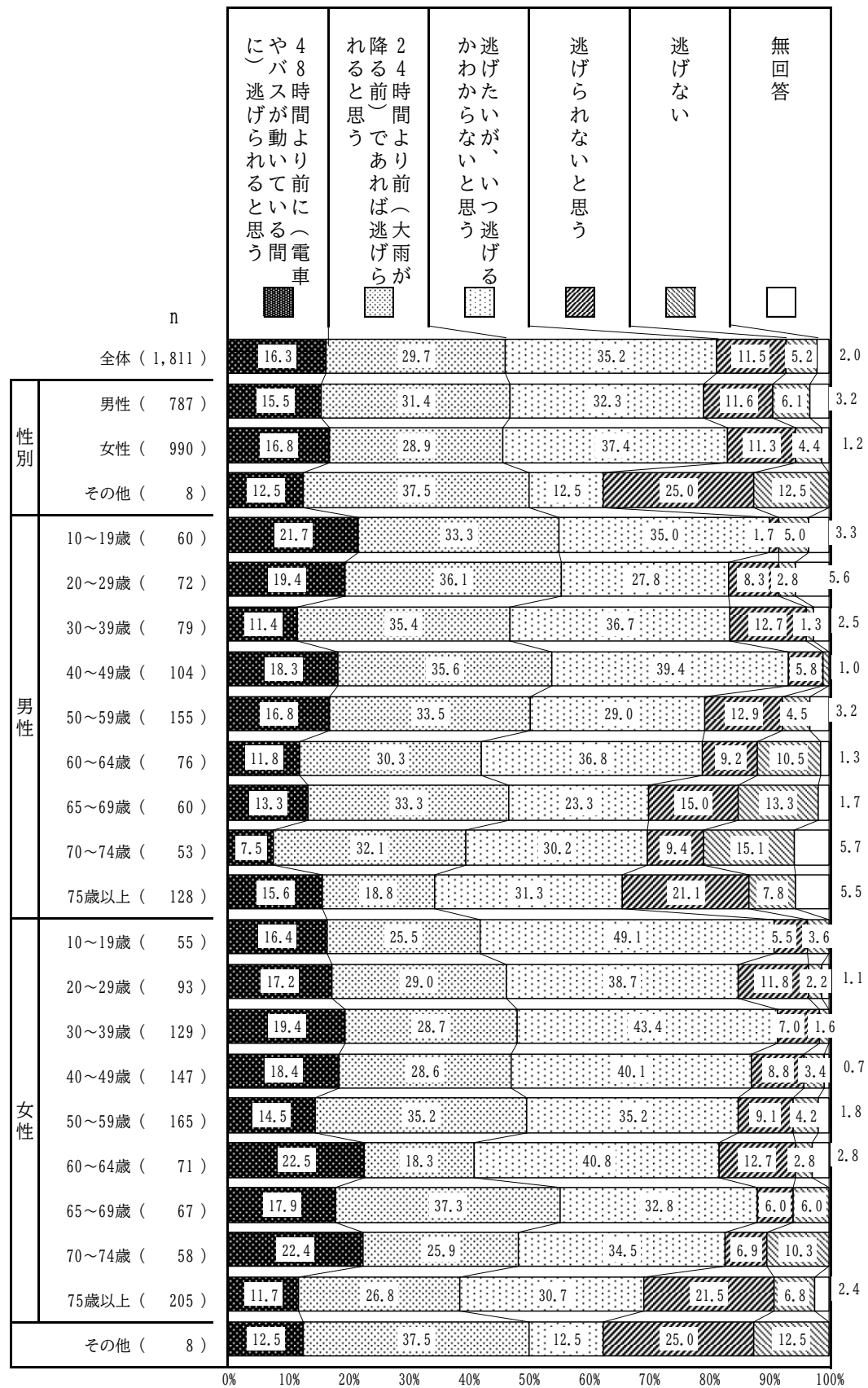
【性・年齢別】

「逃げたいが、いつ逃げるかわからないと思う」は女性(37.4%)が男性(32.3%)に比べて5.1ポイント高くなっている。

男性において、「逃げたいが、いつ逃げるかわからないと思う」は40~49歳(39.4%)が約4割となっている。

女性において、「逃げたいが、いつ逃げるかわからないと思う」は10~19歳(49.1%)が約5割となっている。(図表 11-2)

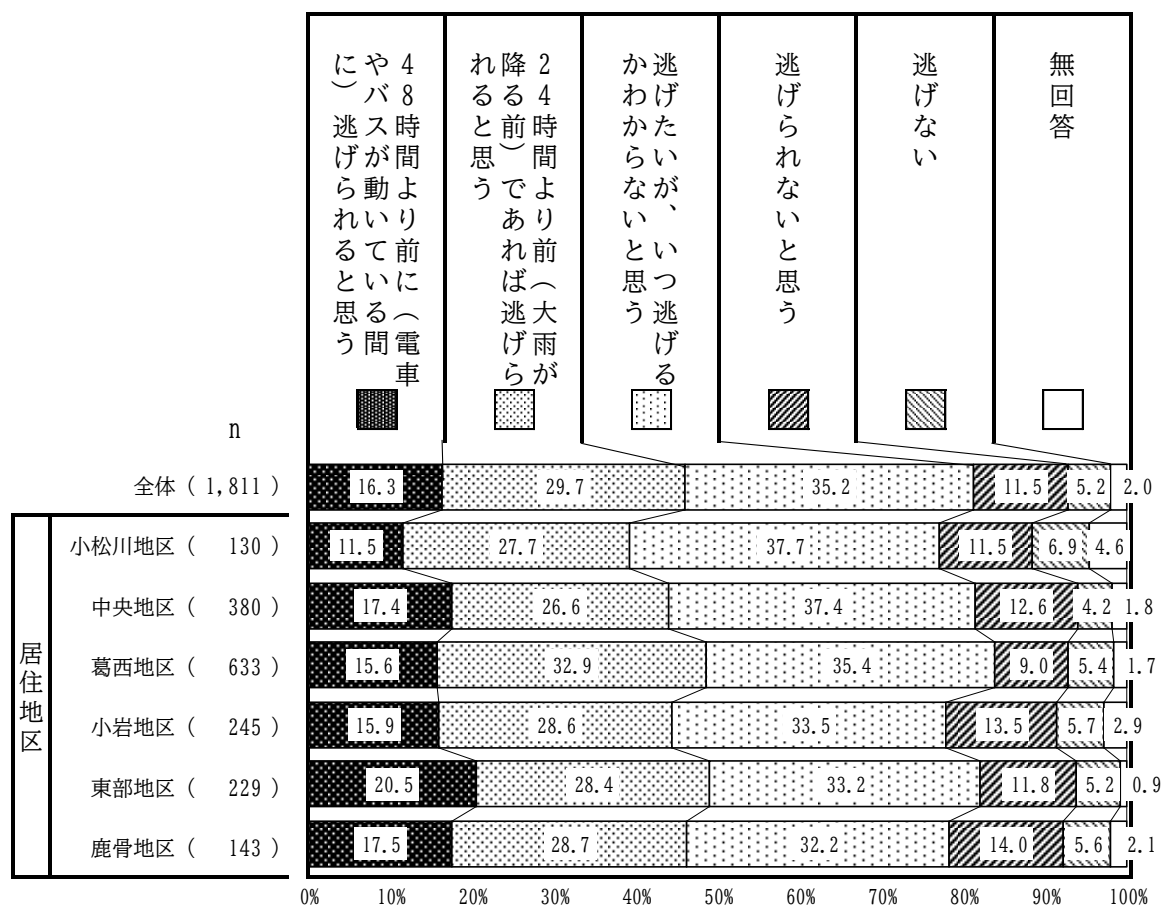
<図表 11-2>大規模水害時の避難するタイミング／性・年齢別



【居住地区別】

「逃げたいが、いつ逃げるかわからないと思う」は小松川地区（37.7%）、中央地区（37.4%）が4割近くと高くなっている。「24時間より前（大雨が降る前）であれば逃げられると思う」は葛西地区（32.9%）が3割を超えて高くなっている。（図表 11－3）

<図表 11－3>大規模水害時の避難するタイミング／居住地区別

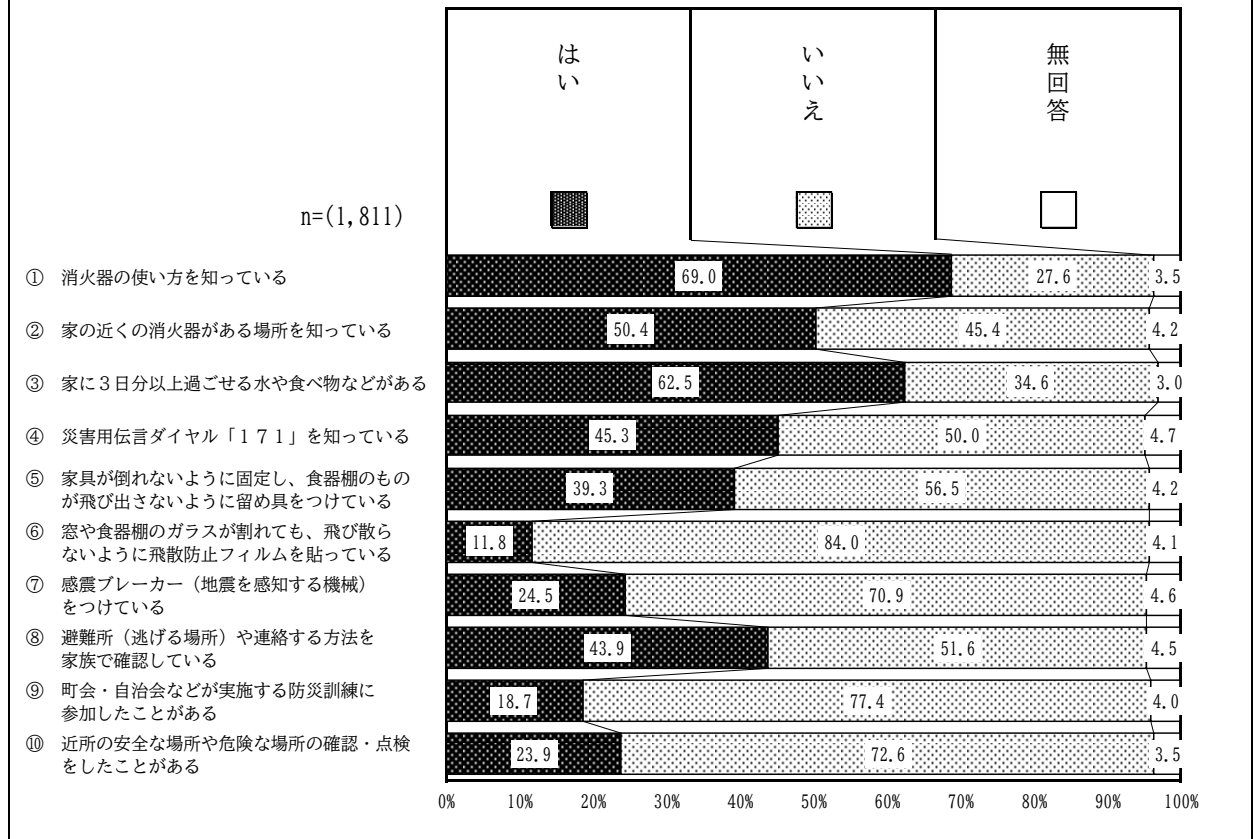


(2) 地震への備え

◇【①消火器の使い方を知っている】が約7割で最も高い。

問 19 あなたは、地震が起こったときのために、普段から準備をしていますか。
項目ごとにお答えください。(それぞれ○は1つずつ)

<図表 11-4> 地震への備え・各項目



「はい」は【①消火器の使い方を知っている】(69.0%)が約7割と最も高く、次いで【③家に3日以上過ごせる水や食べ物などがある】(62.5%)、【②家の近くの消火器がある場所を知っている】(50.4%)、【④災害用伝言ダイヤル「171」を知っている】(45.3%)となっている。

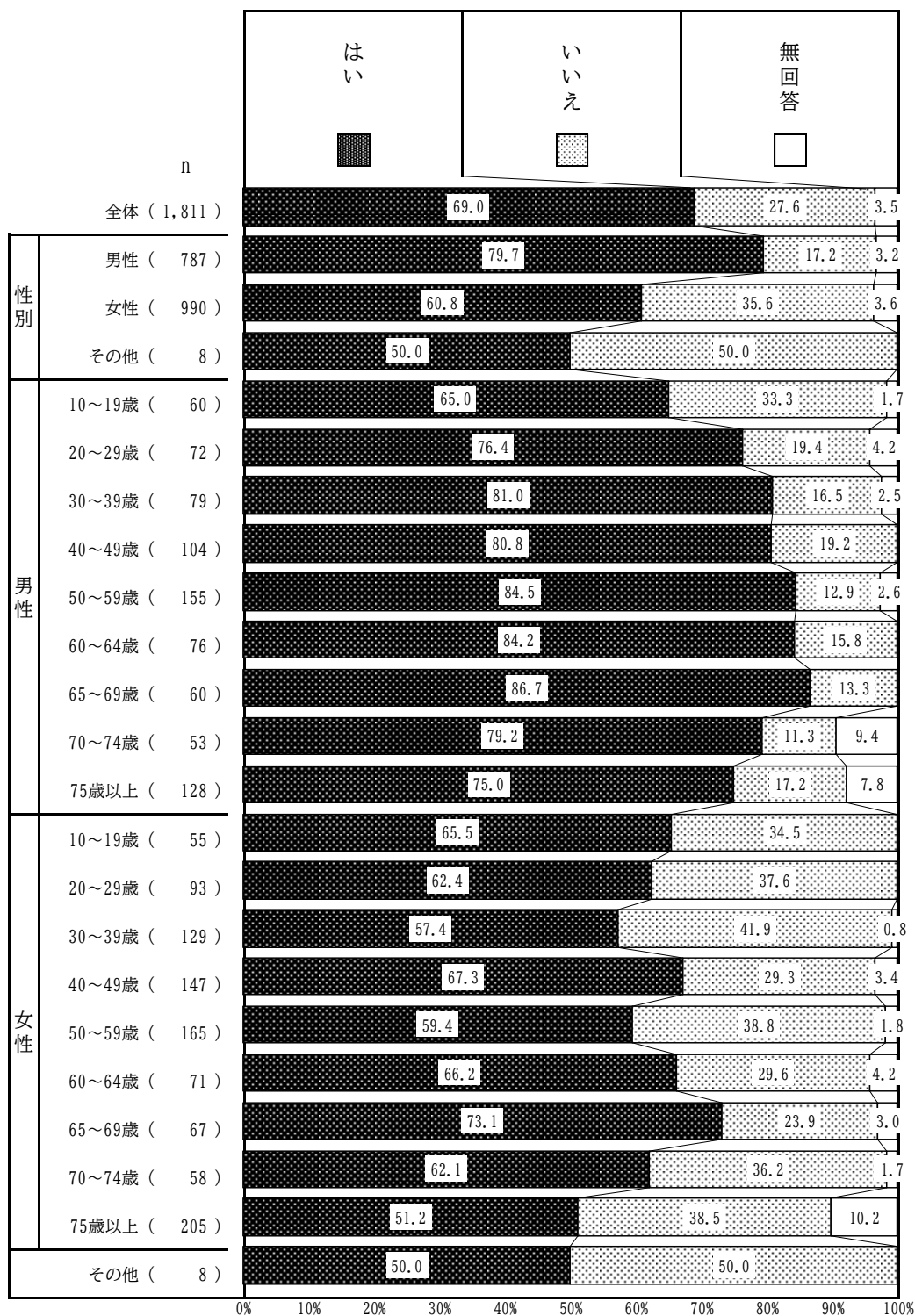
(図表 11-4)

【①消火器の使い方を知っている／性・年齢別】

男性において、「はい」は65～69歳（86.7%）が9割近くとなっている。

女性において、「はい」は65～69歳（73.1%）が7割を超えている。（図表11－5）

<図表11－5>①消火器の使い方を知っている／性・年齢別

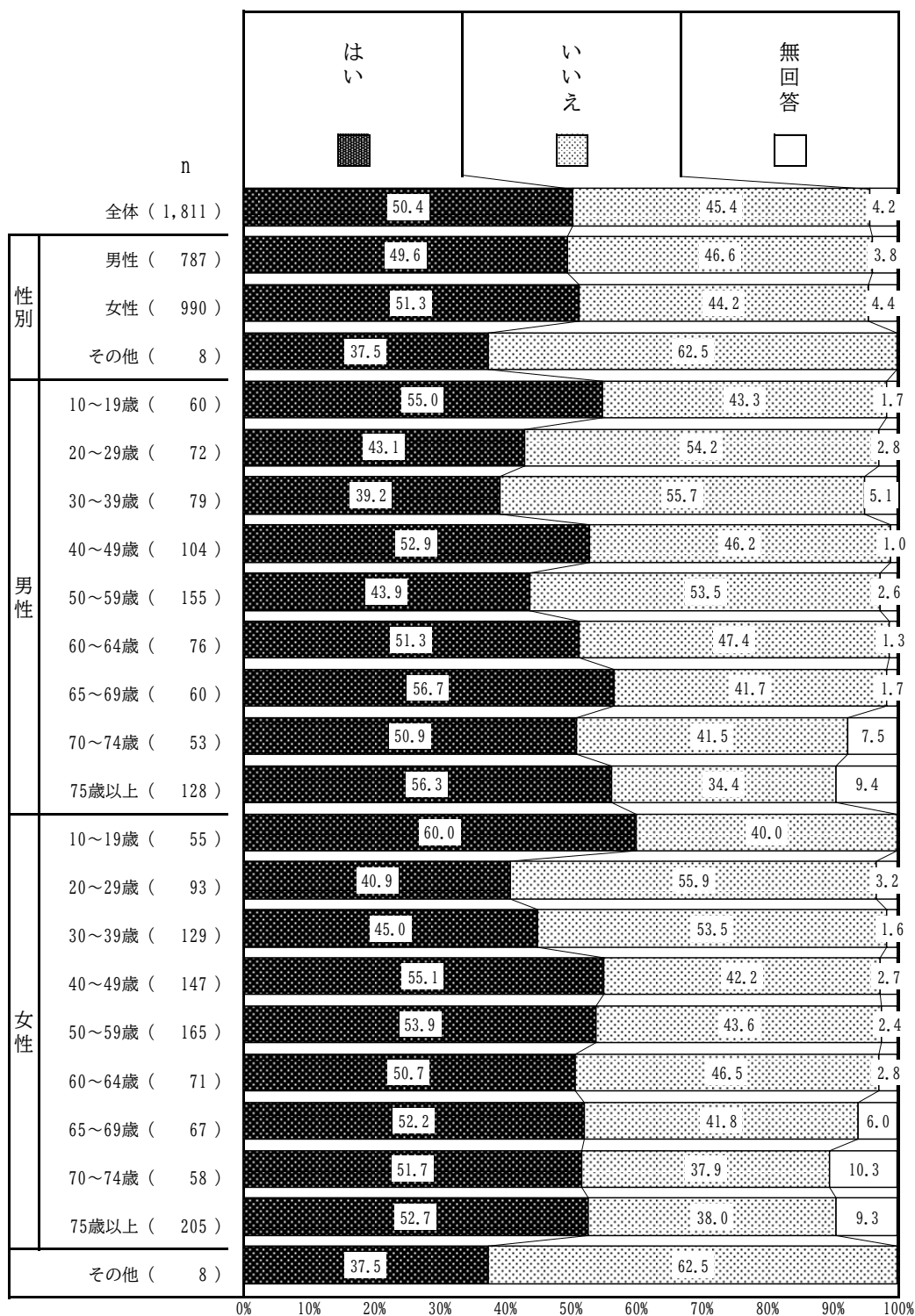


【②家の近くの消火器がある場所を知っている／性・年齢別】

男性において、「はい」は65～69歳（56.7%）が6割近くとなっている。

女性において、「はい」は10～19歳（60.0%）が6割となっている。（図表11－6）

<図表11－6>②家の近くの消火器がある場所を知っている／性・年齢別

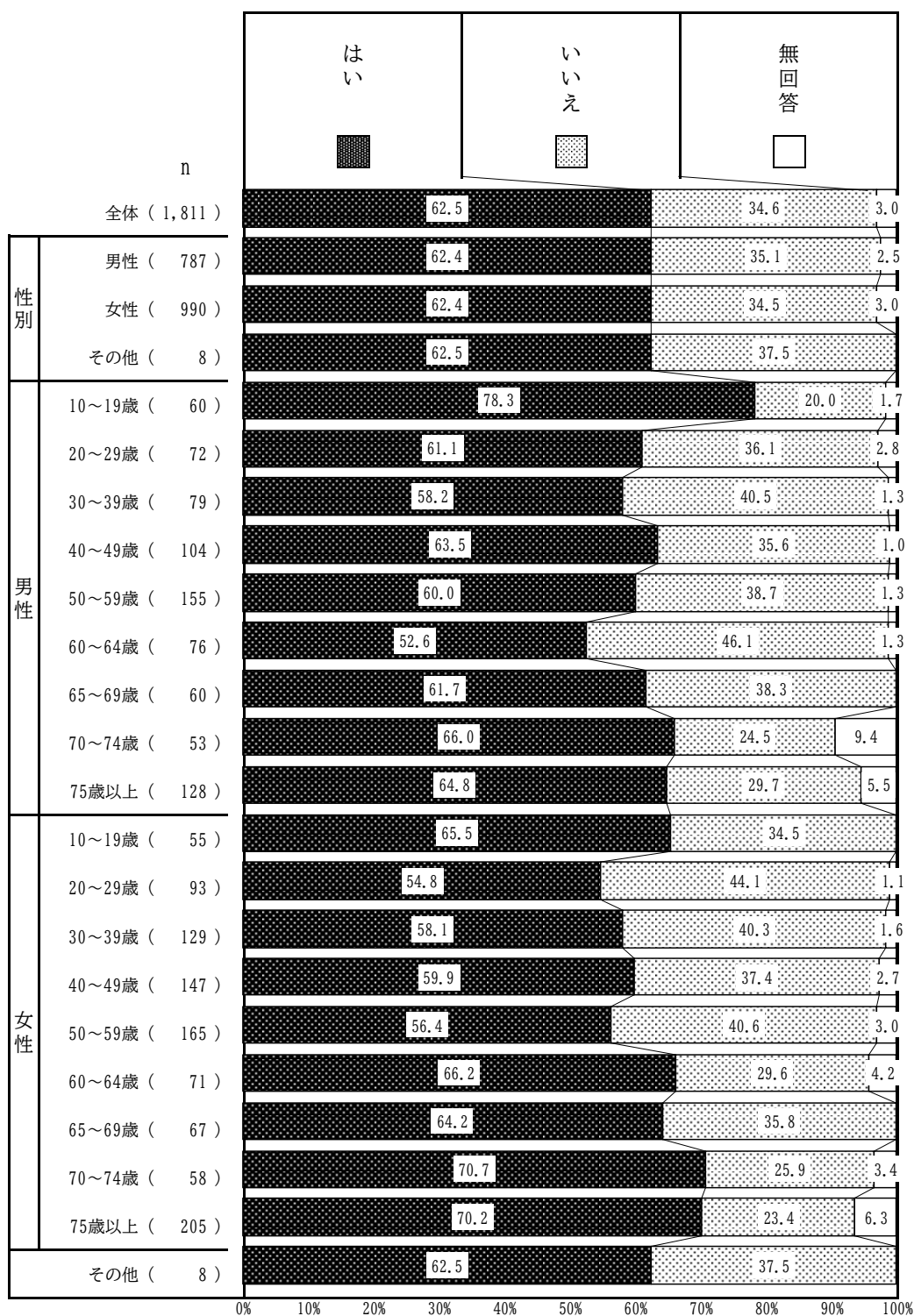


【③家に3日以上過ごせる水や食べ物などがある／性・年齢別】

男性において、「はい」は10～19歳（78.3%）が8割近くとなっている。

女性において、「はい」は70～74歳（70.7%）が約7割となっている。（図表11－7）

<図表11－7>③家に3日以上過ごせる水や食べ物などがある／性・年齢別

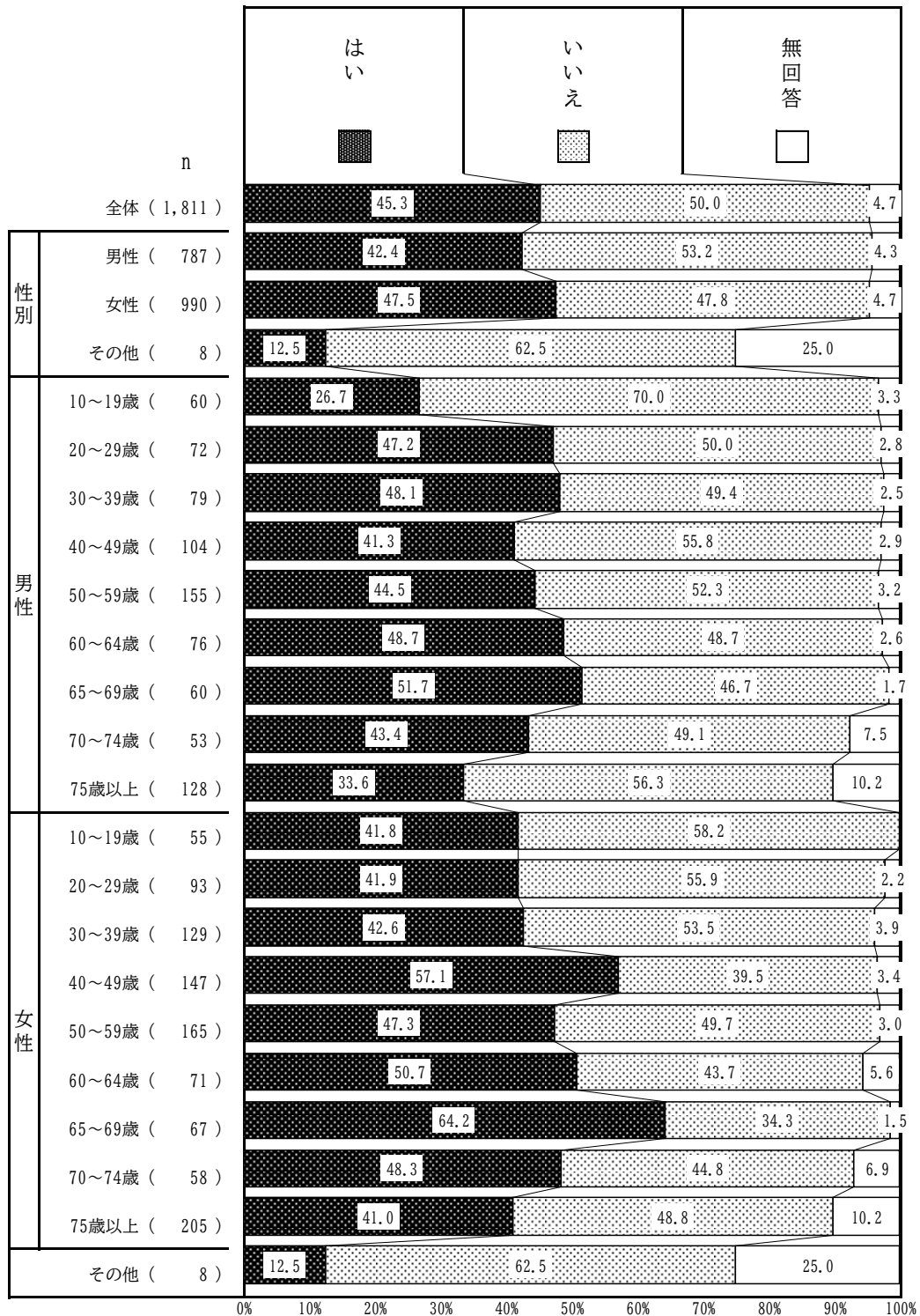


【④災害用伝言ダイヤル「171」を知っている／性・年齢別】

男性において、「はい」は65～69歳（51.7%）が5割を超えている。

女性において、「はい」は65～69歳（64.2%）が6割台半ばとなっている。（図表11－8）

<図表11－8>④災害用伝言ダイヤル「171」を知っている／性・年齢別

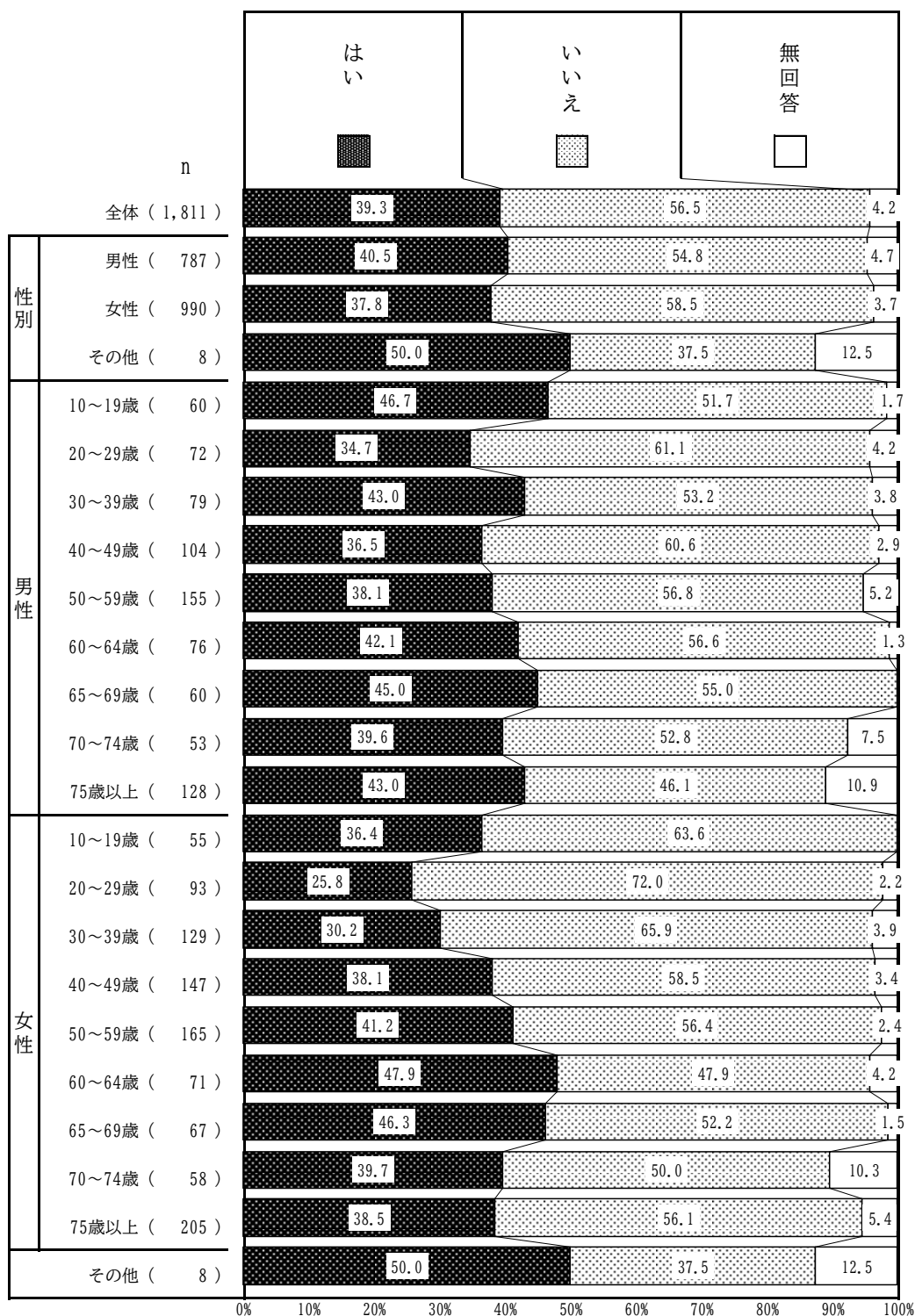


【⑤家具が倒れないように固定し、食器棚のものが飛び出さないように留め具をつけている／性・年齢別】

男性において、「はい」は10～19歳（46.7%）が5割近くとなっている。

女性において、「はい」は60～64歳（47.9%）が5割近くとなっている。（図表11－9）

<図表11－9> ⑤家具が倒れないように固定し、食器棚のものが飛び出さないように留め具をつけている／性・年齢別

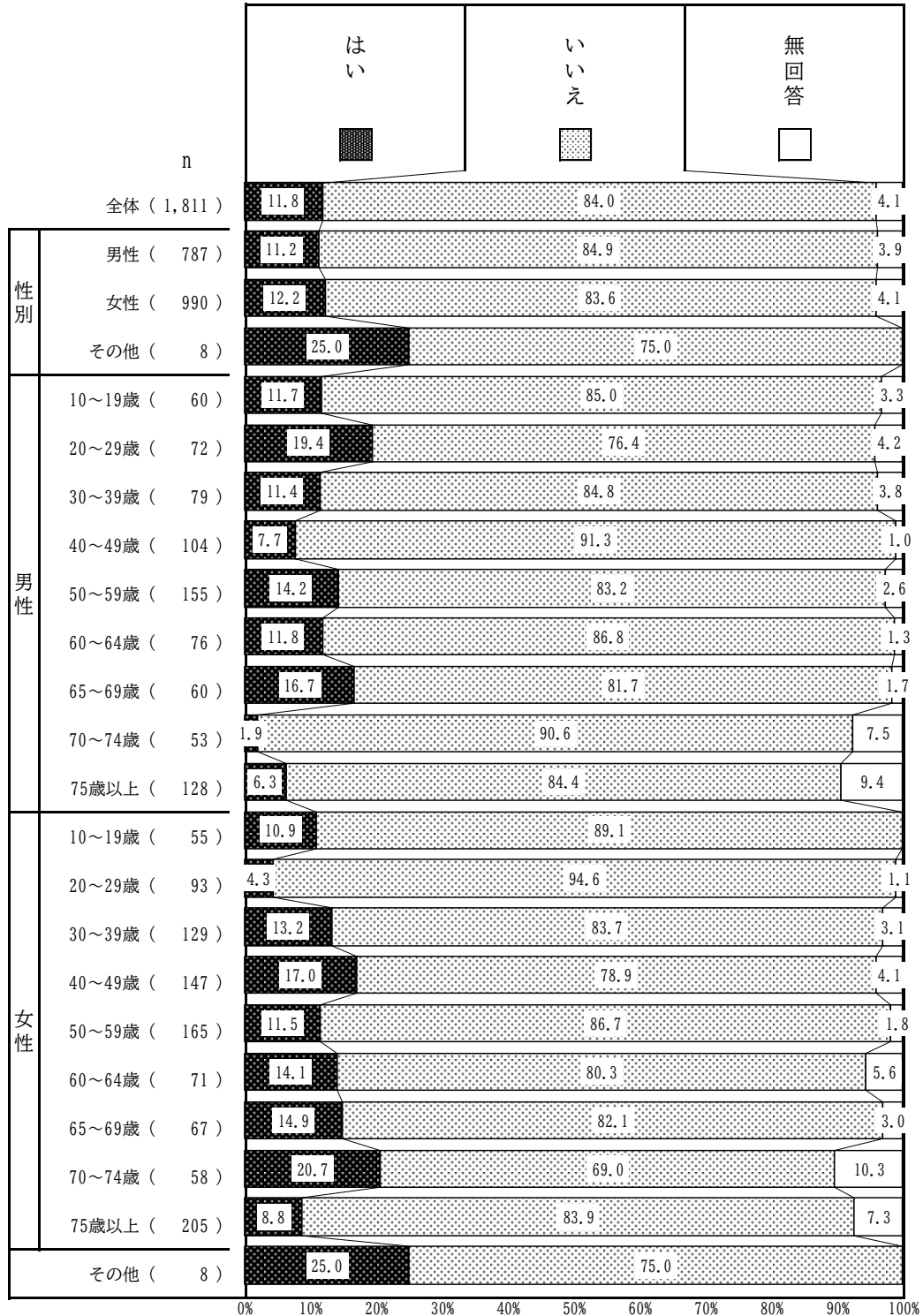


【⑥窓や食器棚のガラスが割れても、飛び散らないように飛散防止フィルムを貼っている／性・年齢別】

男性において、「はい」は20～29歳（19.4%）が約2割となっている。

女性において、「はい」は70～74歳（20.7%）が約2割となっている。（図表11-10）

<図表 11-10> ⑥窓や食器棚のガラスが割れても、飛び散らないように飛散防止フィルムを貼っている／性・年齢別

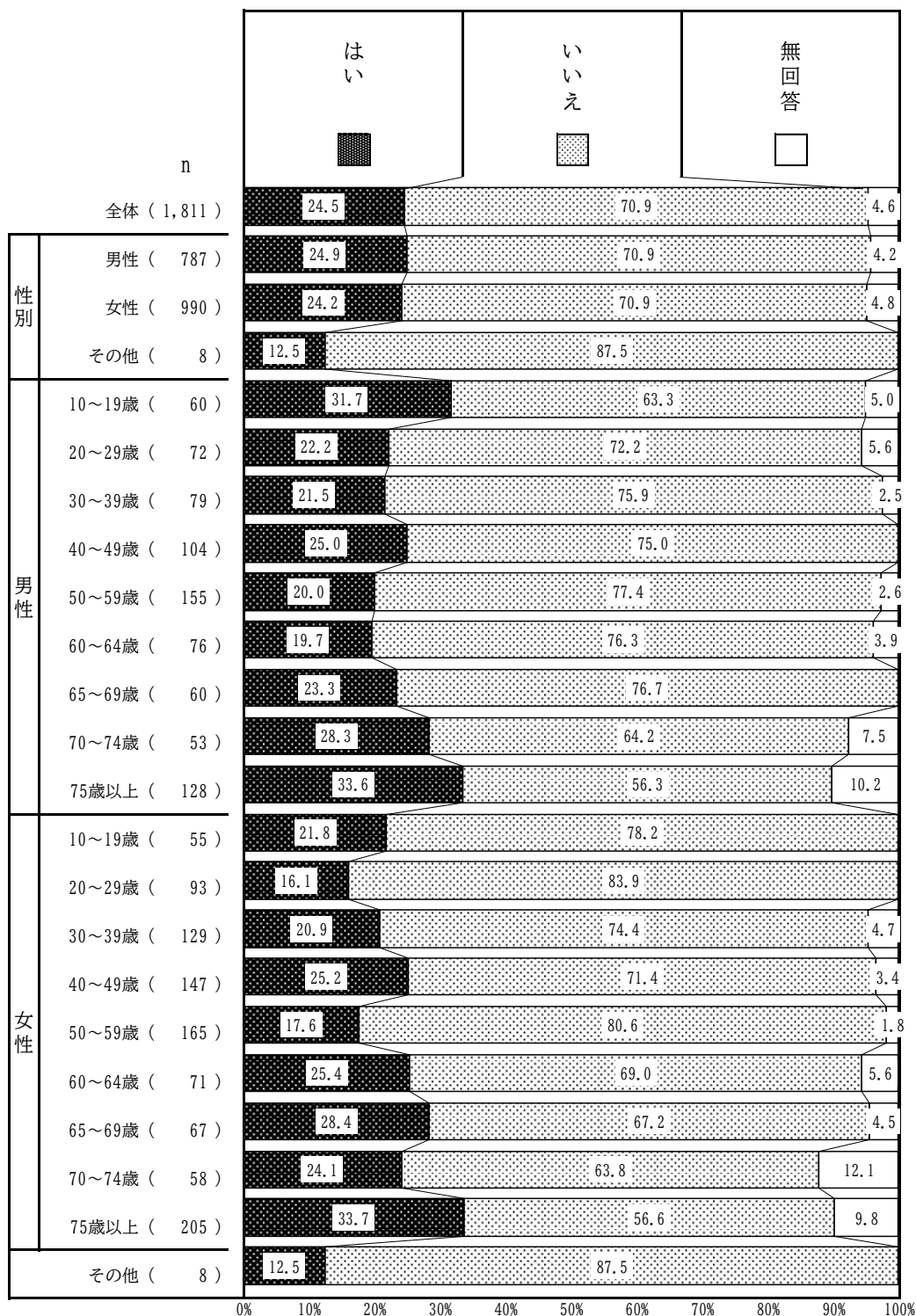


【⑦感震ブレーカー（地震を感知する機械）をつけている／性・年齢別】

男性において、「はい」は75歳以上（33.6%）が3割を超えている。

女性において、「はい」は75歳以上（33.7%）が3割を超えている。（図表 11-11）

<図表 11-11> ⑦感震ブレーカー（地震を感知する機械）をつけている／性・年齢別

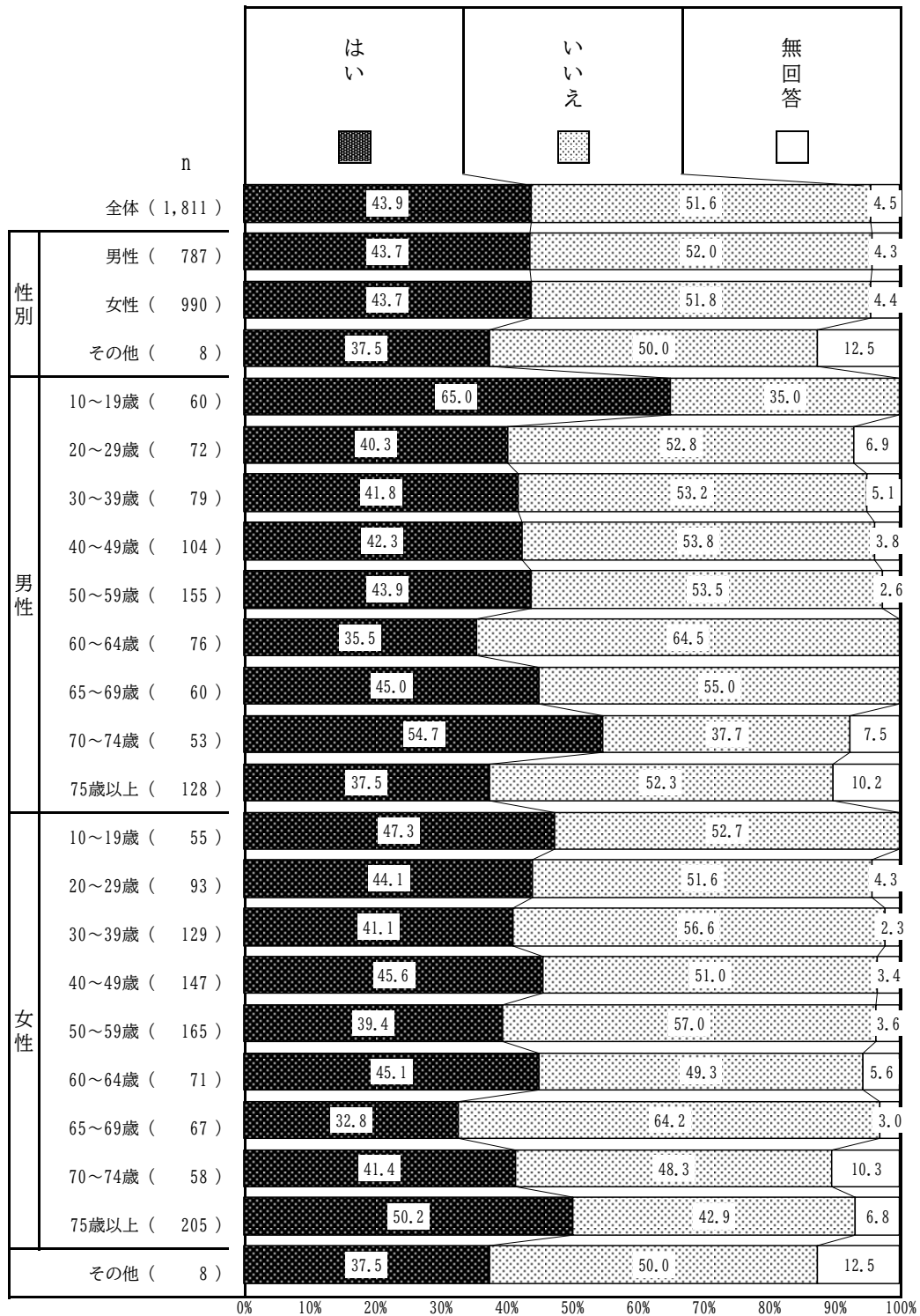


【⑧避難所（逃げる場所）や連絡する方法を家族で確認している／性・年齢別】

男性において、「はい」は10～19歳（65.0%）が6割台半ばとなっている。

女性において、「はい」は75歳以上（50.2%）が5割となっている。（図表11-12）

<図表11-12>⑧避難所（逃げる場所）や連絡する方法を家族で確認している／性・年齢別

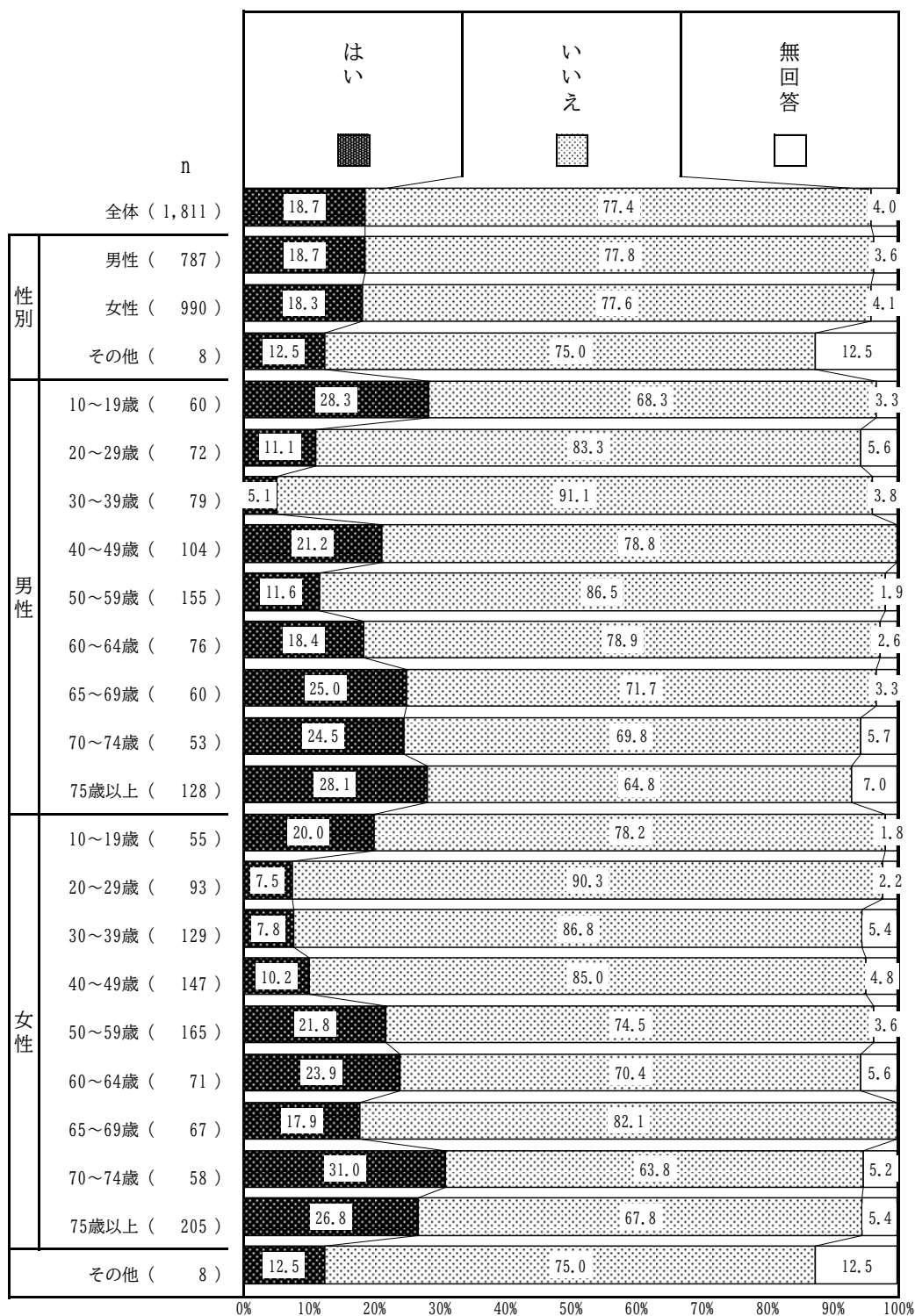


【⑨町会・自治会などが実施する防災訓練に参加したことがある／性・年齢別】

男性において、「はい」は10～19歳（28.3%）が3割近くとなっている。

女性において、「はい」は70～74歳（31.0%）が3割を超えている。（図表11-13）

<図表11-13>⑨町会・自治会などが実施する防災訓練に参加したことがある／性・年齢別

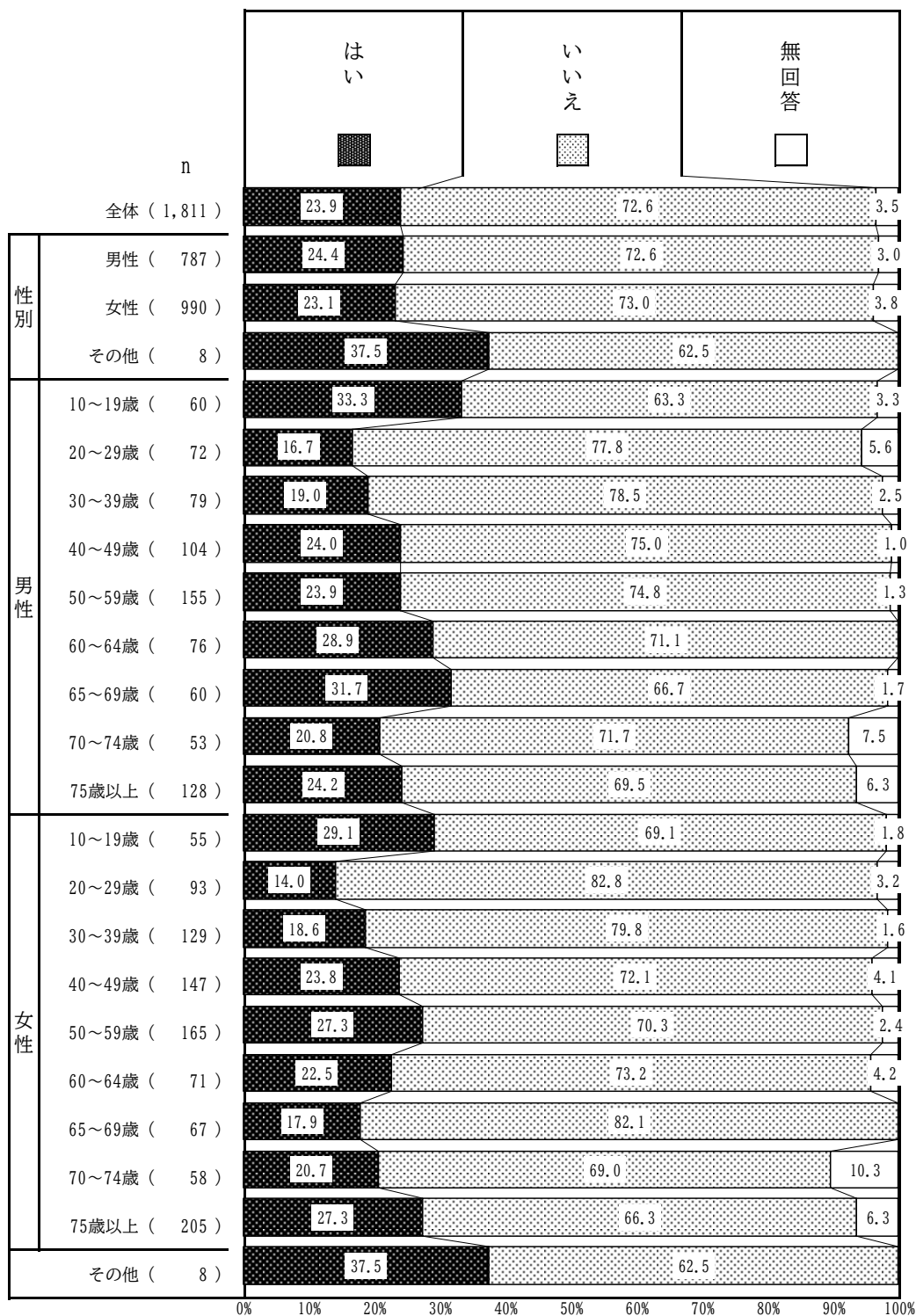


【⑩近所の安全な場所や危険な場所の確認・点検をしたことがある／性・年齢別】

男性において、「はい」は10～19歳（33.3%）が3割を超えている。

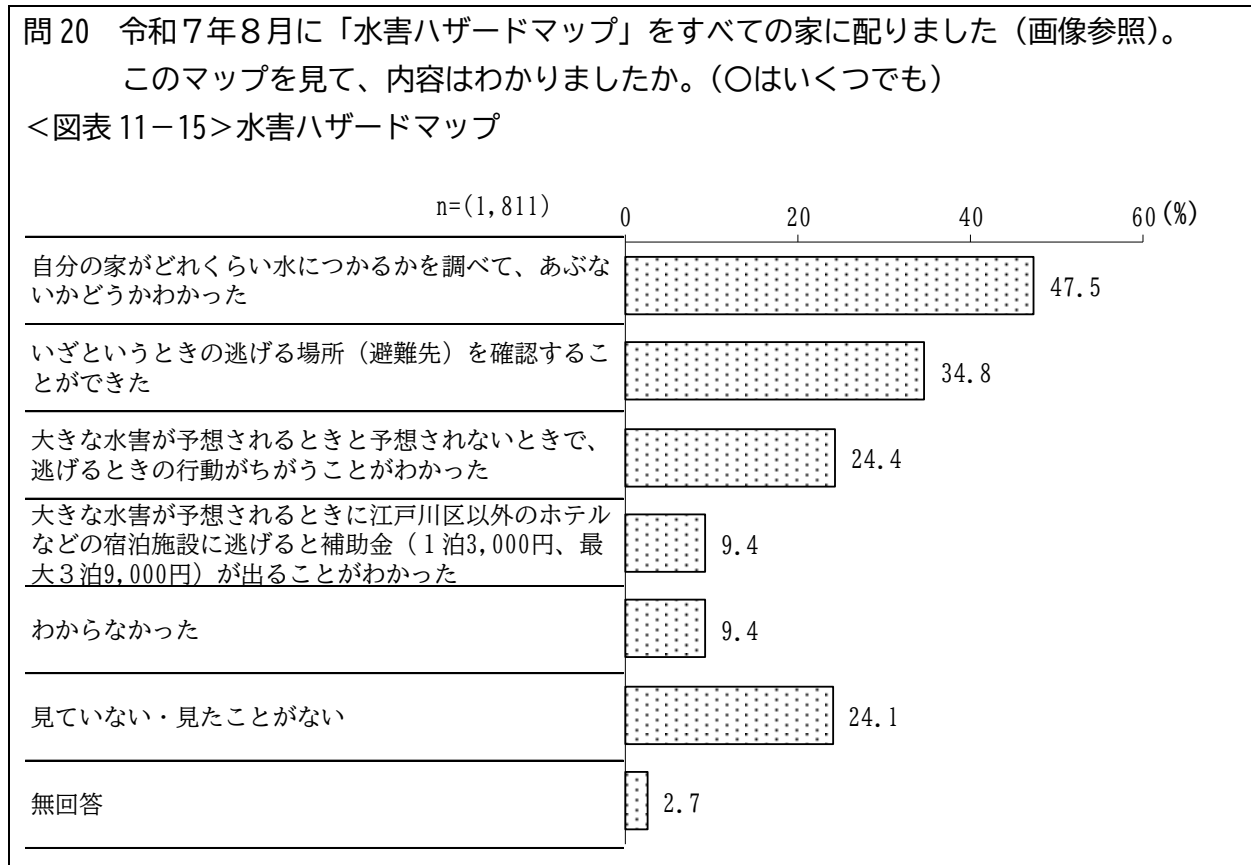
女性において、「はい」は10～19歳（29.1%）が約3割となっている。（図表11-14）

<図表11-14> ⑩近所の安全な場所や危険な場所の確認・点検をしたことがある／性・年齢別



(3) 水害ハザードマップ

◇「自分の家がどれくらい水につかるかを調べて、あぶないかどうかわかった」が5割近くで最も高い。



「自分の家がどれくらい水につかるかを調べて、あぶないかどうかわかった」（47.5%）が5割近くと最も高く、次いで「いざというときの逃げる場所（避難先）を確認することができた」（34.8%）、「大きな水害が予想されるときと予想されないうきで、逃げるときの行動がちがうことがわかった」（24.4%）となっている。（図表 11-15）

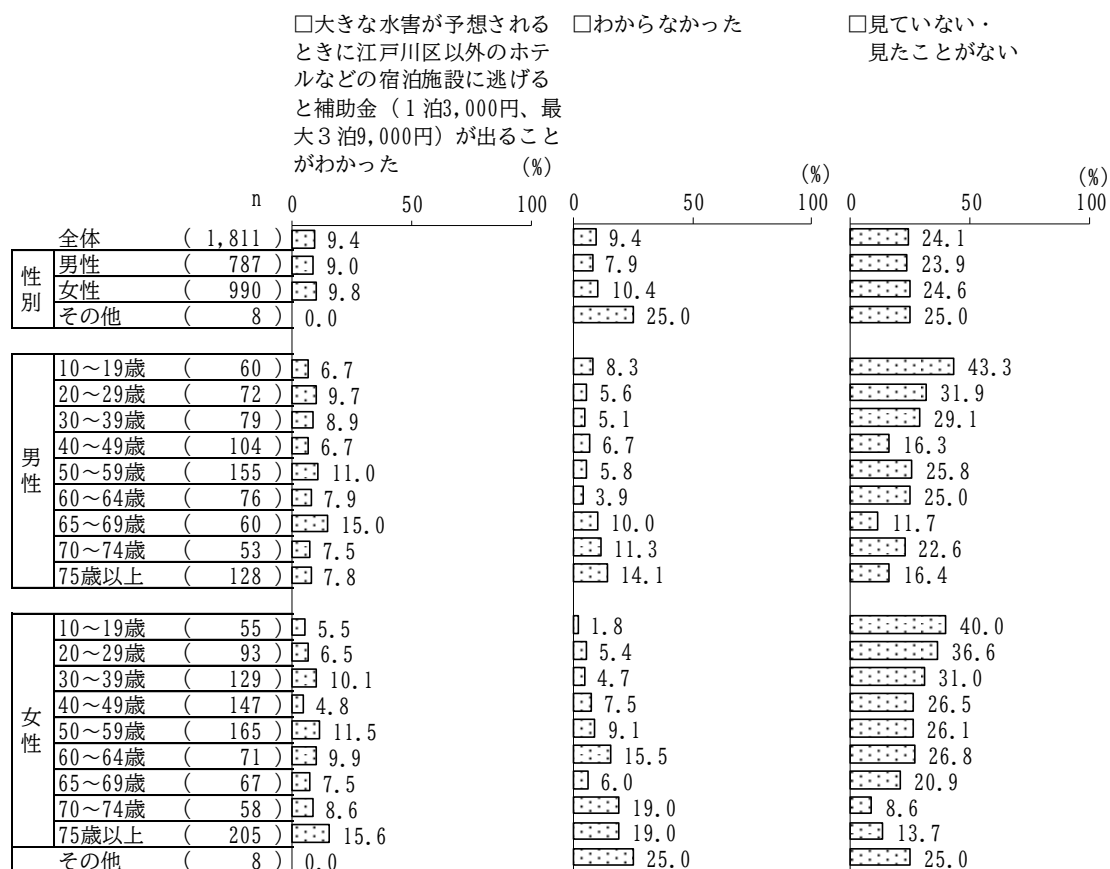
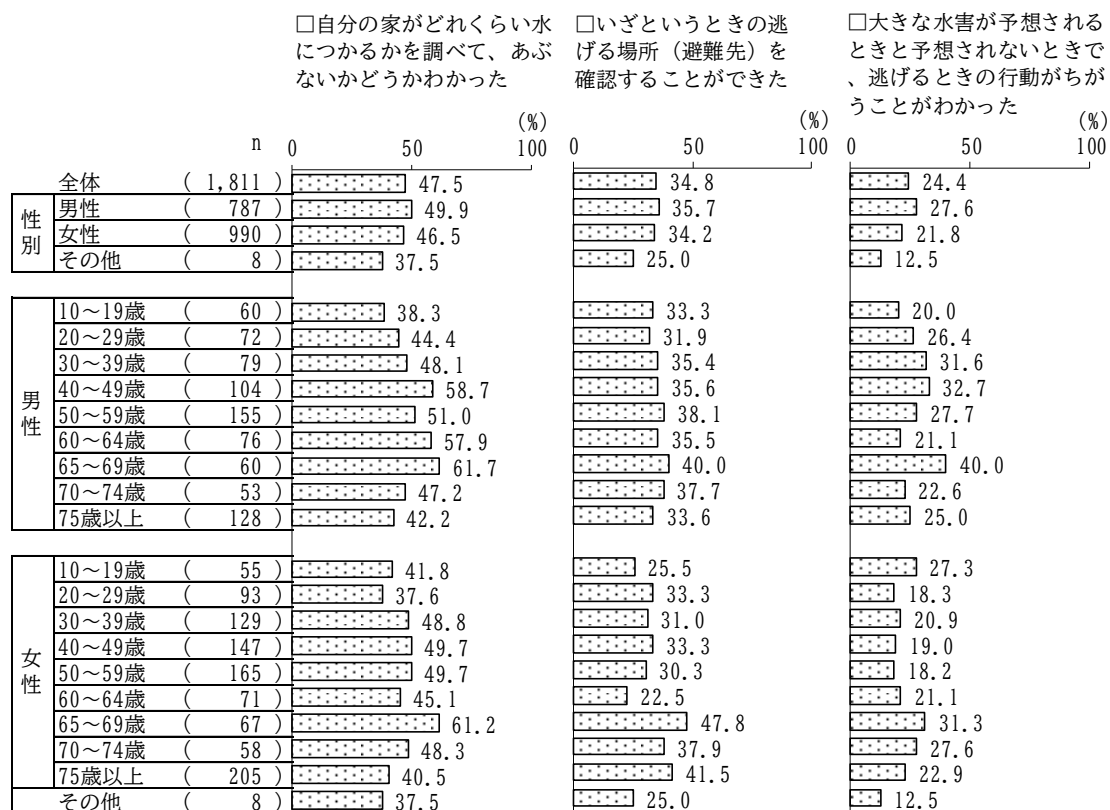
【性・年齢別】

「大きな水害が予想されるときと予想されないうきで、逃げるときの行動がちがうことがわかった」は男性（27.6%）が女性（21.8%）に比べて5.8ポイント高くなっている。

男性において、「自分の家がどれくらい水につかるかを調べて、あぶないかどうかわかった」は65～69歳（61.7%）が6割を超えている。

女性において、「自分の家がどれくらい水につかるかを調べて、あぶないかどうかわかった」は65～69歳（61.2%）が6割を超えている。（図表 11-16）

<図表 11-16>水害ハザードマップ（上位6項目）／性・年齢別



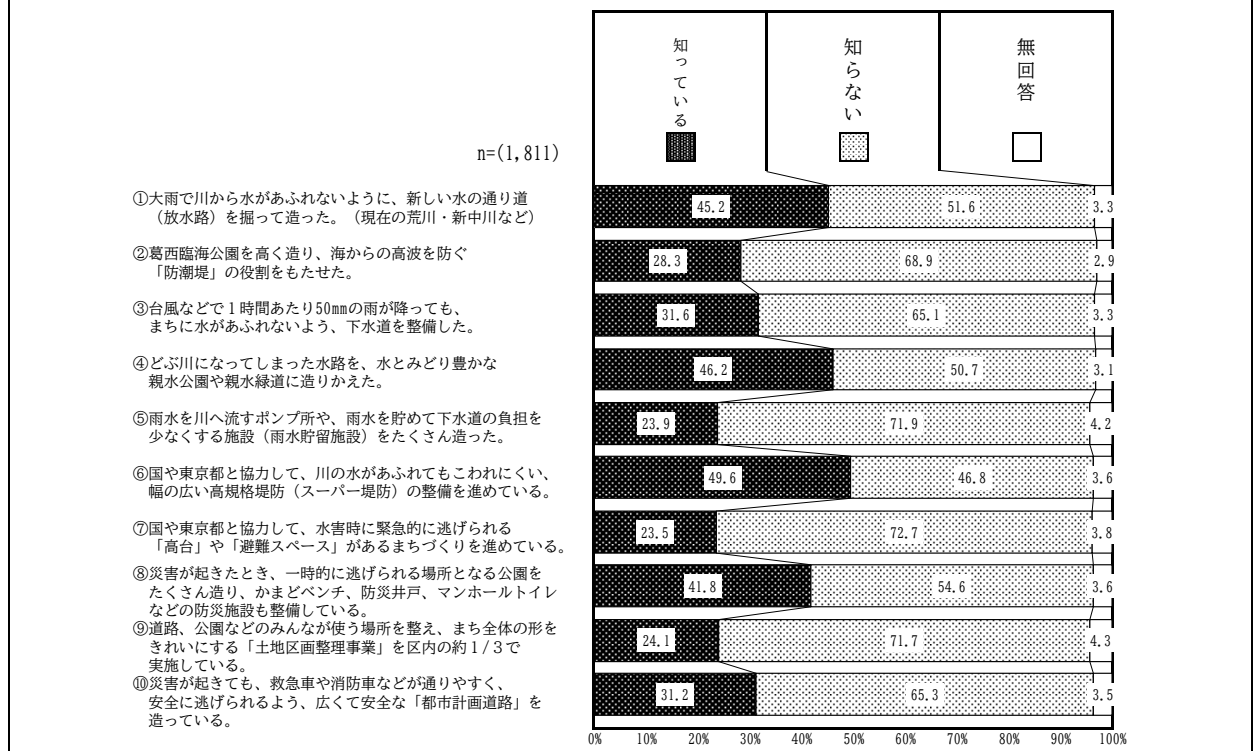
(4) 安全安心なまちづくりに向けた取り組みの認知度

◇【⑥国や東京都と協力して、川の水があふれてもこわれにくい、幅の広い高規格堤防（スーパー堤防）の整備を進めている。】の「知っている」が5割で最も高い。

問 21 これから先、首都直下型の大地震や豪雨による水害など、大きな災害が起きると予想されています。区民のみなさんの命や財産、まちを守るために、江戸川区は国や東京都と一緒に様々な取り組みを行っています。

あなたは、災害に強い安全安心なまちづくりをするための取り組みを知っていますか。項目ごとにお答えください。（それぞれ○は1つつつ）

<図表 11-17>安全安心なまちづくりに向けた取り組みの認知度



「知っている」は【⑥国や東京都と協力して、川の水があふれてもこわれにくい、幅の広い高規格堤防（スーパー堤防）の整備を進めている。】（49.6%）が5割と最も高く、次いで【④どぶ川になってしまった水路を、水とみどり豊かな親水公園や親水緑道に造りかえた。】（46.2%）、【①大雨で川から水があふれないように、新しい水の通り道（放水路）を掘って造った。（現在の荒川・新中川など）】（45.2%）と続いている。

一方、「知らない」は【⑦国や東京都と協力して、水害時に緊急的に逃げられる「高台」や「避難スペース」があるまちづくりを進めている。】（72.7%）、【⑤雨水を川へ流すポンプ所や、雨水を貯めて下水道の負担を少なくする施設（雨水貯留施設）をたくさん造った。】（71.9%）、【⑨道路、公園などのみんなが使う場所を整え、まち全体の形をきれいにする「土地区画整理事業」を区内の約1/3で実施している。】（71.7%）が7割を超えた。（図表 11-17）

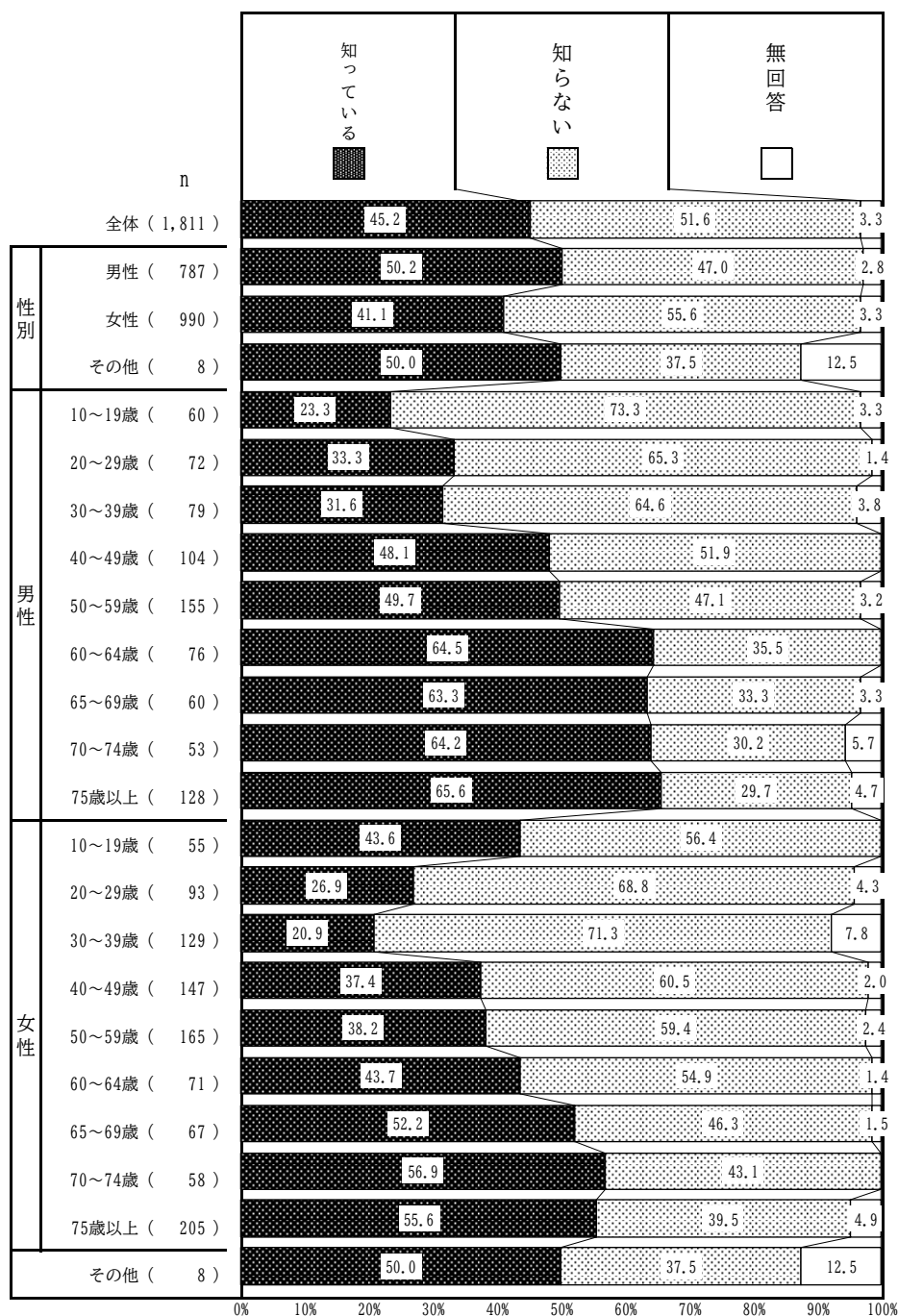
【①大雨で川から水があふれないように、新しい水の通り道（放水路）を掘って造った。（現在の荒川・新中川など）／性・年齢別】

「知っている」は男性（50.2%）が女性（41.1%）より 9.1 ポイント高くなっている。

男性は 50 歳以上、女性は 65 歳以上で「知っている」が「知らない」の割合を上回っている。

年齢別にみると、30 歳～69 歳では男性の認知度が女性より 10 ポイント以上高く、10～19 歳では女性の認知度が男性より 10 ポイント以上高い。（図表 11-18）

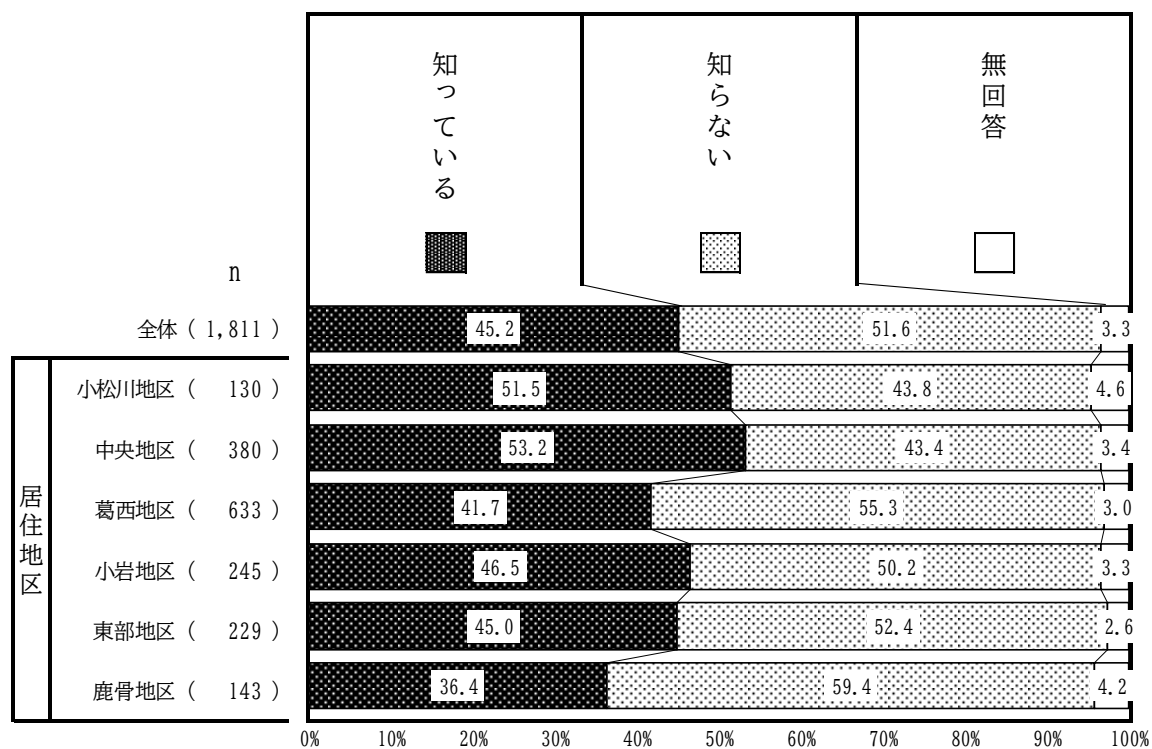
<図表 11-18>①大雨で川から水があふれないように、新しい水の通り道（放水路）を掘って造った。（現在の荒川・新中川など）／性・年齢別



【①大雨で川から水があふれないように、新しい水の通り道（放水路）を掘って造った。（現在の荒川・新中川など）／居住地区別】

「知っている」は小松川地区と中央地区が5割を超えており、「知らない」の割合を上回っている。（図表 11-19）

<図表 11-19> ①大雨で川から水があふれないように、新しい水の通り道（放水路）を掘って造った。（現在の荒川・新中川など）／居住地区別



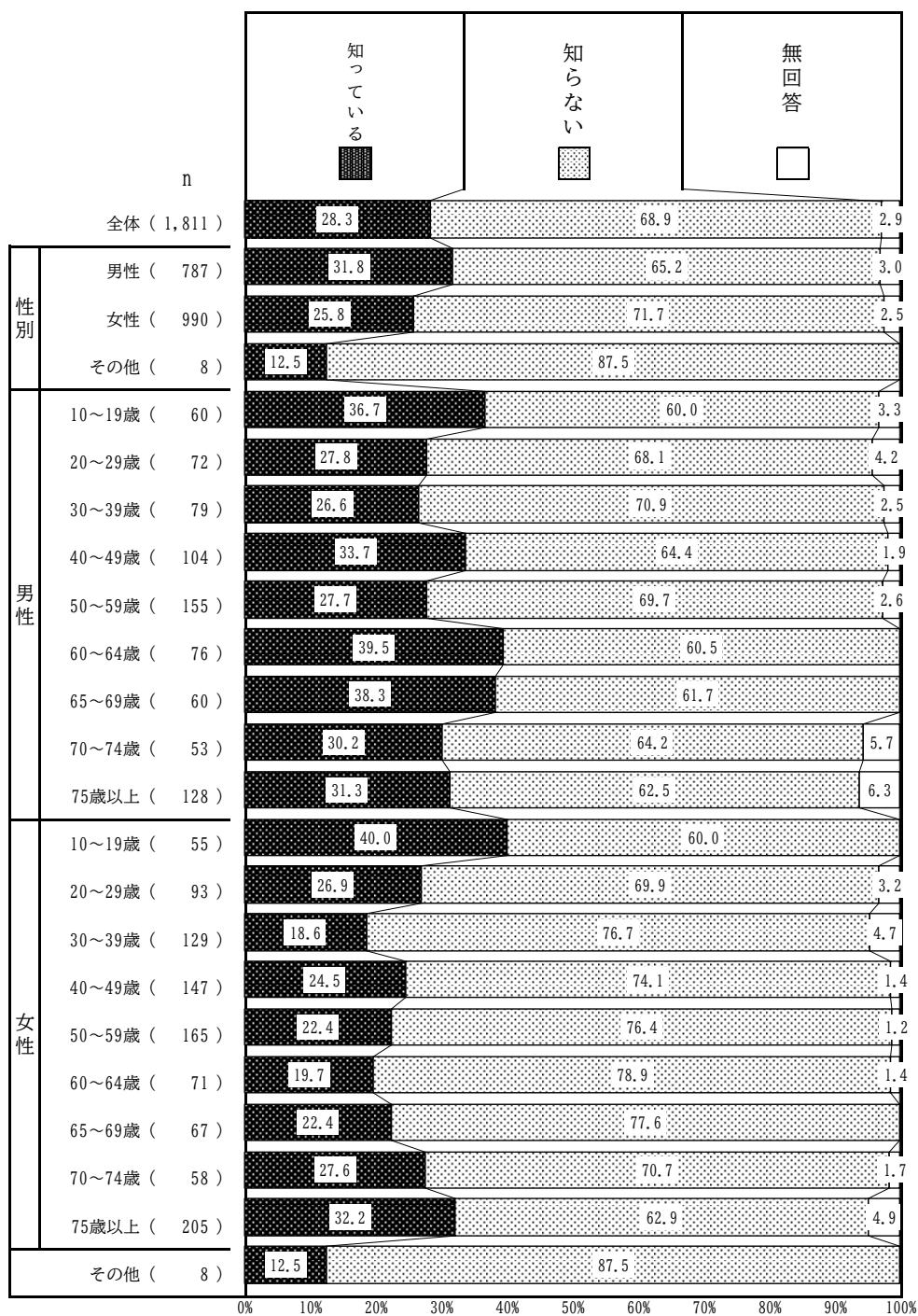
【②葛西臨海公園を高く造り、海からの高波を防ぐ「防潮堤」の役割をもたせた。／性・年齢別】

「知っている」は男性（31.8%）が女性（25.8%）より 6.0 ポイント高くなっている。

男女ともにすべての年齢で「知らない」が「知っている」の割合を上回っている。

年齢別にみると、60～69 歳では男性の認知度が女性より 10 ポイント以上高く、60～64 歳では男性が女性よりも 19.8 ポイント高くなっている。（図表 11－20）

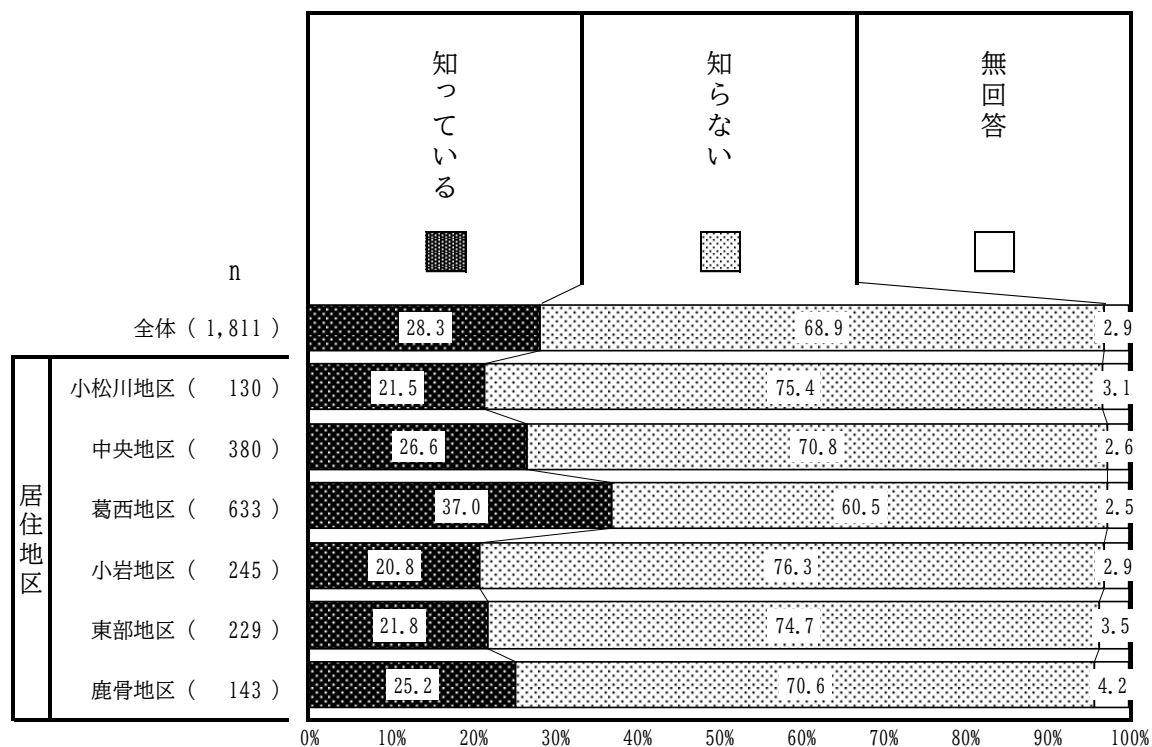
<図表 11－20> ②葛西臨海公園を高く造り、海からの高波を防ぐ「防潮堤」の役割をもたせた。／性・年齢別



【②葛西臨海公園を高く造り、海からの高波を防ぐ「防潮堤」の役割をもたせた。／居住地区別】

「知っている」はすべての居住地区で4割を下回っており、葛西地区（37.0%）が4割近くで最も高くなっている。（図表 11-21）

<図表 11-21>②葛西臨海公園を高く造り、海からの高波を防ぐ「防潮堤」の役割をもたせた。／居住地区別



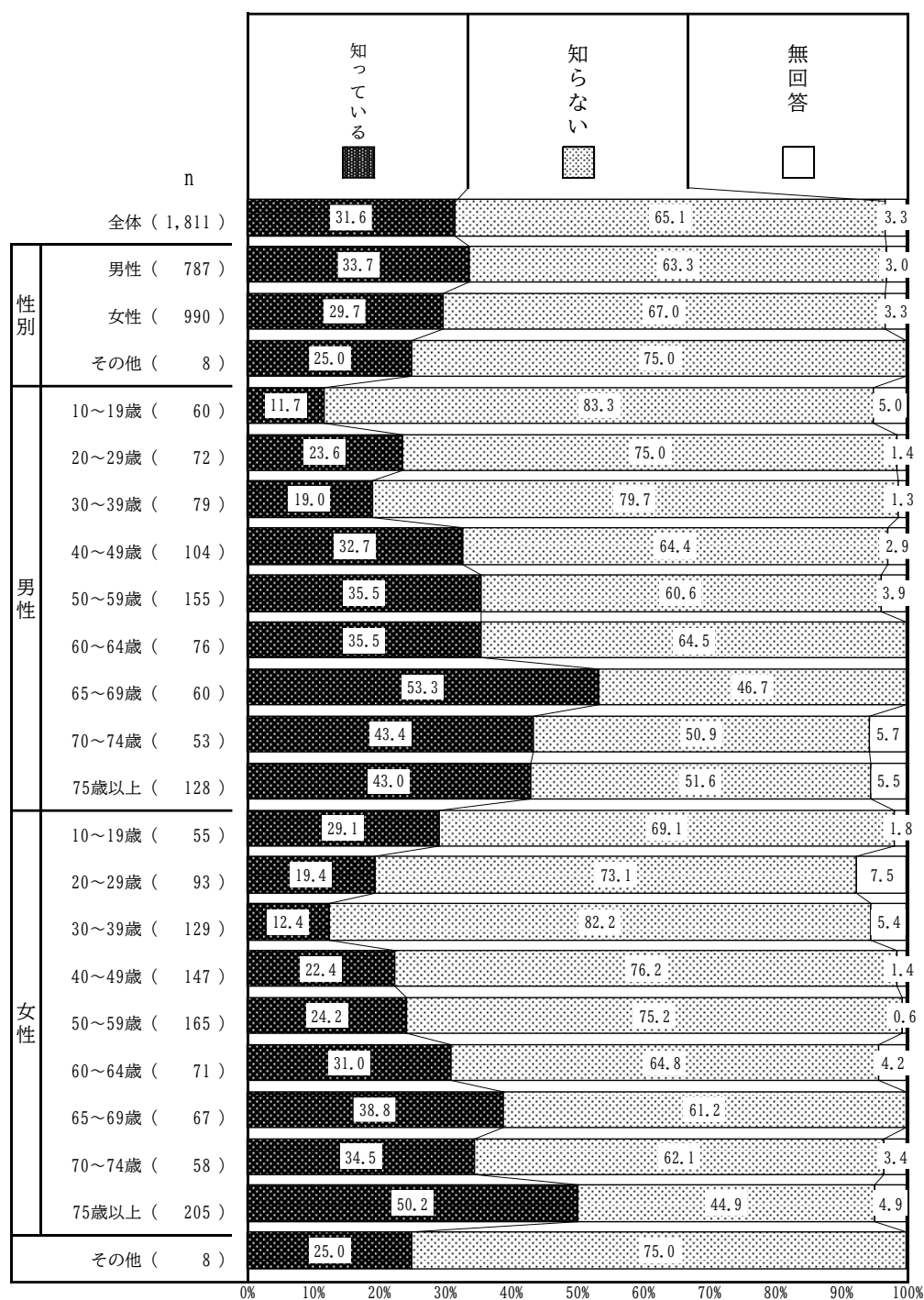
【③台風などで1時間あたり50mmの雨が降っても、まちに水があふれないよう、下水道を整備した。／性・年齢別】

「知っている」は男性（33.7%）が女性（29.7%）より4.0ポイント高くなっている。

男性の65～69歳、女性の75歳以上で「知っている」が「知らない」の割合を上回っている。

年齢別にみると、40～59歳、65～69歳では男性の認知度が女性より10ポイント以上高く、10～19歳では女性の認知度が男性より10ポイント以上高くなっている。（図表11-22）

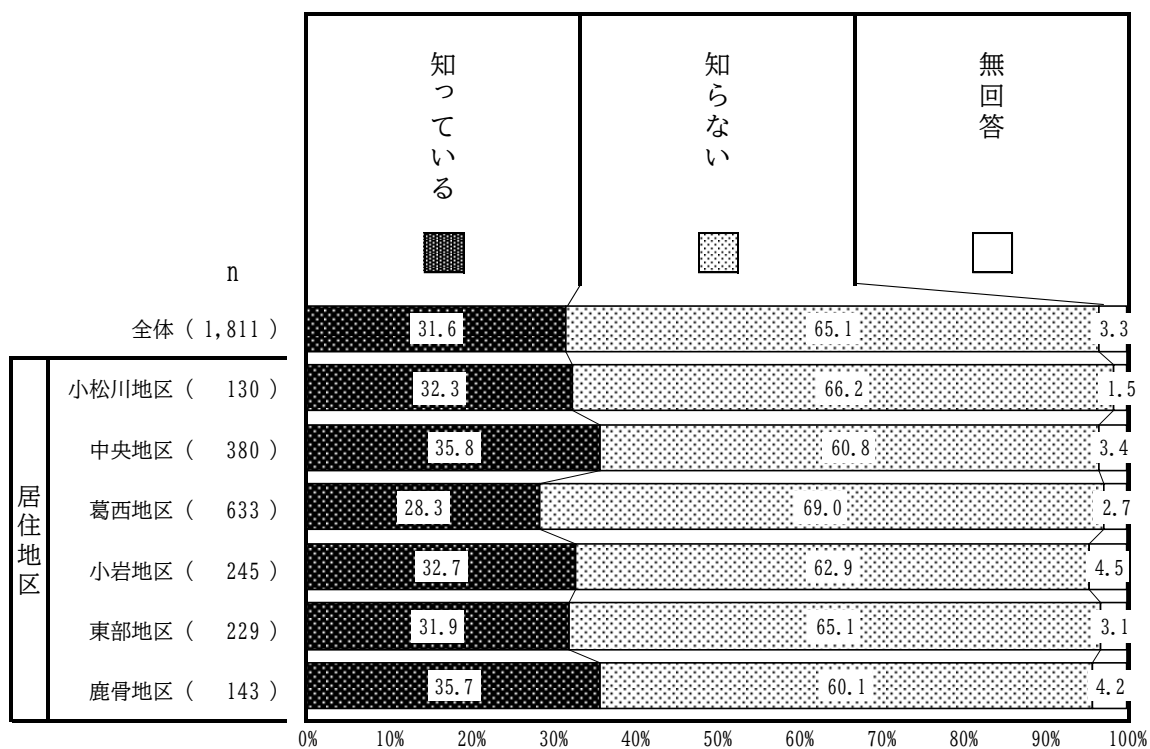
<図表11-22>③台風などで1時間あたり50mmの雨が降っても、まちに水があふれないよう、下水道を整備した。／性・年齢別



【③台風などで1時間あたり50mmの雨が降っても、まちに水があふれないよう、下水道を整備した。／居住地区別】

「知っている」はすべての居住地区で4割を下回っており、認知度が高い地域でも中央地区（35.8%）と鹿骨地区（35.7%）の3割台半ばとなっている。（図表11-23）

<図表11-23>③台風などで1時間あたり50mmの雨が降っても、まちに水があふれないよう、下水道を整備した。／居住地区別



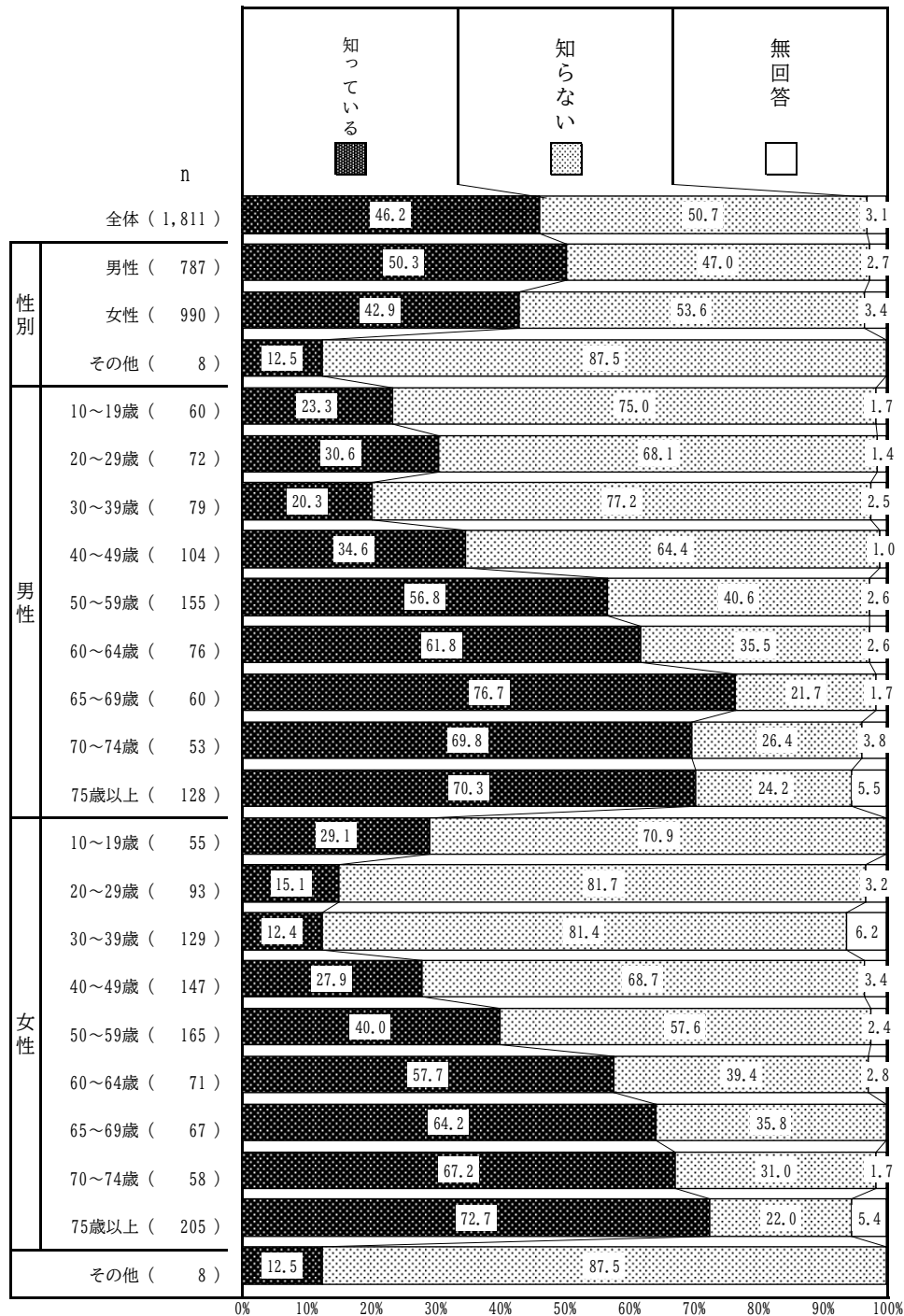
【④どぶ川になってしまった水路を、水とみどり豊かな親水公園や親水緑道に造りかえた。／性・年齢別】

「知っている」は男性（50.3%）が女性（42.9%）より 7.4 ポイント高くなっている。

男性の 50 歳以上、女性の 60 歳以上で「知っている」が「知らない」の割合を上回っている一方、男性は 49 歳以下、女性は 59 歳以下は「知らない」が「知っている」を大きく上回っている。

年齢別にみると、20～29 歳、50～59 歳、65～69 歳では男性の認知度が女性より 10 ポイント以上高くなっている。（図表 11-24）

<図表 11-24> ④どぶ川になってしまった水路を、水とみどり豊かな親水公園や親水緑道に造りかえた。／性・年齢別

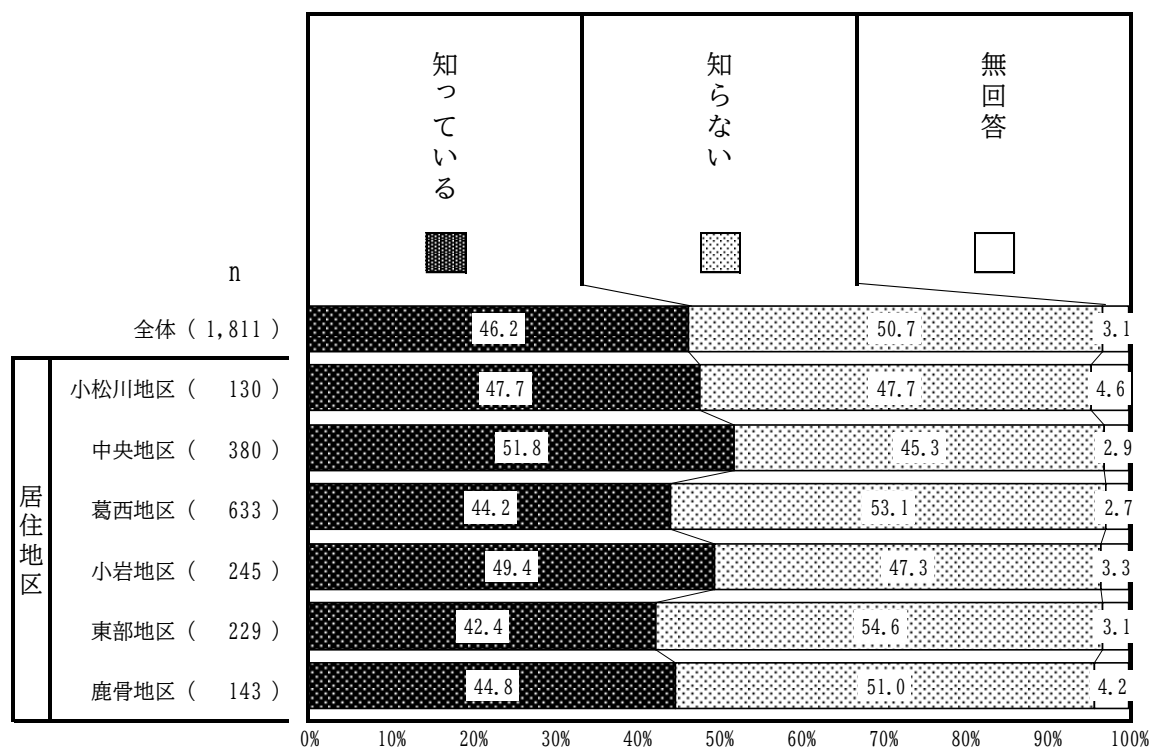


【④どぶ川になってしまった水路を、水とみどり豊かな親水公園や親水緑道に造りかえた。／居住地区別】

中央地区（51.8%）と小岩地区（49.4%）では「知っている」が「知らない」を上回っている。

（図表 11-25）

<図表 11-25> ④どぶ川になってしまった水路を、水とみどり豊かな親水公園や親水緑道に造りかえた。／居住地区別



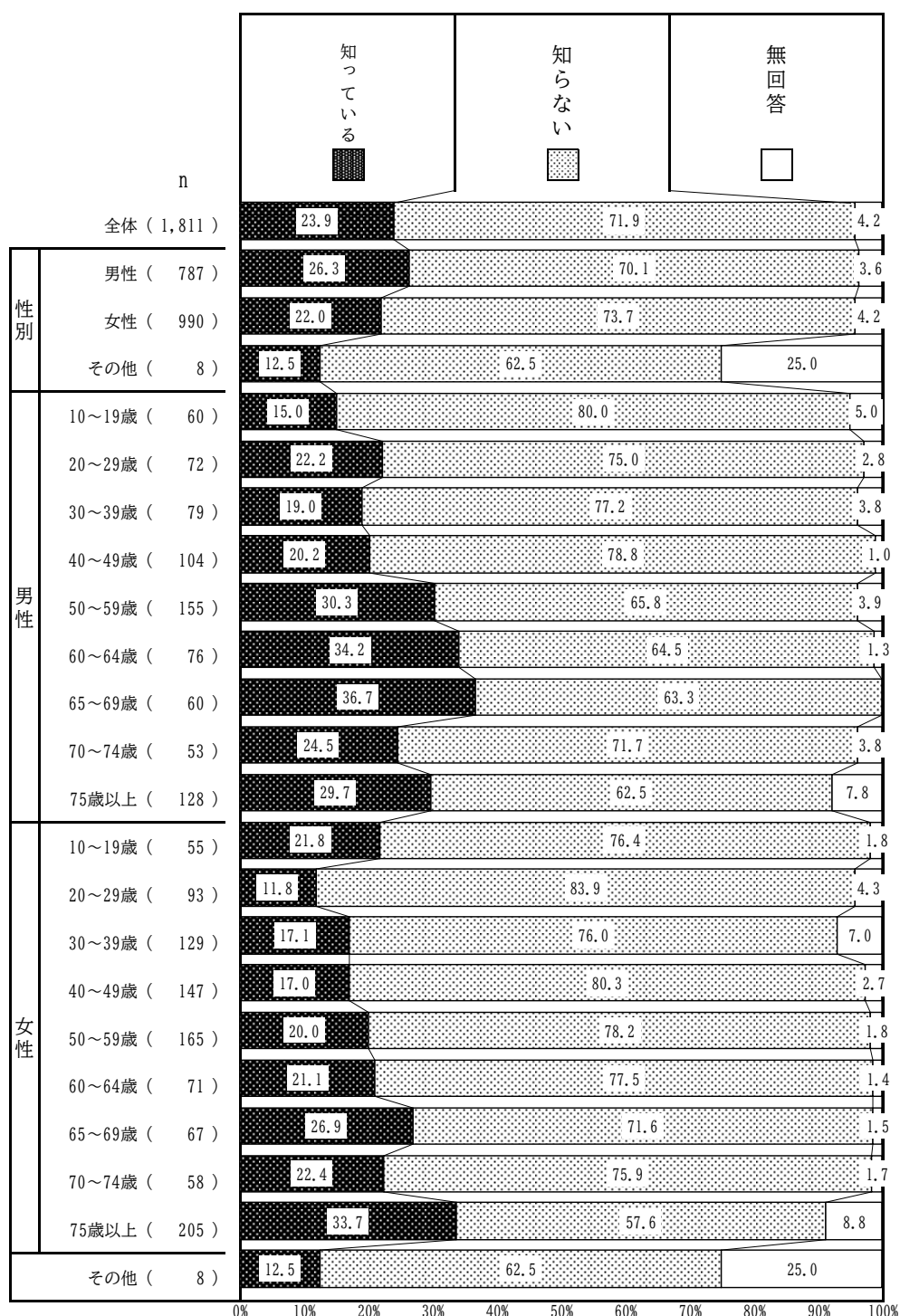
【⑤雨水を川へ流すポンプ所や、雨水を貯めて下水道の負担を少なくする施設（雨水貯留施設）をたくさん造った。／性・年齢別】

「知っている」は男性（26.3％）が女性（22.0％）より 4.3 ポイント高くなっている。

男女ともにすべての年齢で「知らない」が「知っている」の割合を上回っている。

年齢別にみると、20～29 歳、50～64 歳では男性の認知度が女性より 10 ポイント以上高くなっている。（図表 11-26）

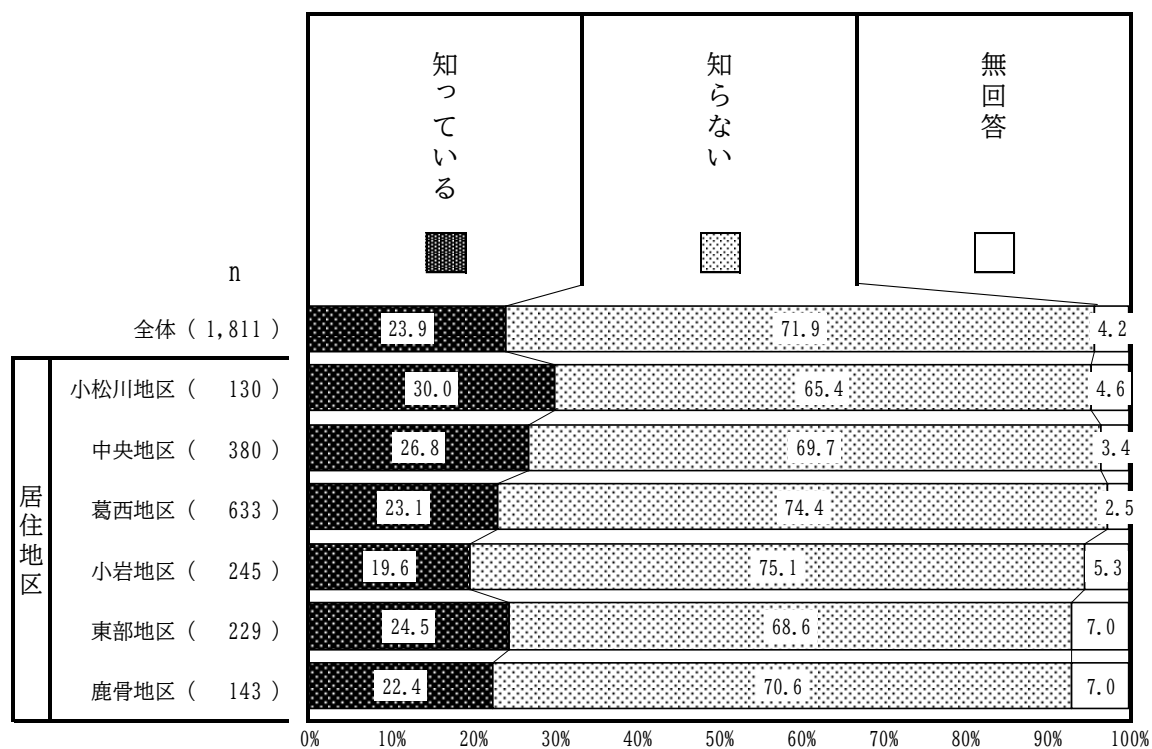
<図表 11-26> ⑤雨水を川へ流すポンプ所や、雨水を貯めて下水道の負担を少なくする施設（雨水貯留施設）をたくさん造った。／性・年齢別



【⑤雨水を川へ流すポンプ所や、雨水を貯めて下水道の負担を少なくする施設（雨水貯留施設）をたくさん造った。／居住地区別】

「知っている」はすべての居住地区で4割を下回っており、認知度が高い地域でも小松川地区（30.0%）の3割となっている。（図表 11-27）

<図表 11-27> ⑤雨水を川へ流すポンプ所や、雨水を貯めて下水道の負担を少なくする施設（雨水貯留施設）をたくさん造った。／居住地区別



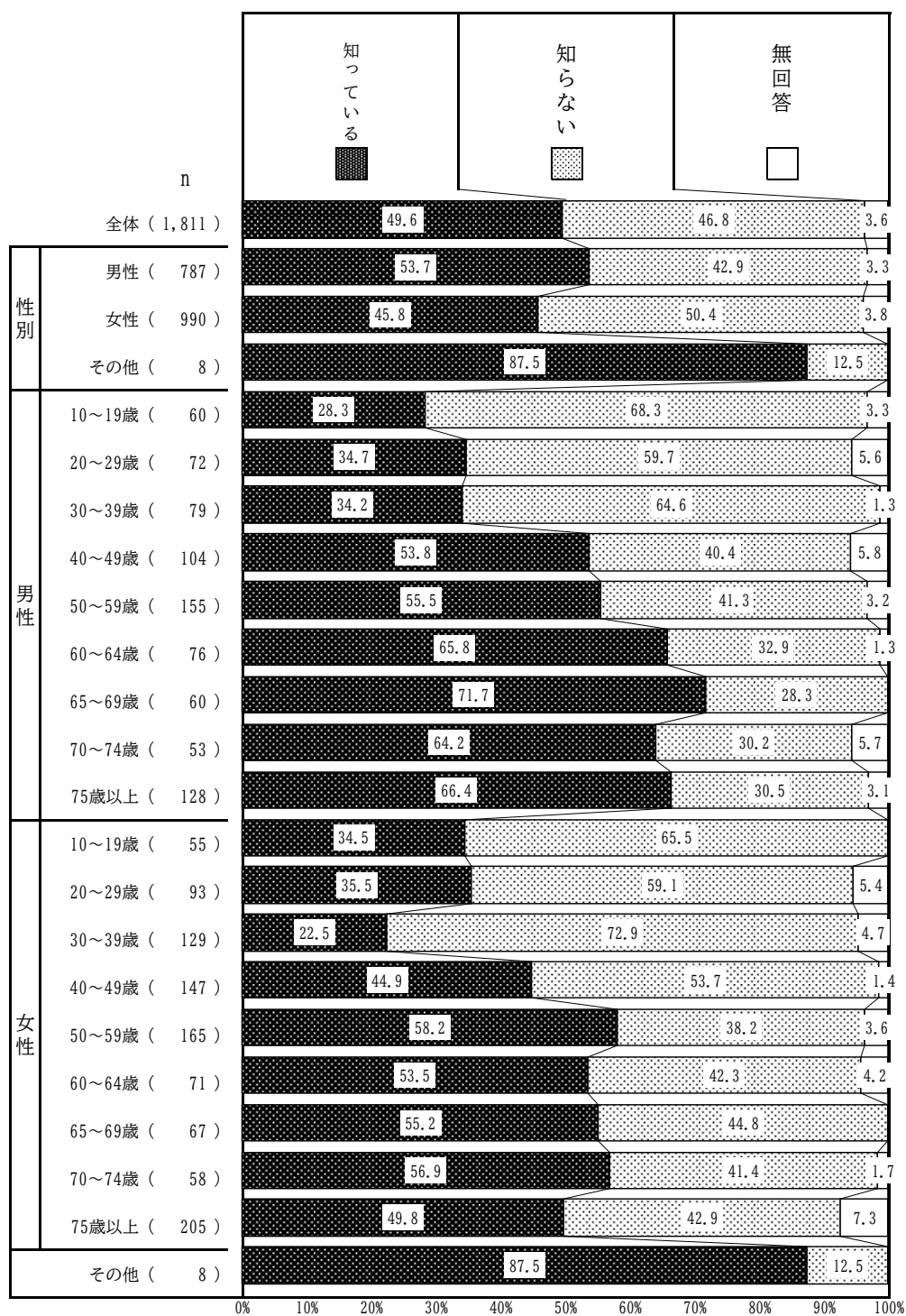
【⑥国や東京都と協力して、川の水があふれてもこわれにくい、幅の広い高規格堤防（スーパー堤防）の整備を進めている。／性・年齢別】

「知っている」は男性（53.7%）が女性（45.8%）より 7.9 ポイント高くなっている。

男性の 40 歳以上、女性の 50 歳以上で「知っている」が「知らない」の割合を上回っている。

年齢別にみると、30～39 歳、60～69 歳、75 歳以上では男性の認知度が女性より 10 ポイント以上高くなっている。（図表 11-28）

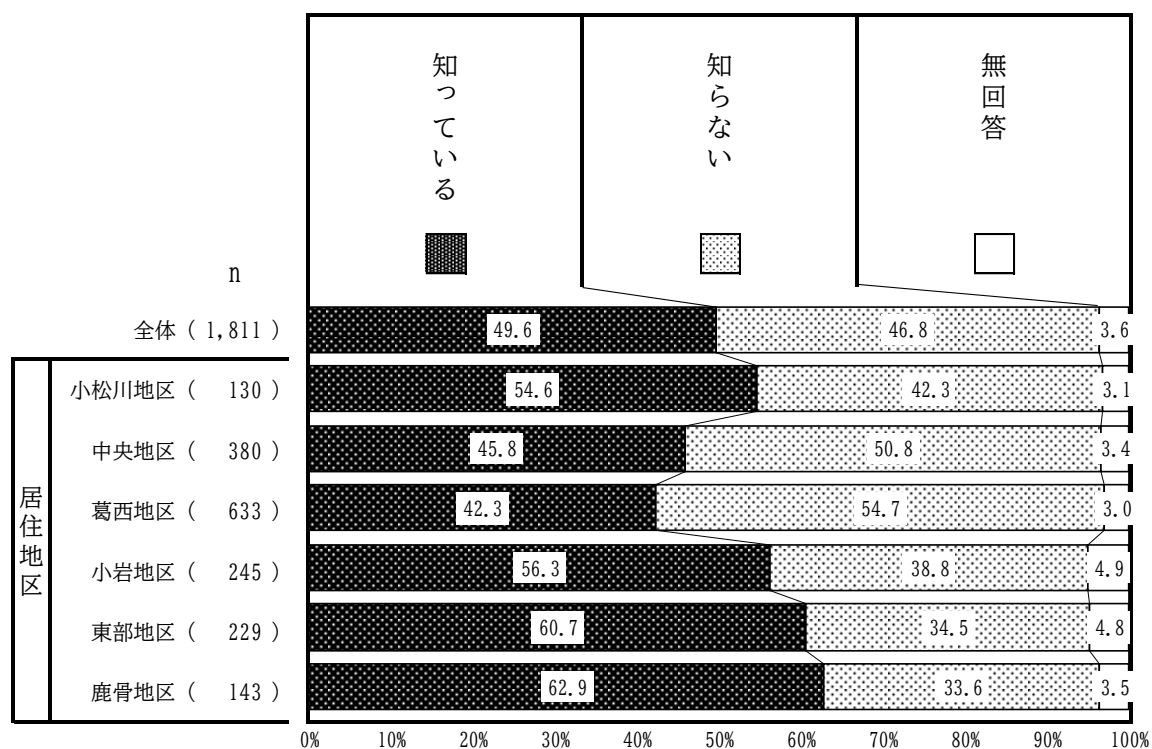
<図表 11-28> ⑥国や東京都と協力して、川の水があふれてもこわれにくい、幅の広い高規格堤防（スーパー堤防）の整備を進めている。／性・年齢別



【⑥国や東京都と協力して、川の水があふれてもこわれにくい、幅の広い高規格堤防（スーパー堤防）の整備を進めている。／居住地区別】

鹿骨地区（62.9%）、東部地区（60.7%）、小岩地区（56.3%）、小松川地区（54.6%）で「知っている」が「知らない」の割合を上回っており、鹿骨地区では「知っている」が6割を超えて最も高くなっている。（図表 11-29）

<図表 11-29> ⑥国や東京都と協力して、川の水があふれてもこわれにくい、幅の広い高規格堤防（スーパー堤防）の整備を進めている。／居住地区別



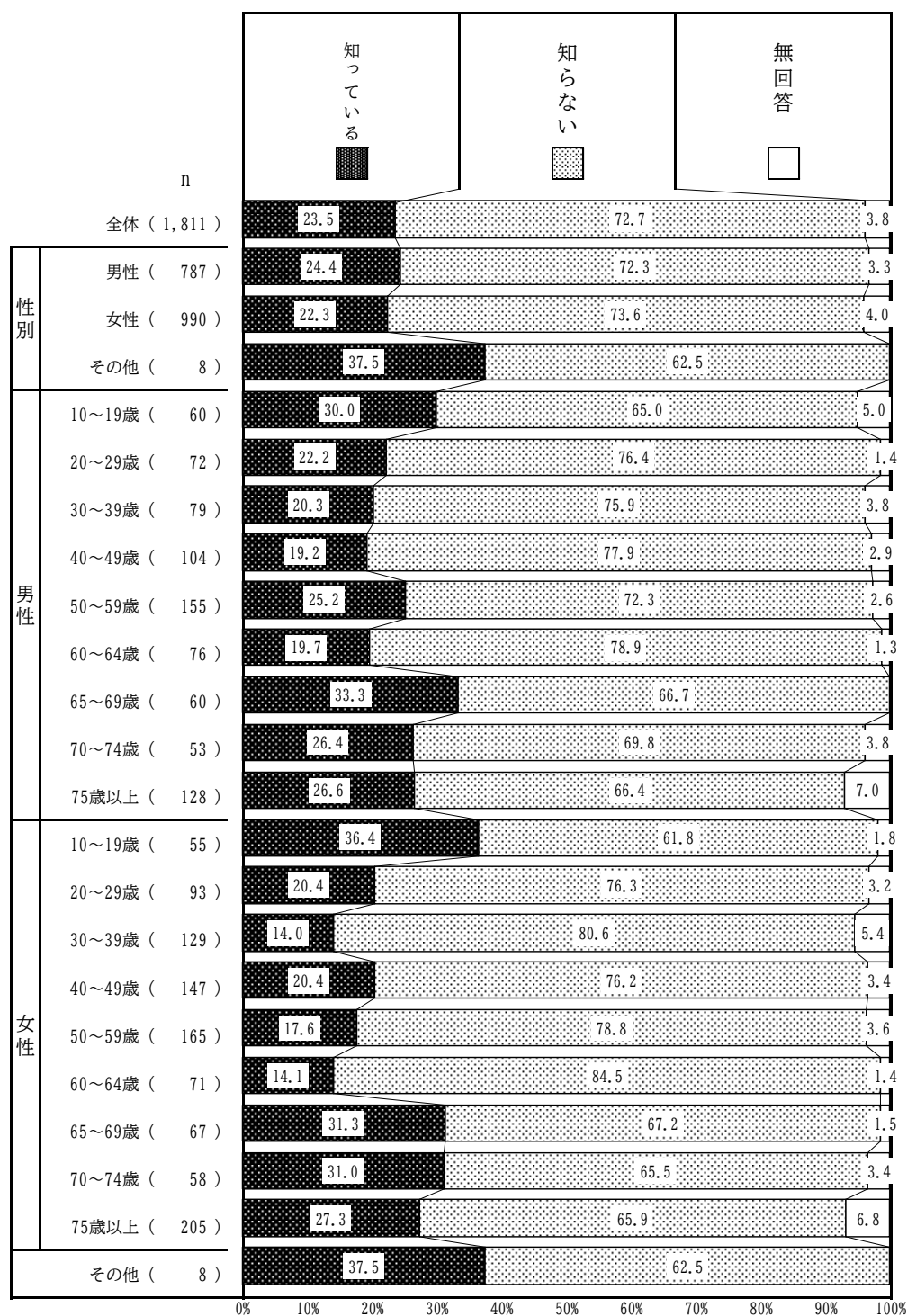
【⑦国や東京都と協力して、水害時に緊急的に逃げられる「高台」や「避難スペース」があるまちづくりを進めている。／性・年齢別】

「知っている」は男性（24.4％）が女性（22.3％）より 2.1 ポイント高くなっている。

男女ともにすべての年齢で「知らない」が「知っている」の割合を上回っている。

年齢別にみると、50～59 歳では男性の認知度が女性より 7.6 ポイント高くなっている一方、10～19 歳では女性の認知度が男性より 6.4 ポイント高くなっている。（図表 11-30）

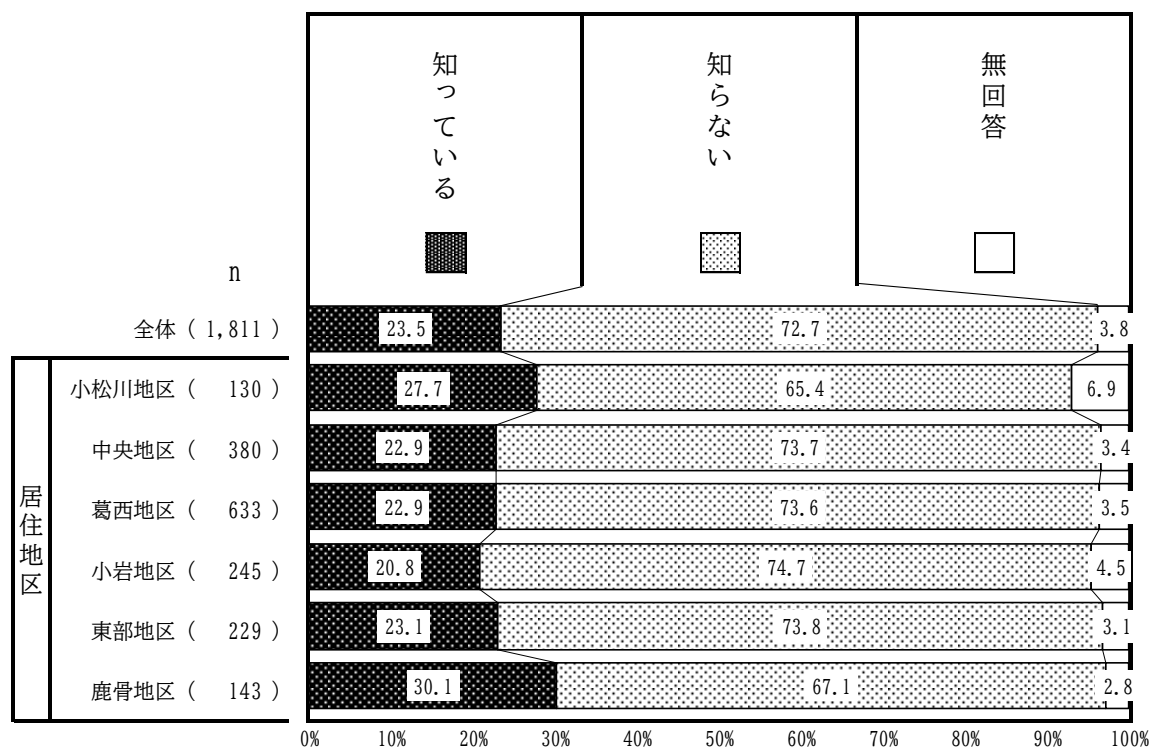
<図表 11-30> ⑦国や東京都と協力して、水害時に緊急的に逃げられる「高台」や「避難スペース」があるまちづくりを進めている。／性・年齢別



【⑦国や東京都と協力して、水害時に緊急的に逃げられる「高台」や「避難スペース」があるまちづくりを進めている。／居住地区別】

「知っている」はすべての居住地区で4割を下回っており、認知度が高い地域でも鹿骨地区(30.1%)の3割となっている。(図表 11-31)

<図表 11-31> ⑦国や東京都と協力して、水害時に緊急的に逃げられる「高台」や「避難スペース」があるまちづくりを進めている。／居住地区別



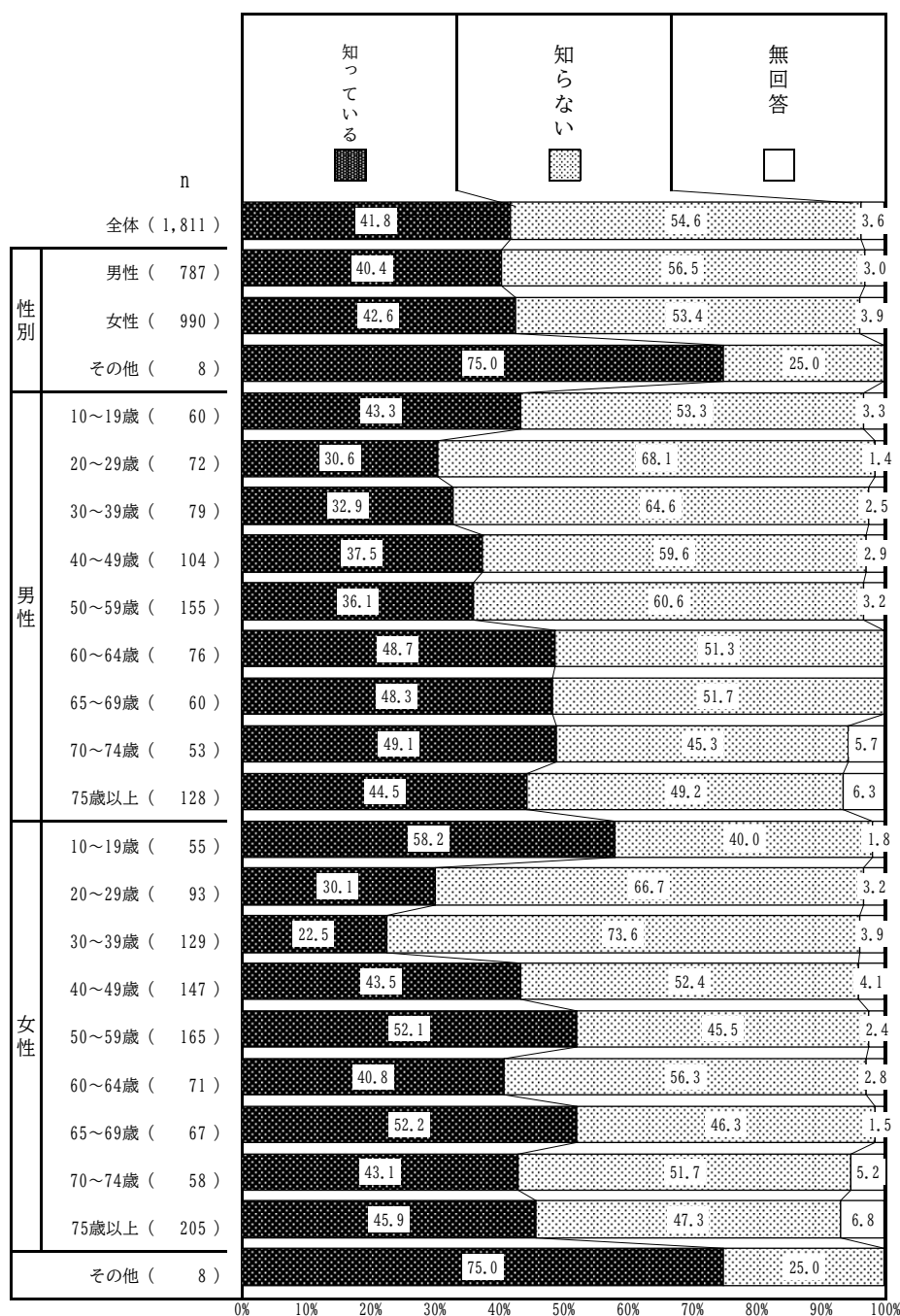
【⑧災害が起きたとき、一時的に逃げられる場所となる公園をたくさん造り、かまどベンチ、防災井戸、マンホールトイレなどの防災施設も整備している。／性・年齢別】

「知っている」は女性（42.6％）が男性（40.4％）より 2.2 ポイント高くなっている。

男性の 70～74 歳、女性の 50～59 歳、65～69 歳で「知っている」が「知らない」の割合を上回っている。

年齢別にみると、30～39 歳では男性の認知度が女性より 10 ポイント以上高く、10～19 歳、50～59 歳では女性の認知度が男性より 10 ポイント以上高くなっている。（図表 11-32）

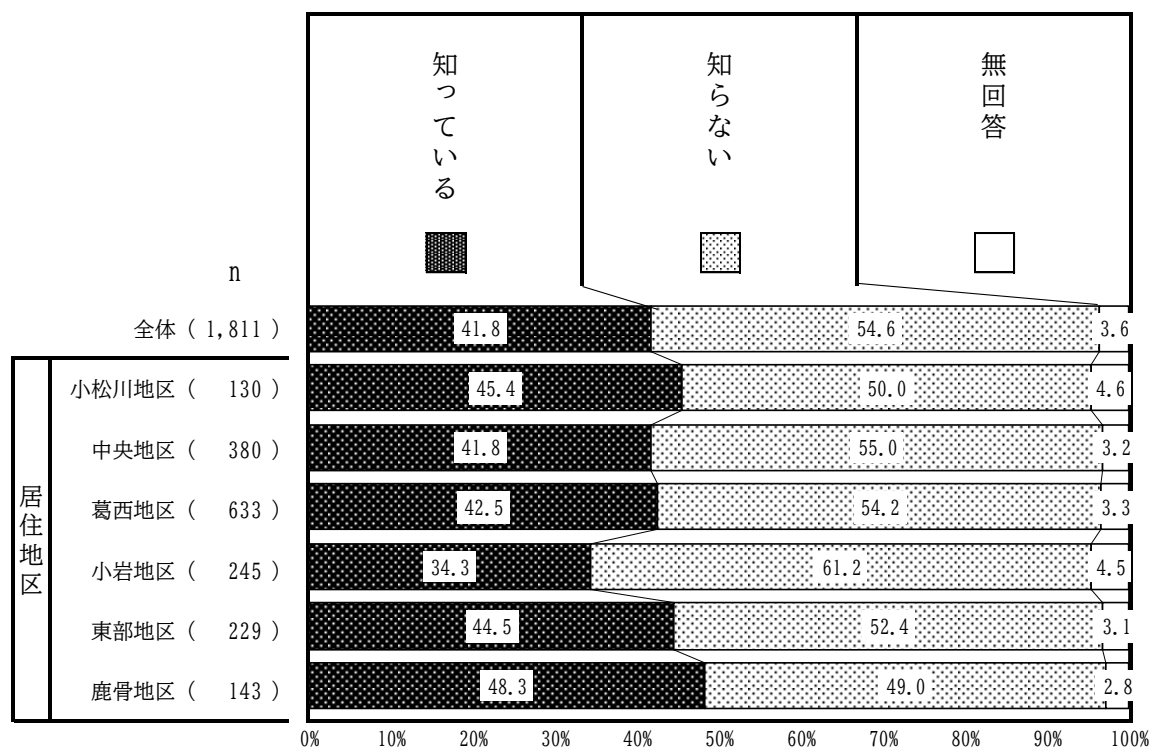
<図表 11-32>⑧災害が起きたとき、一時的に逃げられる場所となる公園をたくさん造り、かまどベンチ、防災井戸、マンホールトイレなどの防災施設も整備している。／性・年齢別



【⑧災害が起きたとき、一時的に逃げられる場所となる公園をたくさん造り、かまどベンチ、防災井戸、マンホールトイレなどの防災施設も整備している。／居住地区別】

「知っている」の割合はすべての居住地区で「知らない」を下回っており、認知度が高い地域でも鹿骨地区（48.3％）の5割近くとなっている。（図表 11－33）

<図表 11－33>⑧災害が起きたとき、一時的に逃げられる場所となる公園をたくさん造り、かまどベンチ、防災井戸、マンホールトイレなどの防災施設も整備している。／居住地区別

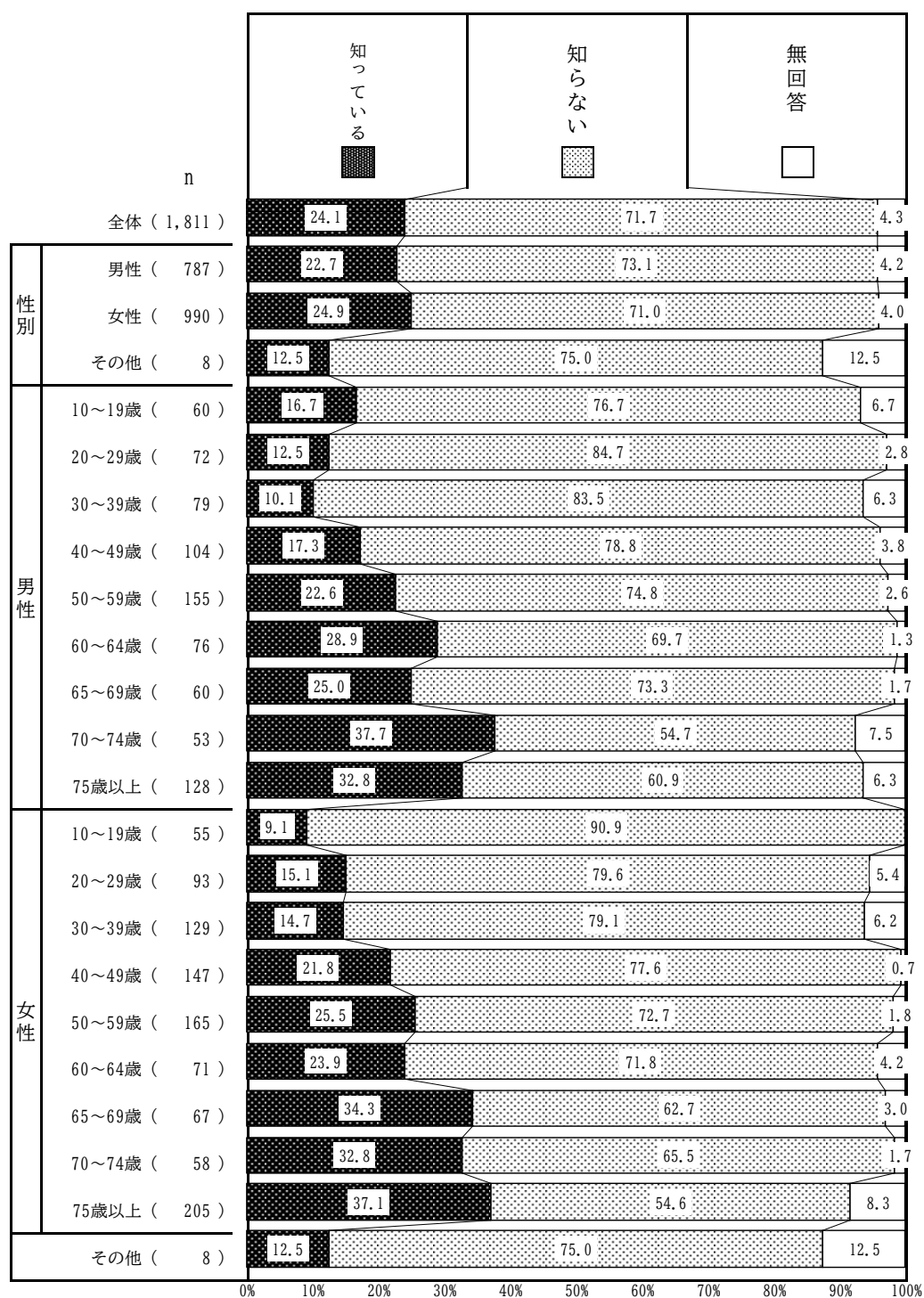


【⑨道路、公園などのみんなが使う場所を整え、まち全体の形をきれいにする「土地区画整理事業」を区内の約1/3で実施している。／性・年齢別】

「知っている」は女性（24.9％）が男性（22.7％）より2.2ポイント高くなっている。

年齢別にみると、10～19歳では男性の認知度が女性より7.6ポイント高くなっている一方、65～69歳では女性の認知度が男性より9.3ポイント高くなっている。（図表11-34）

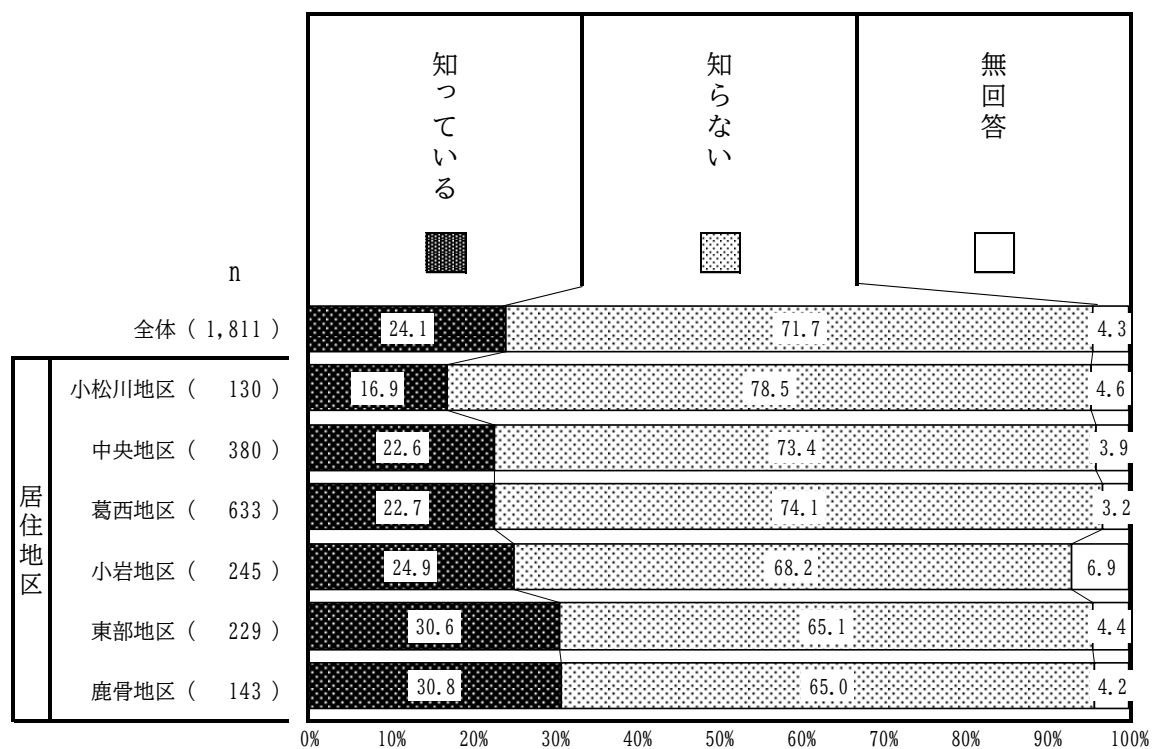
＜図表11-34＞⑨道路、公園などのみんなが使う場所を整え、まち全体の形をきれいにする「土地区画整理事業」を区内の約1/3で実施している。／性・年齢別



【⑨道路、公園などのみんなが使う場所を整え、まち全体の形をきれいにする「土地区画整理事業」を区内の約1/3で実施している。／居住地区別】

「知っている」の割合はすべての居住地区で「知らない」を下回っており、認知度が高い地域でも鹿骨地区（30.8%）、東部地区（30.6%）が約3割となっている。（図表11-35）

＜図表11-35＞⑨道路、公園などのみんなが使う場所を整え、まち全体の形をきれいにする「土地区画整理事業」を区内の約1/3で実施している。／居住地区別



【⑩災害が起きても、救急車や消防車などが通やすく、安全に逃げられるよう、広くて安全な「都市計画道路」を造っている。／性・年齢別】

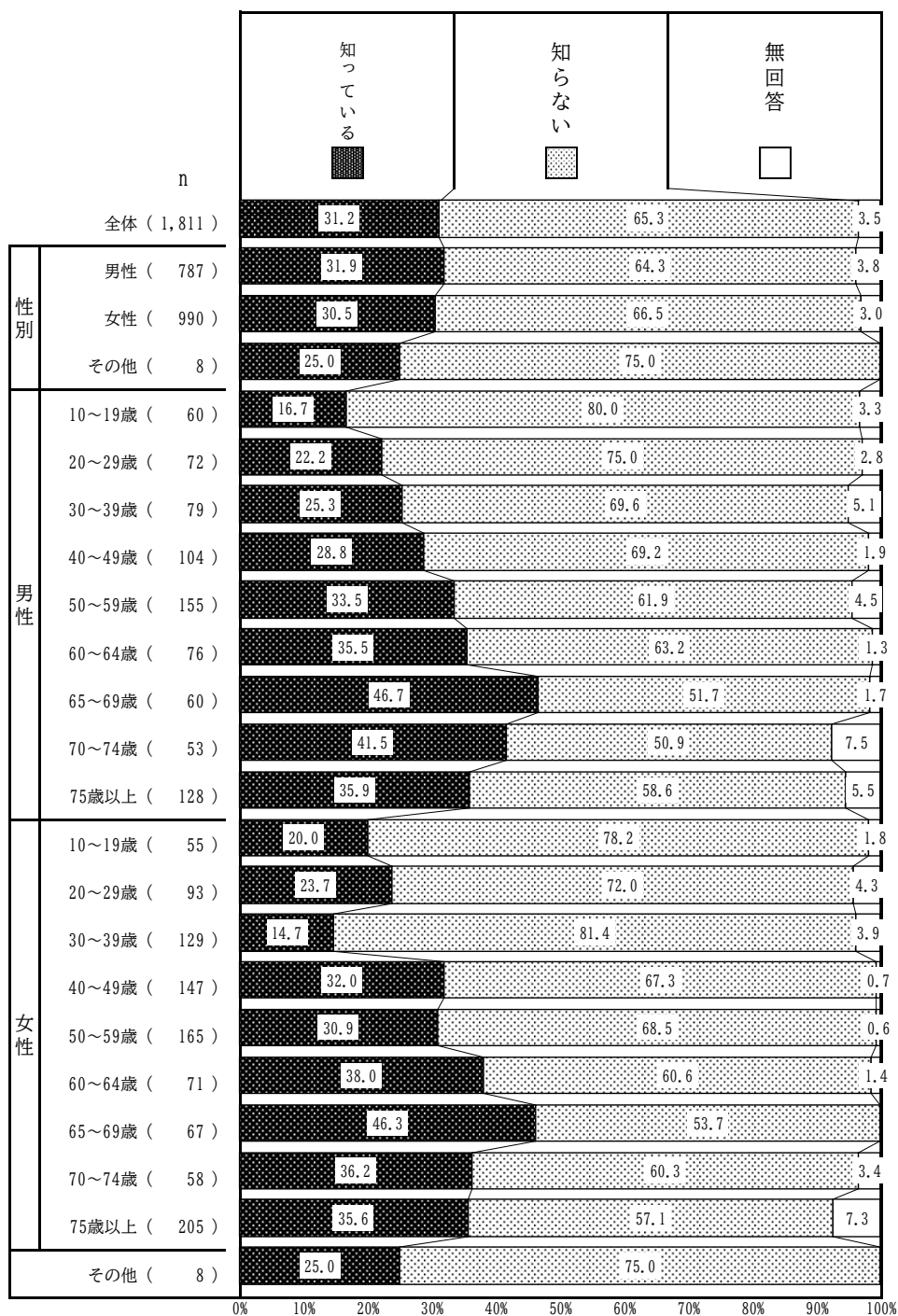
「知っている」は男性（31.9%）が女性（30.5%）より 1.4 ポイント高くなっている。

男女ともにすべての年齢で「知らない」が「知っている」の割合を上回っている。

年齢別にみると、30～39 歳では男性の認知度が女性より 10 ポイント以上高くなっている。

（図表 11-36）

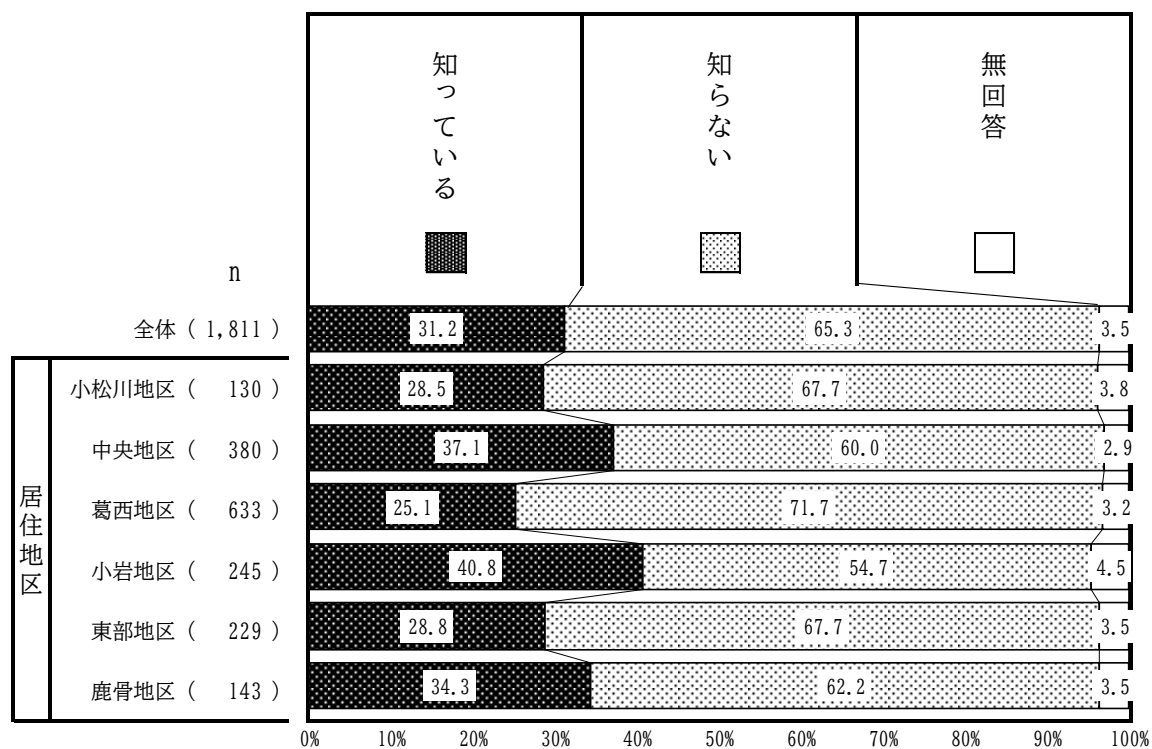
<図表 11-36> ⑩災害が起きても、救急車や消防車などが通やすく、安全に逃げられるよう、広くて安全な「都市計画道路」を造っている。／性・年齢別



【⑩災害が起きても、救急車や消防車などが通やすく、安全に逃げられるよう、広くて安全な「都市計画道路」を造っている。／居住地区別】

「知っている」の割合はすべての居住地区で「知らない」を下回っており、認知度が高い地域でも小岩地区（40.8％）の約4割となっている。（図表 11－37）

<図表 11－37> ⑩災害が起きても、救急車や消防車などが通やすく、安全に逃げられるよう、広くて安全な「都市計画道路」を造っている。／居住地区別



12. 地域の治安（安全）について

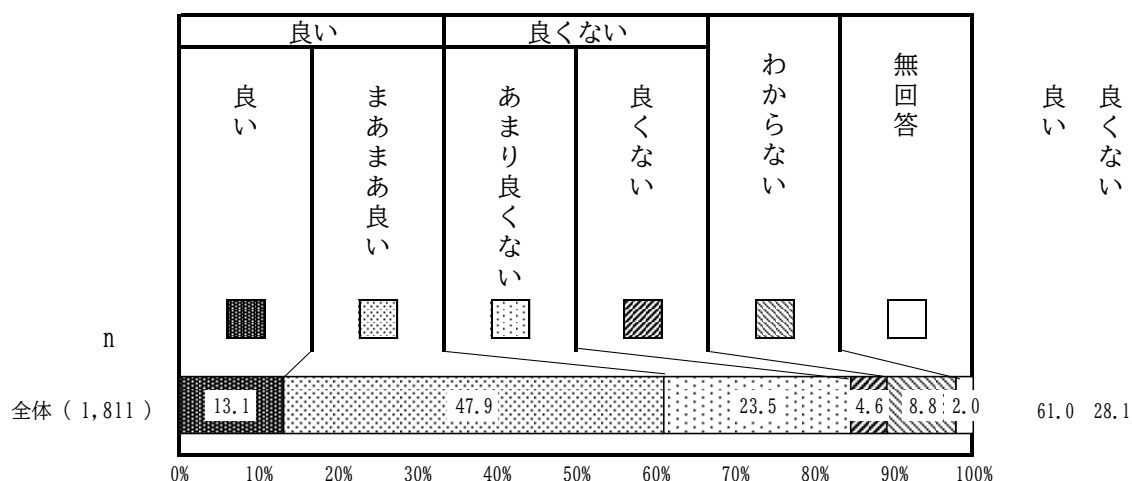
(1) 地域の治安

◇『良い』が61.0%を占める。

問 22 あなたは、住んでいる地域の治安（安全）について、どのように感じていますか。

(○は1つ)

<図表 12-1> 地域の治安



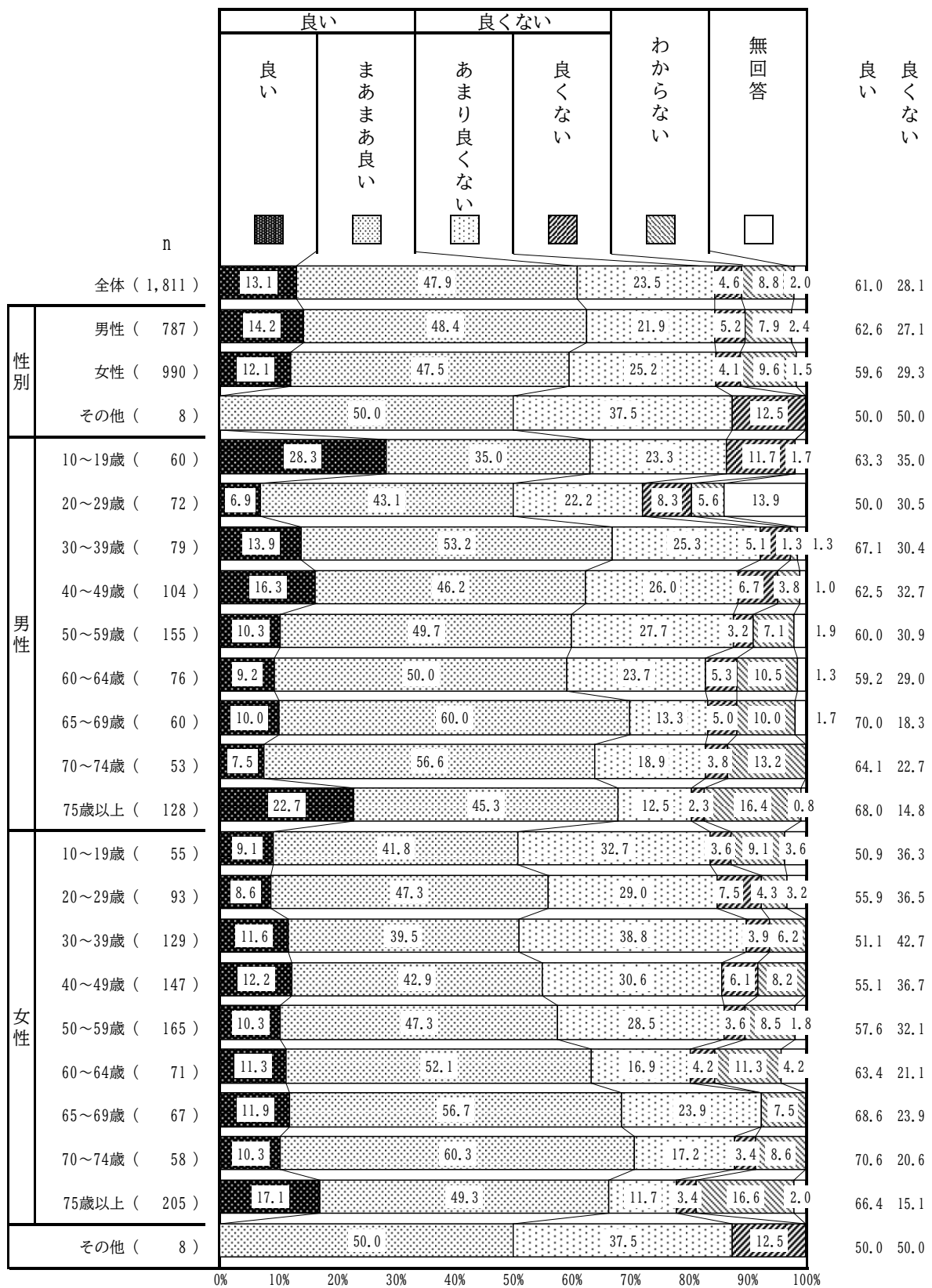
「良い」が13.1%、「まあまあ良い」が47.9%で、『良い』（「良い」＋「まあまあ良い」）は61.0%となっている。一方、『良くない』（「良くない」＋「あまり良くない」）は28.1%となっている。（図表 12-1）

【性・年齢別】

男性において、『良い』は65～69歳（70.0%）が7割と最も高くなっている。一方、『良くない』は10～19歳（35.0%）が3割台半ばとなっている。

女性において、『良い』は70～74歳（70.6%）が約7割と最も高くなっている。一方、『良くない』は30～39歳（42.7%）が4割を超えている。（図表 12-2）

<図表 12-2> 地域の治安／性・年齢別

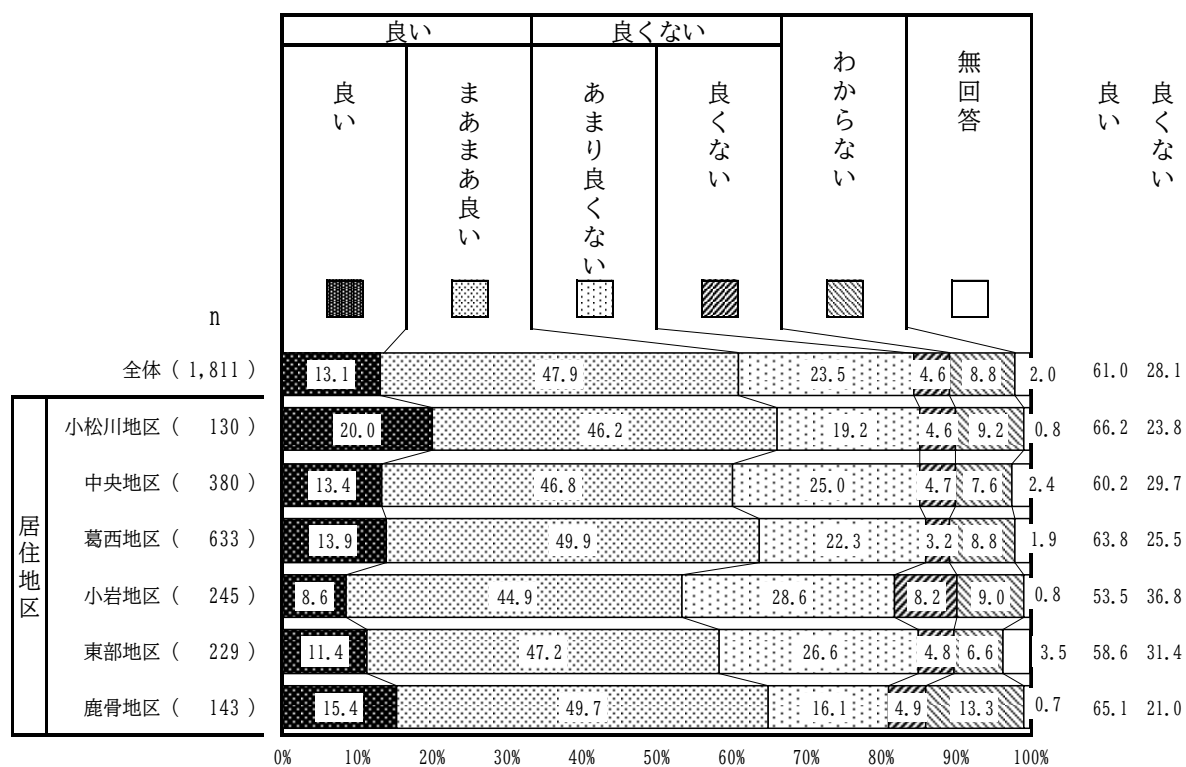


【居住地区別】

『良い』は小松川地区（66.2%）、鹿骨地区（65.1%）が6割台半ばと高くなっている。

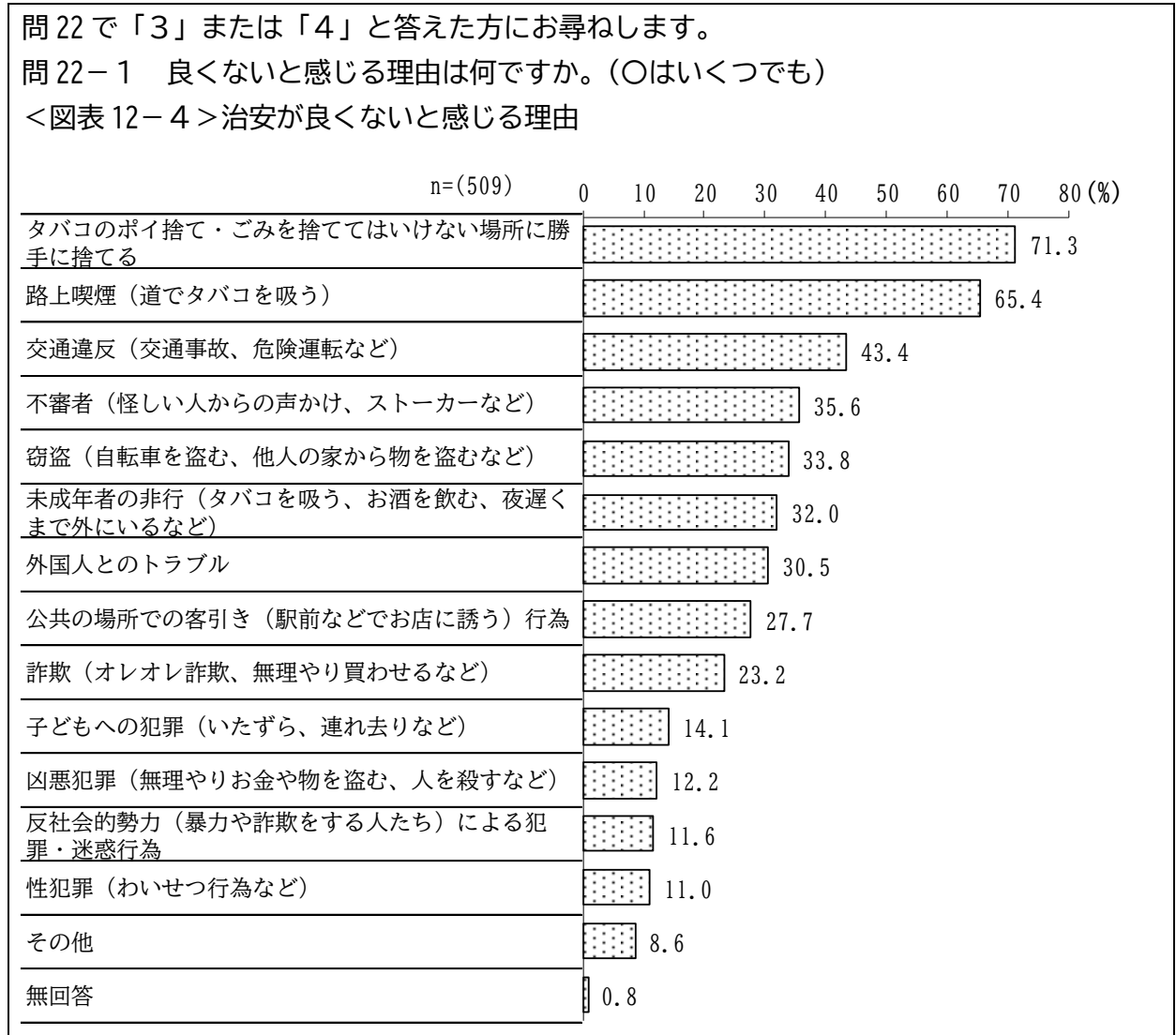
（図表 12－3）

<図表 12－3> 地域の治安／居住地区別



（２）治安が良くないと感じる理由

◇「タバコのポイ捨て・ごみを捨ててはいけない場所に勝手に捨てる」が7割を超えて最も高い。

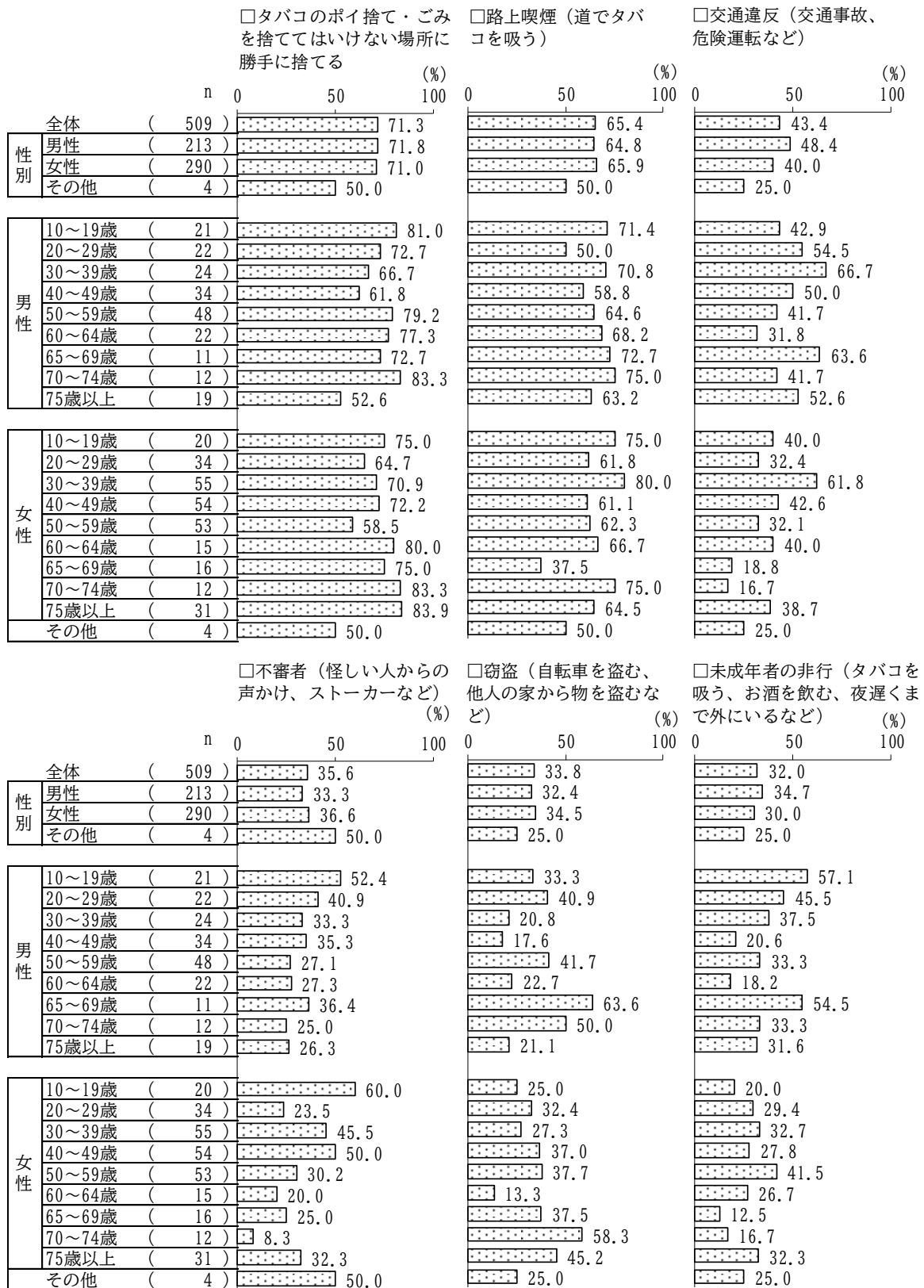


「タバコのポイ捨て・ごみを捨ててはいけない場所に勝手に捨てる」（71.3%）が7割を超えて最も高くなっている。次いで「路上喫煙（道でタバコを吸う）」（65.4%）、「交通違反（交通事故、危険運転など）」（43.4%）、「不審者（怪しい人からの声かけ、ストーカーなど）」（35.6%）となっている。（図表 12－4）

【性・年齢別】

「タバコのポイ捨て・ごみを捨ててはいけない場所に勝手に捨てる」は女性 75 歳以上（83.9%）が8割を超えて高くなっている。また、「路上喫煙（道でタバコを吸う）」は女性 30～39 歳（80.0%）が8割と高くなっている。（図表 12－5）

<図表 12-5> 治安が良くないと感じる理由（上位6項目）／性・年齢別



13. 地域活動の参加状況について

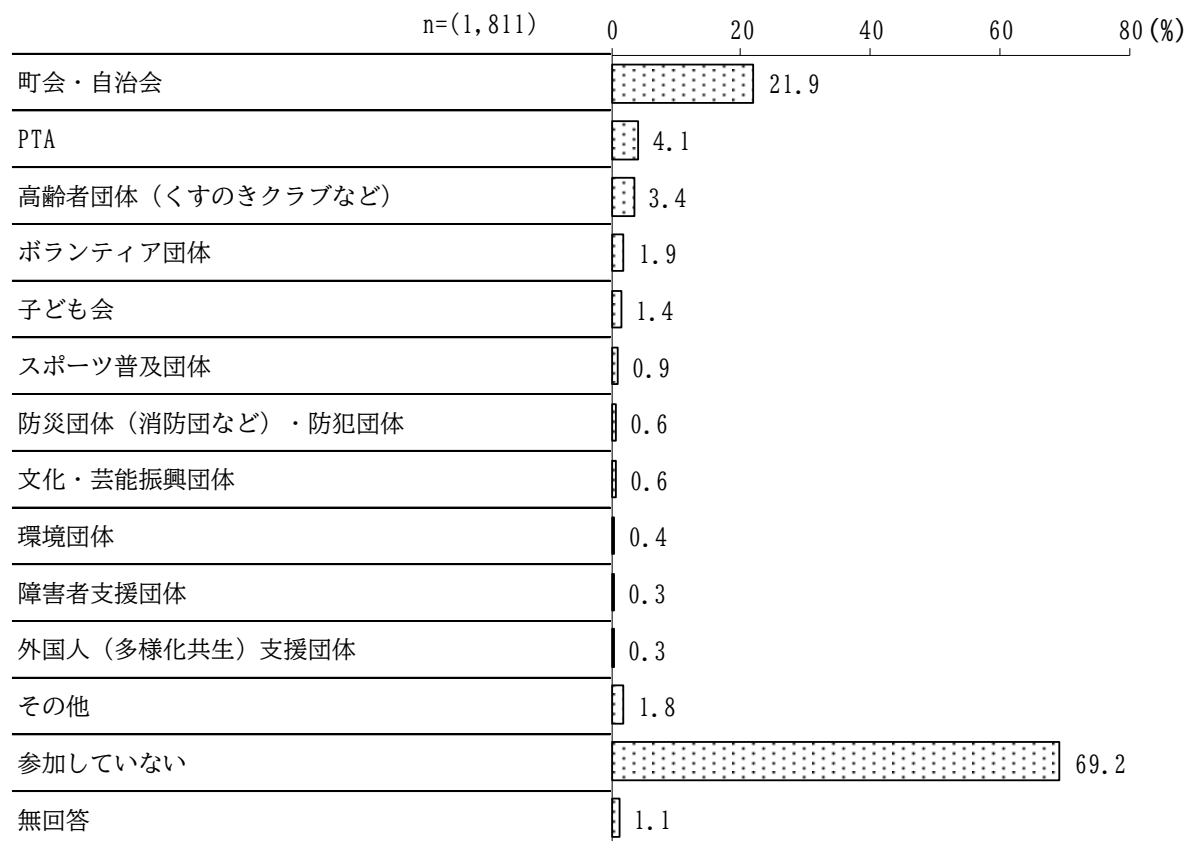
(1) 参加している地域の活動・団体

◇「町会・自治会」が2割を超えて最も高い。

問 23 あなたは、現在、地域のために活動している団体に参加していますか。

(○はいくつでも)

<図表 13-1> 参加している地域の活動・団体

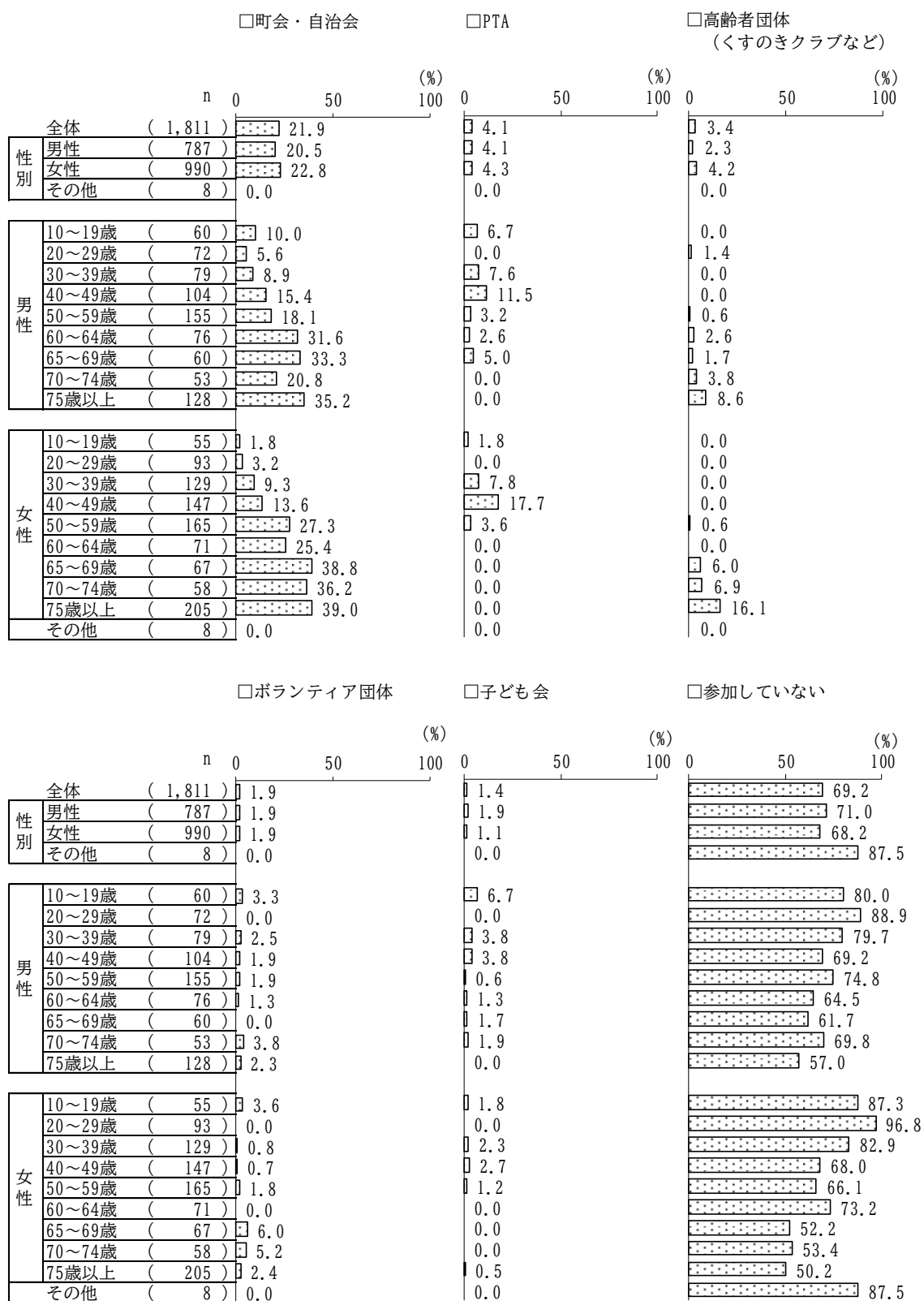


「町会・自治会」(21.9%) が2割を超えて最も高く、次いで「PTA」(4.1%)、「高齢者団体（くすのきクラブなど）」(3.4%)、「ボランティア団体」(1.9%) となっている。一方、「参加していない」(69.2%) が約7割となっている。(図表 13-1)

【性・年齢別】

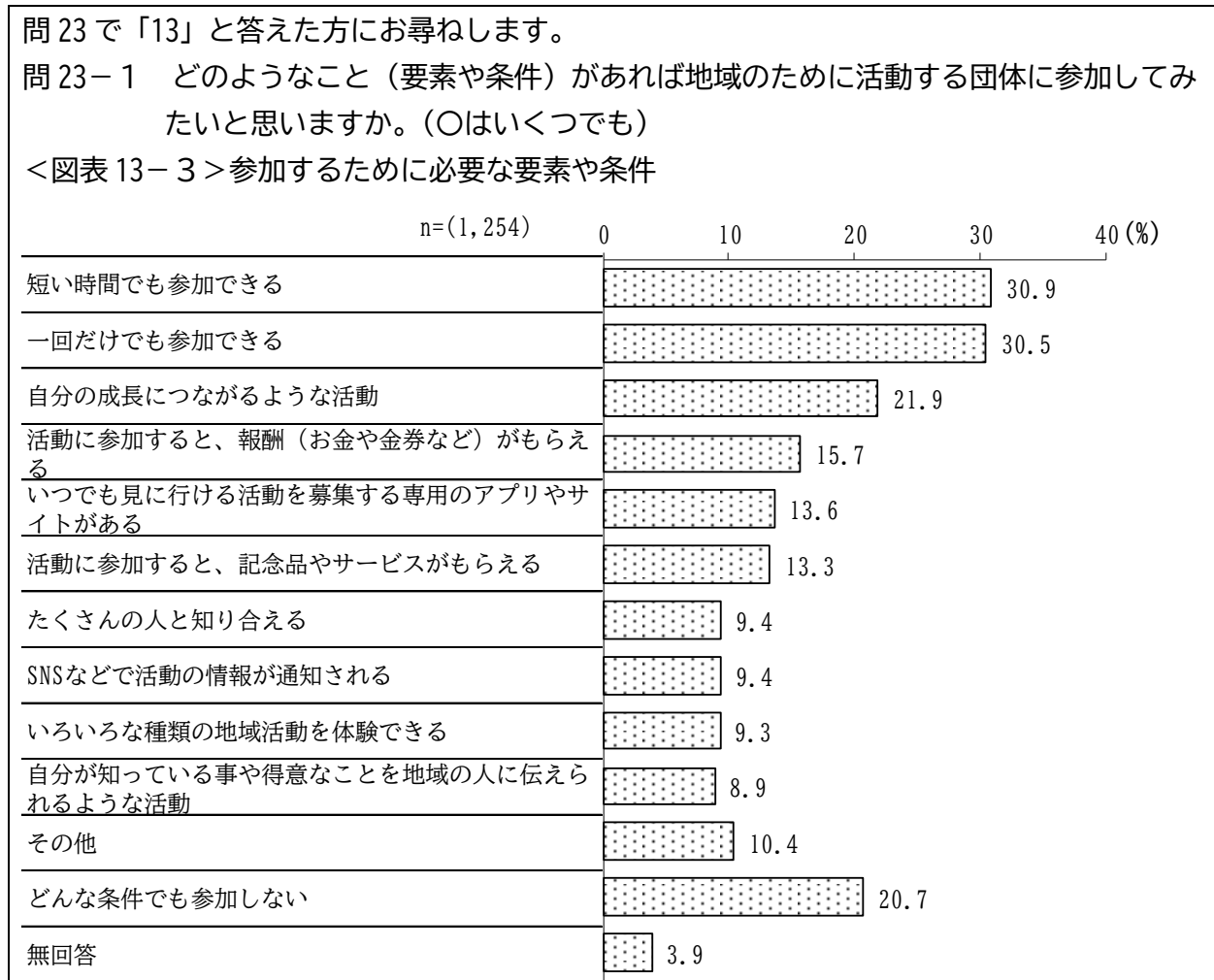
「町会・自治会」は女性 75 歳以上（39.0%）が約 4 割となっている。（図表 13-2）

<図表 13-2> 参加している地域の活動・団体（上位 6 項目）／性・年齢別



(2) 参加するために必要な要素や条件

◇「短い時間でも参加できる」が3割近くで最も高く



「短い時間でも参加できる」(30.9%)、「一回だけでも参加できる」(30.5%)が3割近くと高く、これらに次いで「自分の成長につながるような活動」(21.9%)、「活動に参加すると、報酬（お金や金券など）がもらえる」(15.7%)と続いている。一方、「どんな条件でも参加しない」(20.7%)が約2割となっている。(図表 13-3)

【性・年齢別】

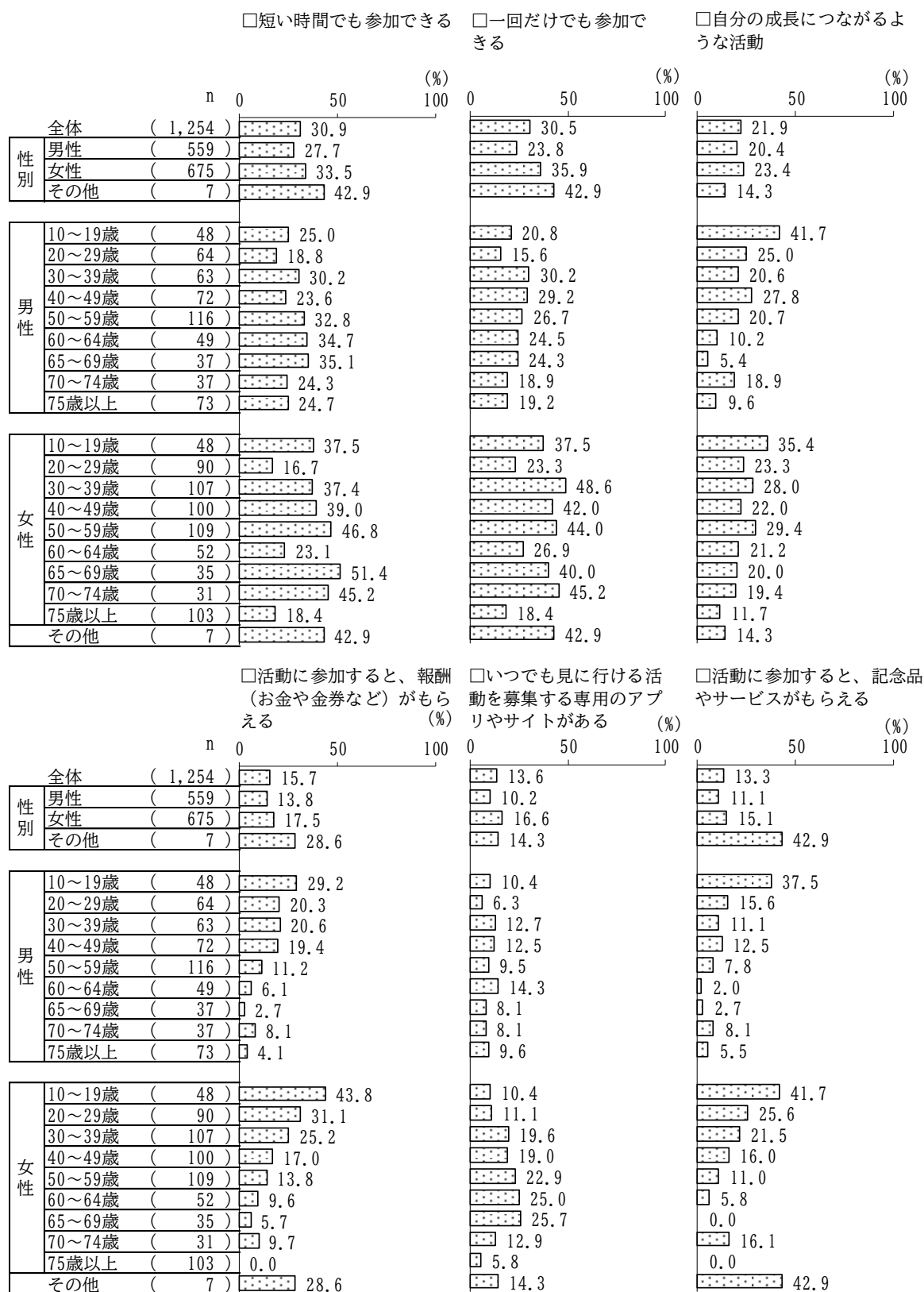
「一回だけでも参加できる」は女性(35.9%)が男性(23.8%)に比べて12.1ポイント高くなっている。

男性において、「短い時間でも参加できる」は65～69歳(35.1%)が3割台半ばとなっている。

女性において、「一回だけでも参加できる」は30～39歳(48.6%)が5割近くとなっている。

(図表 13-4)

<図表 13-4> 参加するために必要な要素や条件（上位6項目）／性・年齢別



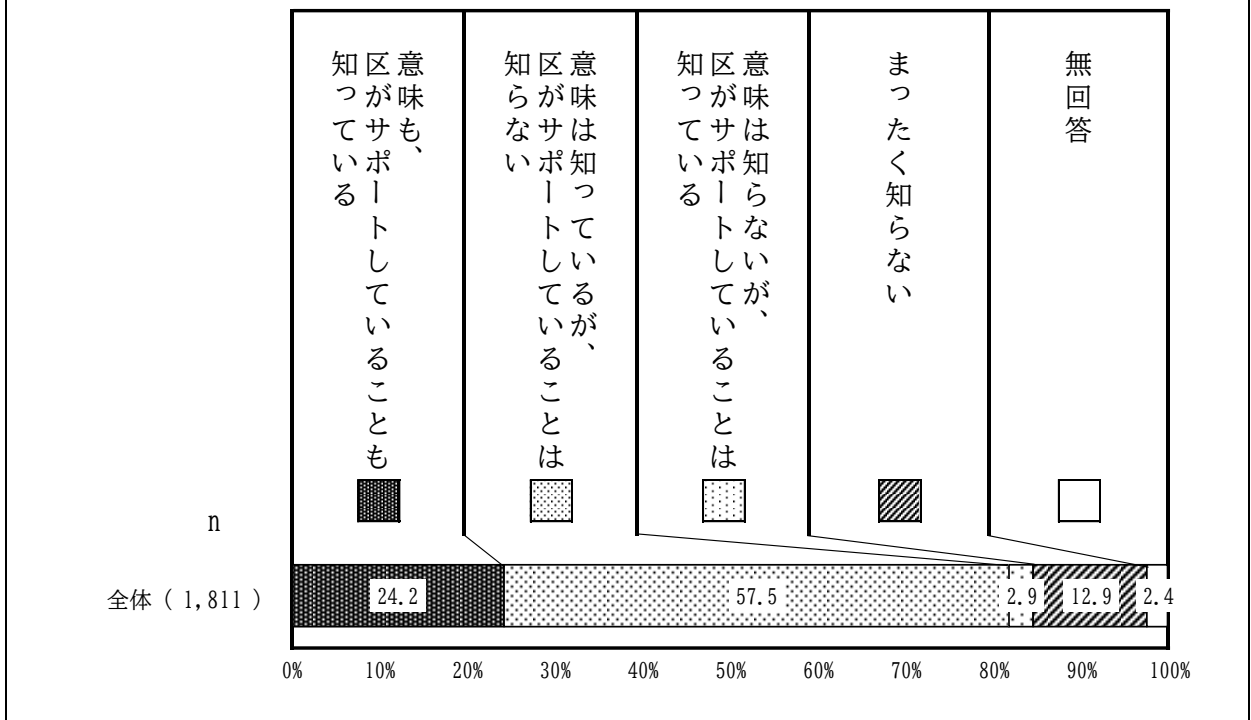
14. ひきこもりについて

(1) 言葉と区のサポートの認知度

◇「意味は知っているが、区がサポートしていることは知らない」が6割近く。

問 24 あなたは「ひきこもり」について、どのくらい知っていますか。(○は1つ)

<図表 14-1> 言葉と区のサポートの認知度



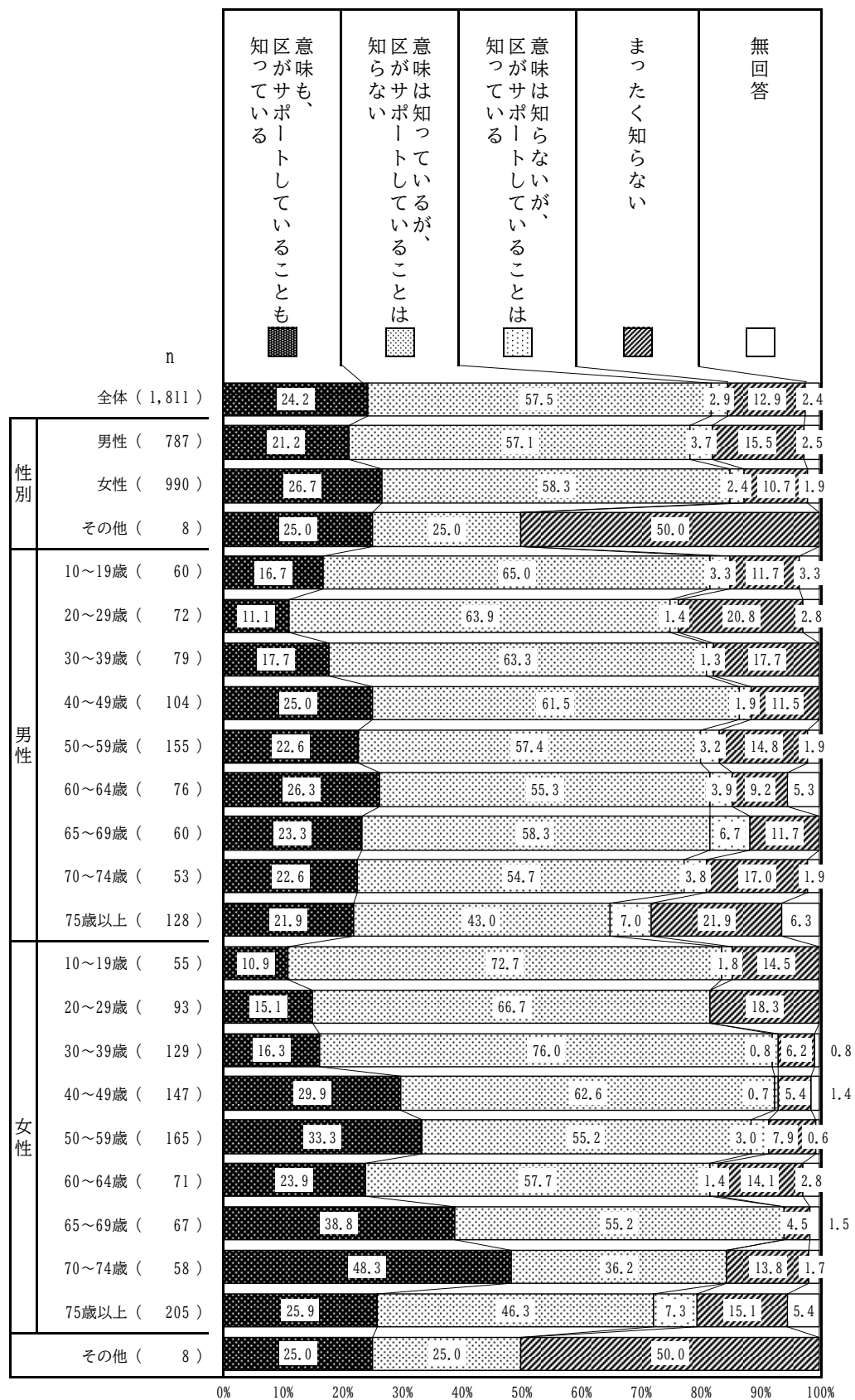
「意味も、区がサポートしていることも知っている」(24.2%)が2割台半ば、「意味は知っているが、区がサポートしていることは知らない」(57.5%)が6割近く、「意味は知らないが、区がサポートしていることは知っている」(2.9%)が1割未満、「まったく知らない」(12.9%)が1割を超えている。(図表 14-1)

【性・年齢別】

男性において、「意味は知っているが、区がサポートしていることは知らない」は10～19歳(65.0%)が6割台半ばとなっている。

女性において、「意味は知っているが、区がサポートしていることは知らない」は30～39歳(76.0%)が7割台半ばとなっている。(図表 14-2)

<図表 14-2>言葉と区のサポートの認知度／性・年齢別



15. プレコンセプションケアについて

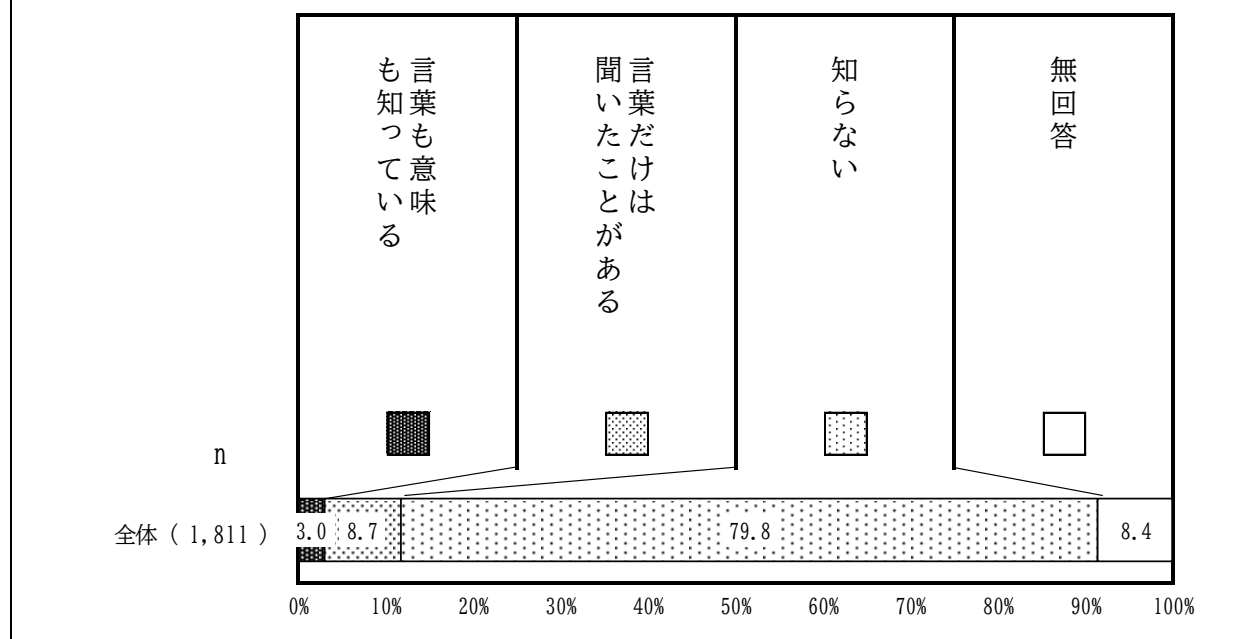
(1) プレコンセプションケアの認知度

◇「知らない」が8割。

中学生以上の方にお尋ねします。

問 25 若い人たちが将来のことを考えて、自身の生活や健康に向き合うことを「プレコンセプションケア」といいます。あなたは、「プレコンセプションケア」を知っていますか。(○は1つ)

<図表 15-1> プレコンセプションケアの認知度



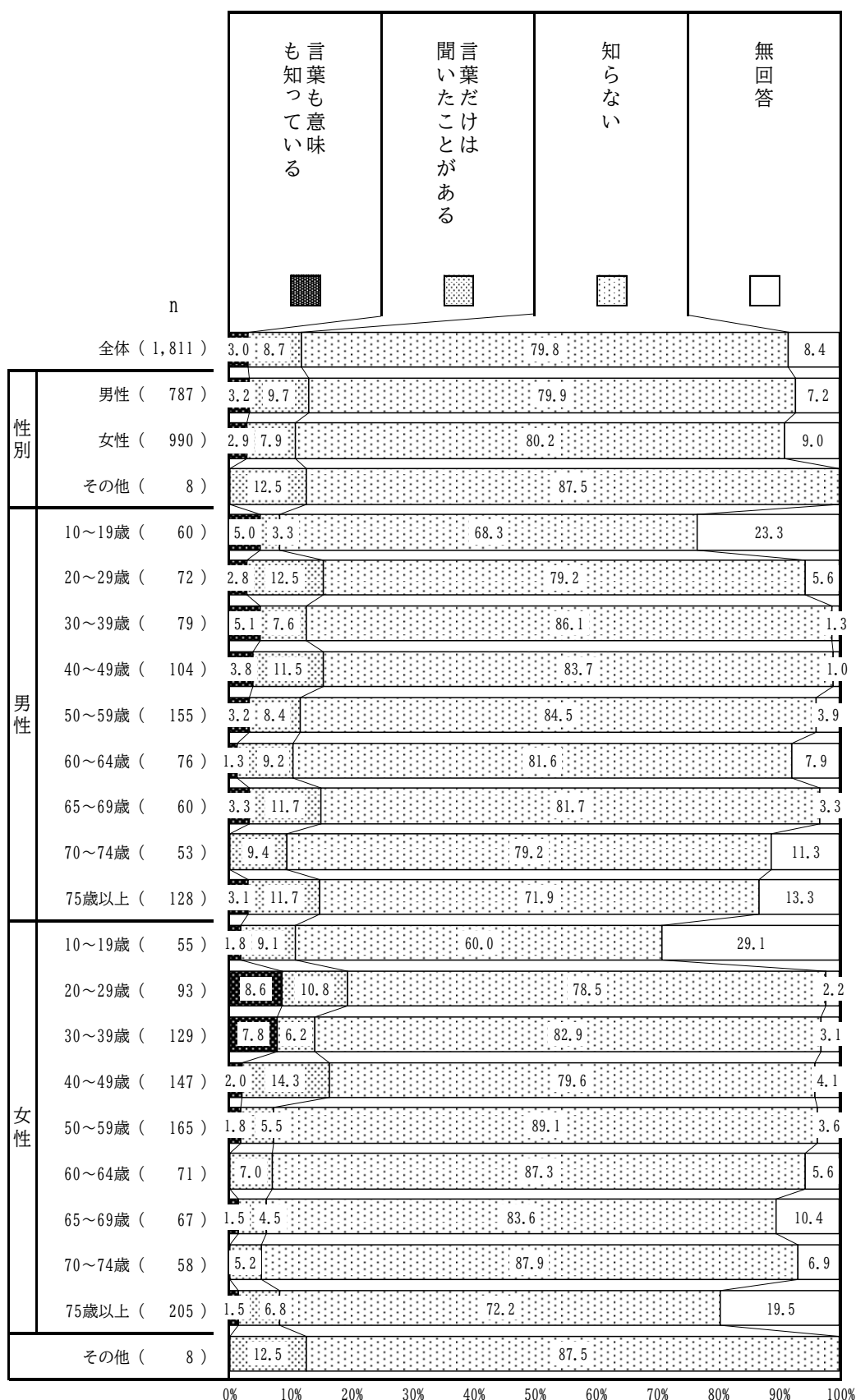
「言葉も意味も知っている」(3.0%)が1割未満、「言葉だけは聞いたことがある」(8.7%)が1割未満、「知らない」(79.8%)が8割となっている。(図表 15-1)

【性・年齢別】

男性において、「知らない」は30～39歳(86.1%)が8割台半ばとなっている。

女性において、「知らない」は50～59歳(89.1%)が約9割となっている。(図表 15-2)

<図表 15-2> プレコンセプションケアの認知度／性・年齢別



(2) 江戸川区に期待すること

◇「学校で児童・生徒に対して知ってもらう活動」が5割近くと最も高い。

中学生以上の方にお尋ねします。

問 26 プレコンセプションケアに関して江戸川区に期待することは何ですか。

(○はいくつでも)

<図表 15-3>江戸川区に期待すること



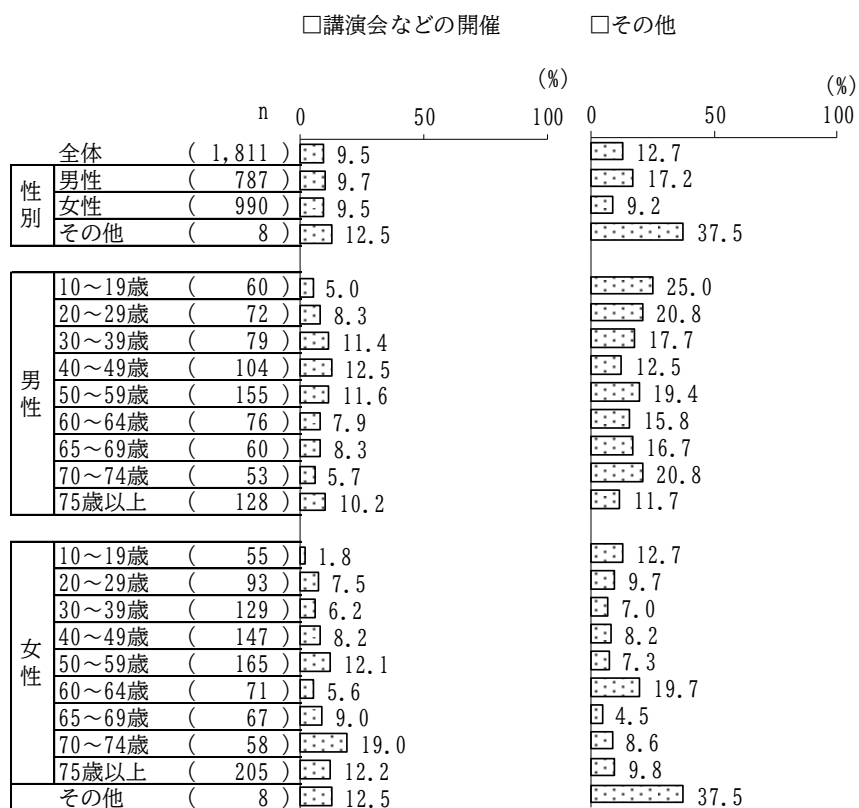
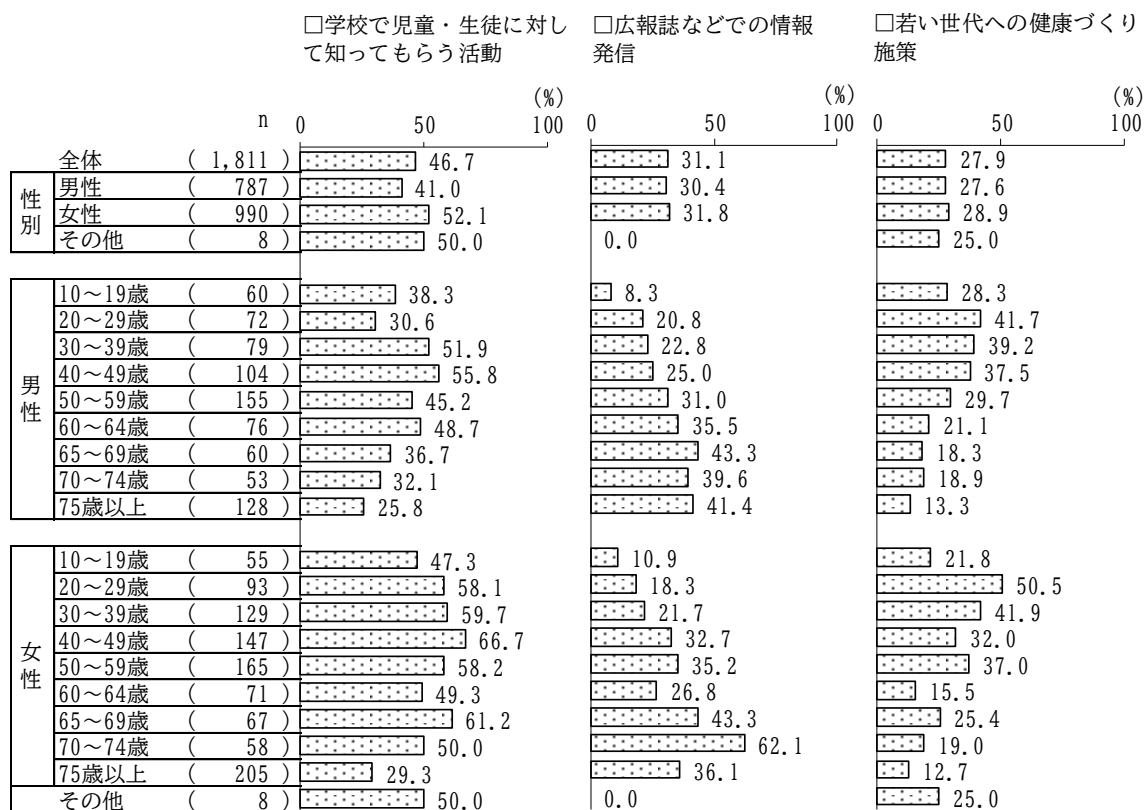
「学校で児童・生徒に対して知ってもらう活動」(46.7%)が5割近くと最も高く、次いで「広報誌などでの情報発信」(31.1%)、「若い世代への健康づくり施策」(27.9%)、「講演会などの開催」(9.5%)と続いている。(図表 15-3)

【性・年齢別】

男性において、「学校で児童・生徒に対して知ってもらう活動」は40～49歳(55.8%)が5割台半ばとなっている。

女性において、「学校で児童・生徒に対して知ってもらう活動」は40～49歳(66.7%)が7割近くとなっている。(図表 15-4)

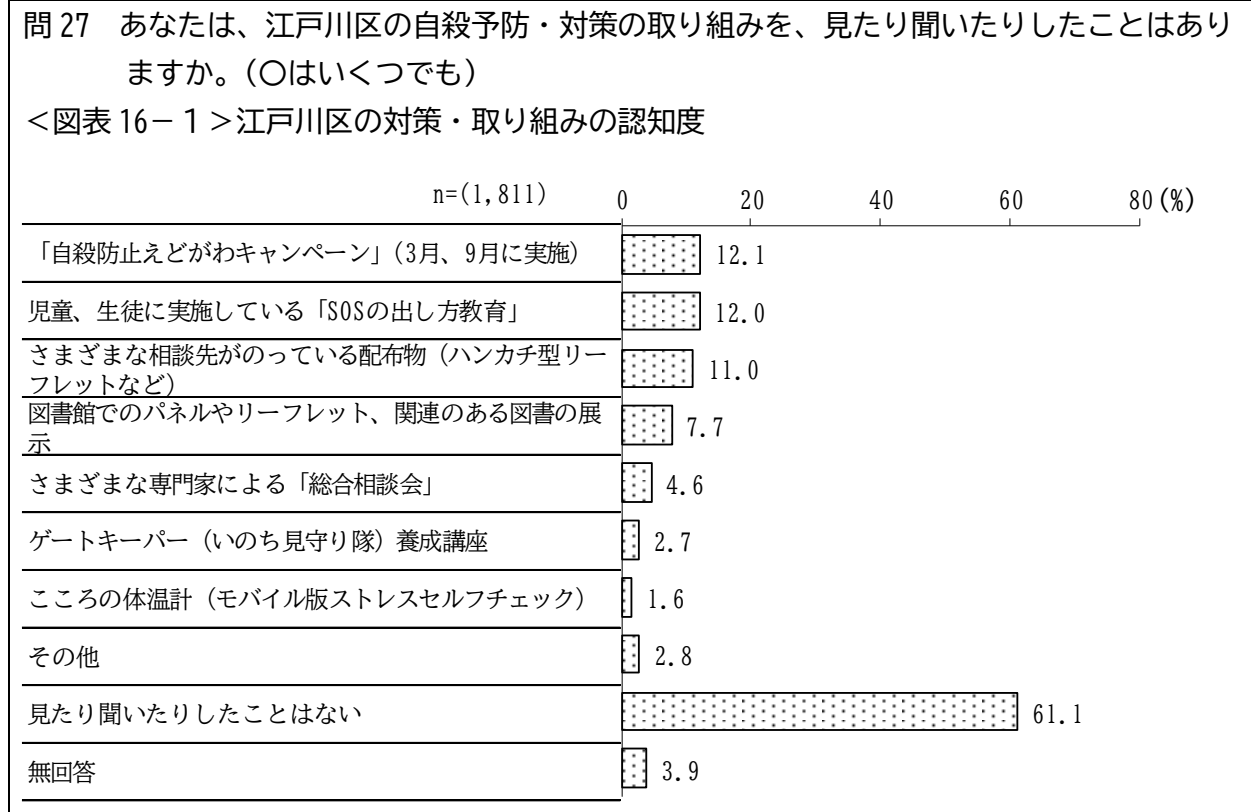
<図表 15-4>江戸川区に期待すること／性・年齢別



16. 自殺予防・対策について

(1) 江戸川区の対策・取り組みの認知度

◇「見たり聞いたりしたことはない」が6割を超える。



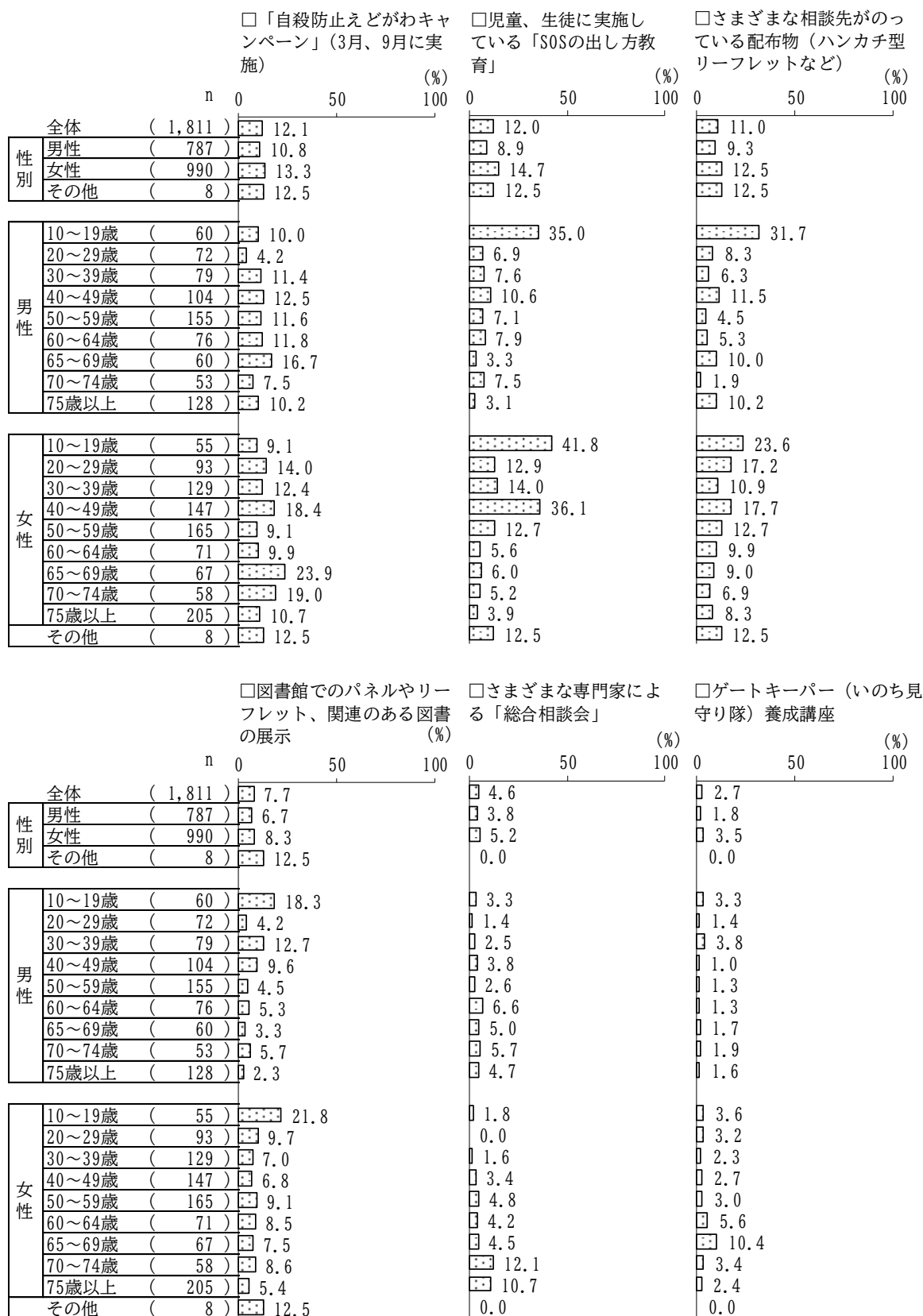
「自殺防止えどがわキャンペーン」(3月、9月に実施)」(12.1%)が1割を超えて最も高く、「児童、生徒に実施している「SOSの出し方教育」(12.0%)、「さまざまな相談先がのっている配布物(ハンカチ型リーフレットなど)」(11.0%)と続いている。一方、「見たり聞いたりしたことはない」(61.1%)が6割を超えている。(図表 16-1)

【性・年齢別】

「見たり聞いたりしたことはない」は男性(66.2%)が女性(57.1%)に比べて9.1ポイント高くなっている。

「見たり聞いたりしたことはない」は男性20~29歳(76.4%)が7割台半ば、女性60~64歳(69.0%)が約7割となっている。(図表 16-2)

<図表 16-2>江戸川区の対策・取り組みの認知度（上位6項目）／性・年齢別

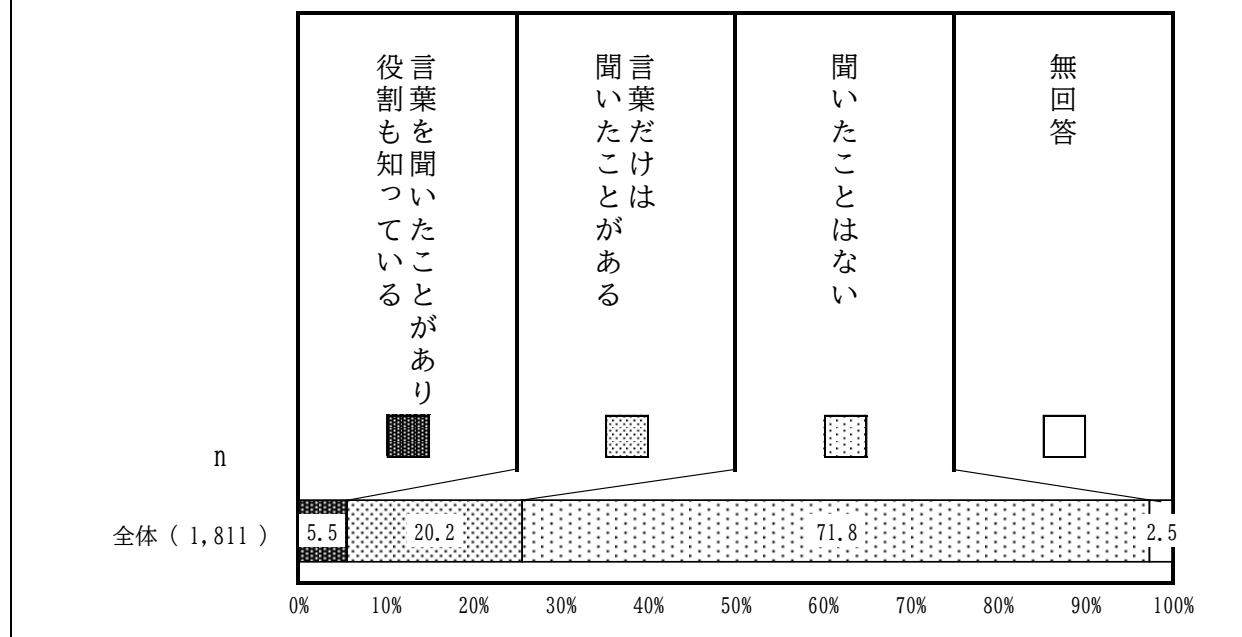


(2) ゲートキーパー（いのち見守り隊）の認知度

◇「聞いたことはない」が7割を超える。

問 28 あなたは、これまでに自殺予防・対策における「ゲートキーパー（いのち見守り隊）」という言葉聞いたことはありますか。（○は1つ）

<図表 16-3>ゲートキーパー（いのち見守り隊）の認知度

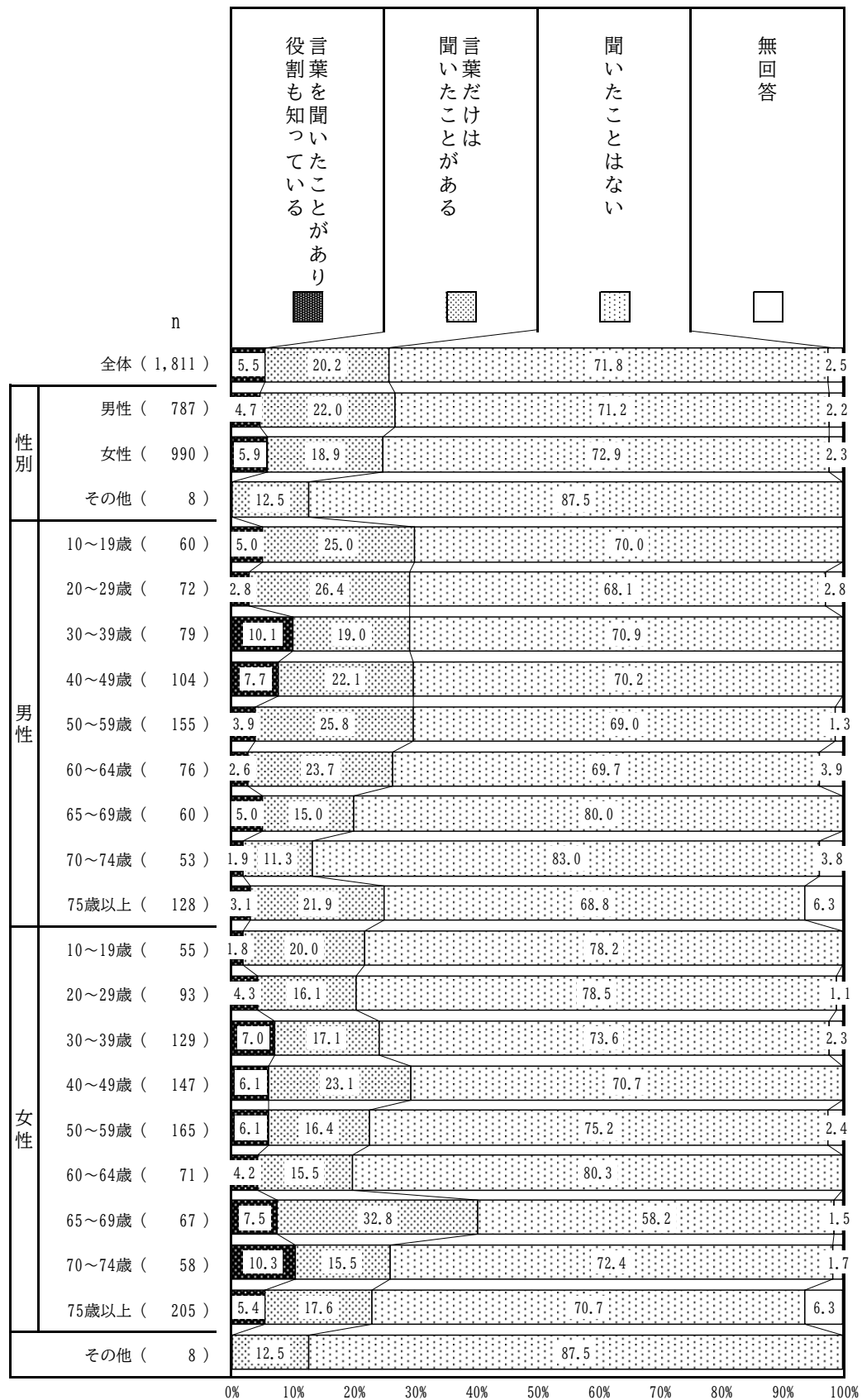


「言葉を聞いたことがあり役割も知っている」(5.5%)が1割未満、「言葉だけは聞いたことがある」(20.2%)が2割、「聞いたことはない」(71.8%)が7割を超えている。(図表 16-3)

【性・年齢別】

「聞いたことはない」は男性 70～74 歳 (83.0%) が8割を超え、女性 60～64 歳 (80.3%) が8割となっている。(図表 16-4)

<図表 16-4> ゲートキーパー（いのち見守り隊）の認知度／性・年齢別



17. 区政への要望について

(1) 今後推進してほしい施策

◇「水害対策（例：大雨や台風への対策をする）」が約3割で最も高い。

問 29 あなたは、江戸川区は今後どのような施策を推進していけば良いと思いますか。

(○は3つまで)

<図表 17-1> 今後推進してほしい施策

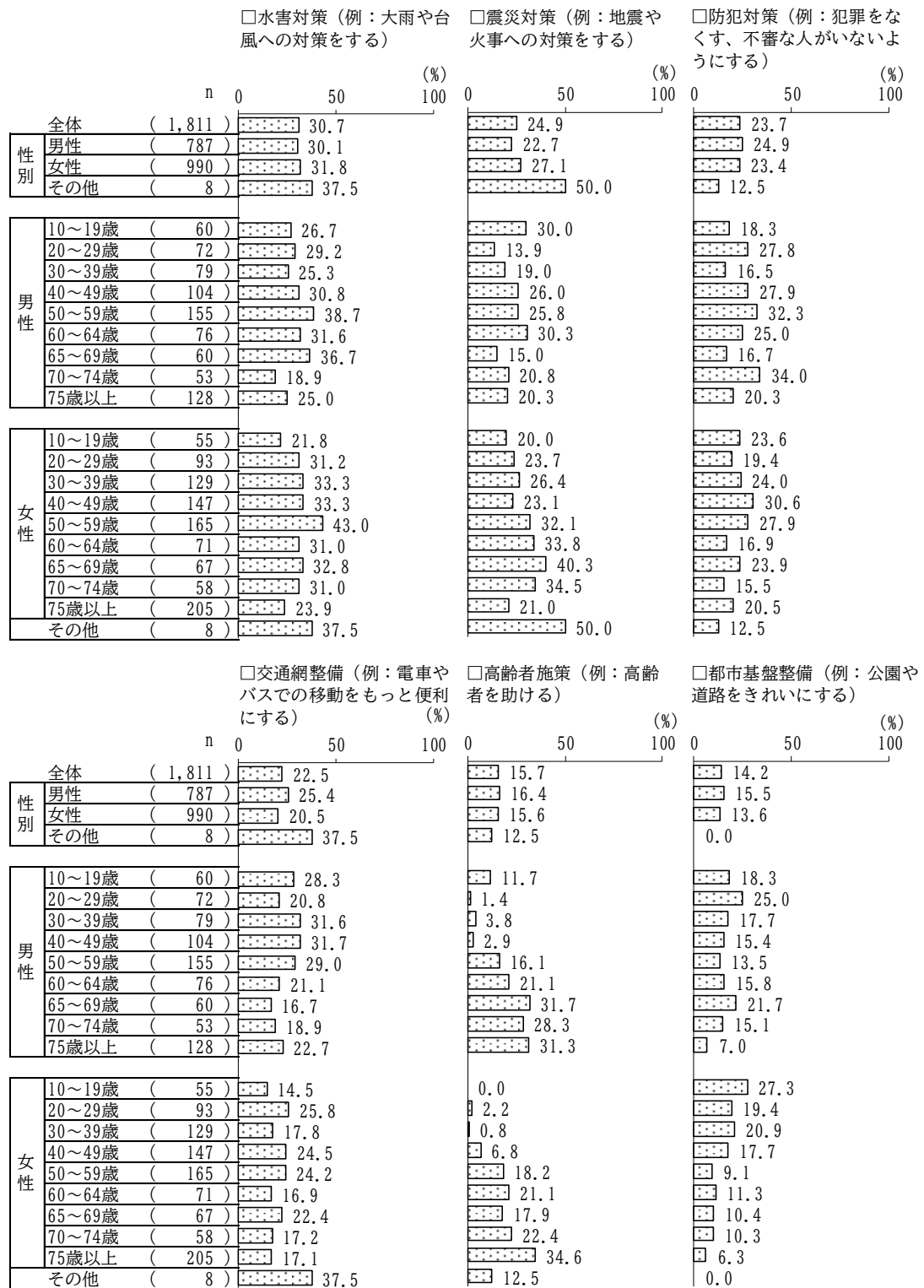


「水害対策（例：大雨や台風への対策をする）」(30.7%) が約3割と最も高く、次いで「震災対策（例：地震や火事への対策をする）」(24.9%)、「防犯対策（例：犯罪をなくす、不審な人がいないようにする）」(23.7%) と続いている。(図表 17-1)

【性・年齢別】

「水害対策」は女性 50～59 歳（43.0%）が4割を超えて高くなっている。「震災対策」は女性 65～69 歳（40.3%）が4割と高くなっている。（図表 17－2）

<図表 17－2> 今後推進してほしい施策（上位6項目）／性・年齢別



【時系列比較】

令和2年以降、1位から3位までに変化はみられない。令和7年に比べて1位の「水害対策」(30.7%)は約3割と5.8ポイント減少し、2位の「震災対策」(24.9%)は2割台半ばと6.3ポイント減少している。(図表17-3)

<図表17-3>今後推進してほしい施策／時系列比較

	1位	2位	3位	4位	5位
令和8年	水害対策 30.7%	震災対策 24.9%	防犯対策 23.7%	交通網整備 22.5%	高齢者施策 15.7%
令和7年	水害対策 36.5%	震災対策 31.2%	防犯対策 21.8%	都市基盤整備 (公園整備、道路など) 15.5%	子育て支援 14.8%
令和6年	水害対策 45.9%	震災対策 40.3%	防犯対策 (安全・安心まちづくり) 30.5%	子育て支援 19.4%	熟年者施策 18.2%
令和5年	水害対策 49.2%	震災対策 33.3%	防犯対策 (安全・安心まちづくり) 28.5%	子育て支援 18.3%	都市基盤整備 (道路など) 18.0%
令和4年	水害対策 46.7%	震災対策 32.8%	防犯対策 (安全・安心まちづくり) 32.6%	都市基盤整備(道路など) /子育て支援 (注)18.0%	都市基盤整備 (道路など) 16.9%
令和3年	水害対策 54.1%	震災対策 38.8%	防犯対策 (安全・安心まちづくり) 32.0%	交通網整備 17.0%	
令和2年	水害対策 55.6%	震災対策 36.4%	防犯対策 (安全・安心まちづくり) 32.0%	子育て支援 19.2%	交通網整備 15.6%
平成29年	震災対策 35.7%	防犯対策 (安全・安心まちづくり) 30.3%	水害対策 29.5%	子育て支援 20.3%	交通網整備 15.7%
平成26年	震災対策 39.1%	防犯対策 (安全・安心まちづくり) 33.4%	水害対策 25.0%	子育て支援 21.2%	熟年者施策 19.9%
平成24年	震災対策 43.5%	防犯対策 (安全・安心まちづくり) 33.6%	高齢者福祉 28.8%	水害対策 26.4%	子育て支援 18.1%
平成22年	防犯対策 (安全・安心まちづくり) 39.2%	高齢者福祉 34.9%	子育て支援 22.7%	震災対策 22.6%	学校教育 20.3%
平成20年	防犯対策 (安全・安心まちづくり) 47.2%	災害対策 36.1%	高齢者対策 35.3%	子育て対策 20.2%	交通網整備 17.0%
平成18年	防犯対策 (安全・安心まちづくり) 48.0%	高齢者対策 31.3%	防災対策 21.4%	子育て対策 21.0%	交通網整備 19.4%

(注) 令和4年は「都市基盤整備(道路など)」「子育て支援」が同率4位となっている。

Ⅳ 調査票

第39回 江戸川区民世論調査

調査へのご協力をお願い

この調査は、区民の皆さまが日頃から感じていることや区政に対してお持ちのご要望をお聞きし、今後の区政運営に役立てるために実施するものです。調査の実施にあたり、区内にお住まいの小学5年生以上の方4,000人を無作為に選ばせていただきました。調査の趣旨をご理解いただき、ご協力いただきますようお願いいたします。

斉藤 猛

【回答に当たってのお願い】

- 封筒の宛名のご本人様がお答えください。
- 回答は、当てはまる選択肢の番号に○をしてください。
- 質問によっては、一部の方にのみ回答していただく場合があります。
- 調査結果は全て統計的に処理しますので、個人の回答内容が公表されることは一切ありません。
- 令和8年5月31日(日)までにご回答ください。

【郵送での回答】

- 調査票を同封の返信用封筒に入れ、郵送してください。(切手不要)

【インターネットでの回答】

- パソコン・スマートフォンなどで、表紙の回答専用ページにアクセスしてご回答ください。
スマートフォンからは、二次元コードよりアクセスいただけます。
- 回答専用ページから、以下のID・パスワードを入力してログインをしてください。
- 通信料はご利用者様の負担となります。

あなたのインターネット回答用のID・パスワード

ID:

パスワード:

※IDは半角数字/パスワードは半角英字です。

ID・パスワードは個人を特定するものではありません。

インターネット回答用
二次元コード



インターネット回答用URL: <https://form.qooker.jp/Q/auto/ja/r8edogawa/sub/>

【調査結果の活用例】

○ 街路樹の調査

どのような街路樹があれば良いと思うかを調査した結果

「桜など季節の花が咲く街路樹」と「夏に涼しい緑陰提供ができる街路樹」
が特に高かった。

【活用例】「江戸川区街路樹指針 新しい街路樹デザイン」の改定に活用しています。

○ デジタル化の調査

デジタル化に関して、どのような取り組みを推進してほしいかを調査した結果

「税金や手数料などの支払いのキャッシュレス化」と「行政手続のオンライン化」
が特に高かった。

【活用例】窓口におけるキャッシュレス化・各種申請のオンライン化を推進しています。

【お問い合わせ】

調査受託業者・回答方法のお問い合わせ 株式会社ケー・デー・シー 〒105-0001 東京都港区虎ノ門 4-2-12 電話：03-5733-5111 (受付時間：平日 10：00～17：00)	調査主体・調査内容のお問い合わせ 江戸川区 SDG s 推進部広報課区政案内係 〒132-8501 東京都江戸川区中央 1-4-1 電話：03-5662-6168（直通） (受付時間：平日 8：30～17：00)
--	---

【江戸川区に住んでいることについて】

問1 あなたは、江戸川区に住んで何年になりますか。(○は1つ)

<n=1,811>

1	1年未満	3.5%	3	6年以上11年未満	7.6	5	21年以上31年未満	13.9
2	1年以上6年未満	12.6	4	11年以上21年未満	16.5	6	31年以上	45.1

問2 あなたは、これからも江戸川区に住み続けたいと思いますか。(○は1つ)

<n=1,811>

1	ずっと住み続けたい	48.6%	3	ほかの区や市に引っ越したい	3.3
2	しばらくは住み続けたい	35.7	4	わからない	11.3

問3 ①～⑲について、どのくらい満足していますか。項目ごとにお答えください。

(それぞれ○は1つずつ) <n=1,811> (%)

項目	評価					
	満足	やや満足	ふつう	やや不満	不満	わからない
① 買い物のしやすさ	37.9	26.9	23.9	7.0	2.5	0.4
② 電車やバスの便利さ	30.6	28.1	23.0	10.6	5.8	0.5
③ 道路・歩道のきれいさ	22.8	28.4	34.2	8.7	3.9	0.3
④ 公園・水辺の状態	32.3	31.3	26.7	4.7	1.5	1.9
⑤ みどりの多さ	37.1	31.0	24.8	3.8	0.9	0.8
⑥ まちの景色	19.2	25.7	41.7	8.3	2.3	0.9
⑦ まちのバリアフリー	10.7	16.1	47.2	11.9	4.3	7.6
⑧ ごみの収集方法	27.2	28.1	34.0	5.0	2.2	2.2
⑨ リサイクルの取り組み	17.2	24.3	41.8	4.8	1.2	8.9
⑩ 地域の安全(犯罪の少なさ)	12.7	20.7	40.7	14.1	6.8	3.6
⑪ 災害への準備	9.3	17.4	43.3	12.6	5.7	9.7
⑫ 近所の人との付き合い	10.1	13.5	58.1	7.2	2.3	7.2
⑬ 文化施設の充実度	13.9	22.5	43.5	8.3	1.9	8.2
⑭ スポーツ施設の充実度	15.4	22.8	39.0	9.1	2.9	8.8
⑮ 高齢者の生活のしやすさ	10.6	18.1	38.1	8.8	2.9	19.7
⑯ 子育てのしやすさ	16.7	27.4	28.9	2.9	1.2	20.0
⑰ 健康相談・健康診査	15.2	23.1	43.3	4.5	1.3	10.9
⑱ 病院・診療所の充実度	19.3	27.0	36.4	9.1	3.4	3.4
⑲ 全体的な満足度	19.8	41.2	31.1	5.2	1.2	

【江戸川区のおすすめ度について】

問4 あなたは、江戸川区以外に住んでいる人たちに江戸川区に住むことや来ることをすすめたいですか。

(○は1つ)

<n=1,811>

1 どちらもすすめたい	19.3%	4 どちらもすすめたくない	7.0
2 江戸川区に住むことをすすめたい	27.0	5 わからない	29.8
3 江戸川区に来ることをすすめたい	15.3		

【広報とデジタル化について】

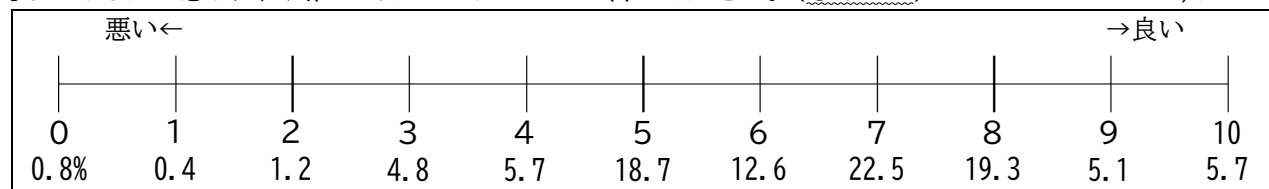
問5 あなたは、江戸川区からのお知らせや情報をどのような方法で見たり聞いたりしていますか。

(○はいくつでも) <n=1,811>

1 区の広報誌（広報えどがわ）紙版	54.2%	11 テレビ、ラジオ、雑誌、新聞、	12.9
2 区の広報誌（広報えどがわ）デジタル版	8.7	コミュニティペーパー	
3 暮らしの便利帳	17.2	12 区の公式以外のWebサイト・SNS	4.6
4 区の公式ホームページ	17.9	13 学校のプリント、町内・自治会回覧資料	21.3
5 区の公式SNS	7.5	14 チラシ、パンフレット	11.5
6 えどがわメールニュース	3.2	15 親族、友人、知人に聞く	18.1
7 広報ビデオ（えどがわ区民ニュース）	4.1	16 その他	1.8
8 区の広報板（ポスター）	10.2	17 情報を受け取る方法がない	1.0
9 J:COM江戸川	3.9	18 特に入手していない	15.2
10 FMえどがわ	1.9		

問6 あなたが思う江戸川区のイメージについてお答えください。(○は1つ)

<n=1,811>



問7 江戸川区は、良いところとしてどんなことをPRしていけば良いと思いますか。(○は3つまで)

<n=1,811>

1 水とみどりが豊かなまち	51.1%	6 下町らしい人情のあふれるまち	15.6
2 広い公園があるまち	41.2	7 子どもが多く活気のあるまち	17.4
3 交通（車、電車、バスでの）移動が便利なまち	32.5	8 誰もが安心して暮らしやすいまち	16.7
4 災害に強い安心なまち	5.4	9 福祉が充実したまち	15.4
5 治安が良い安全なまち	13.0	10 子育てがしやすいまち	28.8

問8 江戸川区では、「来庁しなくてもよい区役所」の実現をするため、様々なサービスなどをデジタル化する取り組みを行っています。
あなたは、江戸川区にこれからどのような取り組みを進めてほしいですか。(〇はいくつでも)

<n=1,811>

1	行政手続のオンライン化（スマートフォンやパソコンで手続きができるようにする）	57.3%
2	ワンストップサービス（一つの窓口でいろいろな手続きがまとめてできる）	61.0
3	支払いのキャッシュレス化（現金を使わない税金や手数料の支払い方法）	33.4
4	区の相談をオンライン化（スマートフォンやパソコンを使った相談）	22.6
5	AI（人工知能）の行政サービス、災害対策、防犯対策への活用	16.5
6	スマートフォンやパソコンの使い方を教えてくれる教室を開く	17.0
7	講演会・講習会のオンライン化	7.6
8	地域コミュニティや区内産業のデジタル化の支援や補助	9.9
9	新しい技術（メタバースやVR）を活用した行政サービスの向上	10.1
10	その他	2.3
11	特になし	11.5

【パブリック・コメントについて】

問9 江戸川区では、区民のみなさんが区の会議に参加したり、窓口に来たときにアンケート調査を行った
りするなど、区政に参加してもらうためのさまざまな取り組みをしています。

その一つとして、条例や計画などの具体的な案ができた段階で、広報えどがわに添付したハガキの郵
送や区ホームページでご意見を伺う「意見募集（パブリック・コメント）」を行っています。あなた
は、この取り組みを知っていますか。(〇は1つ)

<n=1,811>

1	言葉も意味も知っている	8.8%
2	言葉だけは聞いたことがある	16.8
3	知らない	73.3

【SDGsについて】

問10 あなたが、生活の中で普段から取り組んでいるSDGsの行動をお答えください。

(〇はいくつでも) <n=1,811>

1	食品ロスを防ぐ(必要な量だけ買う、フードドライブに参加する、残さず食べるなど)	67.5%
2	健康的な生活を送る(健康的な食事をする、運動を心がける、十分な睡眠をとるなど)	56.2
3	家のことを家族で分担する(家事の偏りを減らす、育休や介護休暇を活用するなど)	20.0
4	電気も水も大切に使う (見ていないテレビを消す、食器や手を洗う時に水をこまめに止めるなど)	57.9
5	最新の科学や技術を活用する (キャッシュレス決済を使う、オンラインで買い物をするなど)	33.1
6	多様性への理解を深める (外国語・手話・点字などに触れる、多様性に関する記事を見るなど)	15.4
7	地域の人たちと絆を深める(地域のおまつりや清掃活動に参加するなど)	12.6
8	リサイクルをする (服やペットボトルを資源回収に出す、リサイクルショップを活用するなど)	49.8
9	みどりを大切にする、プラごみを減らす(家庭菜園を楽しむ、詰め替え製品を選ぶなど)	33.2
10	江戸川区のことを知る(区内の公園で自然に触れる、区の伝統工芸品を知るなど)	14.7
11	上記以外の行動をしている	2.4
12	何もしていない	5.2

【共生社会について】

問11 江戸川区には、子どもから高齢者、障害や病気のある方、外国人などさまざまな方々が暮らしています。そうした誰もが、互いのちがいを認め合い、支え合いながら自分らしく暮らせる社会を「共生社会」といいます。あなたは、「共生社会」を知っていますか。(〇は1つ)

<n=1,811>

1	言葉も意味も知っている	38.2%
2	言葉だけは聞いたことがある	34.3
3	知らない	25.8

【人権について】

問12 人権とは、生まれたときから誰もが持っている自分らしく幸せに生きるための大切な権利です。日本の人権への課題について、あなたが関心のあるものはどれですか。

(〇はいくつでも) <n=1,811>

1	女性	37.3%
2	子ども	36.7
3	高齢者	42.1
4	障害者	39.4
5	部落差別（同和問題）	11.4
6	アイヌの人々（昔から北海道やその近くで暮らしてきた、独自の文化を持つ人たち）	10.8
7	外国人	22.9
8	H I V、新型コロナウイルス感染症などの病気にかかった人・その人を助ける医療の人たち やその家族	18.6
9	ハンセン病患者・元患者やその家族（うつりにくい病気で差別をうけた人やその家族）	10.7
10	犯罪被害者（犯罪にあって傷ついた人）やその家族	21.3
11	性的マイノリティ（L G B T Qなど）	17.4
12	刑を終えて刑務所から出てきた人やその家族	9.4
13	路上生活者（ホームレス）	12.4
14	インターネット上の誹謗中傷などによる人権侵害（インターネットの中での悪口など）	35.4
15	北朝鮮当局によって拉致された被害者やその家族（日本から北朝鮮に無理やり連れ去られてしま った人やその家族）	22.0
16	人身取引（人をだましたり、おどしたりして連れて行き、無理やり働かせるなど）	21.2
17	災害に伴う人権問題（災害が起こった後に噂や間違った情報を広める、差別するなど）	29.4
18	その他	1.8
19	特にない	11.1

【スポーツについて】

問13 あなたは、この1年間に運動やスポーツをどのくらいしましたか。(○は1つ) <n=1,811>

1 週に3日以上(年151日以上)	20.8%	5 3か月に1～2日(年4～11日)	4.1
2 週に2日(年101～150日)	14.9	6 年に1～3日	4.1
3 週に1日(年51～100日)	14.6	7 運動やスポーツを実施していない	28.6
4 月に1～3日(年12～50日)	10.4		

問13-1 問13で「1」から「6」と答えた方にお尋ねします。

あなたが、この1年間にした運動やスポーツは何ですか。(○はいくつでも) <n=1,248>

1 ウォーキング(散歩、ぶらぶら歩き、 一駅歩きなどを含む)	71.5%	17 アイススケート	2.0
2 体操	18.8	18 ローラースケート、スケートボード	1.0
3 エアロビクス、ヨガ、バレエ、 ピラティス	10.3	19 野球	3.1
4 キャッチボール	4.6	20 サッカー、フットサル	5.5
5 アクアエクササイズ、 水中ウォーキング	2.3	21 テニス、ソフトテニス	2.9
6 ランニング(ジョギング)	14.0	22 卓球(ラージボール含む)	4.8
7 トレーニング	18.1	23 バレーボール、ビーチバレー、 ソフトバレーボール	3.7
8 ボウリング	4.9	24 柔道、剣道、空手、相撲、合気道	2.2
9 ダンス	6.2	25 ソフトボール	1.4
10 自転車(BMX含む)、サイクリング	20.5	26 陸上競技、マラソン、駅伝	2.2
11 ゴルフ	7.5	27 水泳	6.7
12 ハイキング、ワンダーフォーゲル、 オリエンテーリング	3.1	28 弓道、アーチェリー	0.0
13 スキー、スノーボード	5.1	29 ラグビー、アメリカンフットボール	0.3
14 釣り	3.8	30 バスケットボール	4.0
15 登山、トレッキング、トレイルランニン グ、ロッククライミング	5.5	31 バドミントン	5.4
16 ボート、カヌー	0.9	32 パラスポーツ(ボッチャ、ゴールボール、 車いすバスケットボールなど)	0.6

問13-2 問13で「4」から「7」と答えた方にお尋ねします。

あなたが、この1年間に運動やスポーツをした頻度が週に1日に満たなかったのはどんな理由ですか。

(〇はいくつでも)

<n=856>

1	仕事や家事が忙しいから	50.1%	5	年をとったから	27.7
2	育児が忙しいから	9.8	6	近くに場所や施設がないから	11.8
3	習い事や塾が忙しいから	0.8	7	仲間がいないから	14.4
4	体が弱いから	10.6			

問14 あなたは、この1年間にスタジアム、体育館、道路などで実際に観戦したスポーツはありますか。(〇はいくつでも)

※観戦するスポーツの対象は、プロスポーツのほか、アマチュアスポーツや子どもの部活動などの試合を含みます。

<n=1,811>

1	野球	15.8%	11	卓球	1.7
2	サッカー(ブラインドサッカーを含む)、フットサル、マラソン、駅伝	6.0		(サウンドテーブルテニスを含む)	
3	ダンス(ダンススポーツ、社交ダンス、チアリーディング、ヒップホップなど)	3.6	12	ボクシング、レスリング、その他の格闘技	1.0
4	ゴルフ	1.4	13	体操	0.7
5	相撲	2.8	14	陸上競技	2.1
6	ラグビー(タグラグビー、車いすラグビーを含む)	1.5	15	水泳競技	1.2
7	バスケットボール(車いすバスケットボールを含む)	2.7	16	柔道、剣道、空手	0.8
8	テニス(車いすテニスを含む)	1.2	17	ソフトボール	0.3
9	バレーボール(シットティングバレーボールを含む)	2.0	18	アメリカンフットボール	0.5
10	スケート、フィギュアスケート	1.4	19	バドミントン	0.8
				(車いすバドミントンを含む)	
			20	その他	1.9
			21	観戦しなかった	59.1

【図書館について】

問 15 江戸川区では、図書館（12 カ所）、図書館サテライト（区内 10 カ所の小中学校）を設置しています。

あなたは、図書館や図書館サテライトをどのくらい利用していますか。

（○は1つ）

※図書館サテライトでは、予約した図書の貸し出しや返却などができます。

<n=1,811>

1	1 週間に数回程度	2.0%	4	年に 1 回程度	4.2
2	1 か月に数回程度	8.9	5	過去に利用したが、現在は利用していない	34.6
3	年に数回程度	14.1	6	利用したことがない	35.1

問 15－1 問 15 で「5」または「6」と答えた方にお尋ねします。

図書館や図書館サテライトを利用していない理由は何ですか。（○はいくつでも）

<n=1,261>

1	近くにない	16.7%	6	図書館（図書館サテライト）へ行って、	27.0
2	どこにあるかわからない	11.1		本や雑誌を借りたり、返したりする	
3	利用の仕方がわからない、	5.8		ことが大変	
	ルールが難しそう		7	本や雑誌は買って読んでいる	28.2
4	読みたい本や雑誌があるか	12.1	8	楽しめるイベントや催し物がない	4.3
	わからない		9	その他	26.0
5	雰囲気が好きではない	3.6			

【環境づくりについて】

問16 江戸川区から出されたごみは、最終的に埋め立て処分場に運ばれています。この埋め立て処分場はあと50年しか使えないと言われていて、ごみを減らし、長く使えるようにする必要があります。ごみを減らすために、あなたが普段から取り組んでいることは何ですか。(〇はいくつでも)

<n=1,811>

1	食べられる分を残さず食べる	73.6%
2	買い物や外出をするとき、マイバッグやマイボトルを持っていく	74.9
3	汚れていない紙類は燃やすごみではなく古紙回収に出す	43.7
4	ハンガーや小物入れなどの使わなくなったプラスチック製品は区の「製品プラスチック常設回収」に出す	17.8
5	着られなくなった服や不要になった服は区の「古着・古布リサイクル回収」やリユース店に持ち込む	28.1
6	取り組んでいるものはない	4.7

問17 平成30年10月に葛西海浜公園（葛西臨海公園の海側に隣接）は、都内で初めて世界的に大切な自然の場所として、ラムサール条約（「特に水鳥の生息地として国際的に重要な湿地に関する条約」）の湿地に登録されました。あなたは、葛西海浜公園がラムサール条約の湿地に登録されていることを知っていますか。(〇は1つ)

<n=1,811>

1	知っている	29.0%	2	知らない	69.3
---	-------	-------	---	------	------

【災害対策について】

問18 江戸川区は、ほとんどの地域が周りの川の高さより低い「ゼロメートル地帯」です。そのため、大きな台風や大雨で川の水があふれるときに、安全な場所へ早く逃げる「広域避難」をすすめています。あなたは、いつなら安全な場所へ逃げられると思いますか。(〇は1つ)

<n=1,811>

1	48時間より前に（電車やバスが動いている間に）逃げられると思う	16.3%
2	24時間より前（大雨が降る前）であれば逃げられると思う	29.7
3	逃げたいが、いつ逃げるかわからないと思う	35.2
4	逃げられないと思う	11.5
5	逃げない	5.2

問19 あなたは、地震が起こったときのために、普段から準備をしていますか。

項目ごとにお答えください。(それぞれ〇は1つずつ)

<n=1,811> (%)

項目	該当	はい	いいえ
《自分自身の準備》			
① 消火器の使い方を知っている		69.0	27.6
② 家の近くの消火器がある場所を知っている		50.4	45.4
③ 家に3日以上過ごせる水や食べ物などがある		62.5	34.6
④ 災害用伝言ダイヤル「171」を知っている		45.3	50.0
《家の中での準備》			
⑤ 家具が倒れないように固定し、食器棚のものが飛び出さないように留め具をつけている		39.3	56.5
⑥ 窓や食器棚のガラスが割れても、飛び散らないように飛散防止フィルムを貼っている		11.8	84.0
⑦ 感震ブレーカー（地震を感知する機械）をつけている		24.5	70.9
⑧ 避難所（逃げる場所）や連絡する方法を家族で確認している		43.9	51.6
《地域の中での準備》			
⑨ 町会・自治会などが実施する防災訓練に参加したことがある		18.7	77.4
⑩ 近所の安全な場所や危険な場所の確認・点検をしたことがある		23.9	72.6

問20 令和7年8月に「水害ハザードマップ」をすべての家に配りました（画像参照）。

このマップを見て、内容はわかりましたか。（○はい/△はいいえ/×はわかりません）

<n=1,811>

- | | | |
|---|---|-------|
| 1 | 大きな水害が予想されるときと予想されないうちで、逃げるときに行動がちがうことがわかった | 24.4% |
| 2 | 自分の家がどれくらい水につかるかを調べて、あぶないかどうかわかった | 47.5% |
| 3 | いざというときの逃げる場所（避難先）を確認することができた | 34.8% |
| 4 | 大きな水害が予想されるときに江戸川区以外のホテルなどの宿泊施設に逃げると補助金（1泊3,000円、最大3泊9,000円）が出るということがわかった | 9.4% |
| 5 | わからなかった | 9.4% |
| 6 | 見ていない・見たことがない | 24.1% |

日本語版

水害
内水氾濫
洪水

大規模
水害
洪水・高潮

保存版

江戸川区
水害ハザードマップ

概要版

第2版
2025年7月公表

江戸川区水害ハザードマップ（本編）には、もっと詳しい情報が載っています
区ホームページをご覧ください

もくじ

大判マップ（大規模水害）	2ページ（ポケット）
江戸川区の地形	3ページ
大規模水害ってどんなとき？	4-5ページ
水害時にはどこに避難すればいい？	6-7ページ
水害時にはどんな情報が発表される？	8-9ページ
わが家の広域避難計画 / わが家の避難計画	10-11ページ
何から考えればいい？	12ページ
一人で避難が難しい方への支援	12ページ

もっと詳しい情報や最新情報は
区のホームページへ

江戸川区水害ハザードマップ（本編）
URL <https://www.city.edogawa.tokyo.jp/e007/bosai/nzen/bosaikanrenmap/hazardmap/index.html>

多言語対応版もあります

- やさしい日本語版
- English【英語版】
- 中文版【中国語（簡体字）版】

区のホームページで121か国語に翻訳対応しています。

必ず読んで
考えよう！

この冊子には、音声コード「Uni-Voice」が印刷されています。
スマートフォン専用アプリ「Uni-Voice Blind」などで読み取ると、
ページに書かれている文章を音声で聞くことができます。

音声コード掲載

200

問21 これから先、首都直下型の大地震や豪雨による水害など、大きな災害が起きると予想されています。区民のみなさんの命や財産、まちを守るために、江戸川区は国や東京都と一緒に様々な取り組みを行っています。

あなたは、災害に強い安全安心なまちづくりをするための取り組みを知っていますか。

項目ごとにお答えください。(それぞれ〇は1つずつ)

<n=1,811> (%)

項目	該当	知っている	知らない
① 大雨で川から水があふれないように、新しい水の通り道（放水路）を掘って造った。（現在の荒川・新中川など）		45.2	51.6
② 葛西臨海公園を高く造り、海からの高波を防ぐ「防潮堤」の役割をもたせた。		28.3	68.9
③ 台風などで1時間あたり50mmの雨が降っても、まちに水があふれないよう、下水道を整備した。		31.6	65.1
④ どぶ川になってしまった水路を、水とみどり豊かな親水公園や親水緑道に造りかえた。		46.2	50.7
⑤ 雨水を川へ流すポンプ所や、雨水を貯めて下水道の負担を少なくする施設（雨水貯留施設）をたくさん造った。		23.9	71.9
⑥ 国や東京都と協力して、川の水があふれてもこわれにくい、幅の広い高規格堤防（スーパー堤防）の整備を進めている。 ※高規格堤防は、堤防の高さの約30倍の幅を持つ強固な堤防。		49.6	46.8
⑦ 国や東京都と協力して、水害時に緊急的に逃げられる「高台」や「避難スペース」があるまちづくりを進めている。		23.5	72.7
⑧ 災害が起きたとき、一時的に逃げられる場所となる公園をたくさん造り、かまどベンチ、防災井戸、マンホールトイレなどの防災施設も整備している。		41.8	54.6
⑨ 道路、公園などのみんなが使う場所を整え、まち全体の形をきれいにする「土地区画整理事業」を区内の約1/3で実施している。		24.1	71.7
⑩ 災害が起きても、救急車や消防車などが通りやすく、安全に逃げられるよう、広くて安全な「都市計画道路」を造っている。		31.2	65.3

【地域の治安（安全）について】

問22 あなたは、住んでいる地域の治安（安全）について、どのように感じていますか。（○は1つ）

<n=1,811>

1	良い	13.1%	3	あまり良くない	23.5	5	わからない	8.8
2	まあまあ良い	47.9	4	良くない	4.6			

問22-1 問22で「3」または「4」と答えた方にお尋ねします。

良くないと感じる理由は何ですか。（○はいくつでも）

<n=509>

1	タバコのポイ捨て・ごみを捨ててはいけない場所に勝手に捨てる	71.3%
2	公共の場所での客引き（駅前などでお店に誘う）行為	27.7
3	路上喫煙（道でタバコを吸う）	65.4
4	交通違反（交通事故、危険運転など）	43.4
5	外国人とのトラブル	30.5
6	不審者（怪しい人からの声かけ、ストーカーなど）	35.6
7	詐欺（オレオレ詐欺、無理やり買わせるなど）	23.2
8	未成年者の非行（タバコを吸う、お酒を飲む、夜遅くまで外にいるなど）	32.0
9	反社会的勢力（暴力や詐欺をする人たち）による犯罪・迷惑行為	11.6
10	窃盗（自転車を盗む、他人の家から物を盗むなど）	33.8
11	子どもへの犯罪（いたずら、連れ去りなど）	14.1
12	性犯罪（わいせつ行為など）	11.0
13	凶悪犯罪（無理やりお金や物を盗む、人を殺すなど）	12.2
14	その他	8.6

【地域活動の参加状況について】

問23 あなたは、現在、地域のために活動している団体に参加していますか。（○はいくつでも）

<n=1,811>

1	町会・自治会	21.9%	8	スポーツ普及団体	0.9
2	子ども会	1.4	9	文化・芸能振興団体	0.6
3	PTA	4.1	10	ボランティア団体	1.9
4	高齢者団体（くすのきクラブなど）	3.4	11	外国人（多文化共生）支援団体	0.3
5	障害者支援団体	0.3	12	その他	1.8
6	防災団体（消防団など）・防犯団体	0.6	13	参加していない	69.2
7	環境団体	0.4			

問23-1 問23で「13」と答えた方にお尋ねします。

どのようなこと（要素や条件）があれば地域のために活動する団体に参加してみたいと思いますか。

（○はいくつでも）

<n=1,254>

1	短い時間でも参加できる	30.9%	8	活動に参加すると、記念品やサービスが	13.3
2	一回だけでも参加できる	30.5		もらえる	
3	いろいろな種類の地域活動を体験できる	9.3	9	自分が知っている事や得意なことを地域の人に伝えられるような活動	8.9
4	たくさんの人と知り合える	9.4	10	自分の成長につながるような活動	21.9
5	SNSなどで活動の情報が通知される	9.4	11	その他	10.4
6	いつでも見に行ける活動を募集する専用のアプリやサイトがある	13.6	12	どんな条件でも、参加しない	20.7
7	活動に参加すると、報酬（お金や金券など）がもらえる	15.7			

【ひきこもりについて】

問24 あなたは「ひきこもり」について、どのくらい知っていますか。（○は1つ）

<n=1,811>

1	意味も、区がサポートしていることも知っている	24.2%
2	意味は知っているが、区がサポートしていることは知らない	57.5
3	意味は知らないが、区がサポートしていることは知っている	2.9
4	まったく知らない	12.9

【プレコンセプションケアについて】

問25 中学生以上の方にお尋ねします。

若い人たちが将来のことを考えて、自身の生活や健康に向き合うことを「プレコンセプションケア」といいます。あなたは、「プレコンセプションケア」を知っていますか。（○は1つ）

<n=1,811>

1	言葉も意味も知っている	3.0%	2	言葉だけは聞いたことがある	8.7	3	知らない	79.8
---	-------------	------	---	---------------	-----	---	------	------

問26 中学生以上の方にお尋ねします。

プレコンセプションケアに関して江戸川区に期待することは何ですか。（○はいくつでも）

<n=1,811>

1	広報誌などでの情報発信	31.1%	4	学校で児童・生徒に対して知ってもらう活動	46.7
2	若い世代への健康づくり施策	27.9	5	その他	12.7
3	講演会などの開催	9.5			

【自殺予防・対策について】

問27 あなたは、江戸川区の自殺予防・対策の取り組みを、見たり聞いたりしたことはありますか。

(〇はいくつでも) <n=1,811>

1 「自殺防止えどがわキャンペーン」(3月、9月に実施)	12.1%
2 図書館でのパネルやリーフレット、関連のある図書の展示	7.7
3 さまざまな相談先がのっている配布物(ハンカチ型リーフレットなど)	11.0
4 ゲートキーパー(いのち見守り隊)養成講座	2.7
5 さまざまな専門家による「総合相談会」	4.6
6 こころの体温計(モバイル版ストレスセルフチェック)	1.6
7 児童、生徒に実施している「SOSの出し方教育」	12.0
8 その他	2.8
9 見たり聞いたりしたことはない	61.1

問28 あなたは、これまでに自殺予防・対策における「ゲートキーパー(いのち見守り隊)」という言葉を見たことはありますか。(〇は1つ) <n=1,811>

1 言葉を聞いたことがあり役割も知っている	5.5%
2 言葉だけは聞いたことがある	20.2
3 聞いたことはない	71.8

【区政への要望について】

問29 あなたは、江戸川区は今後どのような施策を推進していけば良いと思いますか。(○は3つまで)

<n=1,811>

1	都市基盤整備 (例：公園や道路をきれいにする)	14.2%
2	再開発事業 (例：建物や道路をきれいにして便利で安全なまちにする)	13.6
3	交通網整備 (例：電車やバスでの移動をもっと便利にする)	22.5
4	住宅対策 (例：空き家対策、住宅供給、安心して住める家を増やす)	11.9
5	震災対策 (例：地震や火事への対策をする)	24.9
6	水害対策 (例：大雨や台風への対策をする)	30.7
7	防犯対策 (例：犯罪をなくす、不審な人がいないようにする)	23.7
8	環境保全 (例：地球温暖化対策、リサイクルを進める)	5.7
9	高齢者施策 (例：高齢者を助ける)	15.7
10	障害者支援 (例：体が不自由な人を助ける)	5.5
11	ひきこもり支援 (例：外に出にくい人を助ける)	2.0
12	低所得者支援 (例：生活に困っている人を助ける)	9.3
13	子育て支援 (例：子育てしている人を助ける、子どもの遊び場づくり)	14.1
14	学校教育 (例：学校の教育をもっと良くする、勉強している人を助ける)	8.8
15	青少年健全育成 (例：子どもの成長を助け、見守る)	2.9
16	生涯学習 (例：子どもも大人も勉強することを助ける)	3.7
17	文化・芸術 (例：音楽や演劇などを体験できる場所を増やす)	3.6
18	スポーツ振興 (例：スポーツを楽しみ健康に暮らせるようにする)	3.7
19	保健・健康推進・感染症対策 (例：病気の予防や健康づくりを応援する)	5.6
20	中小企業振興 (例：住んでいる地域にある会社の活動を助ける)	1.9
21	観光施策 (例：まちに遊びに来る人を増やす)	2.0
22	都市・国際交流 (例：区外や世界の人と交流し互いの文化を認め合う)	0.8
23	多文化共生 (例：ちがいを認め合い、みんながともに生きるまちづくり)	3.4
24	平和・人権・男女共同参画 (例：誰もが自分らしく平和に安心して暮らす)	5.9
25	行政サービスのデジタル化 (例：スマホなどで区役所の手続きを便利にする)	11.1
26	その他	1.4
27	わからない	2.5

最後に、お答えいただいたことを統計的に処理するため、あなたご自身やご家族について、お知らせください。

F 1 あなたの性別をお知らせください。(○は1つ) <n=1,811>

1	男性	43.5%	2	女性	54.7	3	その他	0.4
---	----	-------	---	----	------	---	-----	-----

F 2 あなたのご年齢をお知らせください。(○は1つ) <n=1,811>

1	10～19歳	6.5%	4	40～49歳	14.0	7	65～69歳	7.0
2	20～29歳	9.1	5	50～59歳	17.8	8	70～74歳	6.1
3	30～39歳	11.6	6	60～64歳	8.2	9	75歳以上	18.6

F 3 あなたのご職業をお知らせください。(○は1つ) <n=1,811>

1	自営業者	7.0%	6	小学生・中学生	3.1
2	家族従業（家事手伝い）	1.0	7	学生（高校生含む）	4.4
3	勤め（フルタイム）	38.9	8	無職	19.3
4	勤め（パートタイム）	13.3	9	その他	2.6
5	家事専業	8.8			

F 4 一緒に暮らしているご家族の人数（ご自身を含めて）をお知らせください。(○は1つ)

<n=1,811>

1	1人	16.9%	4	4人	17.7	6	6人	1.5
2	2人	31.1	5	5人	6.4	7	7人以上	0.7
3	3人	24.0						

F 4-1 F 4で「2」、「3」、「4」、「5」、「6」、「7」のいずれかと答えた方にお尋ねします。

同居者（本人以外）をお知らせください。(○はいくつでも)

<n=1,476>

1	小学校入学前のお子さん	9.8%	3	16～64歳の方	72.5
2	小・中学生	16.7	4	65歳以上の方	34.1

F 5 現在のあなたの住居の種類をお知らせください。(○は1つ) <n=1,811>

1	持ち家（一戸建）	38.8%	6	公営の賃貸住宅	3.3
2	持ち家（共同住宅）	25.1	7	都市再生機構・公社などの賃貸住宅	3.3
3	持ち家（長屋建・その他）	0.1	8	給与住宅（社宅・公務員住宅など）	2.2
4	民営の賃貸住宅（一戸建）	1.4	9	借間	1.9
5	民営の賃貸住宅（共同住宅）	21.0	10	わからない	1.4

F 6 あなたのお住まいの場所をお知らせください。

	町 名		丁目
(例	中 央	1	丁目)

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

令和8年8月発行

第39回江戸川区民世論調査

編集・発行／江戸川区SDGs推進部広報課
東京都江戸川区中央1丁目4番1号
電話 03(5662) 6168〔直通〕

集計・分析／株式会社ケー・デー・シー
東京都港区虎ノ門4丁目2番12号
電話 03(5733) 5111



ともに、生きる。
江戸川区